

2 調査結果

2 調査結果

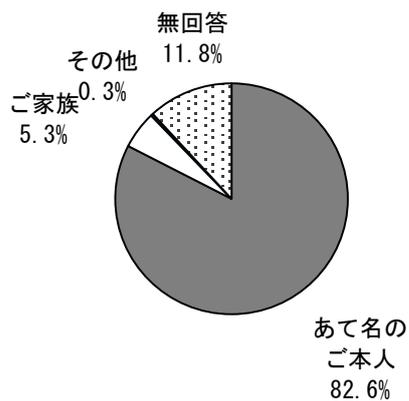
2. 1 基本的事項

問 1-1 調査票を記入している人

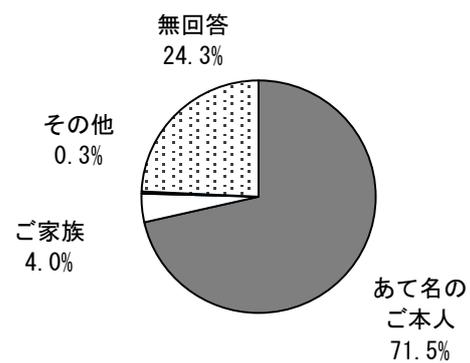
調査票を記入しているのはどなたですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

調査票を記入しているのは、64歳以下は「あて名のご本人」が82.6%、「ご家族」は5.3%となっており、65歳以上は「あて名のご本人」は71.5%、「ご家族」は4.0%となっている。

図表2-1-1 記入者【64歳以下】(N=625)



図表2-1-2 記入者【65歳以上】(N=3,122)

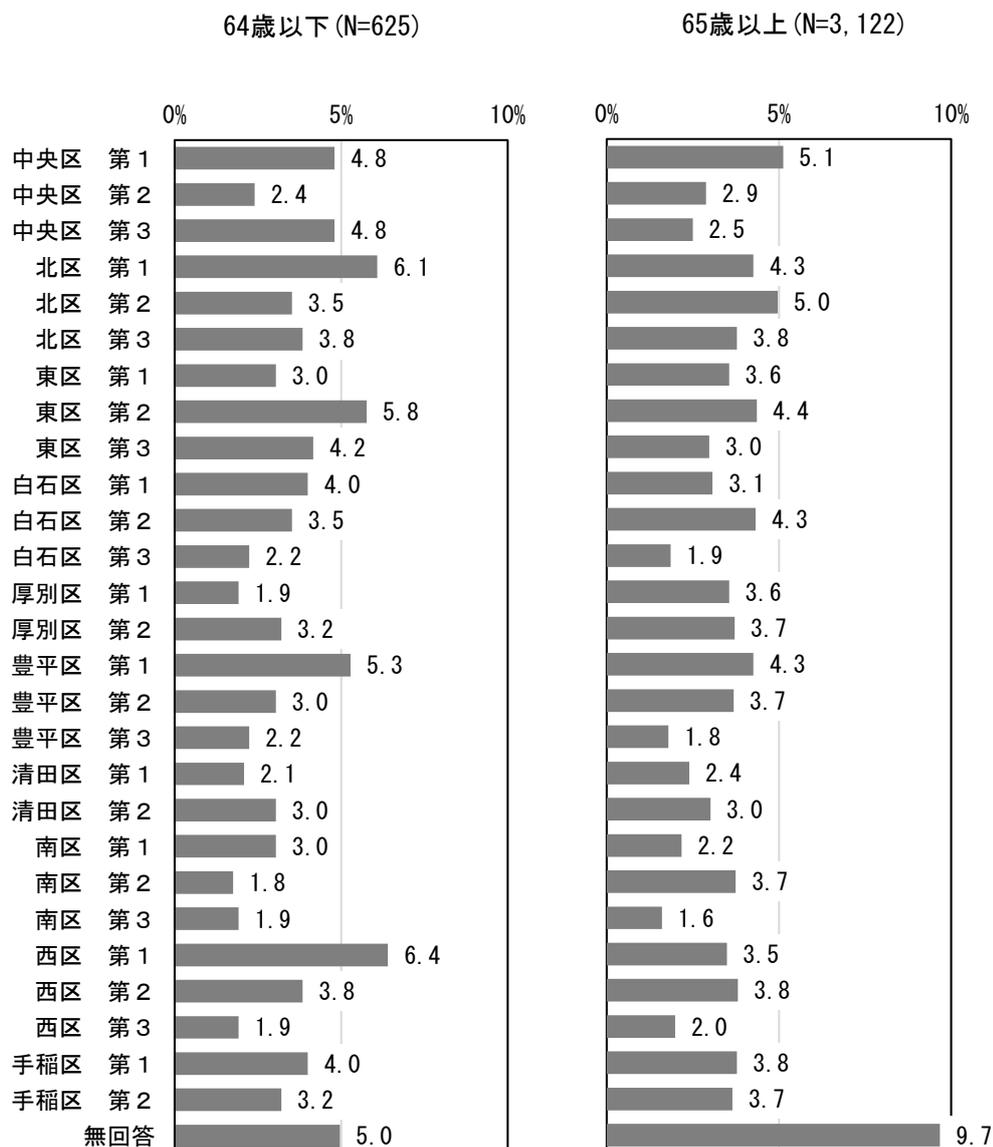


問 1-2 居住区の地域包括支援センター

あなたがお住まいの地区を担当する地域包括支援センターはどこですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

現在の居住区地域包括支援センターは、64歳以下は「西区 第1地域包括支援センター」が最も多く6.4%、65歳以上は「中央区 第1地域包括支援センター」が最も多く5.1%となっている。次いで、64歳以下は「北区 第1地域包括支援センター」(6.1%)、「東区 第2地域包括支援センター」(5.8%)となっており、65歳以上は、「北区 第2地域包括支援センター」(5.0%)、「東区 第2地域包括支援センター」(4.4%)となっている。

図表2-1-3 地域包括センター

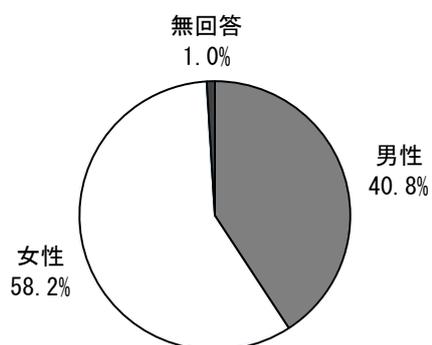


問 1-3 性別

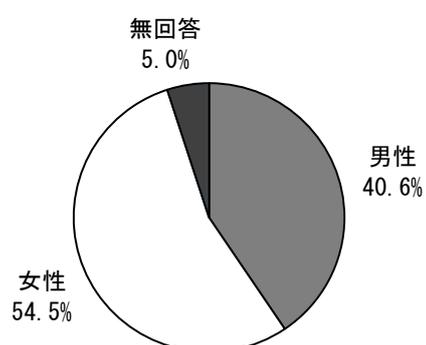
あなたの性別について、あてはまるものに○をつけてください。

性別は、64歳以下の「男性」は40.8%、「女性」は58.2%となっており、65歳以上の「男性」は40.6%、「女性」は54.5%となっている。

図表2-1-4 性別【64歳以下】(N=625)



図表2-1-5 性別【65歳以上】(N=3,122)



問1-4 年齢

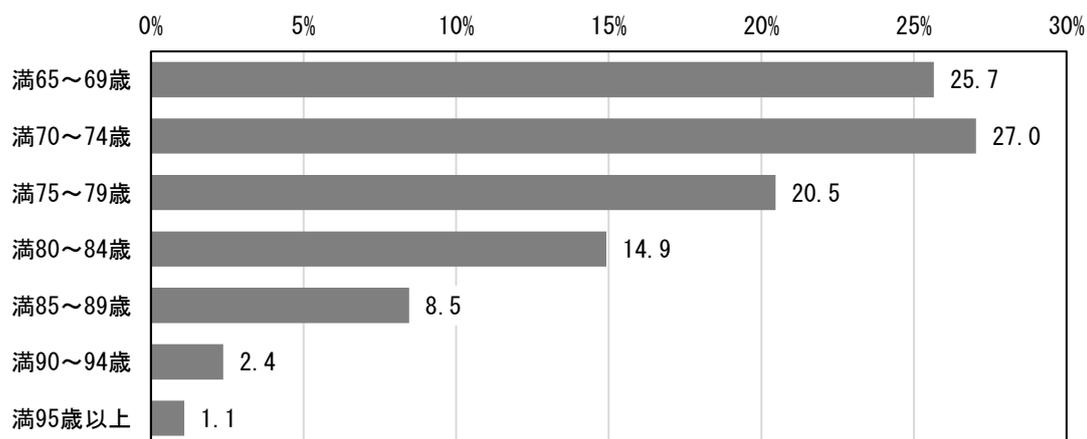
あなたの現在の年齢について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

現在の年齢は、64歳以下は「満60～64歳」(22.6%)が最も多く、次いで「満55～59歳」(21.8%)、「満50～54歳」(19.0%)となっており、65歳以上は「満70～74歳」(27.0%)が最も多く、次いで「満65～69歳」(25.7%)、「満75～79歳」(20.5%)となっている。

図表2-1-6 年齢【64歳以下】(N=625)

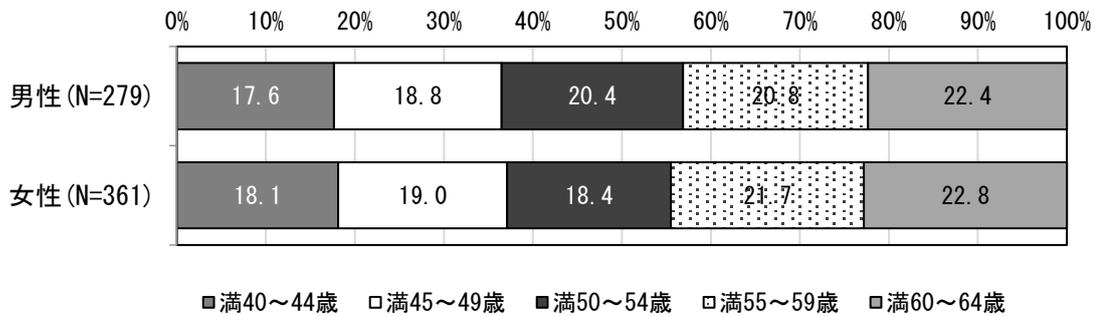


図表2-1-7 年齢【65歳以上】(N=3,122)

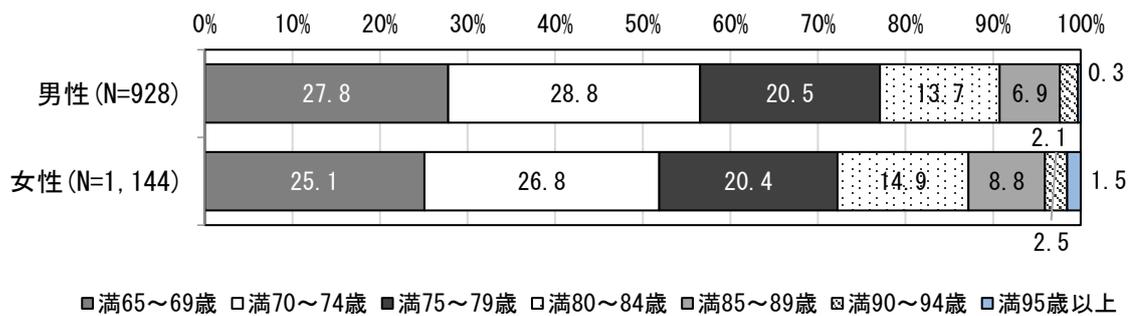


男女別にみると、64歳以下は「満50～54歳」は男性が2.0ポイント高く、「満55～59歳」は女性が0.9ポイント高くなっており、65歳以上は「満65～69歳」は男性が2.7ポイント高く、「満70～74歳」で男性が2.0ポイント高くなっている。

図表2-1-8 問1-4 年齢 × 問1-3 性別 【64歳以下】



図表2-1-9 問1-4 年齢 × 問1-3 性別 【65歳以上】

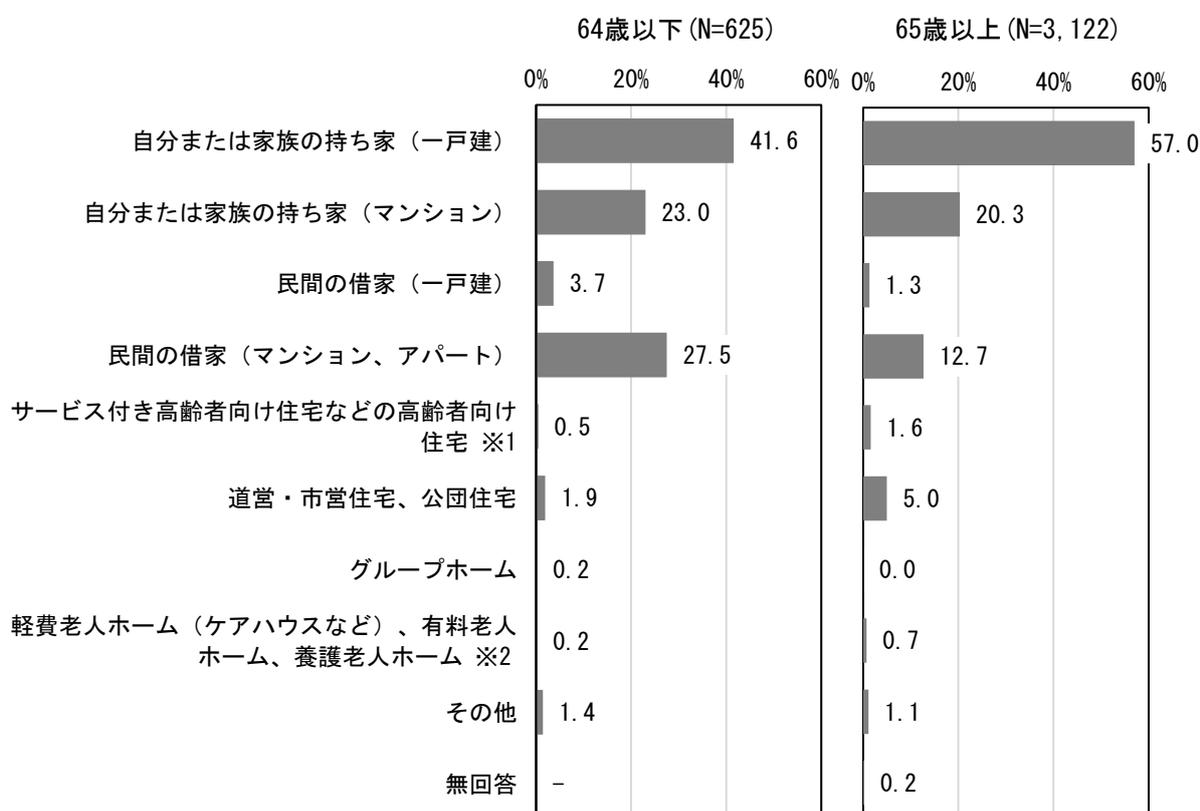


問 1-5 生活場所

あなたは現在、どこで生活をしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

現在の生活場所は、64歳以下・65歳以上共に、「自分または家族の持ち家（一戸建）」が最も多く、64歳以下は41.6%、65歳以上は57.0%となっている。次いで、64歳以下は「民間の借家（マンション、アパート）」（27.5%）、「自分または家族の持ち家（マンション）」（23.0%）となっており、65歳以上は「自分または家族の持ち家（マンション）」（20.3%）、「民間の借家（マンション、アパート）」（12.7%）となっている。

図表2-1-10 生活場所



※1 「サービス付き高齢者向け住宅」とは、安否確認や生活相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供するバリアフリー構造の住宅をいう。

※2 「軽費老人ホーム」とは、自立した日常生活を営むことに不安のある、家族の援助を受けることが困難な方が入所する施設であり、ケアハウス、A型、B型の3種類がある。

現在の居住区の地域包括支援センター別にみると、「自分または家族の持ち家(一戸建)」と「自分または家族の持ち家(マンション)」を合わせた割合が、64歳以下は「北区第2」で91.0%、65歳以上は「清田区第2」で94.7%と特に高くなっている。「民家の借家(マンション、アパート)」で見ると、64歳以下は「白石区第3」が71.4%、65歳以上は「白石区第1」が21.9%と最も高くなっている。

図表2-1-11 問1-5 生活場所 × 問1-2 居住区 【64歳以下】

(%)

	自分または家族の持ち家（一戸建）	自分または家族の持ち家（マンション）	民間の借家（一戸建）	民間の借家（マンション、アパート）	サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅	道営・市営住宅、公団住宅	グループホーム	軽費老人ホーム（ケアハウスなど）、有料老人ホーム、養護老人ホーム	その他	無回答
中央区第1(N=30)	3.3	46.7	-	50.0	-	-	-	-	-	-
中央区第2(N=15)	13.3	60.0	-	26.7	-	-	-	-	-	-
中央区第3(N=30)	20.0	46.7	-	23.3	3.3	-	-	-	6.7	-
北区第1(N=38)	57.9	13.2	5.3	21.1	-	-	-	-	2.6	-
北区第2(N=22)	45.5	45.5	-	9.1	-	-	-	-	-	-
北区第3(N=24)	70.8	4.2	16.7	4.2	-	4.2	-	-	-	-
東区第1(N=19)	36.8	15.8	5.3	42.1	-	-	-	-	-	-
東区第2(N=36)	38.9	22.2	2.8	33.3	-	2.8	-	-	-	-
東区第3(N=26)	53.8	15.4	-	19.2	3.8	-	-	3.8	3.8	-
白石区第1(N=25)	36.0	8.0	4.0	40.0	4.0	4.0	-	-	4.0	-
白石区第2(N=22)	36.4	27.3	-	36.4	-	-	-	-	-	-
白石区第3(N=14)	7.1	14.3	-	71.4	-	7.1	-	-	-	-
厚別区第1(N=12)	50.0	8.3	-	25.0	-	16.7	-	-	-	-
厚別区第2(N=20)	25.0	40.0	10.0	15.0	-	5.0	-	-	5.0	-
豊平区第1(N=33)	3.0	27.3	3.0	60.6	-	3.0	-	-	3.0	-
豊平区第2(N=19)	42.1	42.1	-	15.8	-	-	-	-	-	-
豊平区第3(N=14)	21.4	21.4	7.1	50.0	-	-	-	-	-	-
清田区第1(N=13)	69.2	15.4	7.7	7.7	-	-	-	-	-	-
清田区第2(N=19)	84.2	5.3	5.3	5.3	-	-	-	-	-	-
南区第1(N=19)	63.2	15.8	-	21.1	-	-	-	-	-	-
南区第2(N=11)	63.6	18.2	-	18.2	-	-	-	-	-	-
南区第3(N=12)	50.0	41.7	-	-	-	8.3	-	-	-	-
西区第1(N=40)	37.5	20.0	2.5	32.5	-	2.5	2.5	-	2.5	-
西区第2(N=24)	66.7	12.5	12.5	8.3	-	-	-	-	-	-
西区第3(N=12)	41.7	33.3	8.3	16.7	-	-	-	-	-	-
手稲区第1(N=25)	52.0	16.0	8.0	20.0	-	4.0	-	-	-	-
手稲区第2(N=20)	75.0	5.0	5.0	15.0	-	-	-	-	-	-
無回答(N=31)	38.7	12.9	-	41.9	-	3.2	-	-	3.2	-

図表2-1-12 問1-5 生活場所 × 問1-2 居住区 【65歳以上】

(%)

	自分または家族の持ち家（一戸建）	自分または家族の持ち家（マンション）	民間の借家（一戸建）	民間の借家（マンション、アパート）	サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅	道営・市営住宅、公団住宅	グループホーム	軽費老人ホーム（ケアハウスなど）、有料老人ホーム、養護老人ホーム	その他	無回答
中央区第1(N=160)	15.0	56.3	1.3	21.3	1.9	2.5	-	1.3	0.6	-
中央区第2(N=90)	38.9	41.1	2.2	11.1	1.1	2.2	-	3.3	-	-
中央区第3(N=78)	24.4	52.6	3.8	11.5	5.1	-	-	-	2.6	-
北区第1(N=133)	54.9	21.1	0.8	21.8	-	0.8	-	0.8	-	-
北区第2(N=155)	72.3	12.3	1.3	9.0	0.6	1.9	-	0.6	1.3	0.6
北区第3(N=118)	75.4	5.9	3.4	6.8	1.7	3.4	-	0.8	2.5	-
東区第1(N=111)	42.3	25.2	0.9	18.9	1.8	9.0	-	-	0.9	0.9
東区第2(N=136)	72.1	5.1	1.5	13.2	1.5	5.1	-	0.7	0.7	-
東区第3(N=93)	71.0	12.9	-	10.8	-	4.3	-	1.1	-	-
白石区第1(N=96)	50.0	18.8	3.1	21.9	3.1	2.1	-	-	1.0	-
白石区第2(N=135)	51.1	15.6	0.7	21.5	3.0	4.4	-	1.5	2.2	-
白石区第3(N=58)	41.4	22.4	1.7	20.7	5.2	5.2	-	1.7	1.7	-
厚別区第1(N=111)	58.6	12.6	1.8	5.4	2.7	18.9	-	-	-	-
厚別区第2(N=116)	37.9	28.4	0.9	9.5	-	23.3	-	-	-	-
豊平区第1(N=133)	27.8	44.4	1.5	21.1	1.5	3.8	-	-	-	-
豊平区第2(N=115)	73.0	13.9	0.9	10.4	-	0.9	0.9	-	-	-
豊平区第3(N=56)	41.1	30.4	3.6	17.9	1.8	5.4	-	-	-	-
清田区第1(N=75)	80.0	10.7	-	4.0	1.3	4.0	-	-	-	-
清田区第2(N=94)	86.2	8.5	-	1.1	-	3.2	-	-	1.1	-
南区第1(N=68)	64.7	17.6	-	13.2	1.5	1.5	-	1.5	-	-
南区第2(N=117)	80.3	8.5	1.7	5.1	-	1.7	-	0.9	1.7	-
南区第3(N=50)	30.0	34.0	2.0	4.0	2.0	28.0	-	-	-	-
西区第1(N=109)	43.1	33.9	-	15.6	1.8	2.8	-	1.8	0.9	-
西区第2(N=119)	78.2	9.2	1.7	7.6	1.7	-	-	-	1.7	-
西区第3(N=62)	51.6	30.6	1.6	12.9	1.6	1.6	-	-	-	-
手稲区第1(N=118)	84.7	5.1	1.7	1.7	2.5	2.5	-	1.7	-	-
手稲区第2(N=114)	79.8	6.1	0.9	6.1	0.9	3.5	-	-	2.6	-
無回答(N=302)	55.3	13.2	0.7	16.6	2.3	6.3	-	1.0	3.0	1.7

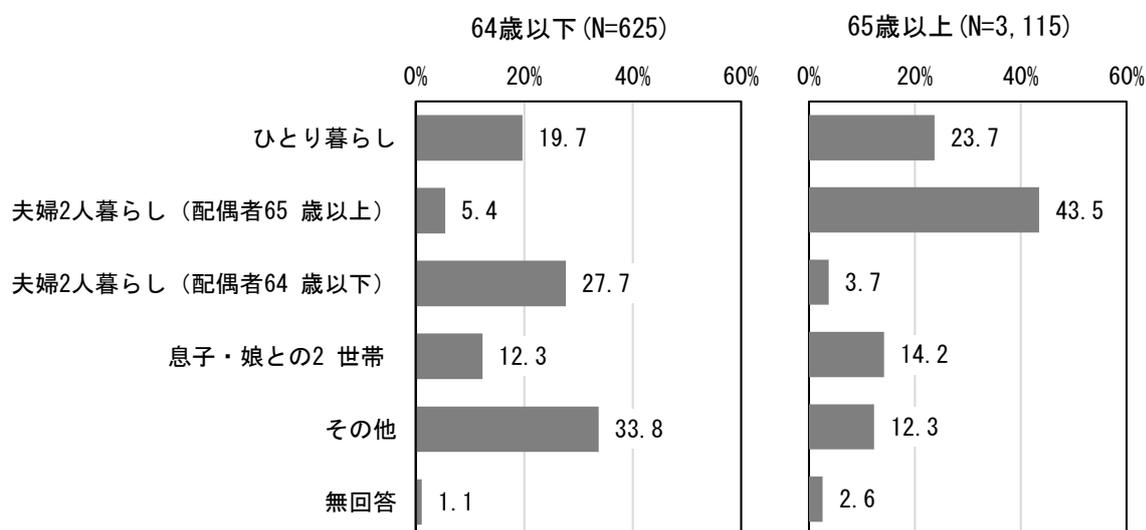
2. 2 世帯の状況・住まいについて

問2-1 世帯の家族構成

あなたの世帯の家族構成を教えてください。

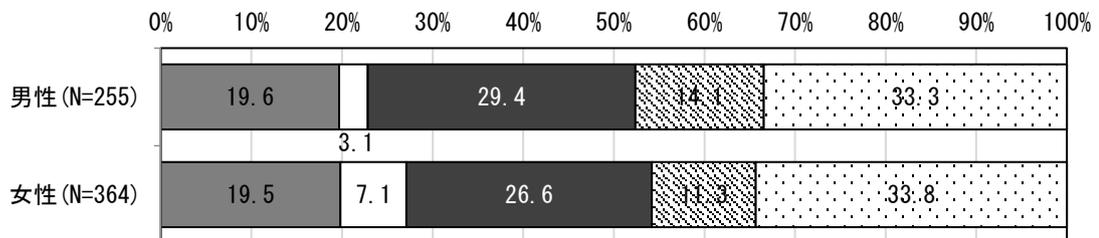
世帯の家族構成についてたずねたところ、64歳以下は「その他」が最も多く33.8%、65歳以上は「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が最も多く43.5%となっている。一方、「ひとり暮らし」は、64歳以下は19.7%、65歳以上は23.7%となっている。

図表2-2-1 家族構成

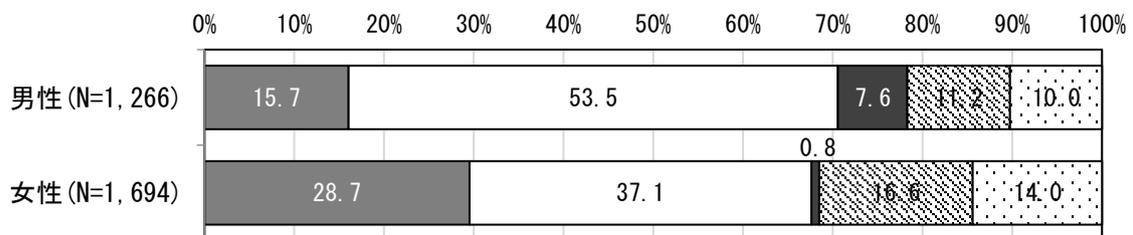


男女別に「家族構成」をみると、64歳以下は、男性・女性共に「その他」が最も多く、男性は33.3%、女性は33.8%となっており、65歳以上は、男性・女性共に「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が最も多く、男性は53.5%、女性は37.1%となっている。

図表2-2-2 問2-1 家族構成 × 問1-3 性別 【64歳以下】



図表2-2-3 問2-1 家族構成 × 問1-3 性別 【65歳以上】

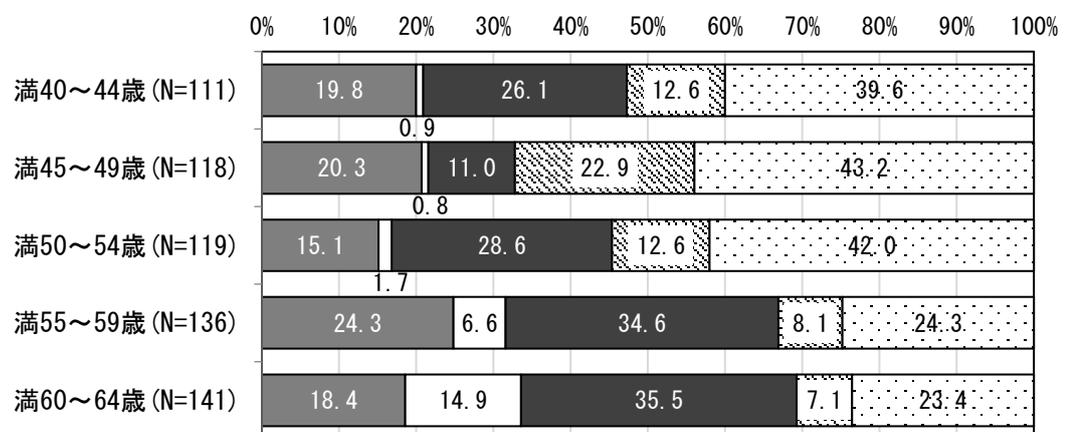


- ひとり暮らし
- 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)
- ▨息子・娘との2世帯
- 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)
- その他

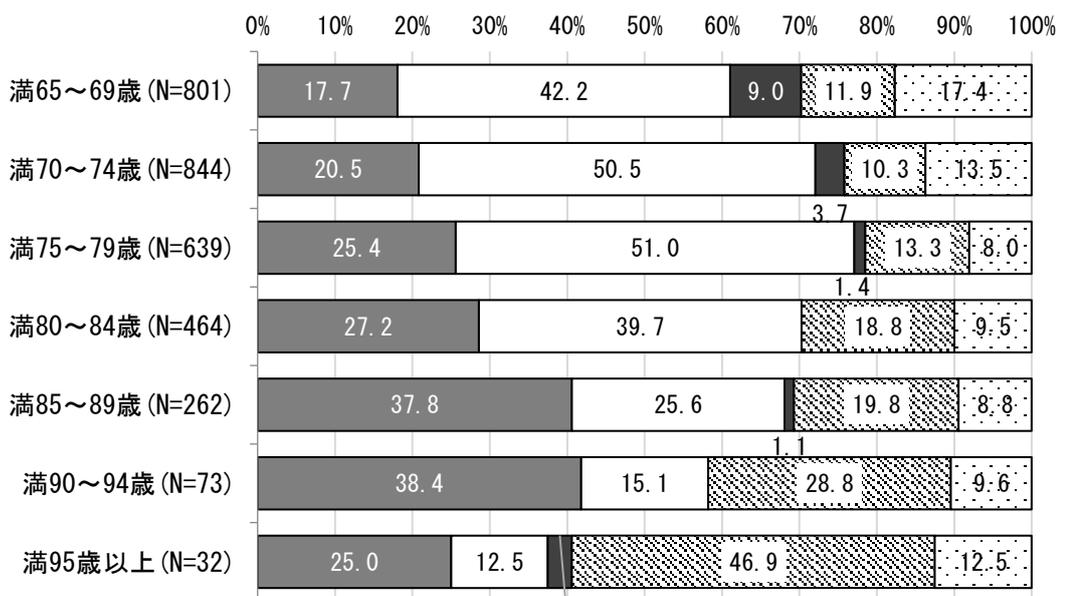
年齢別に家族構成を見てみたところ、64歳以下では「満40歳～44歳」・「満45歳～49歳」・「満50歳～54歳」では「その他」が最も多く、それぞれ39.6%・43.2%・42.0%となっている。「満55歳～59歳」・「満60歳～64歳」では「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が最も多く、それぞれ34.6%・35.5%となっている。

65歳以上では「満65歳～69歳」・「満70歳～74歳」・「満75歳～79歳」・「満80歳～84歳」までは夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）が最も多く、それぞれ順に42.2%・50.5%・51.0%・39.7%となっている。「満85歳～89歳」・「満90歳～94歳」は「一人暮らし」が最も多く、37.8%・38.4%となっている。「満95歳以上」は「息子・娘との2世帯」が最も多く46.9%となっている。

図表2-2-4 問2-1 家族構成 × 問1-4 年齢 【64歳以下】



図表2-2-5 問2-1 家族構成 × 問1-4 年齢 【65歳以上】



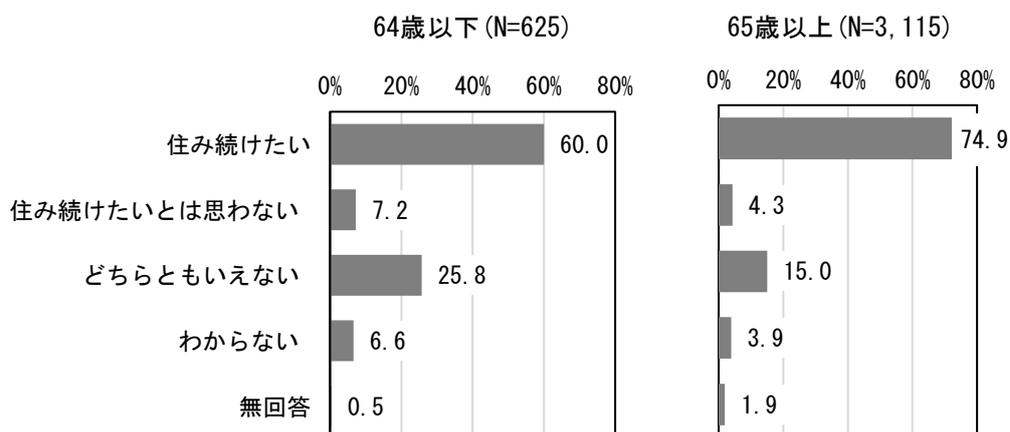
- ひとり暮らし
- 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）
- その他
- 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）
- 息子・娘との2世帯

問2-2 地域の定着志向

あなたは、今後も現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

今後も現在住んでいる地域に住み続けたいと思うかをたずねたところ、64歳以下・65歳以上共に「住み続けたい」が最も多く、64歳以下は60.0%、65歳以上は74.9%となっている。一方、「住み続けたいとは思わない」は、64歳以下は7.2%、65歳以上は4.3%となっている。

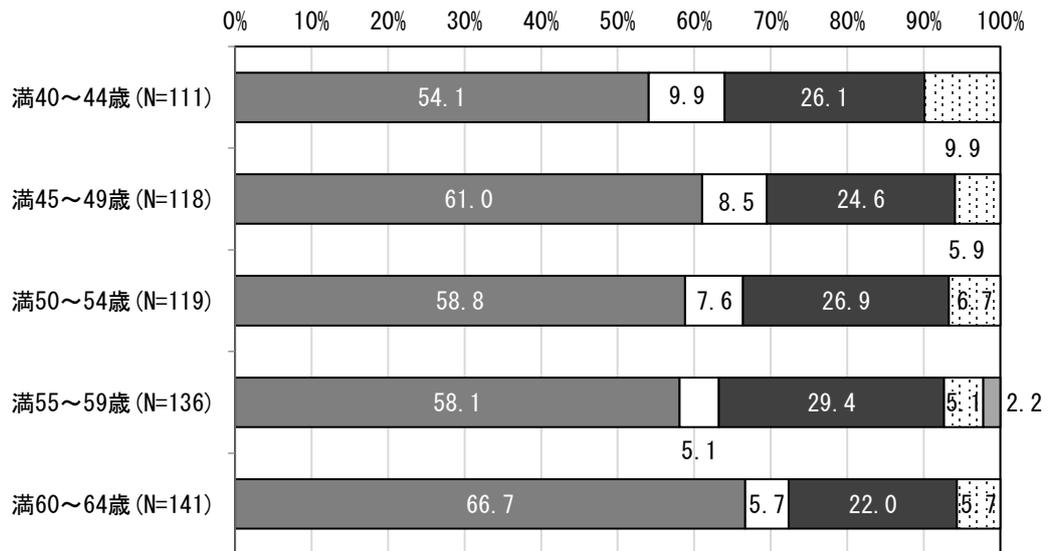
図表2-2-6 地域の定着意向



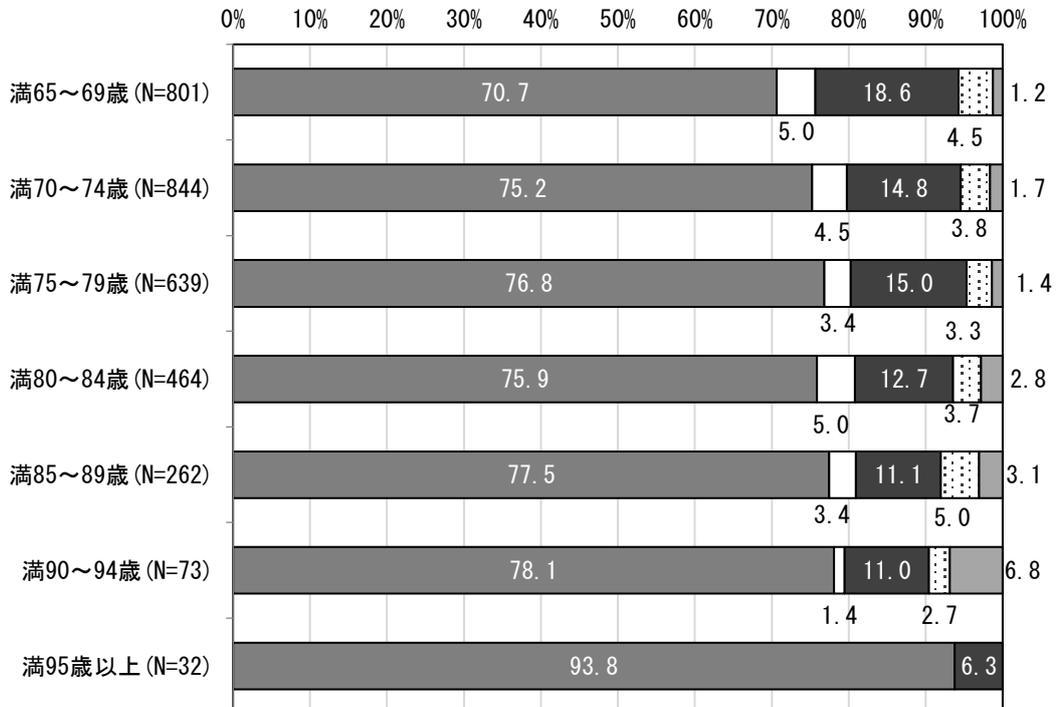
年齢別にみると、64歳以下、65歳以上ともに全年齢で「住み続けたい」が最も高く、高い順に「満95歳以上」が93.8%、「満90歳以上94歳以下」の78.1%となっている。

次いで、64歳以下、65歳以上ともに全年齢で「どちらともいえない」が高く、高い順に「満55歳～59歳」が29.4%、次いで「満50歳～54歳」26.9%となっている。

図表2-2-7 問2-2 地域の定着意向 × 問1-4 年齢 【64歳以下】



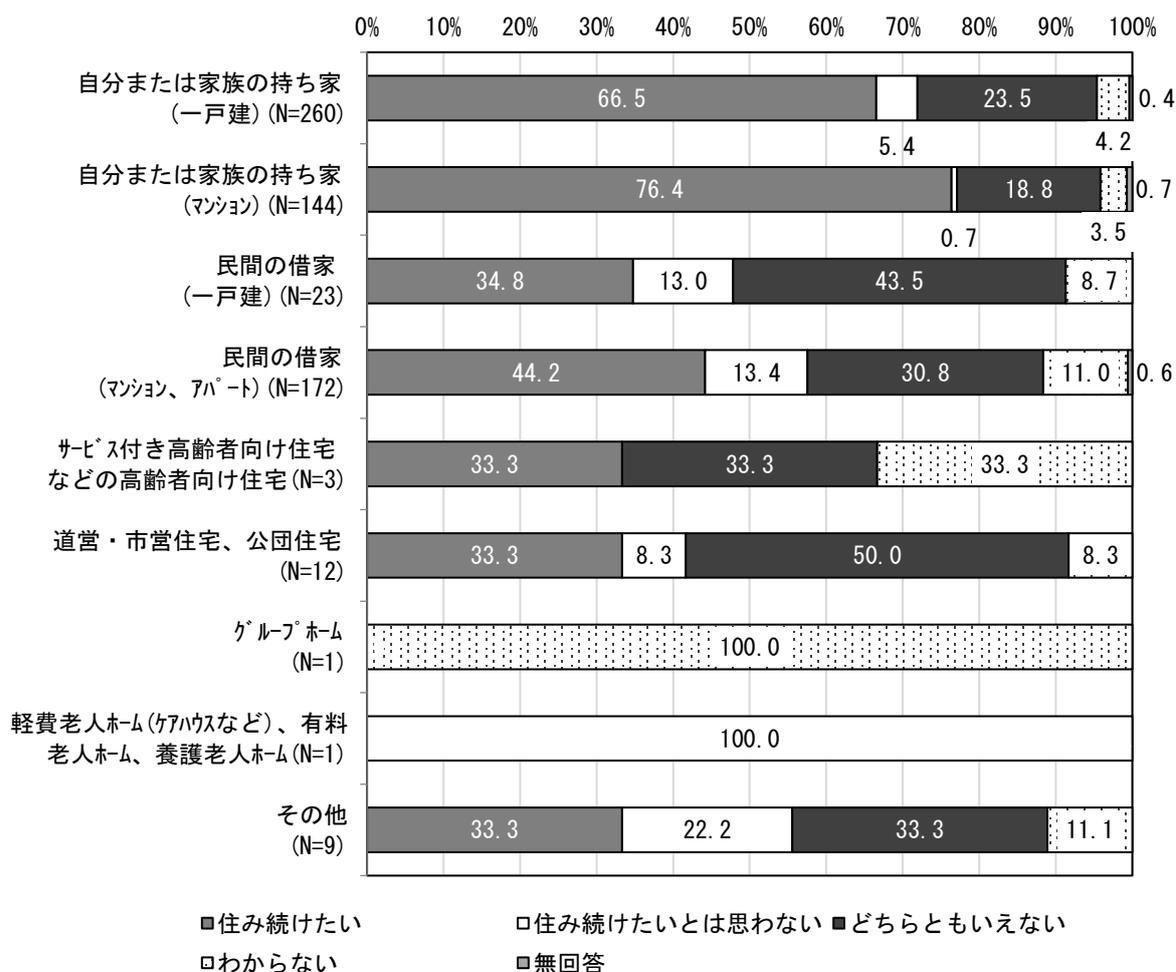
図表2-2-8 問2-2 地域の定着意向 × 問1-4 年齢 【65歳以上】



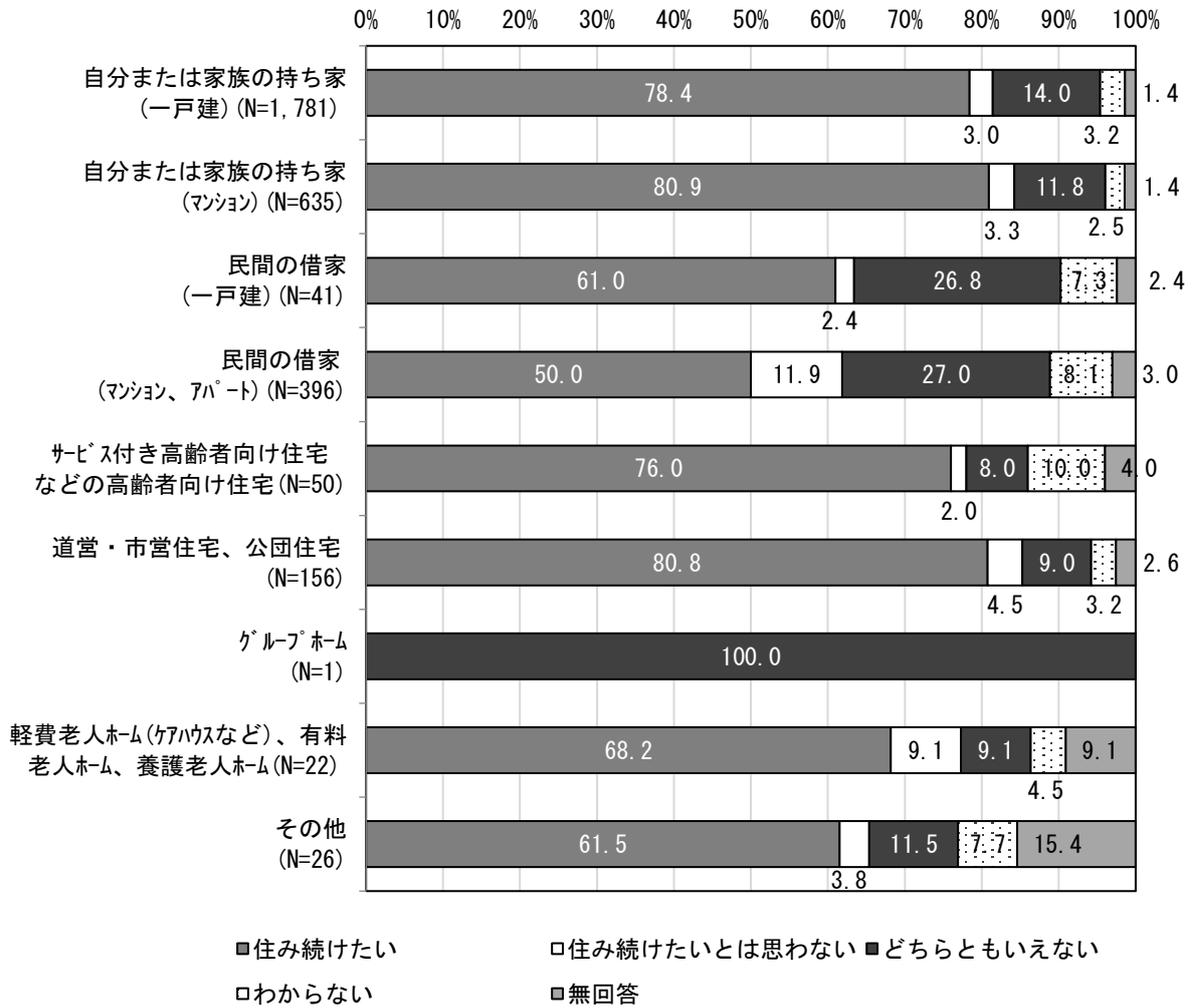
■住み続けたい □住み続けたいとは思わない ■どちらともいえない □わからない □無回答

現在の生活場所別にみると、「住み続けたい」とする割合は、64歳以下、65歳以上ともに「自分または家族の持ち家（マンション）」が最も高く、64歳以下(76.4%)、65歳以上(80.9%)となっている。

図表2-2-9 問2-2 地域の定着意向 × 問1-5 生活場所 【64歳以下】



図表2-2-10 問2-2 地域の定着意向 × 問1-5 生活場所 【65歳以上】

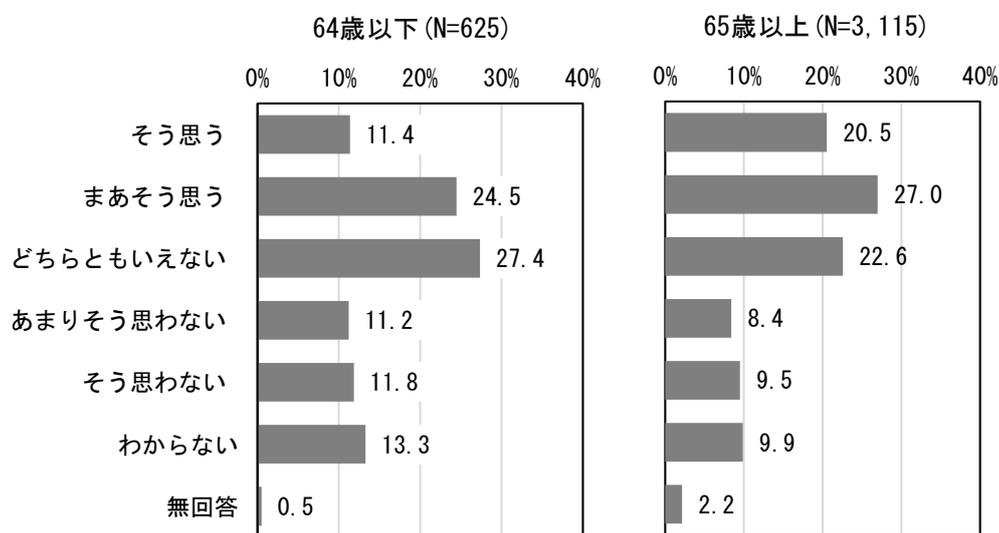


問2-3 住み慣れた地域で生活し続ける環境が整っているか

あなたは、札幌市には、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための生活環境が整っていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

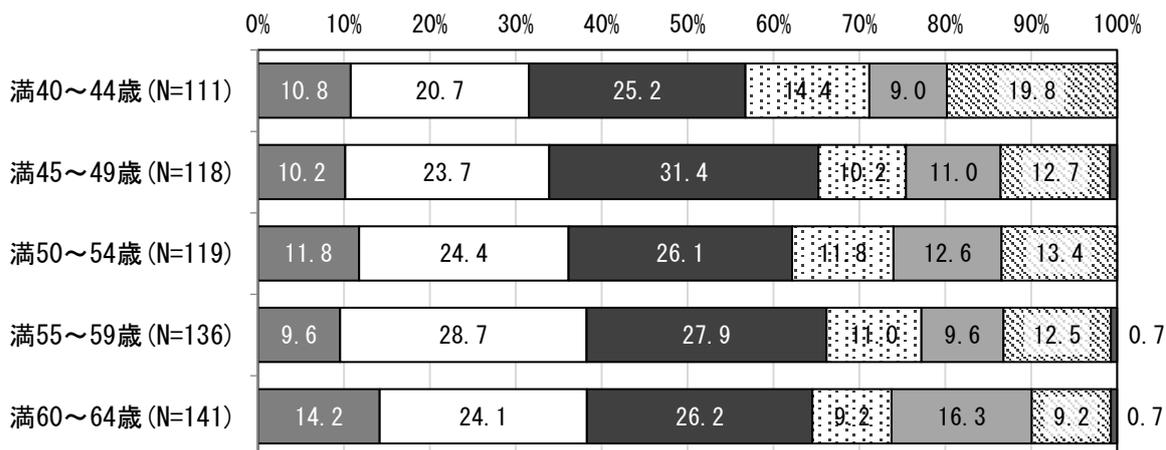
札幌市は、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための生活環境が整っていると思うかをたずねたところ、「そう思う」「まあそう思う」を合わせた割合が、64歳以下は35.9%、65歳以上は47.5%となっている。一方、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた割合は、64歳以下は23.0%、65歳以上は17.9%となっている。

図表2-2-11 住み慣れた地域で生活し続ける環境が整っているか

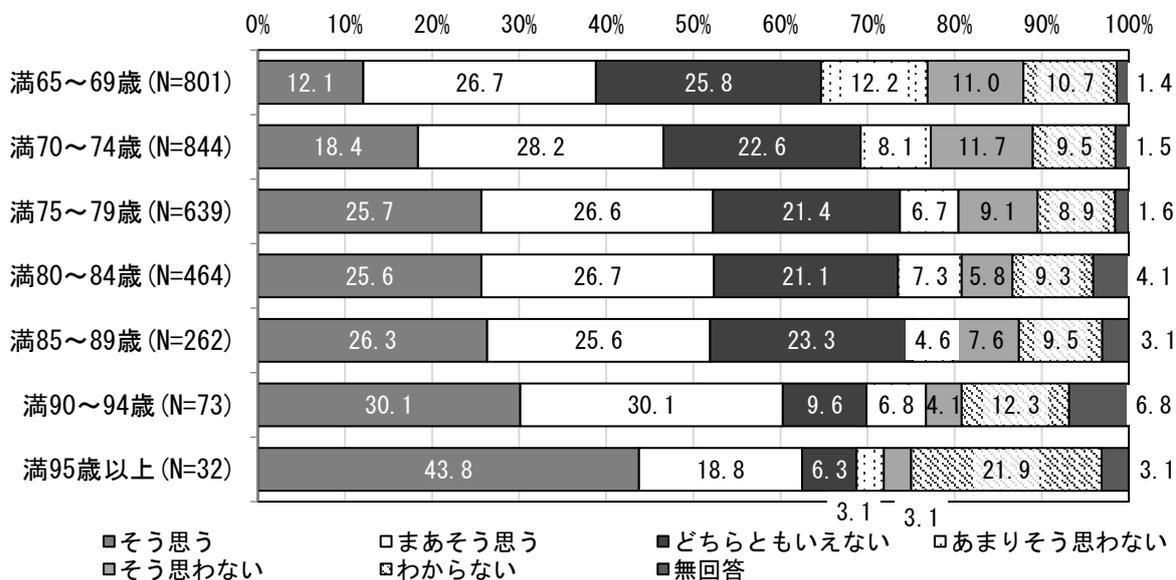


年齢別にみると、「そう思う」「まあそう思う」を合わせた割合は、64歳以下は、満55～59歳と満60～64歳が最も高く38.3%となっており、65歳以上は、満90～94歳が最も高く59.4%となっている。

図表2-2-12 問2-3 住み慣れた地域で生活し続ける環境が整っているか × 問1-4 年齢 【64歳以下】



図表2-2-13 問2-3 住み慣れた地域で生活し続ける環境が整っているか × 問1-4 年齢 【65歳以上】



■ そう思う □ まあそう思う ■ どちらともいえない □ あまりそう思わない
 □ そう思わない □ わからない ■ 無回答

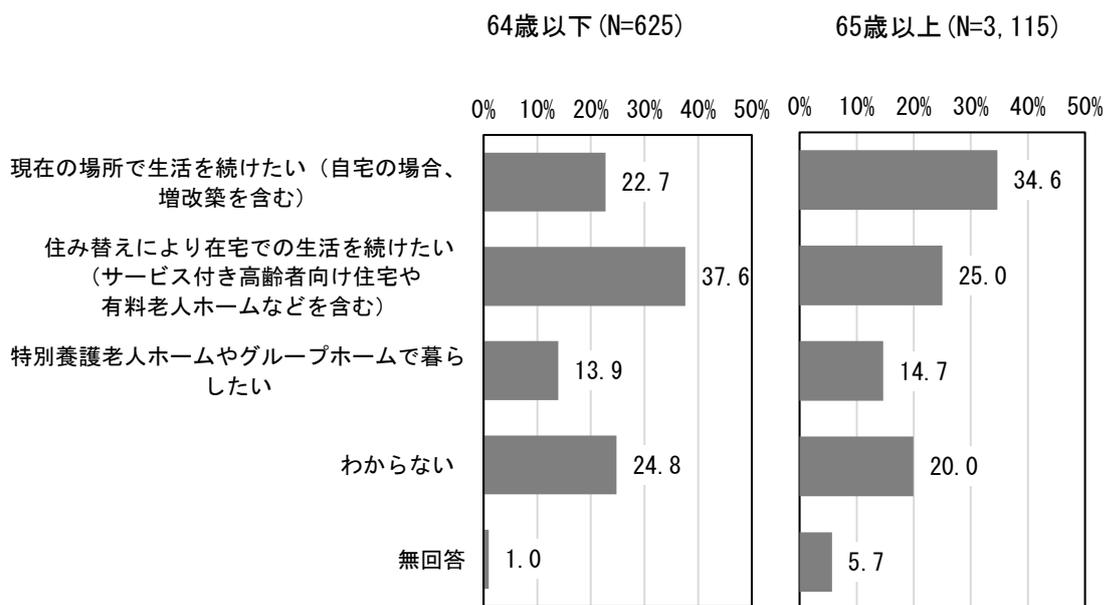
問2-4 住まいに対する考え方について

(1) 今後の生活場所

あなたは、仮にひとり暮らしになったり、身体が弱くなったり、日常生活をおくる上で判断力が不十分になった場合、どこで生活したいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

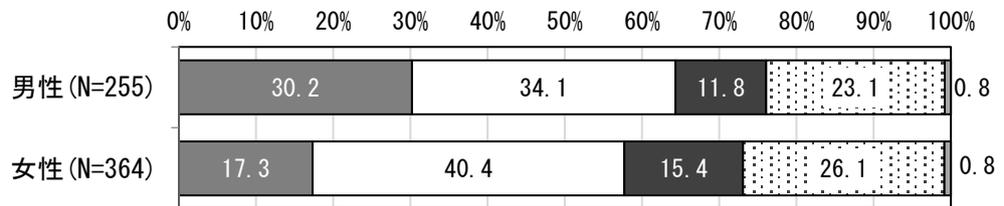
身体が弱くなったりした場合の生活場所についてたずねたところ、64歳以下は「住み替えにより在宅での生活を続けたい（サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどを含む）」(37.6%)が最も多く、次いで、「わからない」(24.8%)となっている。65歳以上は、「現在の場所で生活を続けたい（自宅の場合、増改築を含む）」(34.6%)が最も多く、次いで、「住み替えにより在宅での生活を続けたい（サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどを含む）」(25.0%)となっている。

図表2-2-14 今後の生活場所



男女別にみると、「現在の場所で生活を続けたい（自宅の場合、増改築を含む）」とする割合が、64歳以下は、男性は30.2%、女性は17.3%となっており、65歳以上は、男性は39.3%、女性は31.1%となっている。

図表2-2-15 問2-4(1) 今後の生活場所 × 問1-3 性別 【64歳以下】



図表2-2-16 問2-4(1) 今後の生活場所 × 問1-3 性別 【65歳以上】



■現在の場所で生活を続けたい（自宅の場合、増改築を含む）

□住み替えにより在宅での生活を続けたい
（サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどを含む）

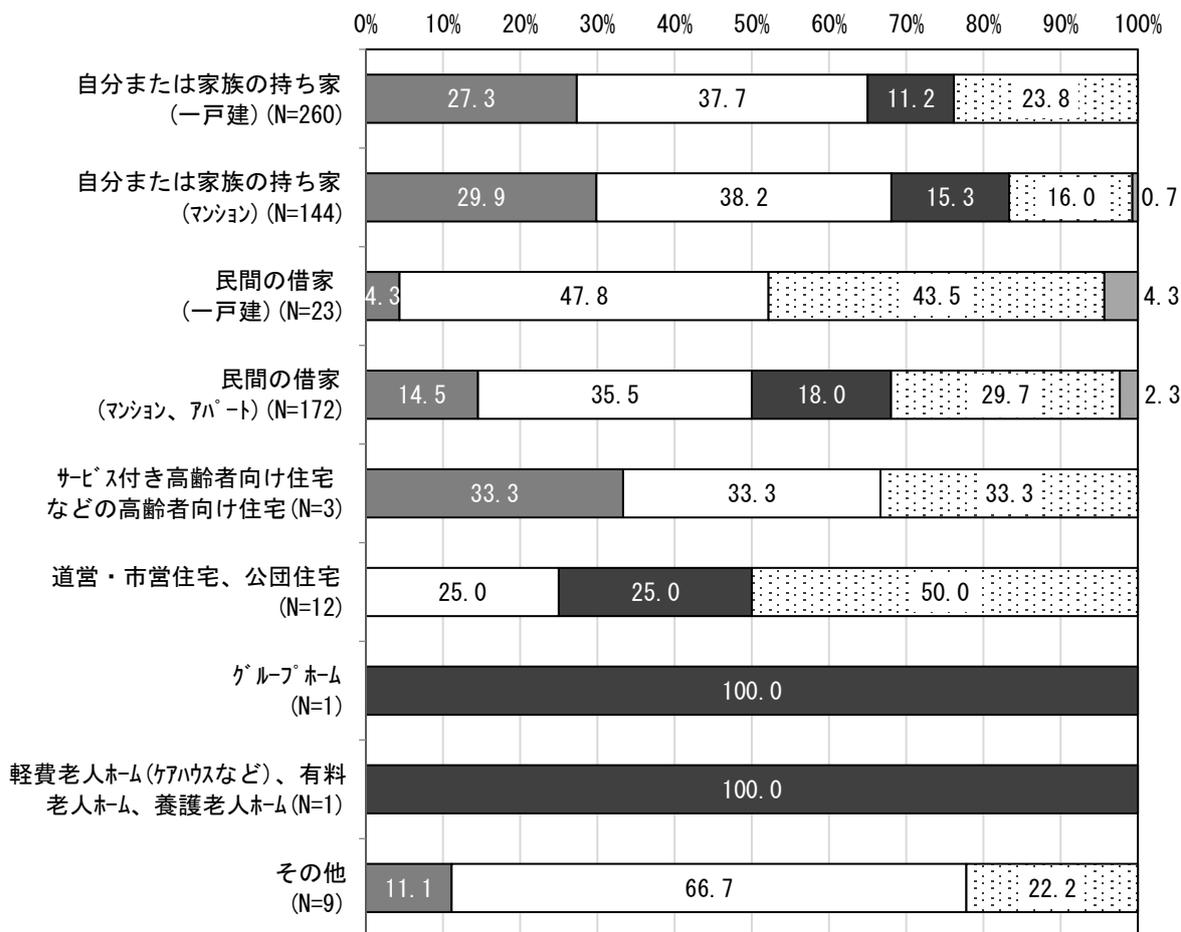
■特別養護老人ホームやグループホームで暮らしたい

□わからない

□無回答

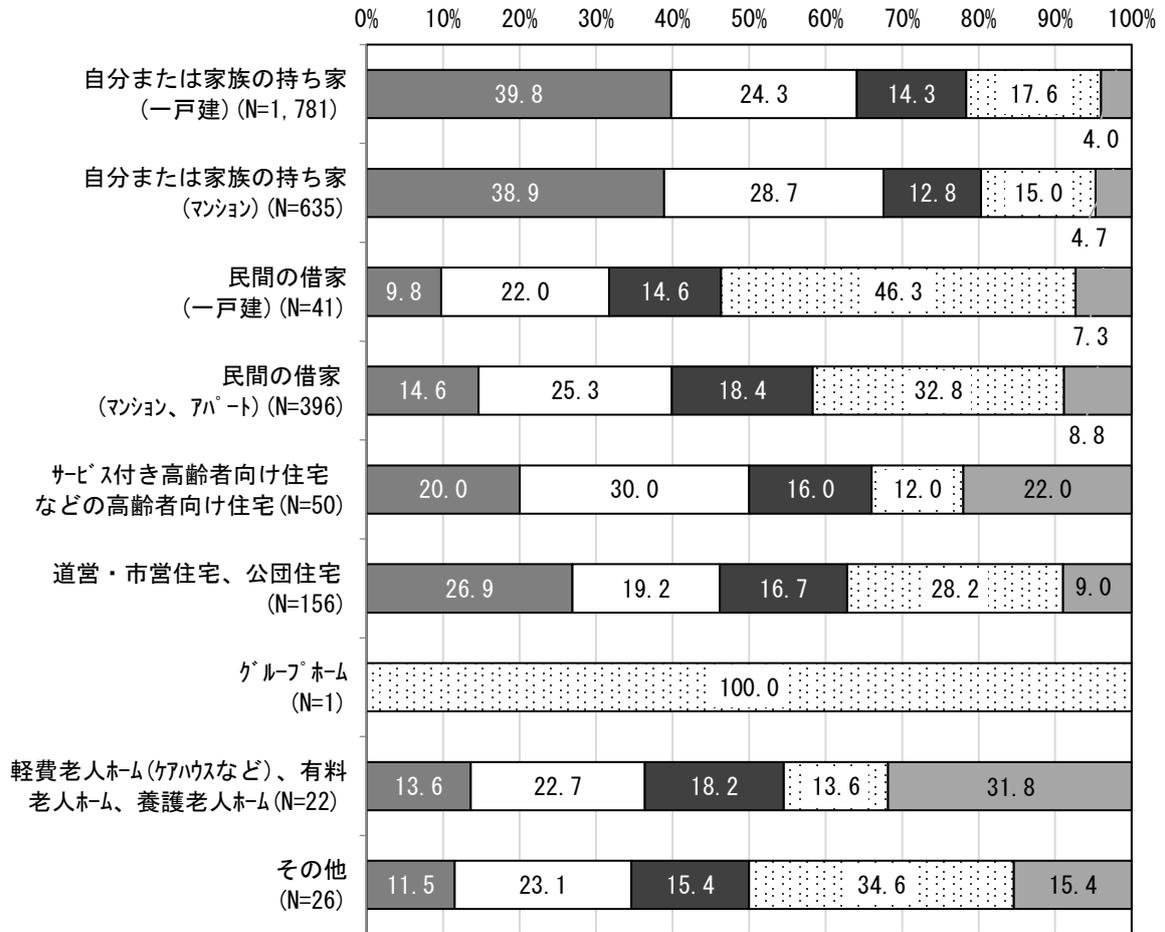
現在の生活場所別にみると、64歳以下で、「住み替えにより在宅での生活を続けたい」とする割合は、「民間の借家」(47.8%)が特に高くなっており、65歳以上で、「現在の場所で生活を続けたい(自宅の場合、増改築を含む)」とする割合は、「自分または家族の持ち家(一戸建)」(39.8%)が特に高くなっている。

図表2-2-17 問2-4(1) 今後の生活場所 × 問1-5 生活場所 【64歳以下】



- 現在の場所で生活を続けたい(自宅の場合、増改築を含む)
- 住み替えにより在宅での生活を続けたい(サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどを含む)
- 特別養護老人ホームやグループホームで暮らしたい
- わからない
- 無回答

図表2-2-18 問2-4(1) 今後の生活場所 × 問1-5 生活場所 【65歳以上】



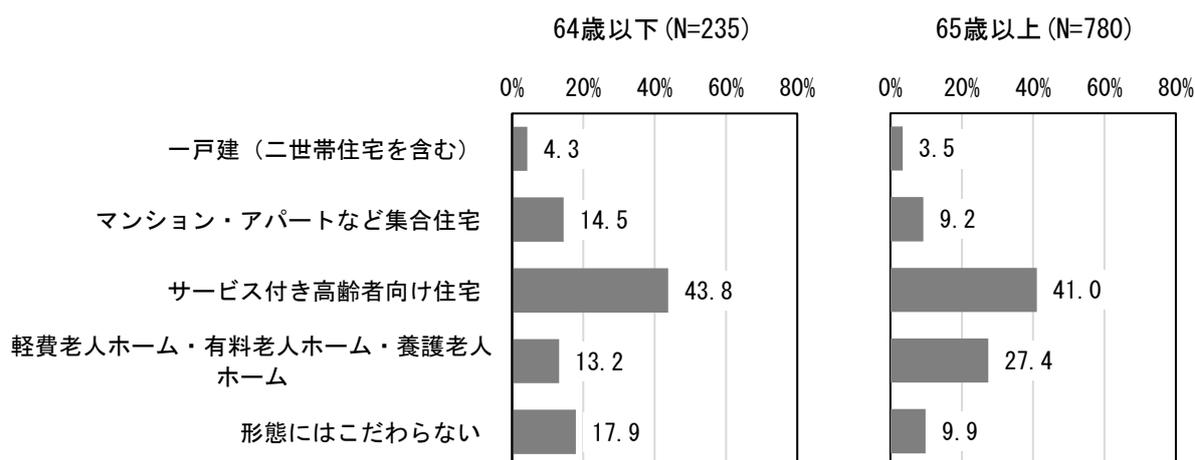
- 現在の場所で生活を続けたい (自宅の場合、増改築を含む)
- 住み替えにより在宅での生活を続けたい (サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどを含む)
- 特別養護老人ホームやグループホームで暮らしたい
- わからない
- 無回答

(2) ① 住み替え先の形態

「2. 住み替えにより在宅での生活を続けたい」と回答した方にうかがいます。どのような形態の住まいを考えていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

(1) で、「2. 住み替えにより在宅での生活を続けたい」と回答した方に、どのような形態の住まいを考えているかをたずねたところ、64歳以下・65歳以上共に「サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどの高齢者向け住宅」が最も多く、64歳以下は43.8%、65歳以上は41.0%となっている。次いで、64歳以下は「形態にはこだわらない」(17.9%)、「マンション・アパートなど集合住宅」(14.5%)となっており、65歳以上では、「軽費老人ホーム・有料老人ホーム・養護老人ホーム」(27.4%)、「形態にはこだわらない」(9.9%)となっている。

図表2-2-19 住み替え先の形態



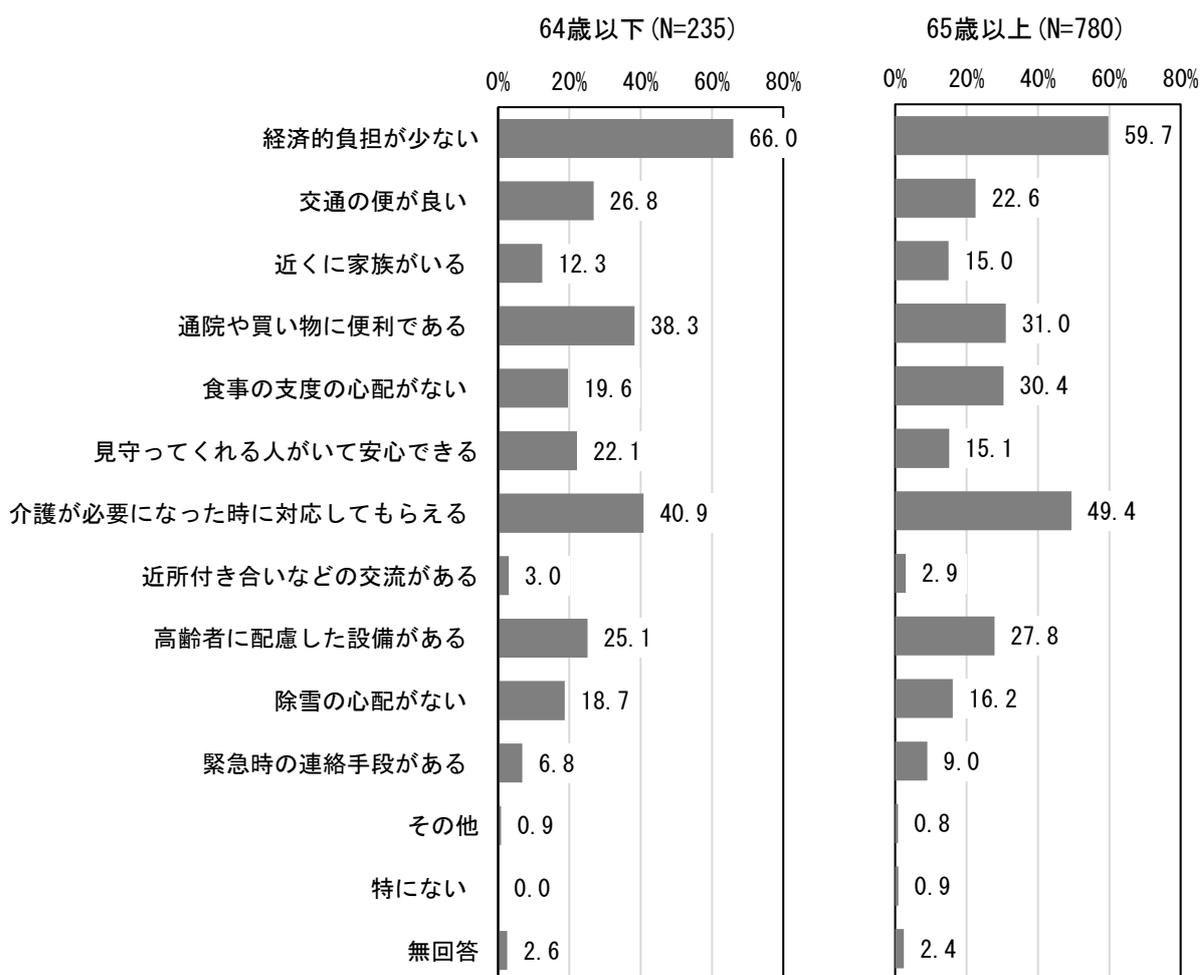
② 住み替えのために重視すること

[複数回答]

「2. 住み替えにより在宅での生活を続けたい」と回答した方にうかがいます。住み替え先を選ぶにあたって重視するのはどのようなことですか。あてはまるもの3つ以内に○をつけてください。

(1) で、「2. 住み替えにより在宅での生活を続けたい」と回答した方に、住み替え先を選ぶにあたって重視することをたずねたところ、64歳以下・65歳以上共に「経済的負担が少ない」が最も多く、64歳以下は66.0%、65歳以上は59.7%となっている。次いで、64歳以下は「介護が必要になった時に対応してもらえる」(40.9%)、「通院や買い物に便利である」(38.3%)、となっており、65歳以上は「介護が必要になった時に対応してもらえる」(49.4%)、「通院や買い物に便利である」(31.0%)、となっている。

図表2-2-20 住み替えのために重視すること



現在の生活場所別にみると、64歳以下、65歳以上共に、「自分または家族の持ち家（一戸建）」と回答した人は、「経済的負担が少ない」、「介護をしてくれる人がいる」とする割合が特に高くなっている。

図表 2-2-21 問 2-5(2)② 住み替えのために重視すること × 問 1-4 生活場所【64歳以下】

	自分または家族の持ち家（一戸建） (N=98)	自分または家族の持ち家（マンション） (N=55)	民間の借家（一戸建） (N=11)	民間の借家（マンション、アパート） (N=61)	サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅 (N=1)	道営・市営住宅、公団住宅 (N=3)	グループホーム (N=0)	軽費老人ホーム（ケアハウスなど）有料老人ホーム、養護老人ホーム (N=0)	その他 (N=6)
経済的負担が少ない	64.3	54.5	81.8	77.0	100.0	100.0	0.0	0.0	33.3
交通の便が良い	27.6	23.6	45.5	27.9	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
近くに家族がいる	11.2	10.9	27.3	8.2	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0
通院や買い物に便利である	34.7	38.2	36.4	41.0	100.0	66.7	0.0	0.0	50.0
食事の支度の心配がない	21.4	25.5	9.1	14.8	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
見守ってくれる人がいて安心できる	21.4	25.5	18.2	23.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
介護をしてくれる人がいる	37.8	58.2	9.1	39.3	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7
近所付き合いなどの交流がある	3.1	1.8	9.1	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者に配慮した設備がある	30.6	25.5	9.1	19.7	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7
除雪の心配がない	26.5	12.7	18.2	14.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
緊急時の連絡手段がある	7.1	10.9	9.1	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	1.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特になし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	3.1	1.8	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

図表 2-2-22 問 2-5(2)② 住み替えのために重視すること × 問 1-4 生活場所【65 歳以上】

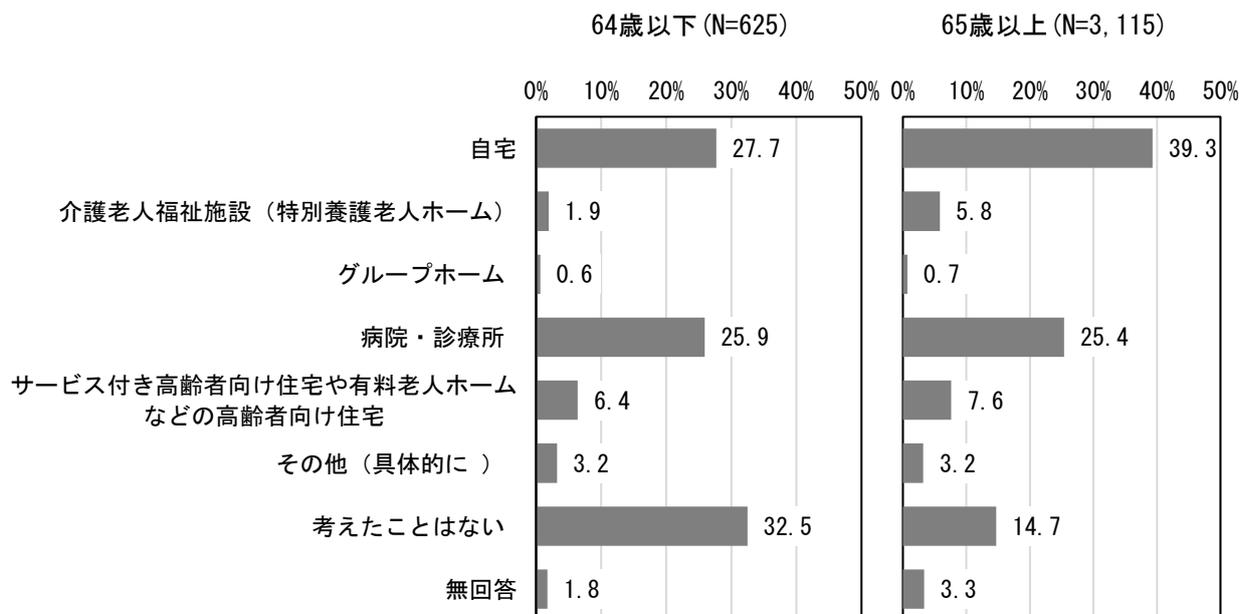
	自分または家族の持ち家(一戸建) (N=432)	自分または家族の持ち家(マンション) (N=182)	民間の借家(一戸建) (N=9)	民間の借家(マンション、アパート) (N=100)	サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅 (N=15)	道営・市営住宅、公団住宅 (N=30)	グループホーム (N=0)	軽費老人ホーム(ケアハウスなど)有料老人ホーム、養護老人ホーム (N=5)	その他 (N=6)
経済的負担が少ない	59.0	58.8	77.8	67.0	53.3	63.3	0.0	20.0	33.3
交通の便が良い	17.6	20.3	55.6	42.0	33.3	23.3	0.0	20.0	33.3
近くに家族がいる	15.3	10.4	22.2	16.0	40.0	20.0	0.0	0.0	16.7
通院や買い物に便利である	30.6	28.0	33.3	44.0	26.7	16.7	0.0	0.0	33.3
食事の支度の心配がない	29.2	39.0	22.2	19.0	53.3	20.0	0.0	40.0	33.3
見守ってくれる人がいて安心できる	14.8	17.6	0.0	15.0	6.7	16.7	0.0	0.0	16.7
介護をしてくれる人がいる	51.4	58.2	33.3	32.0	40.0	40.0	0.0	20.0	50.0
近所付き合いなどの交流がある	2.8	0.5	0.0	6.0	0.0	10.0	0.0	0.0	16.7
高齢者に配慮した設備がある	28.7	33.5	11.1	21.0	20.0	20.0	0.0	0.0	16.7
除雪の心配がない	23.1	6.6	22.2	12.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
緊急時の連絡手段がある	9.3	7.7	0.0	11.0	0.0	13.3	0.0	20.0	0.0
その他	0.9	0.5	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0
特にない	1.4	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	2.3	2.2	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	60.0	16.7

問2-5 最期を迎えたい場所

すべての方にお聞きします。あなたは、最期をどこで迎えたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

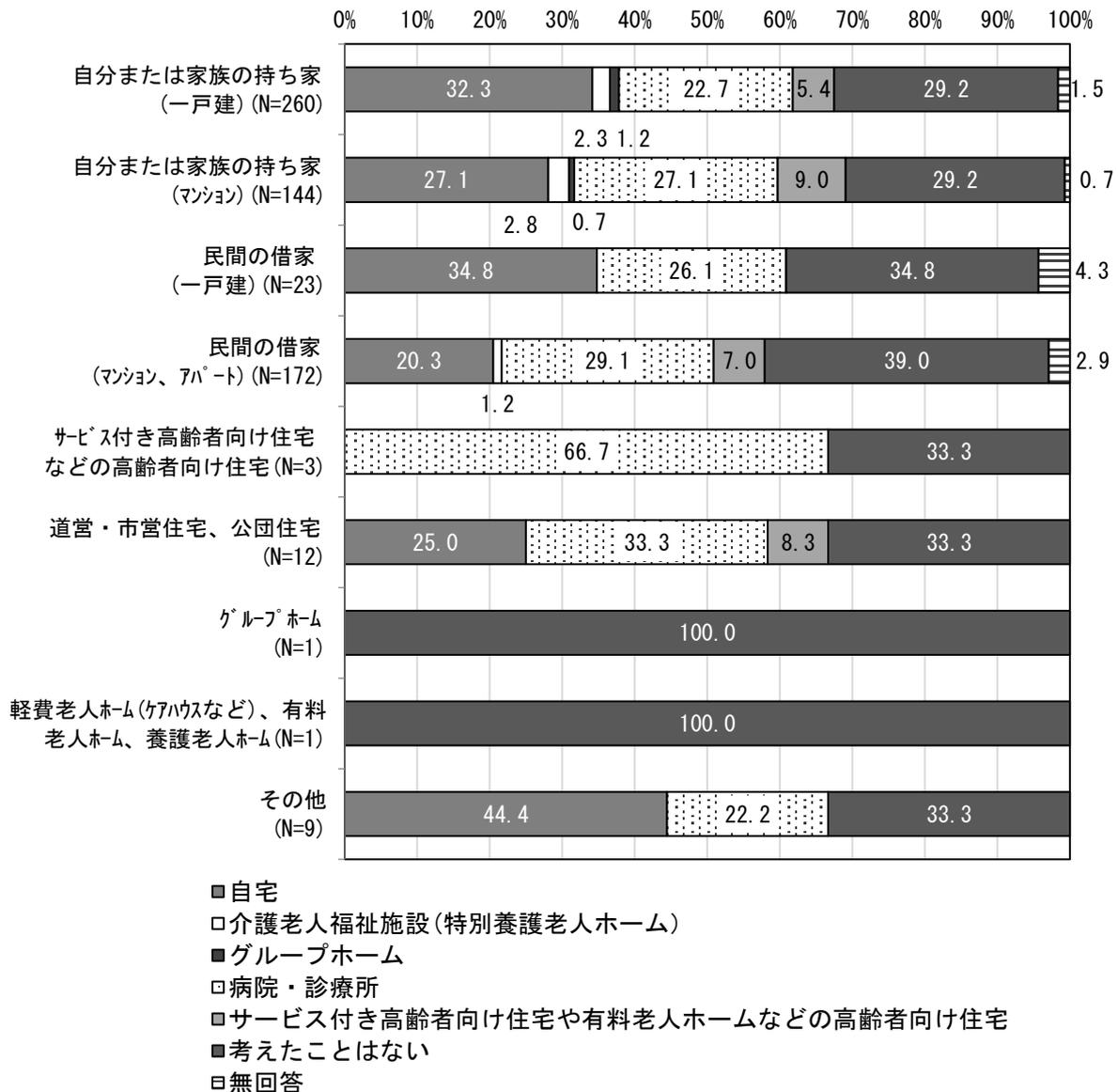
最期を迎えたい場所についてたずねたところ、64歳以下は「考えたことはない」が最も多く32.5%、65歳以上は「自宅」が最も多く39.3%となっている。次いで、64歳以下は、「自宅」(27.7%)、「サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどの高齢者向け住宅」(6.4%)となっており、65歳以上は、「病院・診療所」(25.4%)、「サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどの高齢者向け住宅」(7.6%)となっている。

図表2-2-23 最期を迎えたい場所

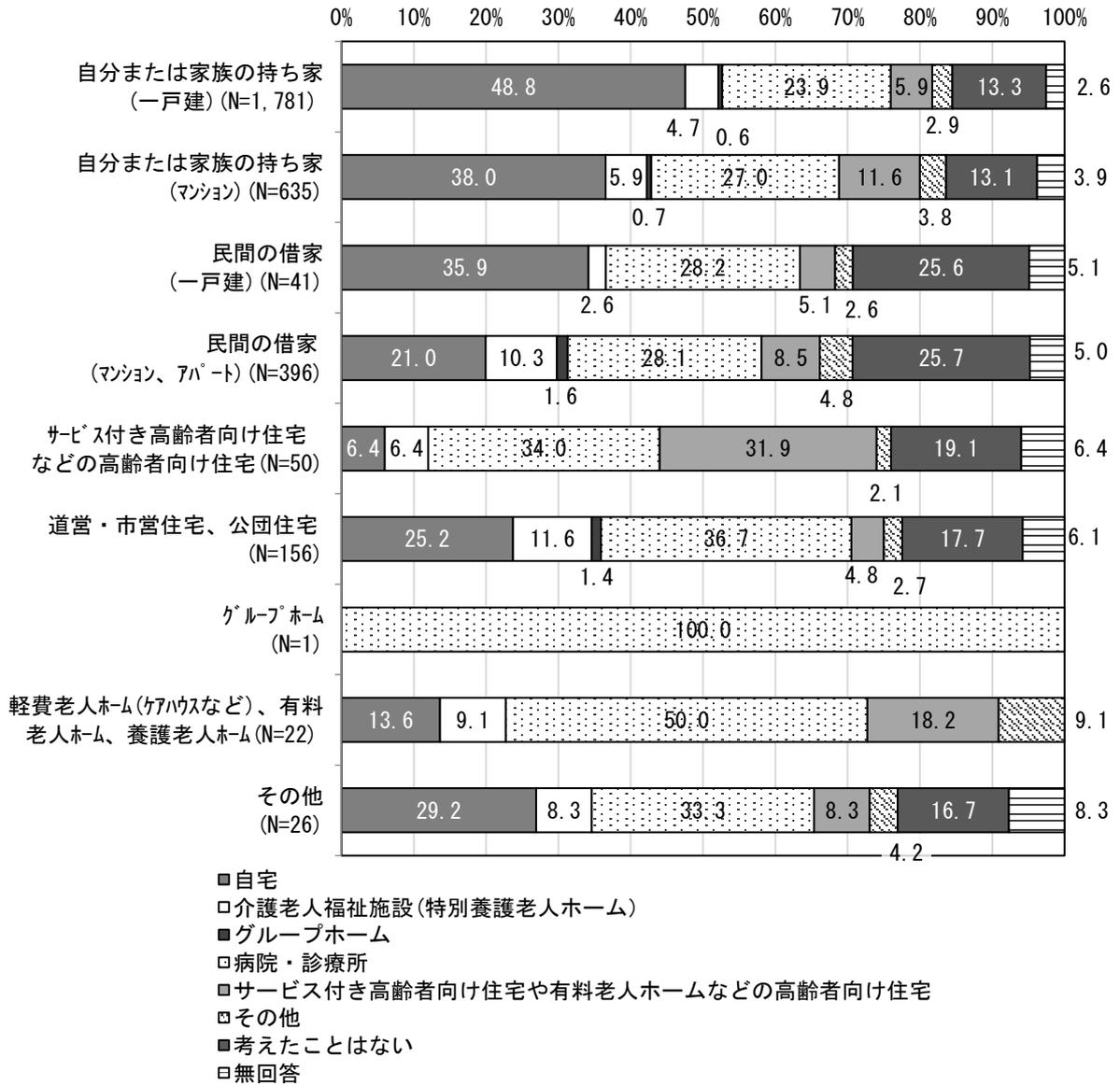


現在の生活場所別にみると、64歳以下、65歳以上ともに、「自分または家族の持ち家(一戸建)」、「自分または家族の持ち家(マンション)」と回答した人は、「自宅」とする割合が高くなっている。

図表2-2-24 問2-5 最期を迎えたい場所 × 問1-5 生活場所 【64歳以下】



図表2-2-25 問2-5 最期を迎えたい場所 × 問1-5 生活場所 【65歳以上】



3 地域活動・社会参加について

問3-1 地域での活動について【65歳以上】

(1) 地域活動参加の内容

[複数回答]

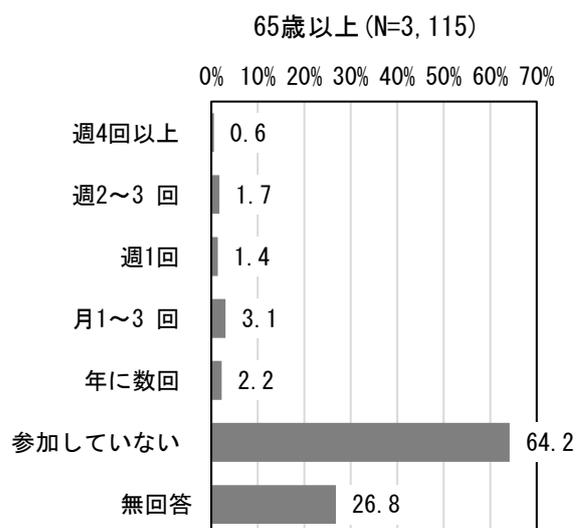
以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

①～⑧それぞれに1つずつ○をつけてください。

① ボランティアのグループ

ボランティアのグループ活動参加の頻度についてたずねたところ、「月 1～3 回」(3.1%)が最も多く、次いで、「年に数回」(2.2%)、「週 2～3 回」(1.7%)となっている。一方、「参加していない」は、64.2%となっている。

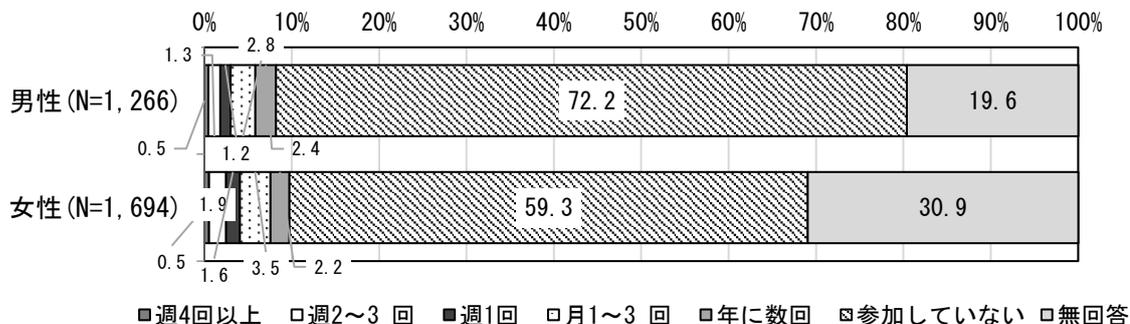
図表2-3-1 ボランティアのグループ【65歳以上】



男女別にみると、「月1～3回」とする割合が、男性は2.8%、女性は3.5%と最も高くなっており、「年に数回」とする割合が、男性は2.4%、女性は2.2%と次に高くなっている。

図表2-3-2 問3-1(1) 地域での活動参加 × 問1-3 性別 【65歳以上】

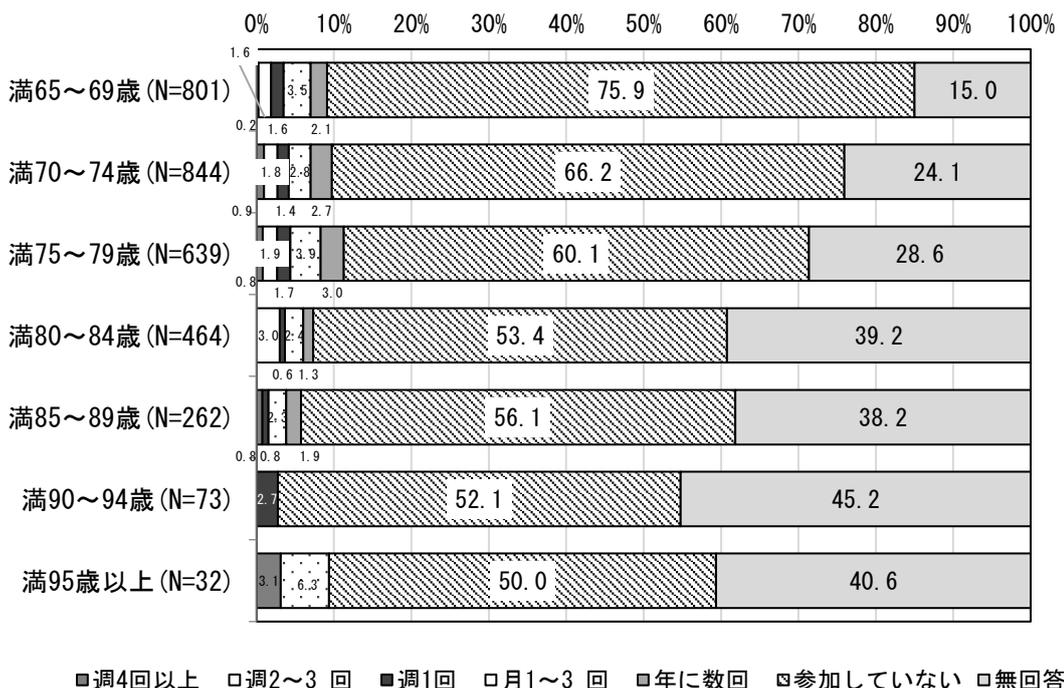
① ボランティアのグループ



年齢別にみると、「月1～3回」とする割合が高くなっているが、満90～94歳は「週1回」とする割合が高くなっている。

図表2-3-3 問3-1(1) 地域での活動参加 × 問1-4 年齢 【65歳以上】

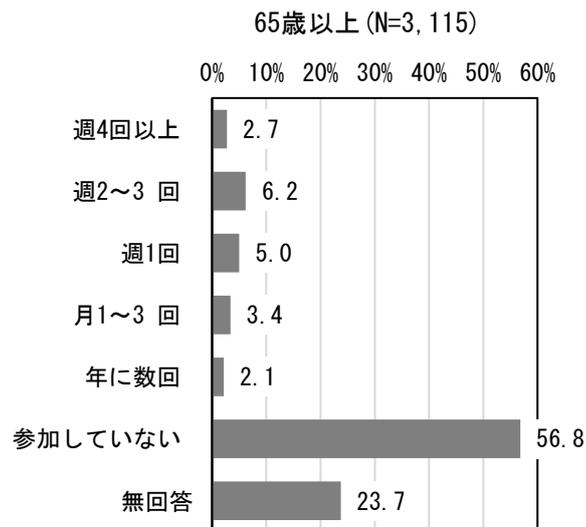
① ボランティアのグループ



② スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループやクラブ活動参加の頻度についてたずねたところ、「週2～3回」(6.2%)が最も多く、次いで、「週1回」(5.0%)、「月1～3回」(3.4%)となっている。一方、「参加していない」は、56.8%となっている。

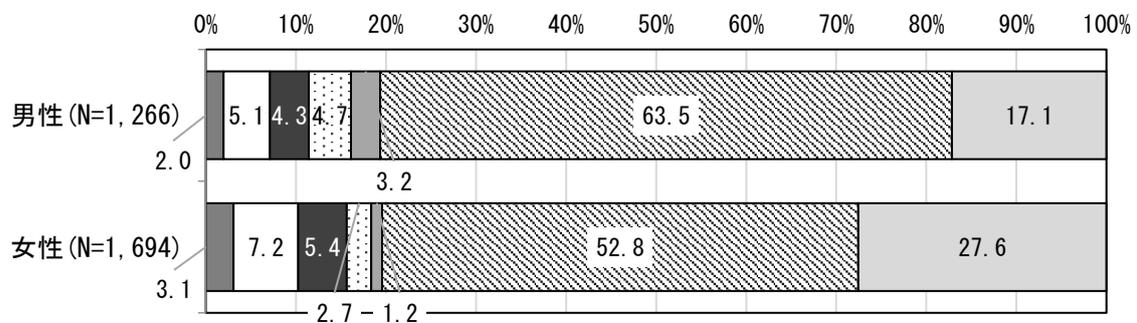
図表2-3-4 スポーツ関係のグループやクラブ 【65歳以上】



男女別にみると、「週2～3回」とする割合が、男性は5.1%、女性は7.2%と最も高くなっており、男性は「月1～3回」とする割合が4.7%、女性は「週1回」とする割合が5.4%と次に高くなっている。

図表2-3-5 問3-1(1) 地域での活動参加 × 問1-3 性別 【65歳以上】

②スポーツ関係のグループやクラブ

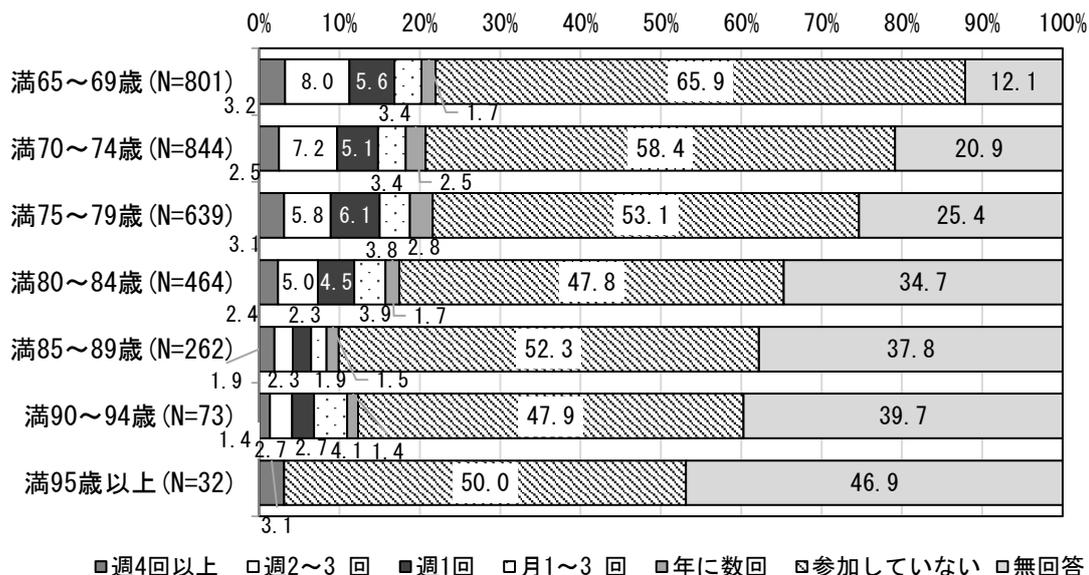


■週4回以上 □週2～3回 ■週1回 □月1～3回 ■年に数回 □参加していない □無回答

年齢別にみると、満65～74歳と満80～89歳では「週2～3回」とする割合が高くなっており、満75～79歳は「週1回」、満90～94歳は「月1～3回」とする割合が高くなっている。

図表2-3-6 問3-1(1) 地域での活動参加 × 問1-4 年齢【65歳以上】

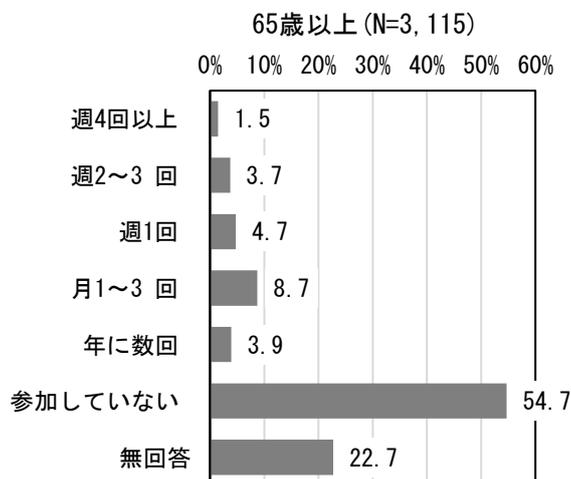
②スポーツ関係のグループやクラブ



③ 趣味関係のグループ

趣味関係のグループ活動参加の頻度についてたずねたところ、「月1～3回」(8.7%)が最も多く、次いで、「週1回」(4.7%)、「年に数回」(3.9%)となっている。一方、「参加していない」は、54.7%となっている。

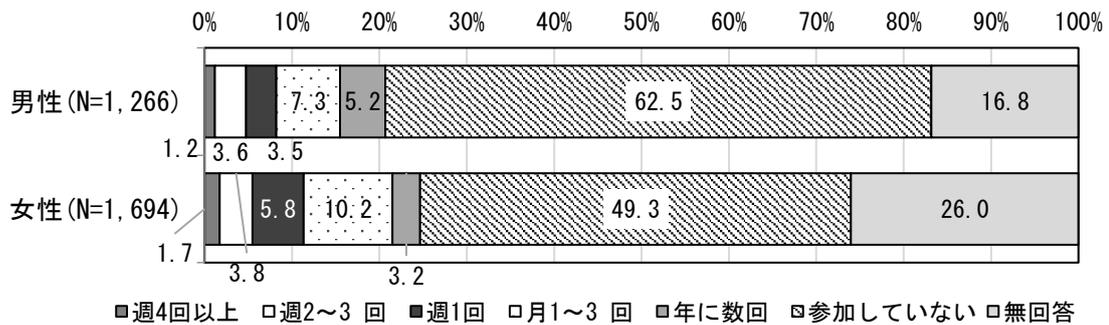
図表2-3-7 趣味関係のグループ【65歳以上】



男女別にみると、「月1～3回」とする割合が、男性は7.3%、女性は10.2%と最も高くなっており、男性は「年に数回」とする割合が5.2%、女性は「週1回」とする割合が5.8%と次に高くなっている。

図表2-3-8 問3-1(1) 地域での活動参加 × 問1-3 性別 【65歳以上】

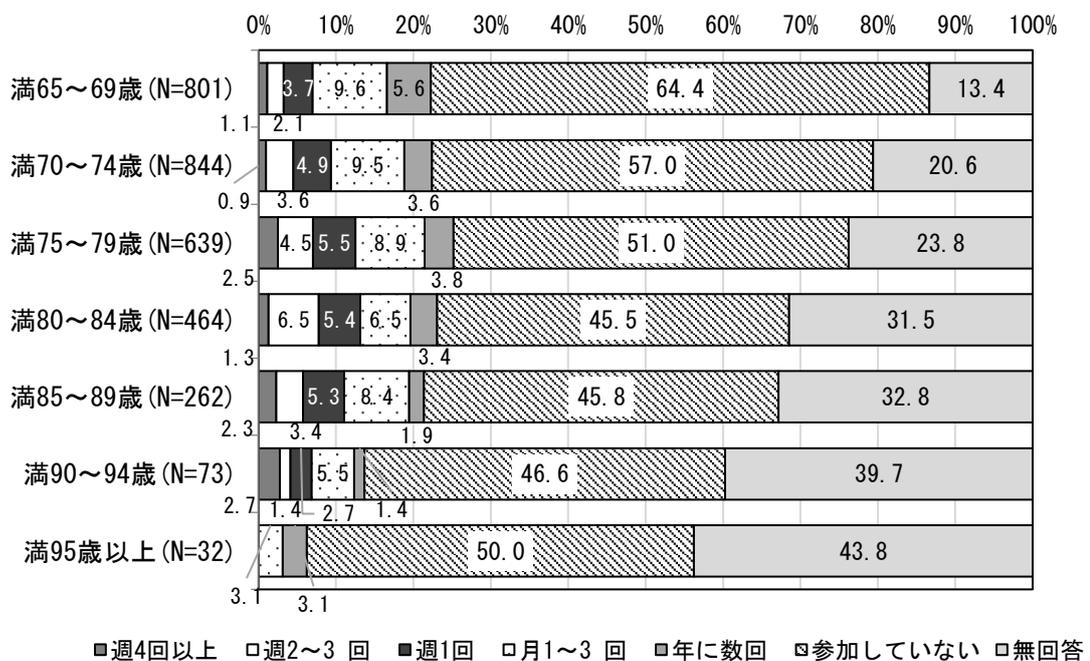
③趣味関係のグループ



年齢別にみると、「月1～3回」とする割合が高くなっており、満80～84歳は「週2～3回」とする割合も同じとなっている。

図表2-3-9 問3-1(1) 地域での活動参加 × 問1-4 年齢 【65歳以上】

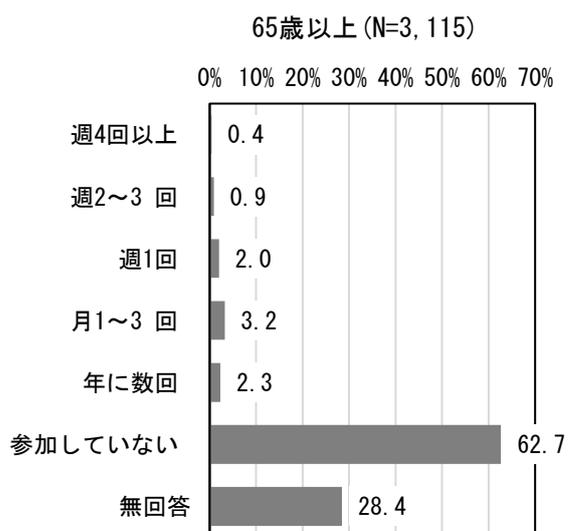
③趣味関係のグループ



④ 学習・教養サークル

学習・教養サークル活動参加の頻度についてたずねたところ、「月 1～3 回」(3.2%)が最も多く、次いで、「年に数回」(2.3%)、「週 1 回」(2.0%)となっている。一方、「参加していない」は、62.7%となっている。

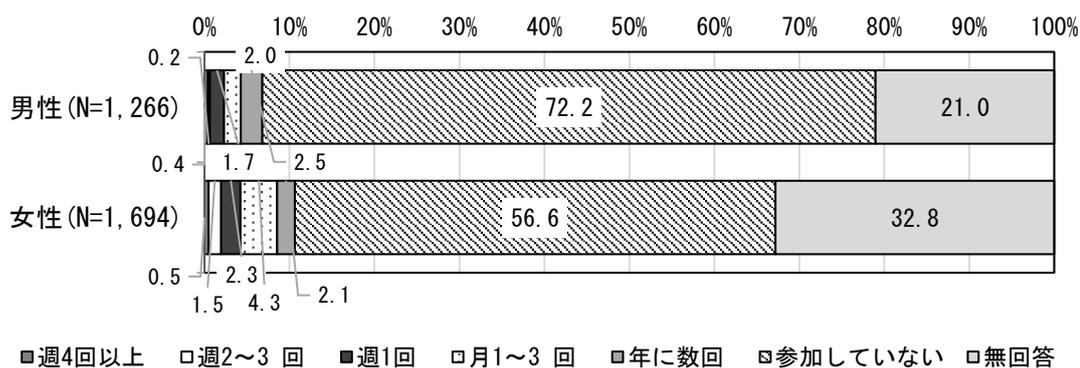
図表2-3-10 学習・教養サークル【65歳以上】



男女別にみると、男性は「年に数回」とする割合が 2.5%、女性は「月 1～3 回」とする割合が 4.3%と最も高くなっており、次いで男性は「月 1～3 回」とする割合が 2.0%、女性は「週 1 回」とする割合が 2.3%と高くなっている。

図表2-3-11 問3-1(1) 地域での活動参加 × 問1-3 性別【65歳以上】

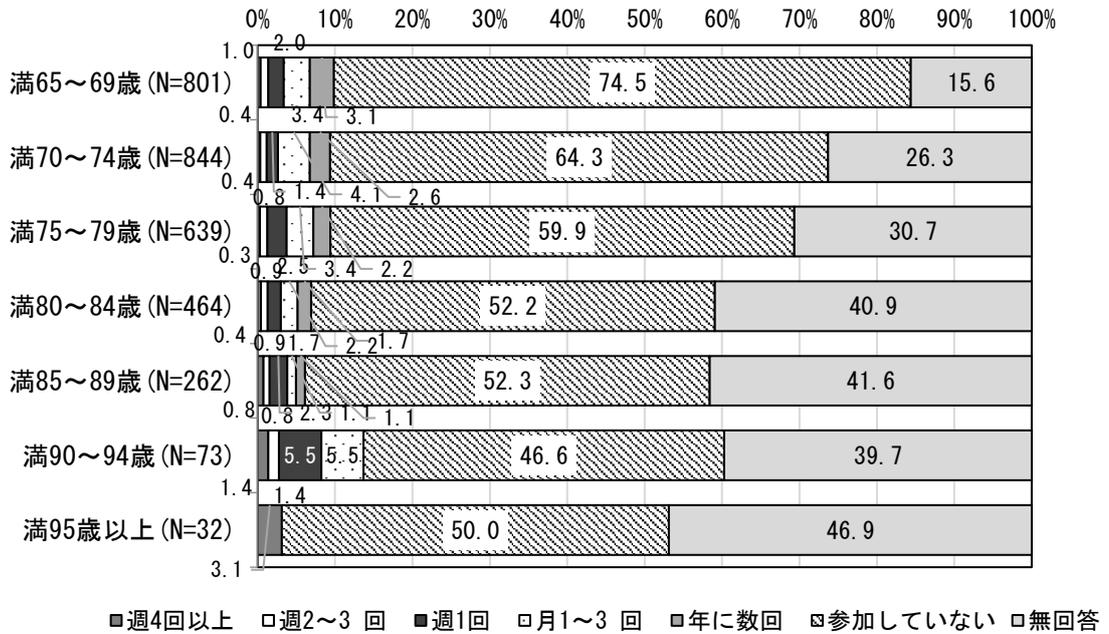
④学習・教養サークル



年齢別にみると、満65～84歳は「月1～3回」とする割合が高く、満85～89歳は「週1回」、満90～94歳は「週1回」「月1～3回」、満95歳以上は「週4回以上」とする割合が高くなっている。

図表2-3-12 問3-1(1) 地域での活動参加 × 問1-4 年齢 【65歳以上】

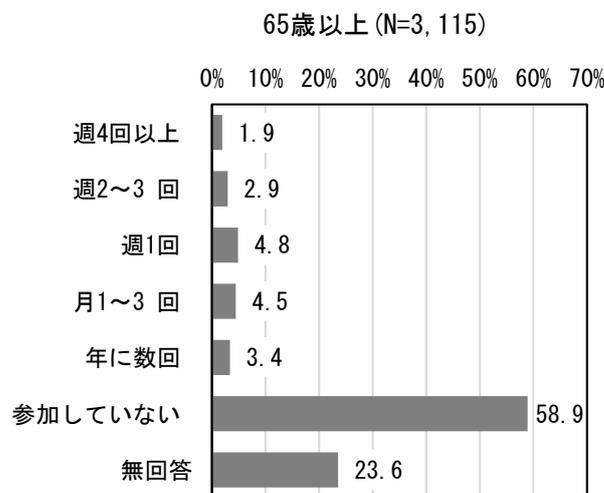
④学習・教養サークル



⑤ 体操（運動）や会食、茶話会、認知症予防、趣味活動など介護予防のための通いの場

体操（運動）や会食、茶話会、認知症予防、趣味活動など介護予防のための通いの場参加の頻度についてたずねたところ、「週1回」（4.8%）が最も多く、次いで、「月1～3回」（4.5%）、「年に数回」（3.4%）となっている。一方、「参加していない」は、58.9%となっている。

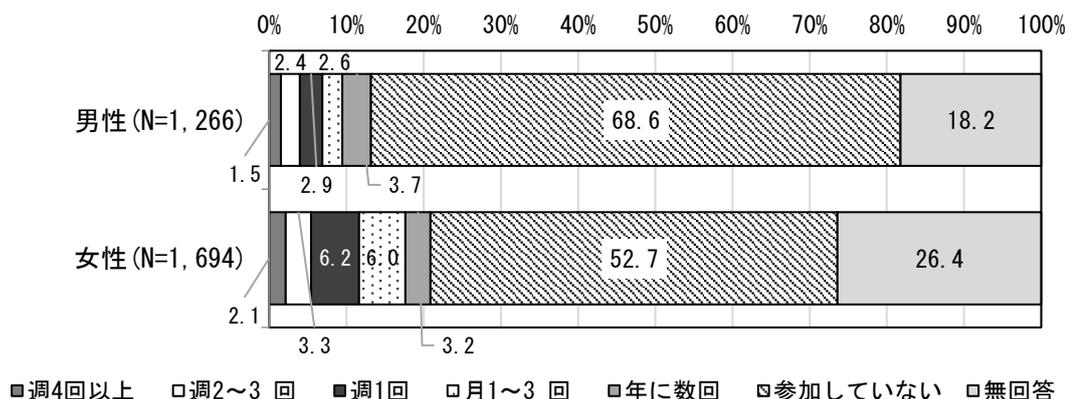
図表2-3-13 体操（運動）や会食、茶話会、認知症予防、趣味活動など介護予防のための通いの場【65歳以上】



男女別にみると、男性は「年に数回」とする割合が3.7%、女性は「週1回」とする割合が6.2%と最も高くなっており、次に男性は「週1回」とする割合が2.9%、女性は「月1～3回」とする割合が6.0%と高くなっている。

図表2-3-14 問3-1(1) 地域での活動参加 × 問1-3 性別【65歳以上】

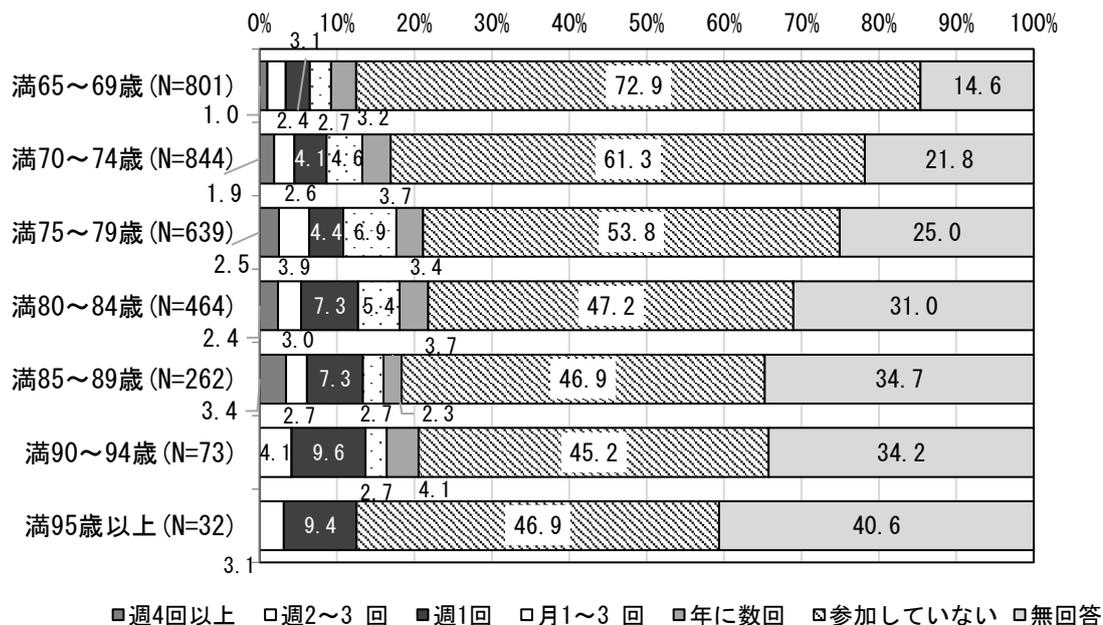
⑤体操（運動）や会食、茶話会、認知症予防、趣味活動など介護予防のための通いの場



年齢別にみると、満65～69歳は「年に数回」、満70～79歳は「月1～3回」満80歳以上は「週1回」とする割合が高くなっている。

図表2-3-15 問3-1(1) 地域での活動参加 × 問1-4 年齢【65歳以上】

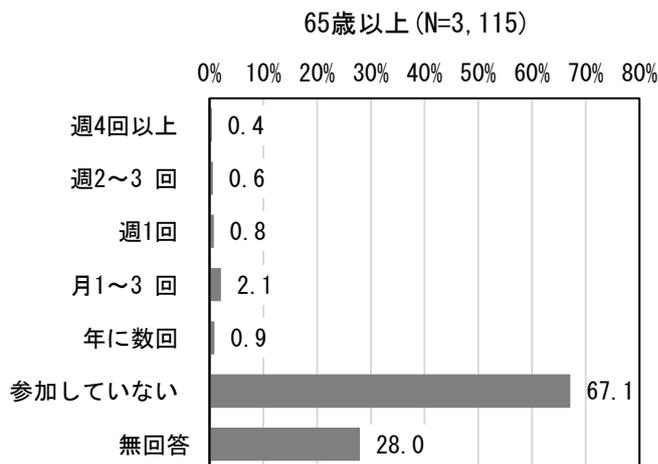
⑤体操(運動)や会食、茶話会、認知症予防、趣味活動など介護予防のための通いの場



⑥ 老人クラブ

老人クラブ参加の頻度についてたずねたところ、「月1～3回」(2.1%)が最も多く、次いで、「年に数回」(0.9%)、「週1回」(0.8%)となっている。一方、「参加していない」は、67.1%となっている。

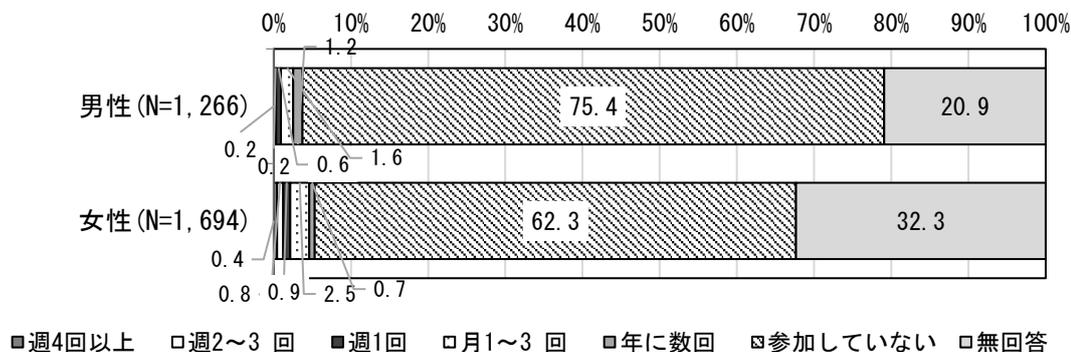
図表2-3-16老人クラブ【65歳以上】



男女別にみると、「月1～3回」とする割合が、男性は1.6%、女性は2.5%と最も高くなっており、男性は「年に数回」とする割合が1.2%、女性は「週1回」とする割合が0.9%と次に高くなっている。

図表2-3-17 問3-1(1) 地域での活動参加 × 問1-3 性別 【65歳以上】

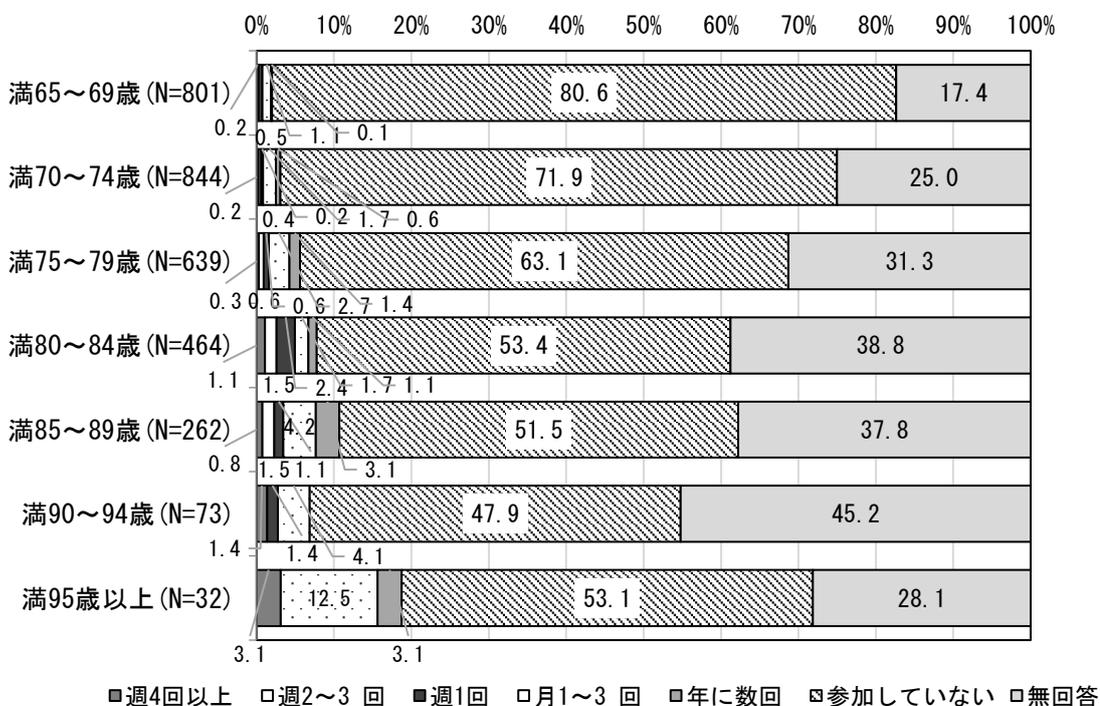
⑥老人クラブ



年齢別にみると、「月1～3回」とする割合が高くなっているが、満80～84歳は「週1回」とする割合が高くなっている。

図表2-3-18 問3-1(1) 地域での活動参加 × 問1-4 年齢 【65歳以上】

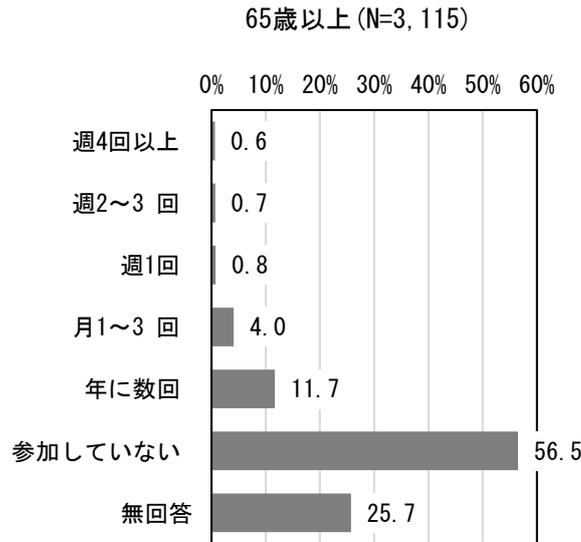
⑥老人クラブ



⑦ 町内会・自治会

町内会・自治会活動参加の頻度についてたずねたところ、「年に数回」(11.7%)が最も多く、次いで、「月1~3回」(4.0%)、「週1回」(0.8%)となっている。一方、「参加していない」は、56.5%となっている。

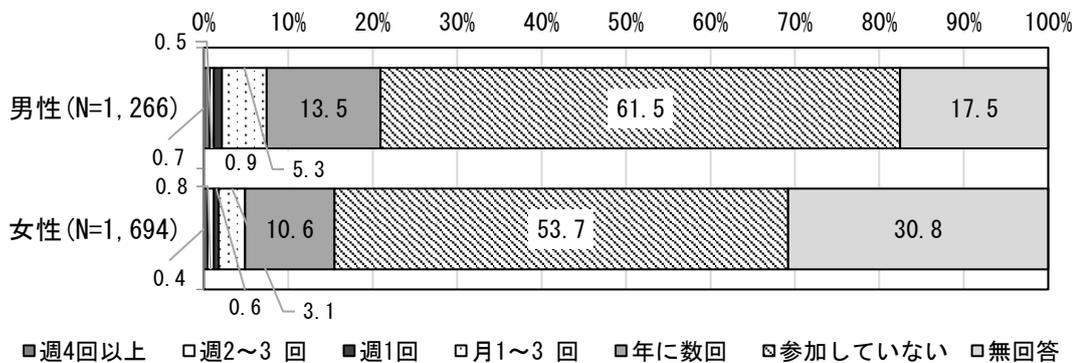
図表2-3-19 町内会・自治会 【65歳以上】



男女別にみると、「年に数回」とする割合が、男性は13.5%、女性は10.6%と最も高くなっており、「月1~3回」とする割合が、男性は5.3%、女性は3.1%と次に高くなっている。

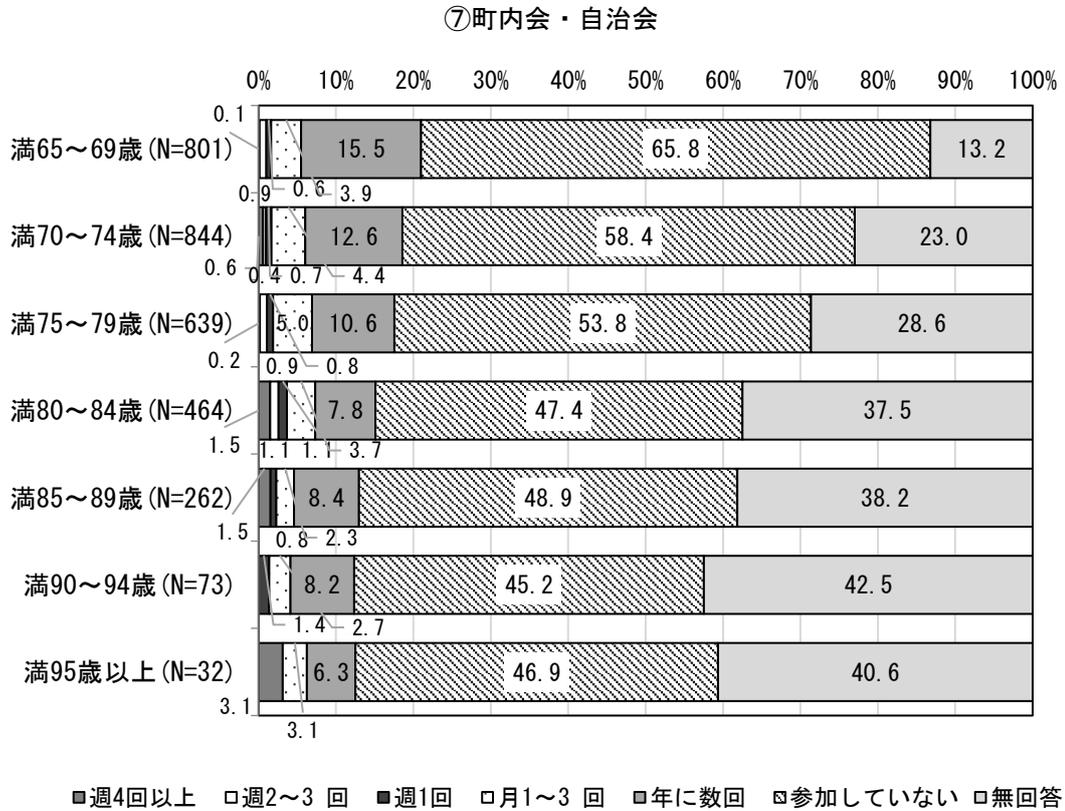
図表2-3-20 問3-1(1) 地域での活動参加 × 問1-3 性別 【65歳以上】

⑦町内会・自治会



年齢別にみると、全年齢で「年に数回」とする割合が最も高くなっている。

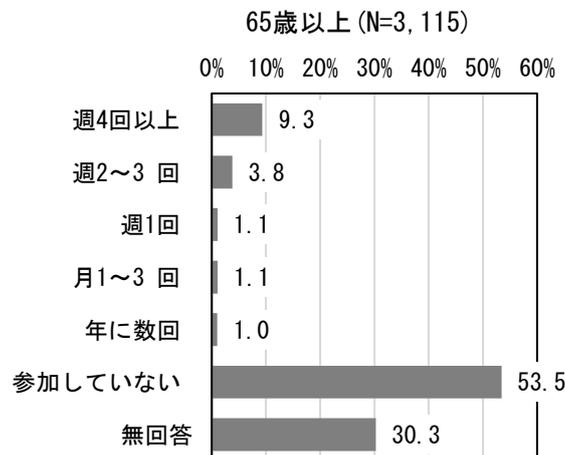
図表2-3-21 問3-1(1) 地域での活動参加 × 問1-4 年齢 【65歳以上】



⑧ 収入のある仕事

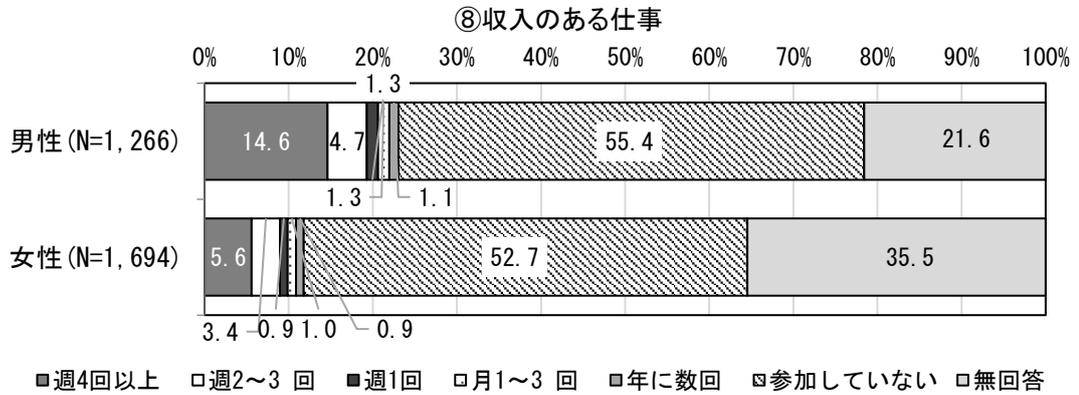
収入のある仕事の頻度についてたずねたところ、「週4回以上」(9.3%)が最も多く、次いで、「週2～3回」(3.8%)、「週1回」「月1～3回」(1.1%)となっている。一方、「参加していない」は、53.5%となっている。

図表2-3-22 収入のある仕事 【65歳以上】



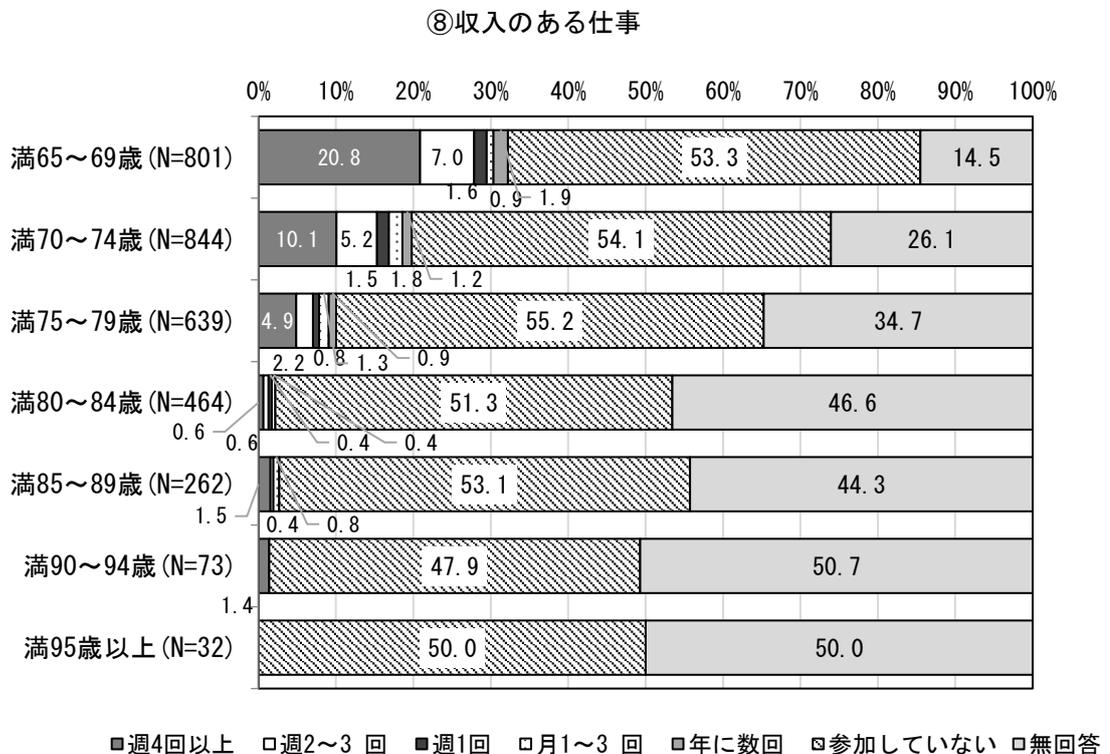
男女別にみると、「週4回以上」とする割合が、男性は14.6%、女性は5.6%と最も高くなっており、「週2～3回」とする割合が、男性は4.7%、女性は3.4%と次に高くなっている。

図表 2-3-23 問 3-1(1) 地域での活動参加 × 問 1-3 性別 【65歳以上】



年齢別にみると、満65～94歳は「週4回以上」とする割合が高くなっており、満95歳以上は「参加していない」のみとなっている。

図表2-3-24 問3-1(1) 地域での活動参加 × 問1-4 年齢 【65歳以上】



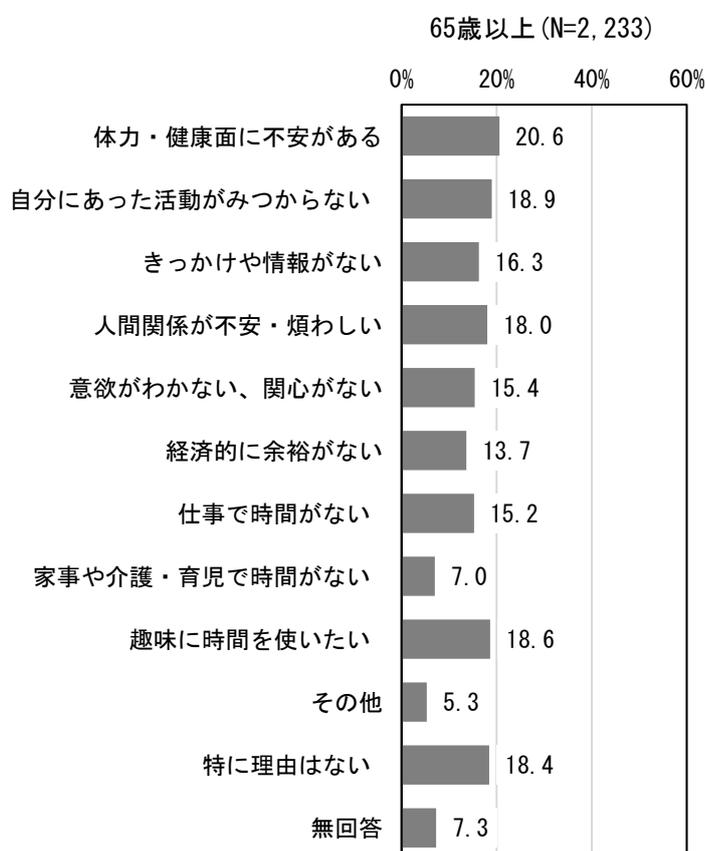
(2) 地域活動に参加しない理由

[複数回答]

(1) の①～⑧のいずれかで「参加していない」と回答した方にお聞きします。
参加していない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

地域活動に参加しない理由についてたずねたところ、「健康面に不安がある」(20.6%)が最も多く、次いで、「自分に合った活動が見つからない」(18.9%)、「趣味に時間を使いたい」(18.6%)となっている。一方、「特に理由はない」は、18.4%となっている。

図表2-3-25 参加していない理由

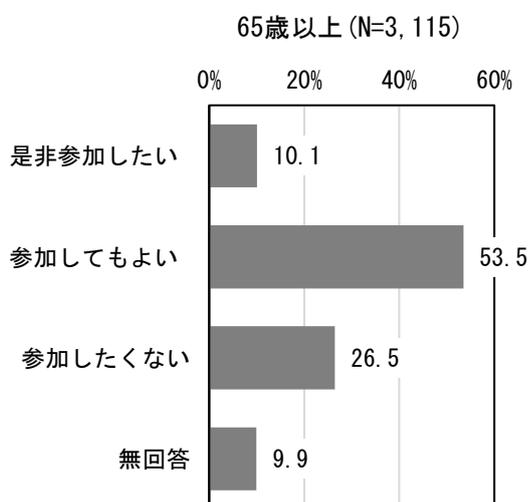


問3-2 地域づくり活動の参加について

65歳以上の方にお聞きします。地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

65歳以上の方に、地域づくり活動の参加についてたずねたところ、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた割合は、63.6%、一方、「参加したくない」は26.5%となっている。

図表2-3-26 地域活動に参加者として参加したいと思うか

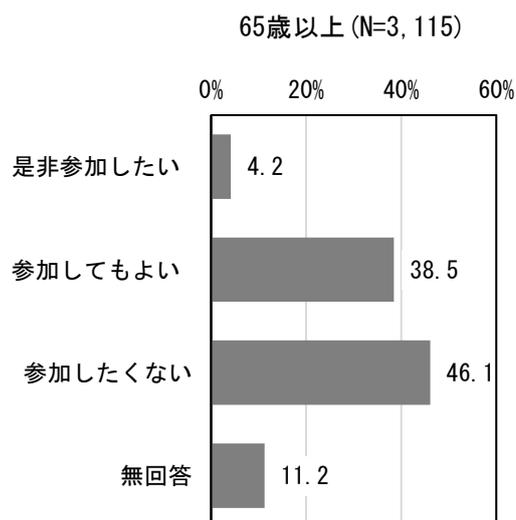


問3-3 地域づくり活動の企画・運営について

65歳以上の方にお聞きします。地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

65歳以上の方に、地域づくり活動の企画・運営についてたずねたところ、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた割合は、42.7%、一方、「参加したくない」は46.1%となっている。

図表2-3-27 地域活動に企画・運営として参加したいと思うか

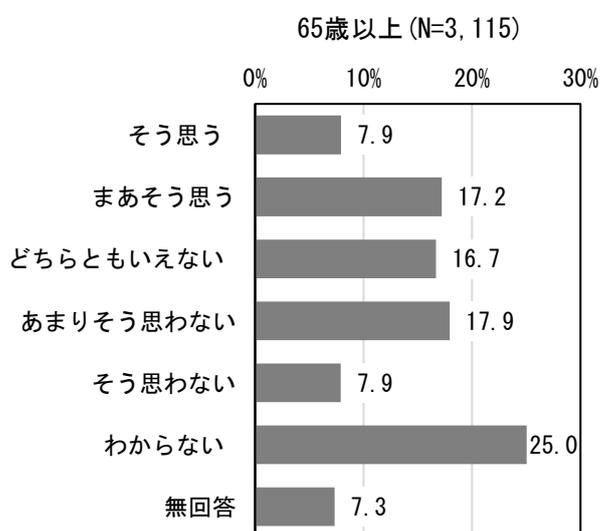


問3-4 高齢者の社会参加の機会があると思うか

札幌市では、高齢者が積極的に社会参加できる機会が十分にあると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

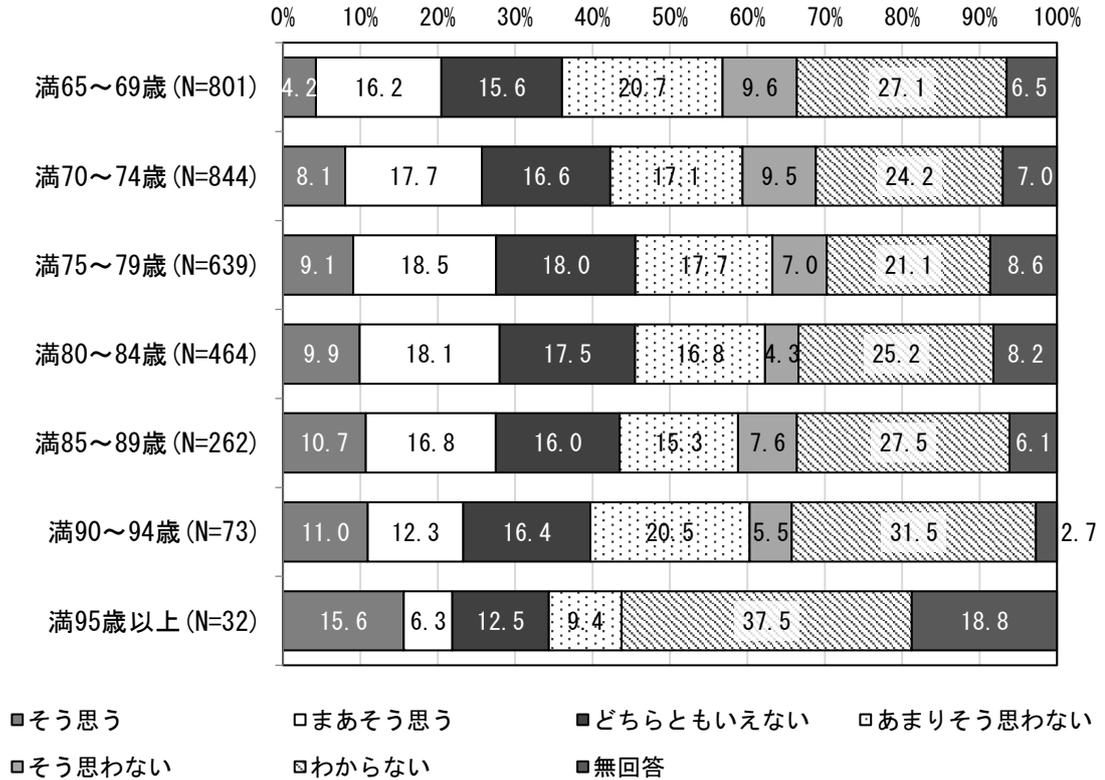
札幌市は、高齢者が積極的に社会参加できる機会が十分にあると思うかをたずねたところ、「そう思う」「まあそう思う」を合わせた割合が25.1%となっている。一方、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた割合は25.8%となっている。

図表2-3-28 高齢者の社会参加の機会があると思うか



年齢別にみると、「そう思う」「まあそう思う」を合わせた割合は、満80～84が最も高く28.0%となっている。

図表2-3-29 問3-4 高齢者の社会参加の機会があると思うか × 問1-4 年齢【65歳以上】



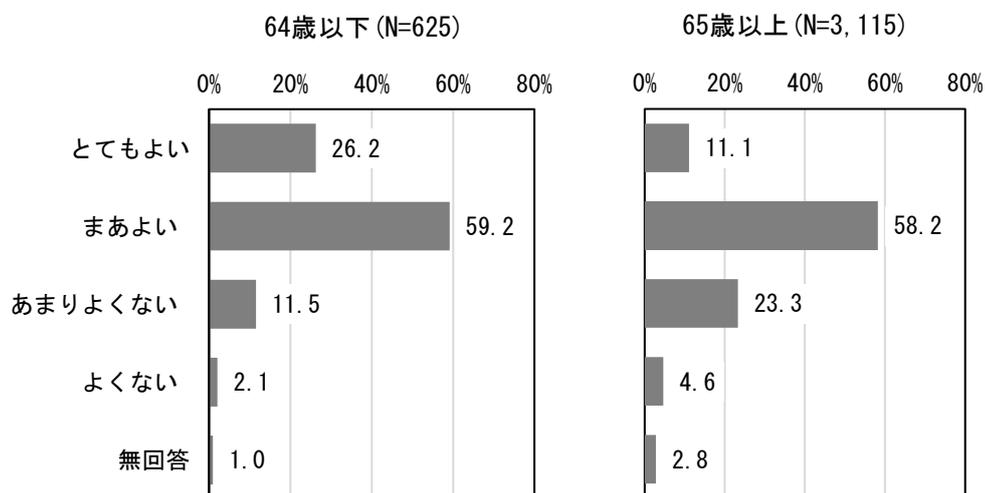
2. 4 心身の状況について

問4-1 主観的健康感

現在のあなたの健康状態はいかがですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

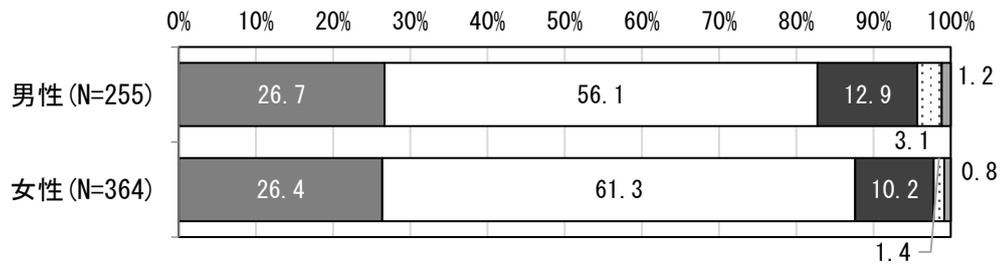
健康状態についてたずねたところ、「とてもよい」「まあよい」を合わせた割合が、64歳以下は85.4%、65歳以上は69.3%と、共に半数を超えている。一方、「あまりよくない」「よくない」を合わせた割合は、64歳以下は13.6%、65歳以上は27.9%となっている。

図表2-4-1 健康状態

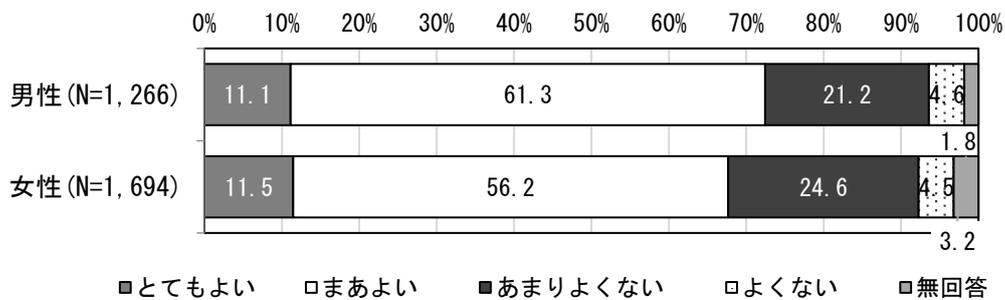


男女にみると、「とてもよい」「まあよい」を合わせた割合は、64歳以下は、男性は82.8%、女性は87.7%となっており、65歳以上は、男性は72.4%、女性は67.7%となっている。

図表2-4-2 問4-1 主観的健康感 × 問1-3 性別 【64歳以下】

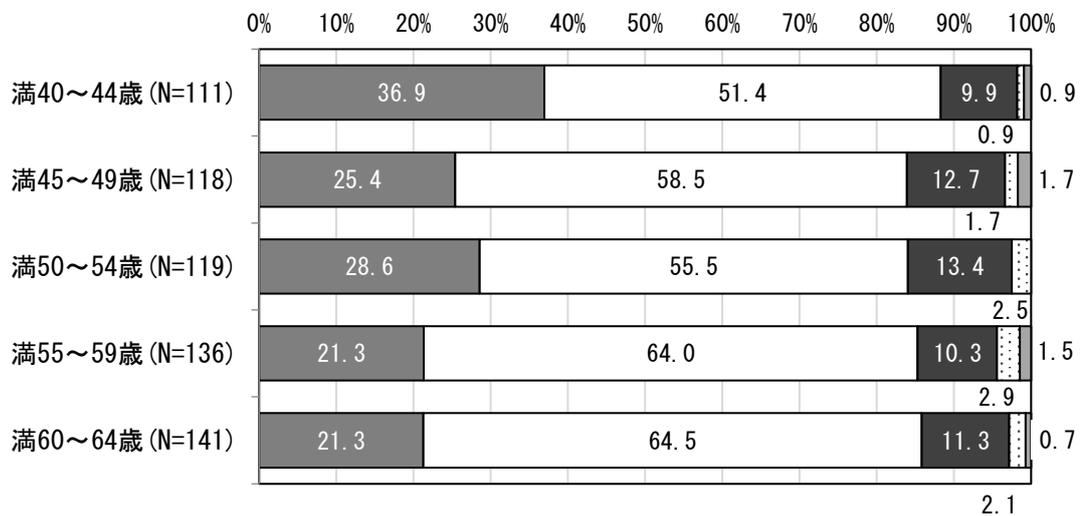


図表2-4-3 問4-1 主観的健康感 × 問1-3 性別 【65歳以上】

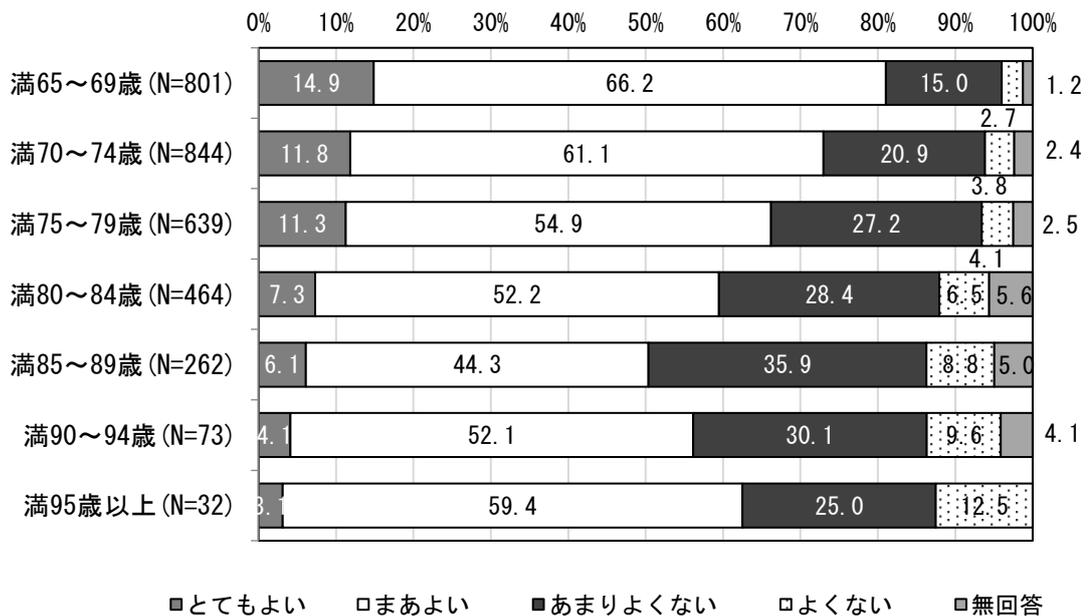


年齢別にみると、全ての年齢で、「とてもよい」「まあよい」を合わせた割合は50%を超えている。

図表2-4-4 問4-1 主観的健康感 × 問1-4 年齢 【64歳以下】

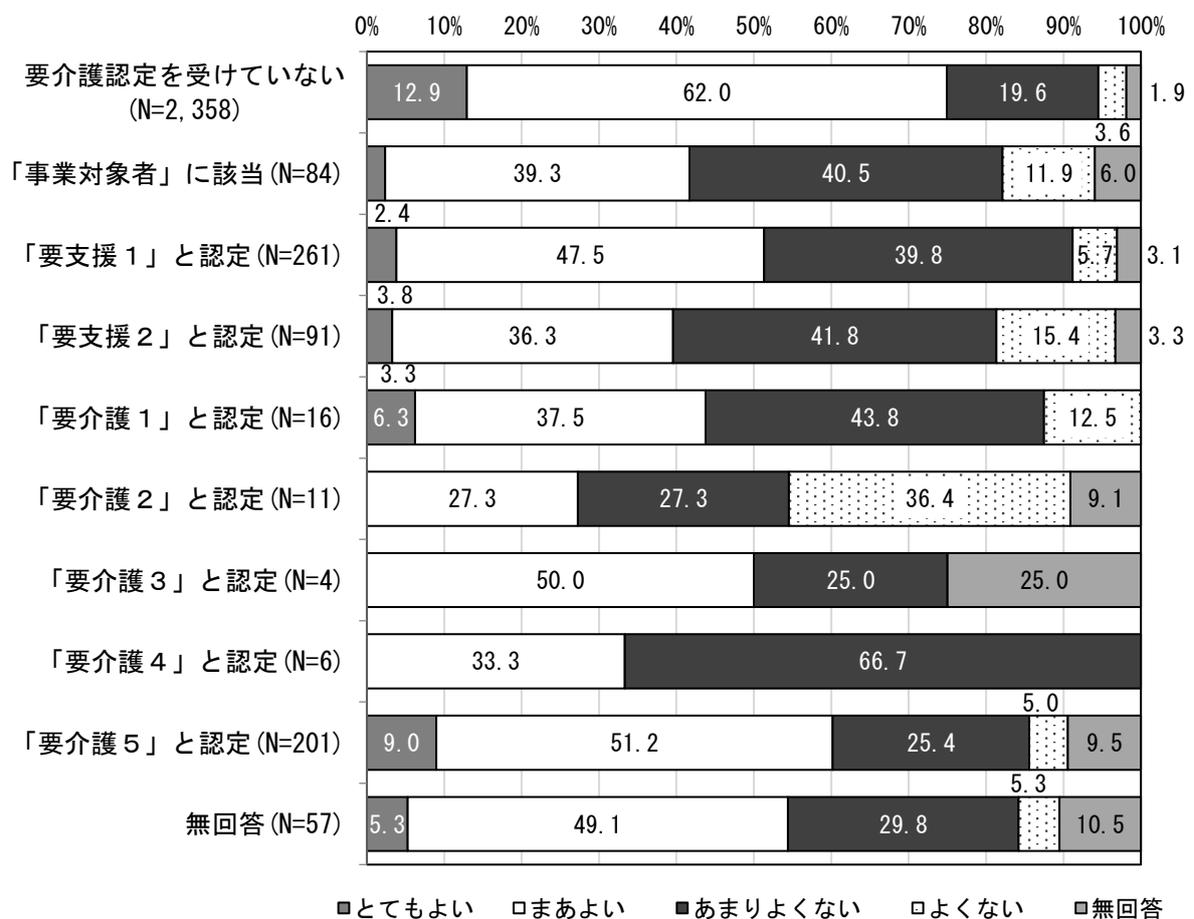


図表2-4-5 問4-1 主観的健康感 × 問1-4 年齢 【65歳以上】



65歳以上で要介護認定の状況別にみると、要介護（支援）認定を受けていると回答した人は、「あまりよくない」「よくない」を合わせた割合が高く、要介護5を除いては半数を超えている。

図表2-4-6 問4-1 主観的健康感 × 問4-10 要介護（支援）認定を受けているか【65歳以上】

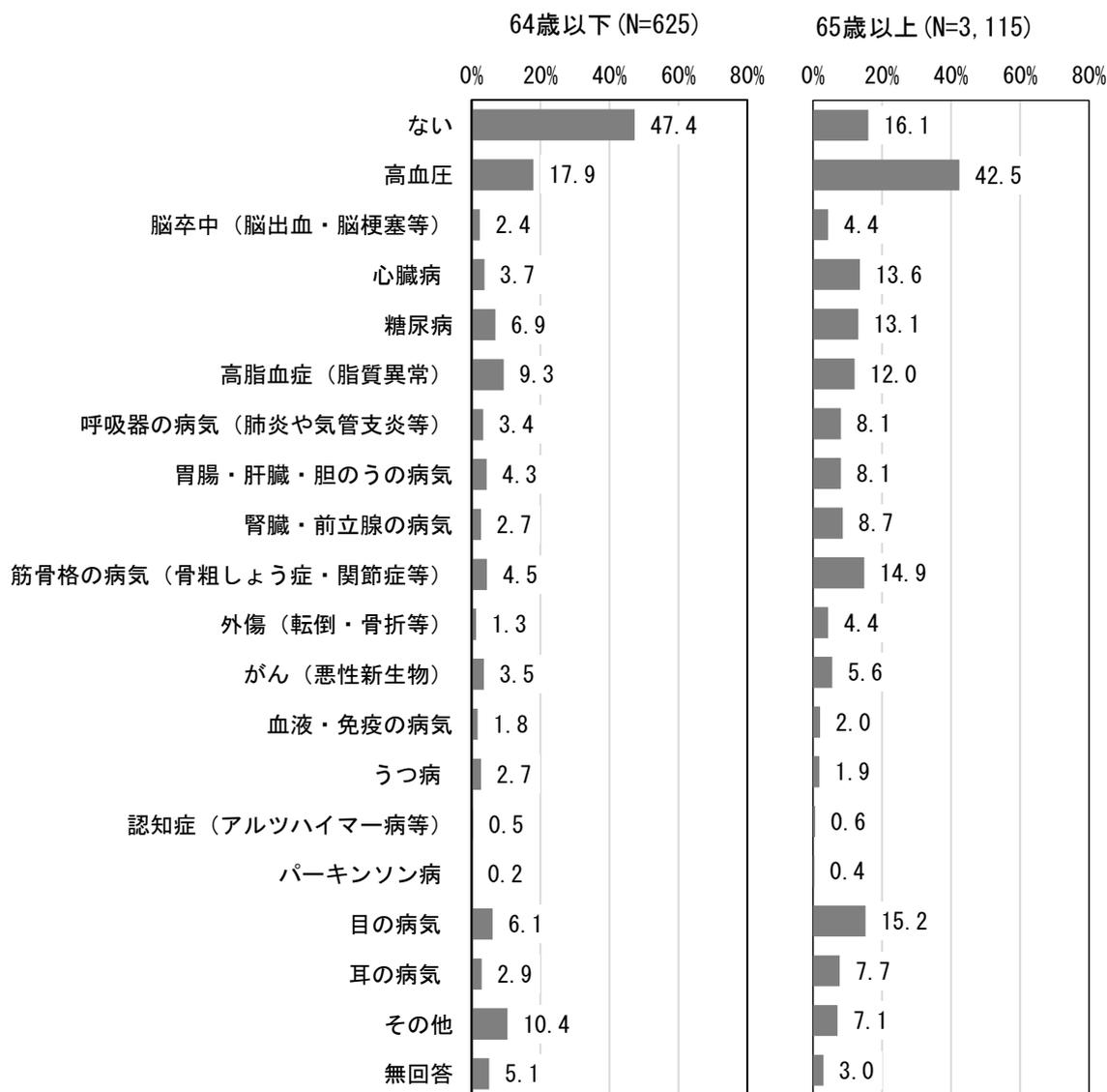


問4-2 治療中の病気

現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

現在、治療中、または後遺症のある病気をたずねたところ、64歳以下は「ない」(47.4%)が最も多く、次いで、「高血圧」(17.9%)、「高脂血症」(9.3%)となっており、65歳以上は「高血圧」(42.5%)が最も多く、次いで、「ない」(16.1%)、「がん(悪性新生物)」(14.9%)となっている。

図表2-4-7 病気の有無



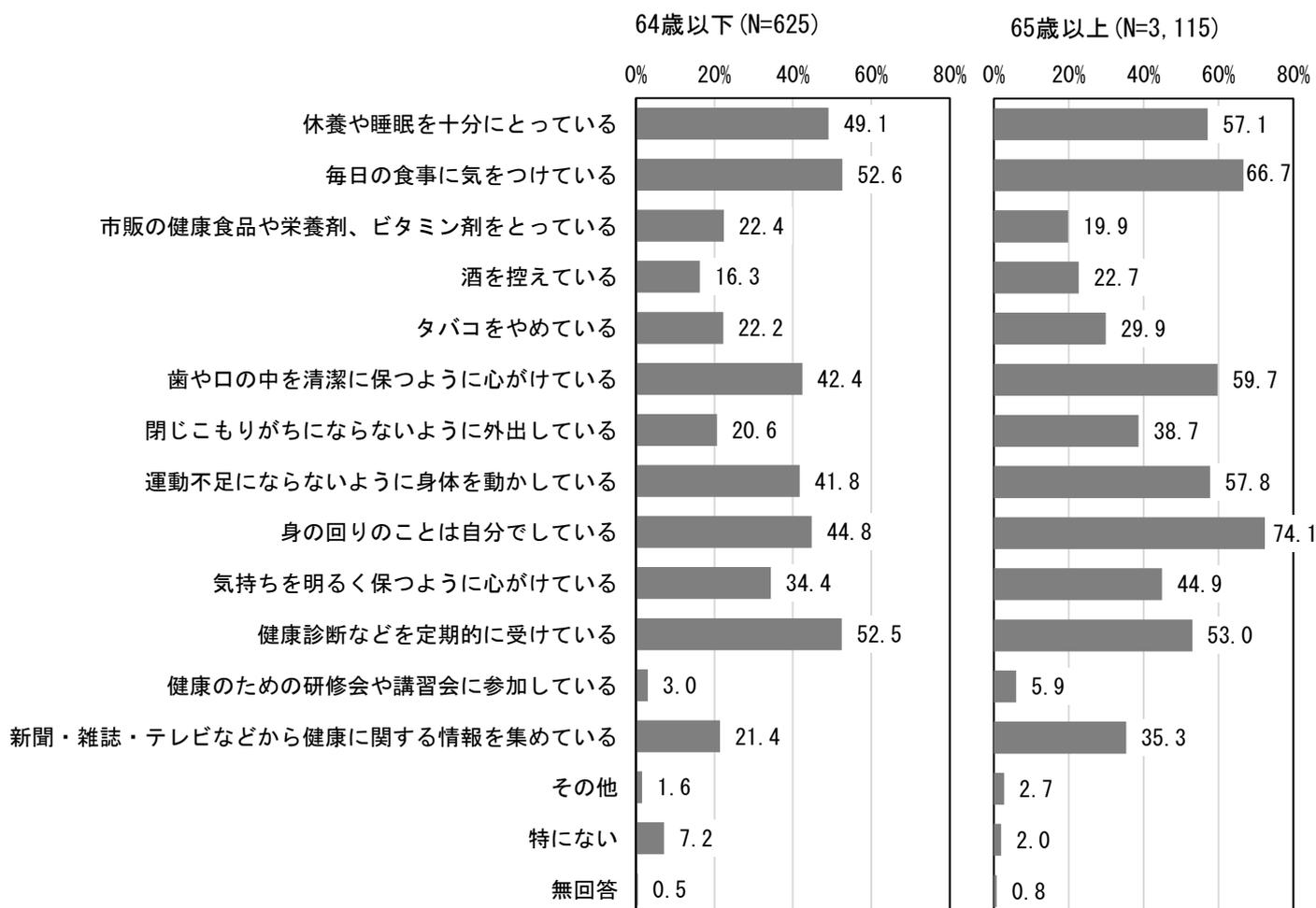
問4-3 健康維持のため気をつけていること

[複数回答]

現在、健康維持のために気をつけていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

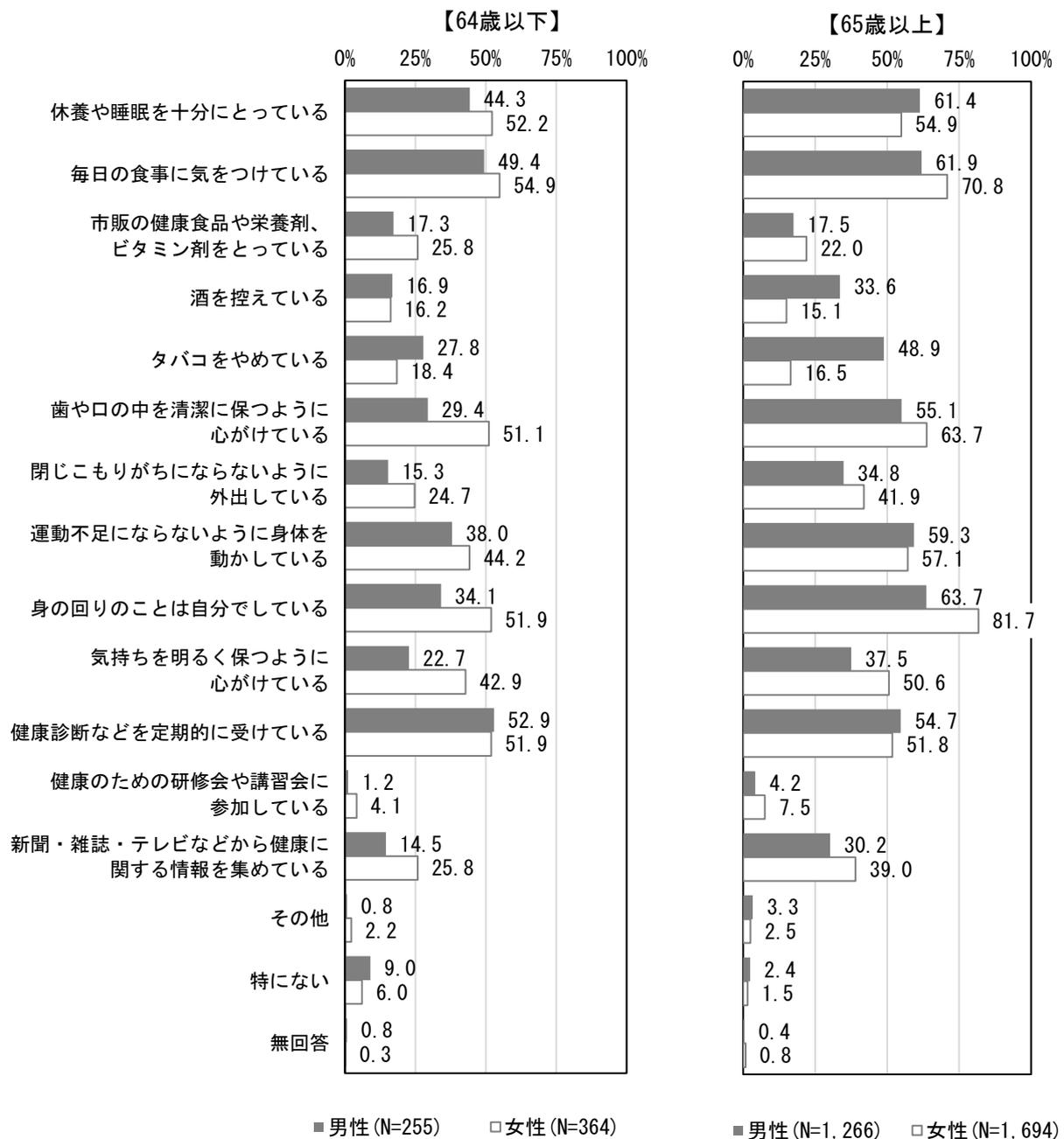
現在、健康維持のために気をつけていることをたずねたところ、64歳以下は「毎日の食事に気をつけている」(52.6%)が最も多く、次いで、「健康診断などを定期的に受けている」(52.5%)、「休養や睡眠を十分にとっている」(49.1%)となっており、65歳以上は「身の回りのことは自分でしている」(74.1%)が最も多く、次いで、「毎日の食事に気をつけている」(66.7%)、「歯や口の中を清潔に保つように心がけている」(59.7%)となっている。

図表2-4-8 健康維持の方法



男女別にみると、64歳以下は、男性は「健康診断などを定期的に受けている」(53.2%)が最も高く、女性は「身の回りのことは自分でしている」(59.0%)、が最も高くなっている。65歳以上は、男性は「休養や睡眠を十分にとっている」(64.1%)が最も高く、女性は「身の回りのことは自分でしている」(82.2%)が最も高くなっている。

図表2-4-9 問4-3 健康維持のため気をつけていること × 問1-3 性別



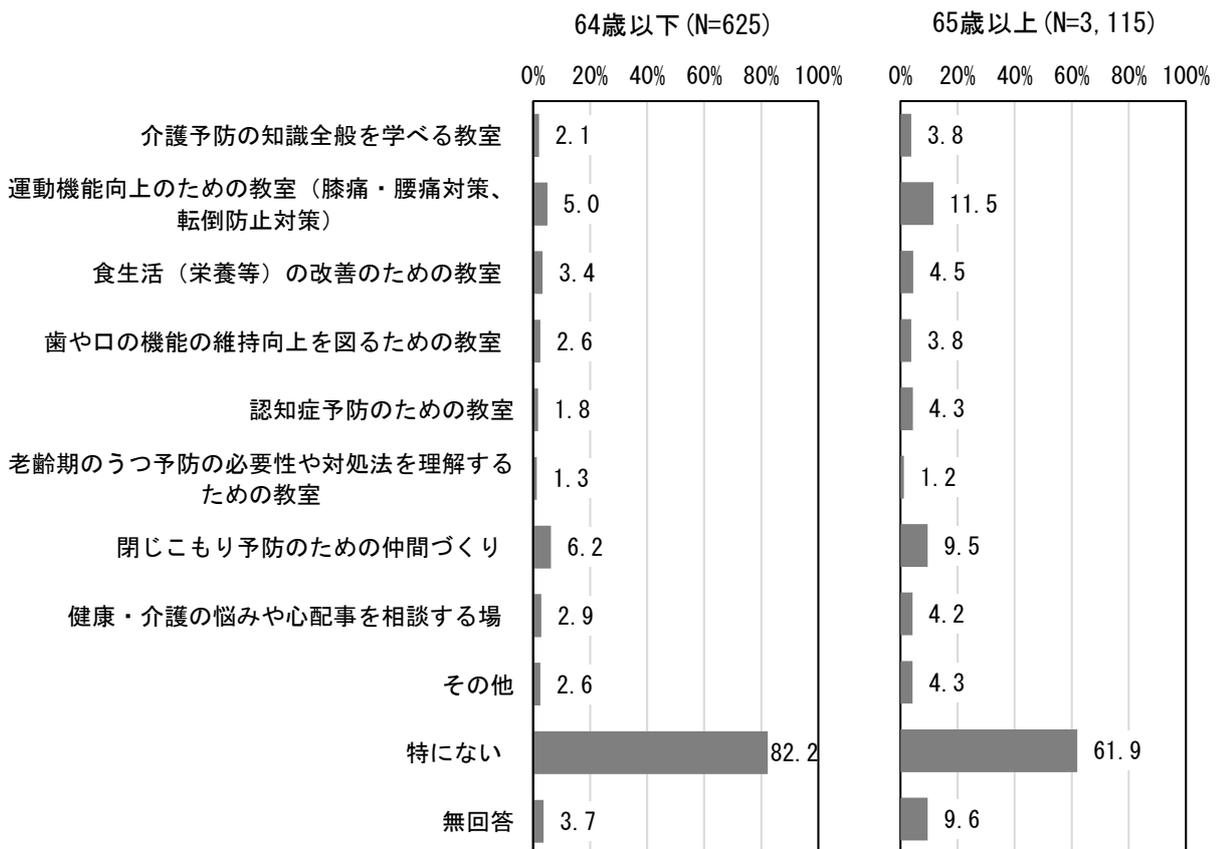
問4-4 介護予防について

[複数回答]

「介護予防」とは、要介護状態にならないように取り組むこと、または、要介護状態であってもその悪化を防ぐよう取り組むことをいいます。あなたが、介護予防のために利用しているものについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

介護予防のために利用しているものをたずねたところ、64歳以下は「閉じこもり予防のための仲間づくり」(6.2%)が最も多く、次いで、「運動機能向上のための教室(膝痛・腰痛対策、転倒防止対策)」(5.0%)、「食生活(栄養等)の改善のための教室」(3.4%)となっており、65歳以上は「運動機能向上のための教室(膝痛・腰痛対策、転倒防止対策)」(11.5%)が最も多く、次いで、「閉じこもり予防のための仲間づくり」(9.5%)、「食生活(栄養等)の改善のための教室」(4.5%)となっている。一方、「特にない」と答えた割合は、64歳以下は82.2%、65歳以上は61.9%となっている。

図表2-4-10 介護予防



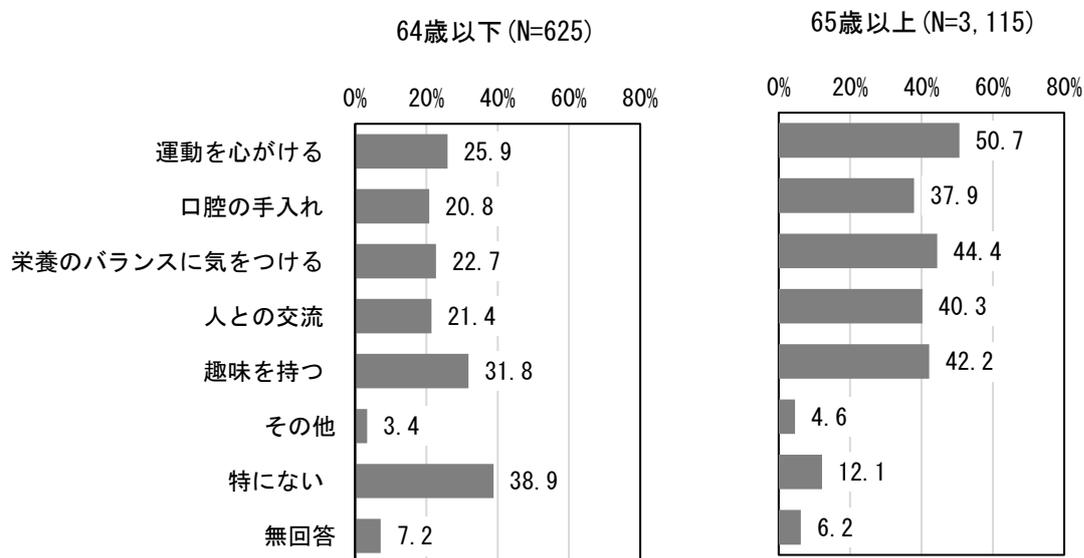
問4-5 認知症予防について

[複数回答]

あなたは、認知症予防のために取り組んでいることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

認知症予防についてたずねたところ、64歳以下は「特にない」(38.9%)が最も多く、次いで、「趣味を持つ」(31.8%)、「運動を心がける」(25.9%)となっており、65歳以上は「運動を心がける」(50.7%)が最も多く、次いで、「栄養のバランスに気をつける」(44.4%)、「趣味を持つ」(42.2%)となっている。

図表2-4-11 認知症予防



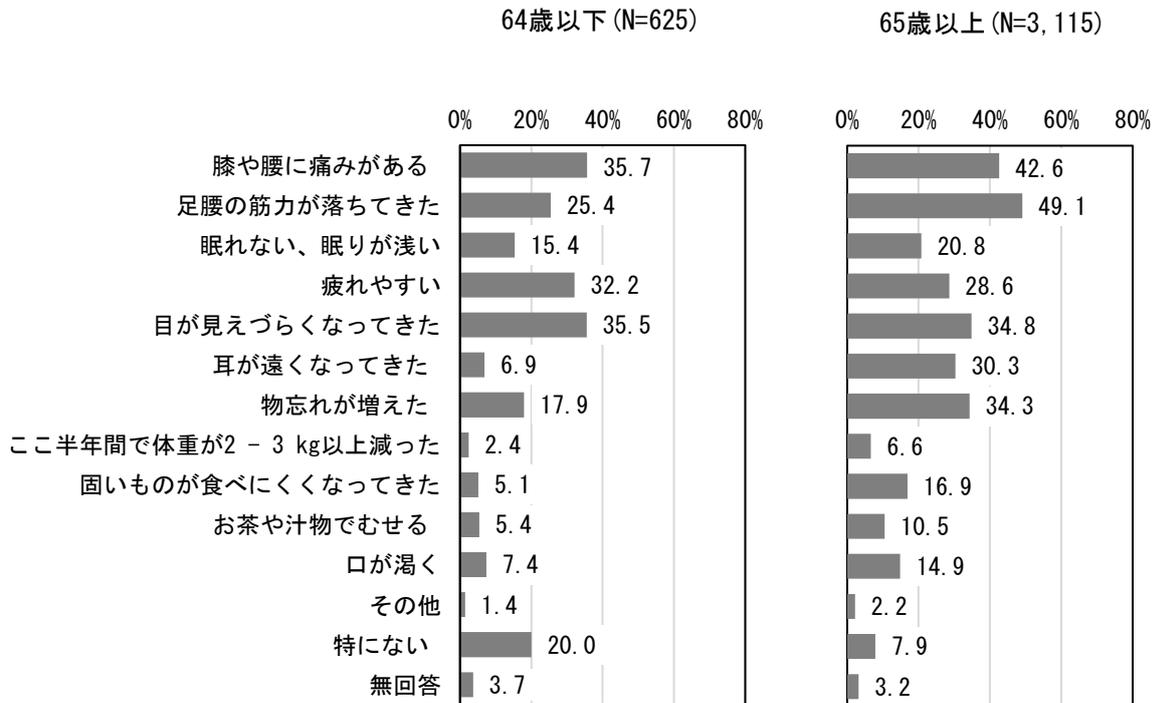
問4-6 最近の健康状態で気になっていること

[複数回答]

最近、ご自身の健康状態について気になっていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

最近の自身の健康状態について気になっていることをたずねたところ、64歳以下は「膝や腰に痛みがある」(35.7%)が最も多く、次いで、「目が見えづらくなってきた」(35.5%)、「疲れやすい」(32.2%)となっており、65歳以上は「足腰の筋力が落ちてきた」(49.1%)が最も多く、次いで、「膝や腰に痛みがある」(42.6%)、「目が見えづらくなってきた」(34.8%)となっている。

図表2-4-12 健康状態で気になること

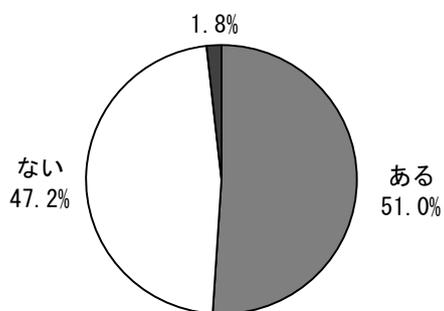


問4-7 かかりつけ医の有無

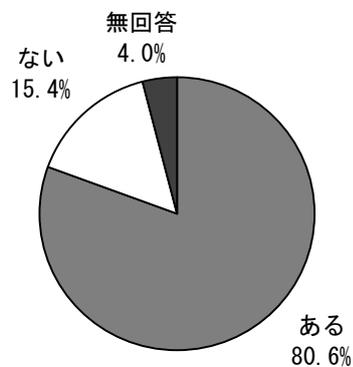
すべての方にお聞きします。かかりつけ医はありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

かかりつけ医についてたずねたところ、64歳以下・65歳以上共に「ある」が半数を超えており、64歳以下は51.0%、65歳以上は80.6%となっている。一方、「ない」は、64歳以下は47.2%、65歳以上は15.4%となっている。

図表2-4-13 かかりつけ医の有無【64歳以下】
(N=625)

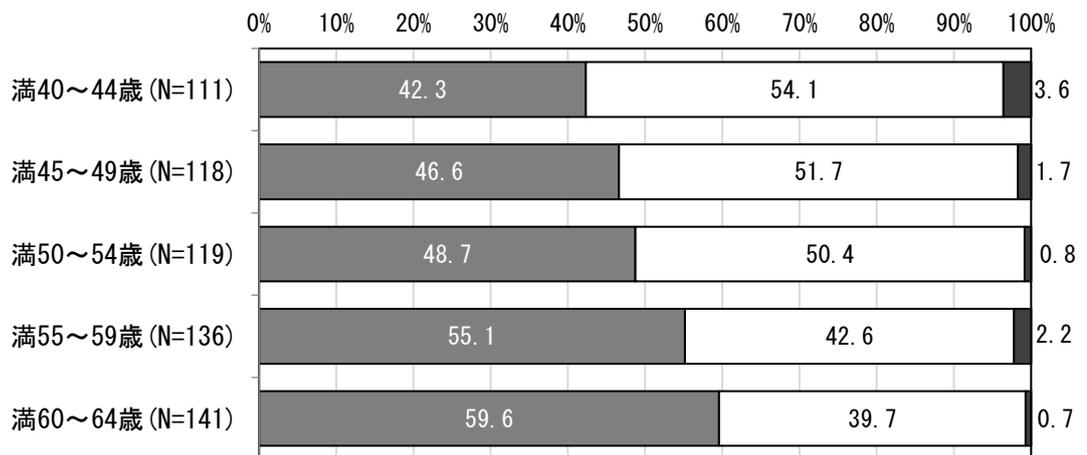


図表2-4-14 かかりつけ医の有無【65歳以上】
(N=3,115)

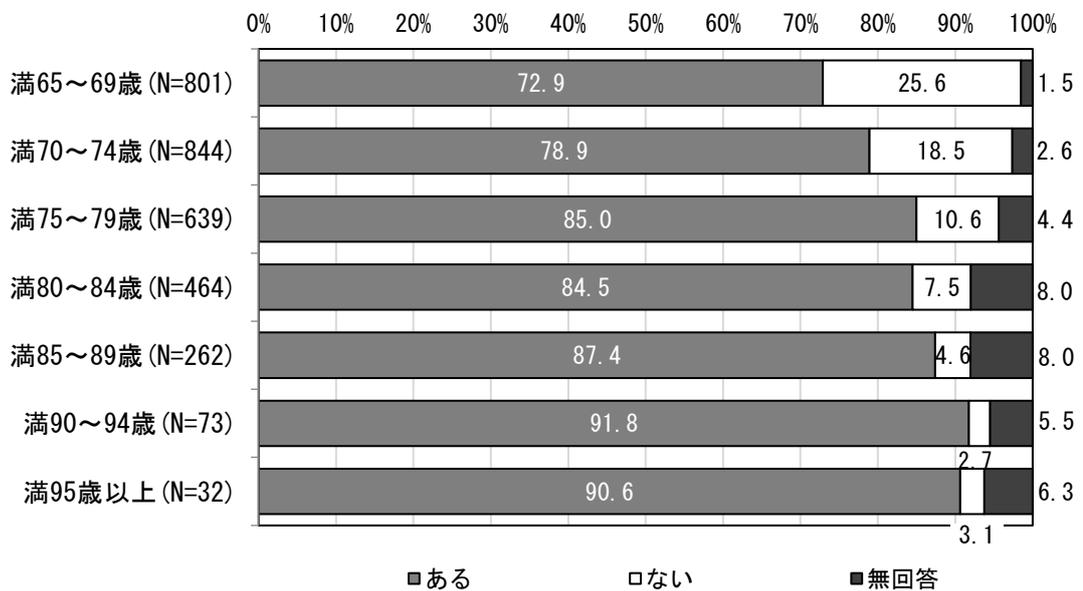


年齢別にみると、年齢層が高いほど「ある」とする割合が高い傾向にあり、64歳以下は、満60～64歳が最も高く、59.6%となっており、65歳以上は、満90歳以上が最も高く、91.8%となっている。

図表2-4-15 問4-7 かかりつけ医の有無 × 問1-4 年齢 【64歳以下】



図表2-4-16 問4-7 かかりつけ医の有無 × 問1-4 年齢 【65歳以上】

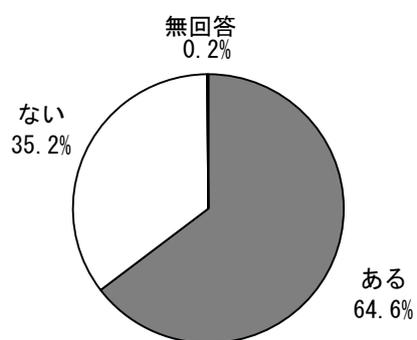


問4-8 かかりつけ歯科医の有無

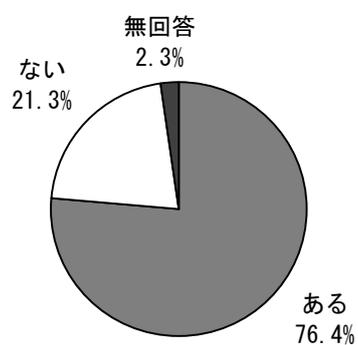
かかりつけ歯科医はありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

かかりつけ歯科医についてたずねたところ、64歳以下・65歳以上共に「ある」が半数を超えており、64歳以下は64.6%、65歳以上は76.4%となっている。一方、「ない」は、64歳以下は35.2%、65歳以上は21.3%となっている。

図表2-4-17 かかりつけ歯科医の有無
【64歳以下】(N=625)

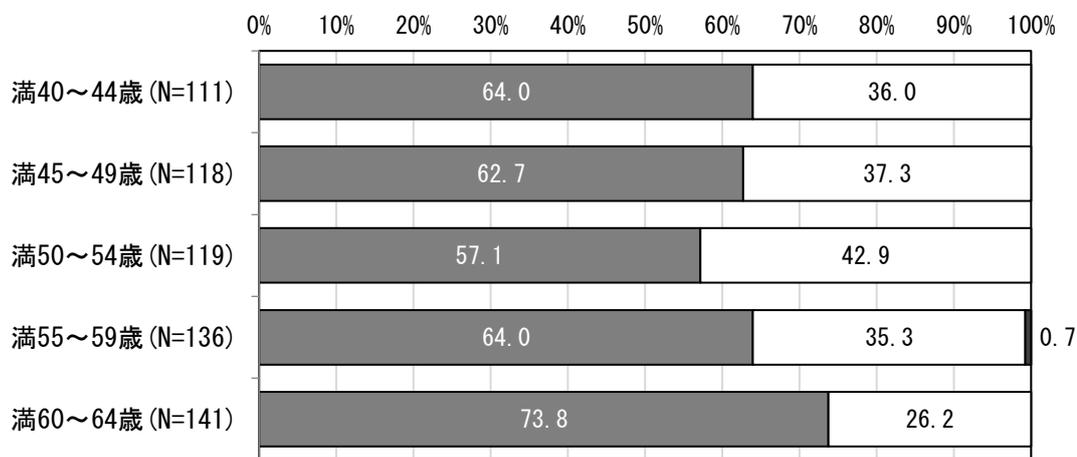


図表2-4-18 かかりつけ歯科医の有無
【65歳以上】(N=3,115)

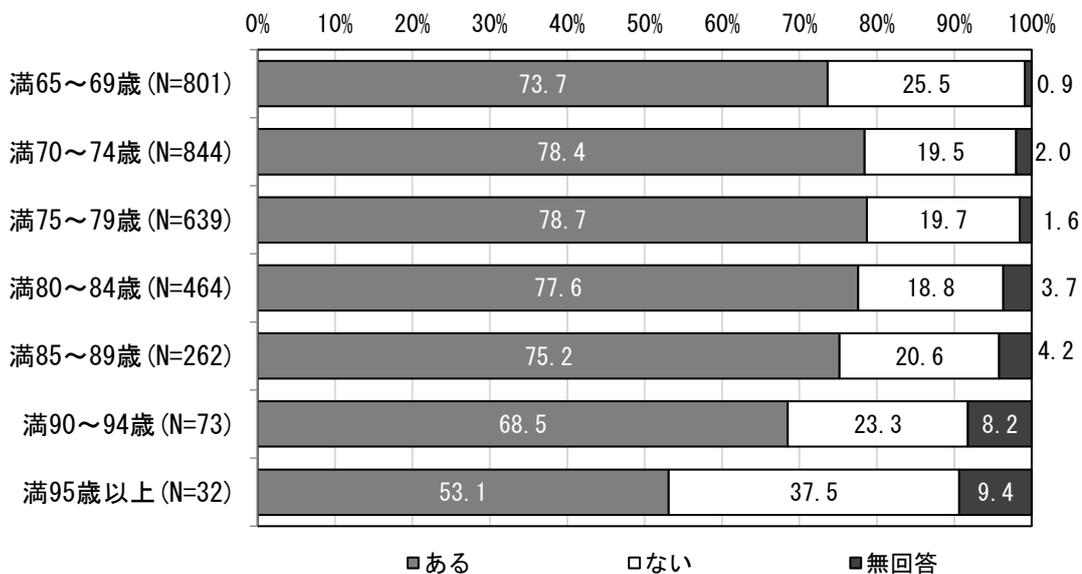


年齢別にみると、「ある」の割合は、64歳以下は、満60～64歳が最も高く、73.8%となっており、65歳以上は、満75～79歳が最も高く、78.7%となっている。

図表2-4-19 問4-8 かかりつけ歯科医の有無 × 問1-4 年齢 【64歳以下】



図表2-4-20 問4-8 かかりつけ歯科医の有無 × 問1-4 年齢 【65歳以上】

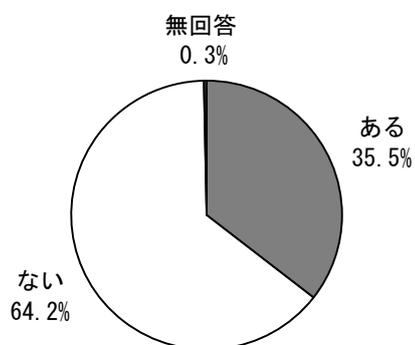


問4-9 かかりつけ薬局の有無

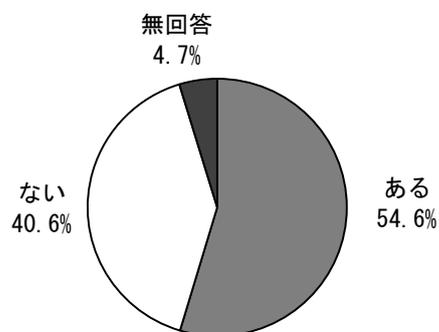
かかりつけ薬局はありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

かかりつけ薬局についてたずねたところ、64歳以下は「ある」が35.5%、「ない」が64.2%となっており、65歳以上は「ある」が54.6%、「ない」が40.6%となっている。

図表4-2-21 かかりつけ薬局の有無
【64歳以下】(N=625)

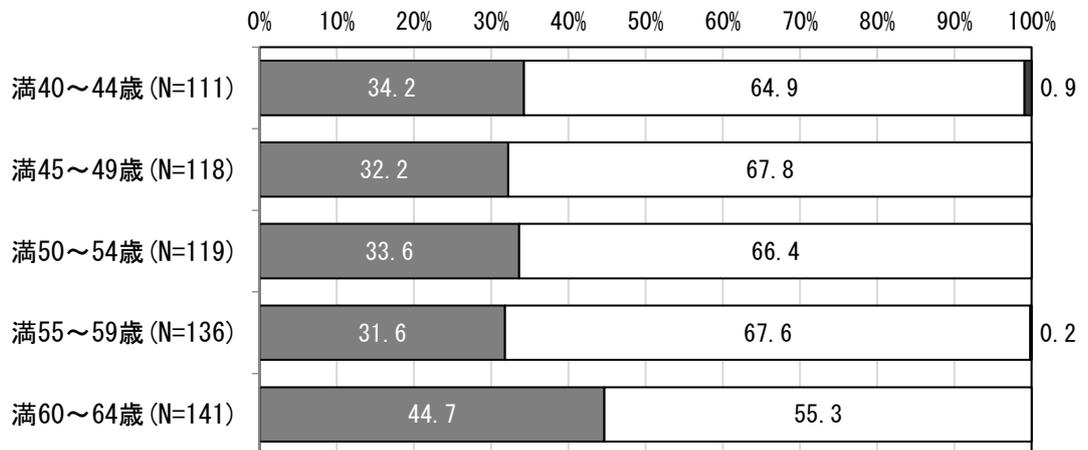


図表4-2-22 かかりつけ薬局の有無
【65歳以上】(N=3,115)

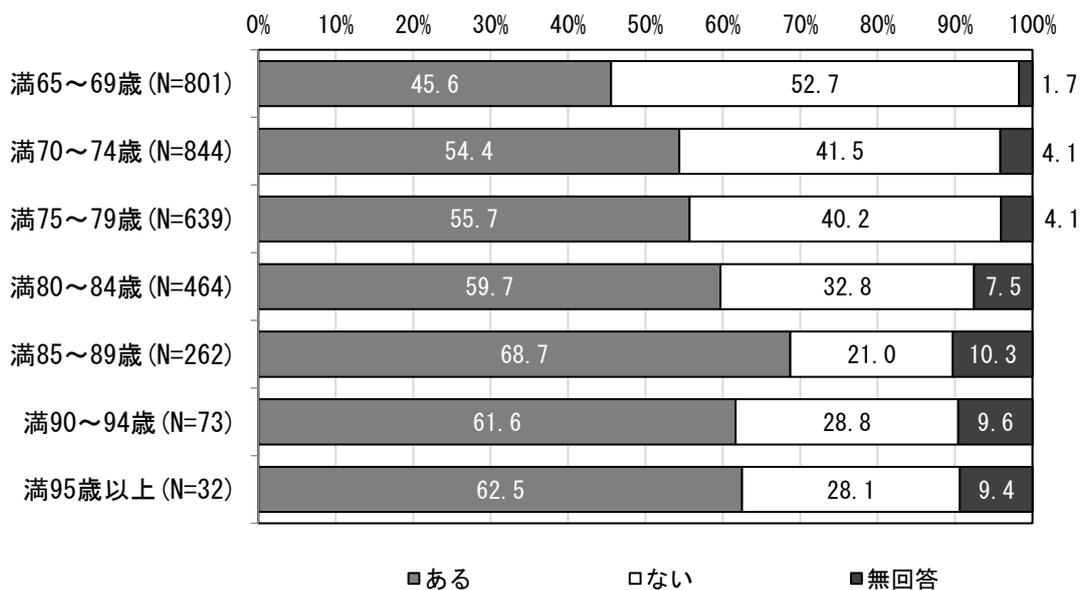


年齢別にみると、「ある」の割合は、64歳以下は、満60～64歳が最も高く、44.7%となっており、65歳以上は、満85～89歳が最も高く、68.7%となっている。

図表2-4-23 問4-9 かかりつけ薬局の有無 × 問1-4 年齢 【64歳以下】



図表2-4-24 問4-9 かかりつけ薬局の有無 × 問1-4 年齢 【65歳以上】

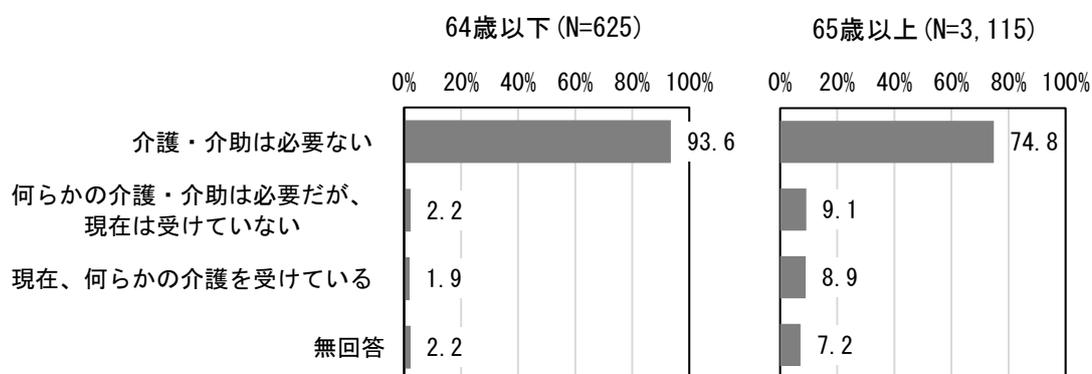


問4-10 介護の状況

あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

現在、介護必要かをたずねたところ、「介護・介助は必要ない」は、64歳以下は93.6%、65歳以上は74.8%となっている。一方、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は、64歳以下は2.2%、65歳以上は9.1%、「現在、何らかの介護を受けている」は、64歳以下は1.9%、65歳以上は8.9%となっている。

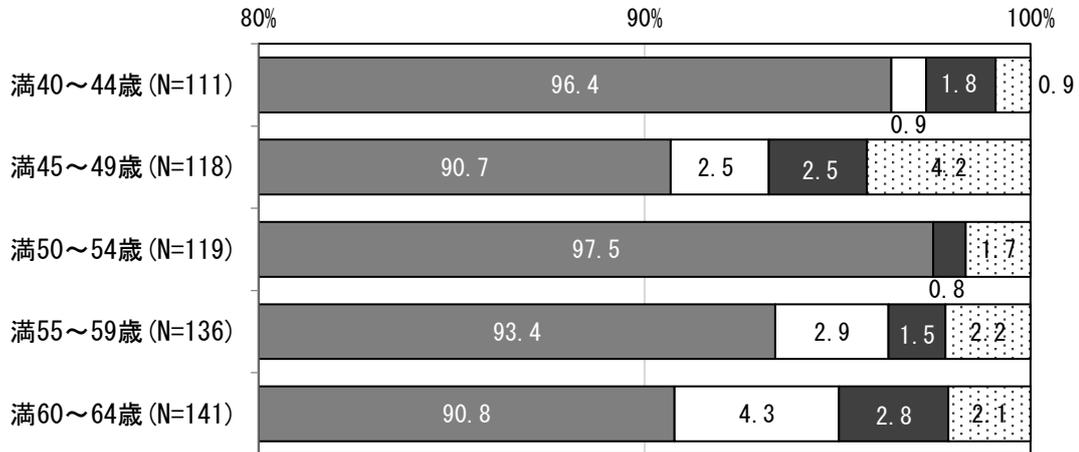
図表2-4-25 介護が必要か



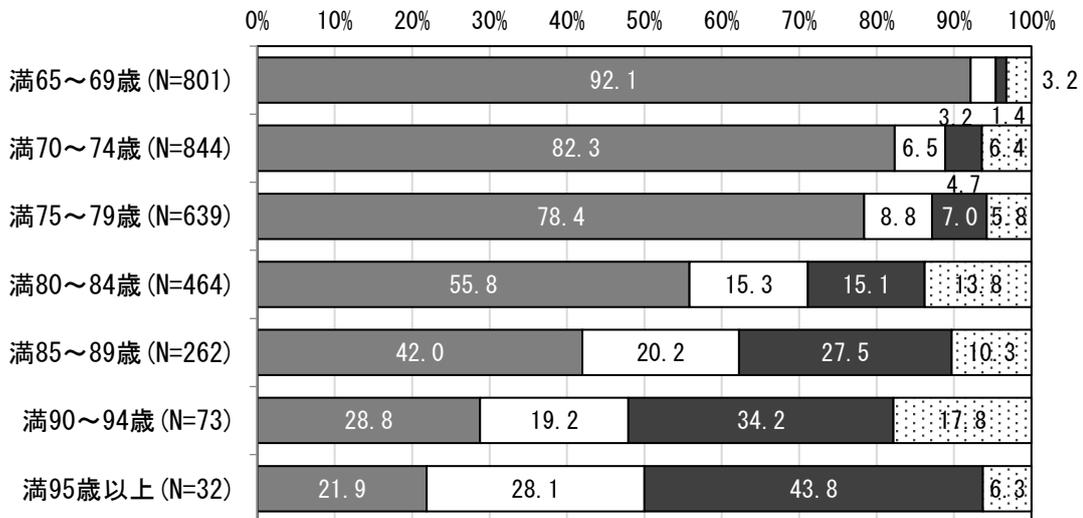
※ ここでの「介護」とは、介護保険のサービスを受けている場合のほか、介護保険の要介護（支援）認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態を言います。

年齢別にみると、64歳以下は、「介護を受けている」とする割合は1割を大きく下回っているが、65歳以上は、年齢層が高くなるにつれその割合は高くなり、満95歳以上は43.8%となっている。

図表2-4-26 問4-10 介護を受けているか × 問1-4 年齢 【64歳以下】



図表2-4-27 問4-10 介護を受けているか × 問1-4 年齢 【65歳以上】



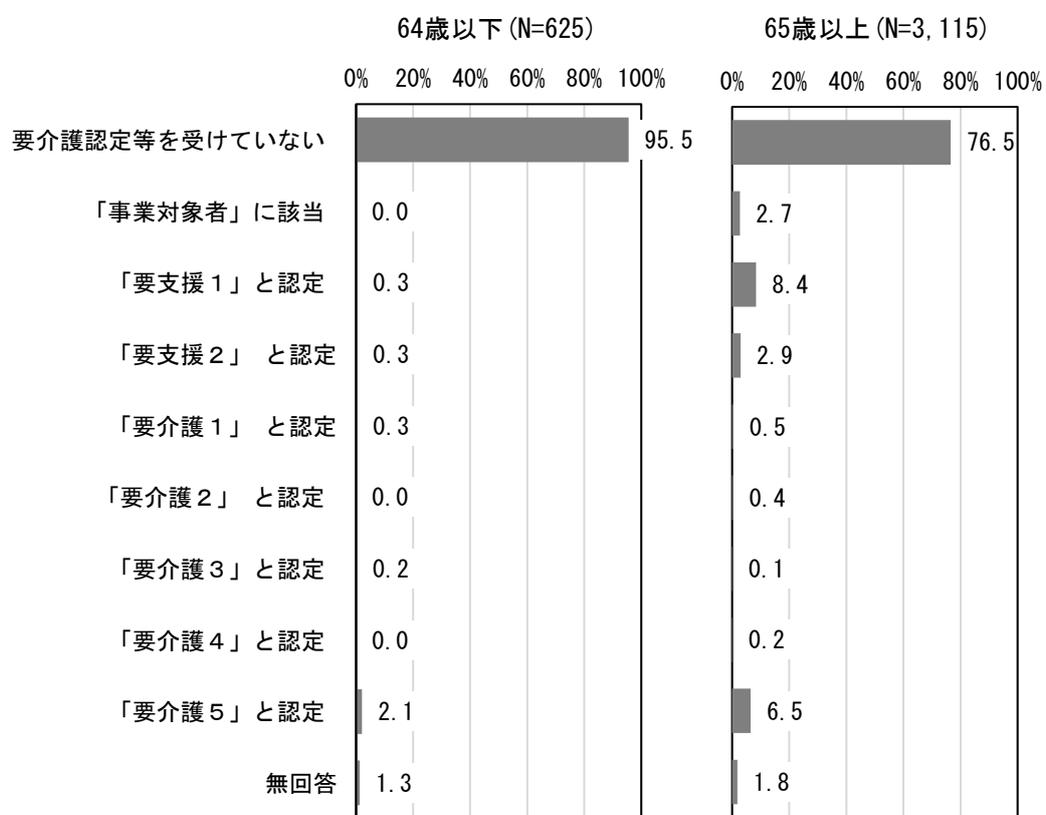
■介護は必要ない □何らかの介護は必要だが、現在は受けていない ■介護を受けている □無回答

問4-11 要介護（支援）認定を受けているか

介護保険の要介護（支援）認定は受けていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

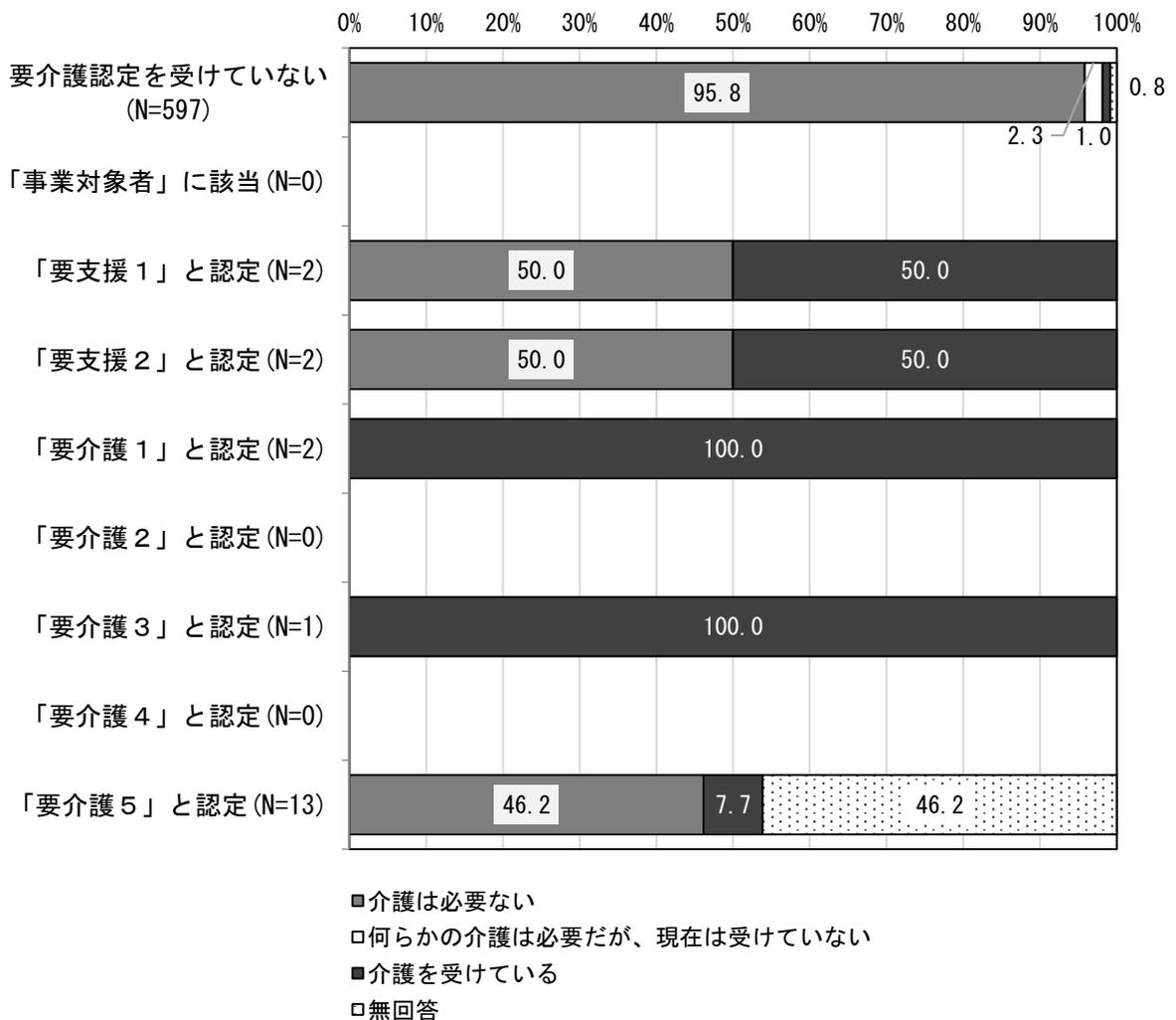
介護保険の要介護（支援）認定についてたずねたところ、64歳以下・65歳以上共に「要介護認定を受けていない」が最も多く、64歳以下は95.5%、65歳以上は76.5%と、共に半数を超えている。

図表2-4-28 要介護（支援）認定を受けているか

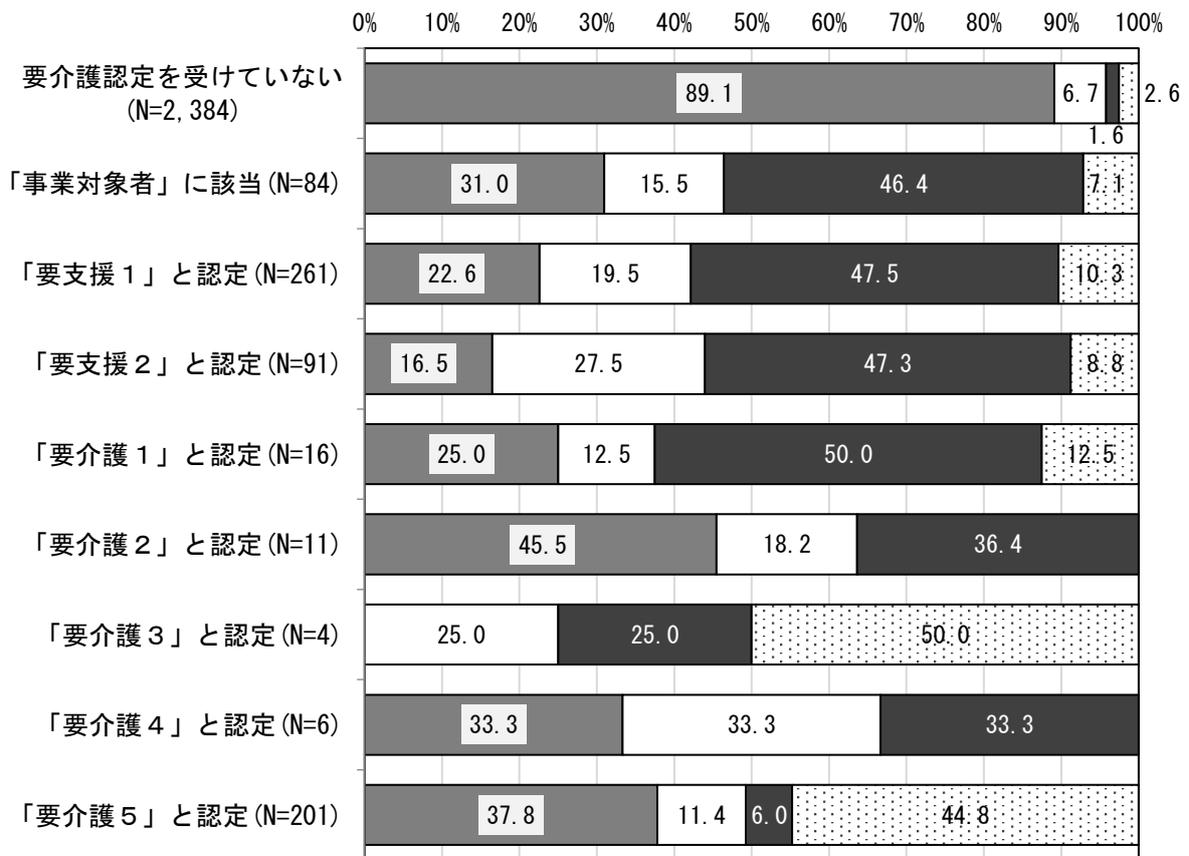


要介護認定の状況別に「介護の状況」をみると、64歳以下、65歳以上ともに「要介護認定を受けていない」と答えた方のほぼ9割は「介護は必要ない」となっている。一方、なんらかの認定を受けていると答えた方は、「介護を受けている」「何らかの介護は必要だが、現在は受けていない」を合わせた割合が概ね50%を超えている。

図表2-4-29 問4-10 介護の状況 × 問4-11 要介護（支援）認定を受けているか
【64歳以下】



図表2-4-30 問4-10 介護の状況 × 問4-11 要介護（支援）認定を受けているか
【65歳以上】



- 介護は必要ない
- 何らかの介護は必要だが、現在は受けていない
- 介護を受けている
- 無回答

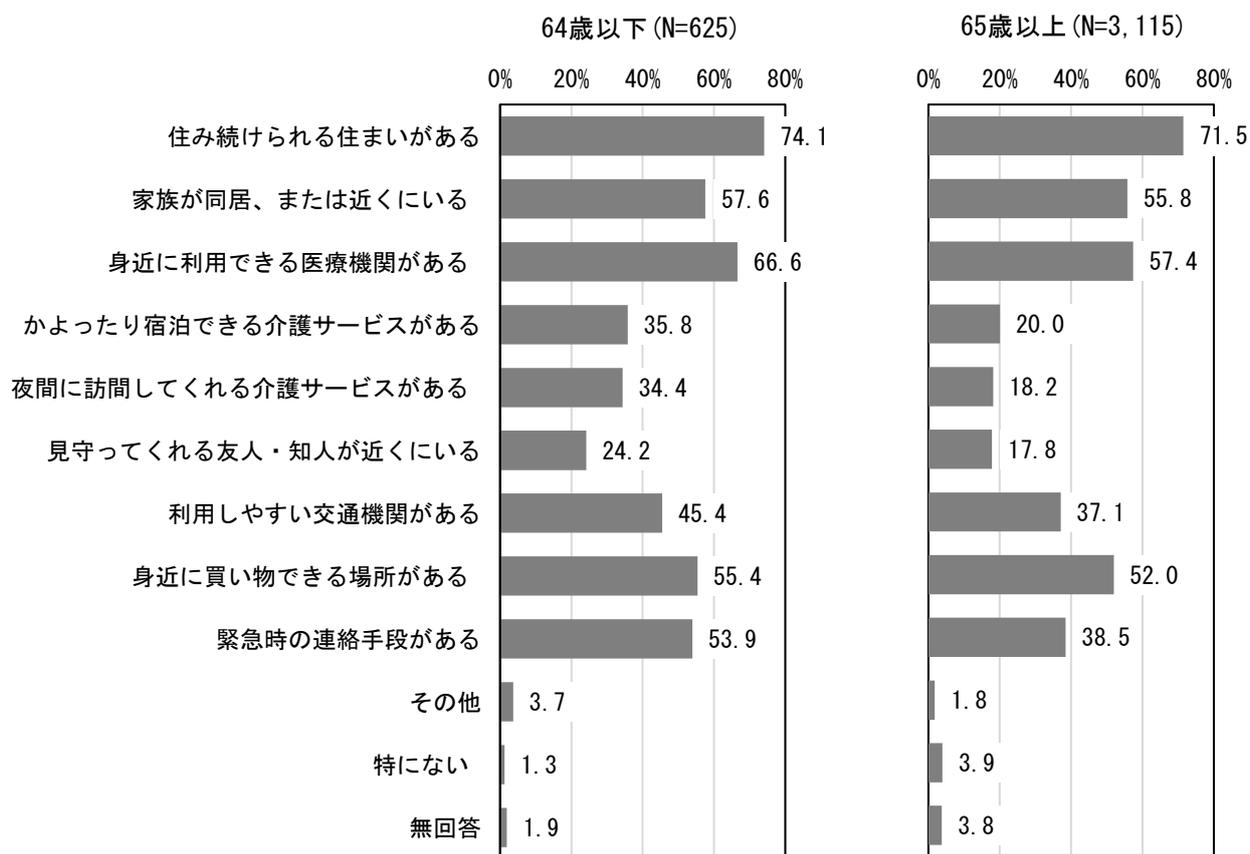
問4-12 介護が必要になった場合、在宅生活に何が必要か

[複数回答]

介護が必要になっても、在宅で暮らし続けるためには何が必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

介護が必要になったとき、在宅で暮らし続けるためには何が必要かについてたずねたところ、64歳以下・65歳以上共に「住み続けられる住まいがある」が最も多く、64歳以下は74.1%、65歳以上は71.5%となっている。次いで、64歳以下は「身近に利用できる医療機関がある」(66.6%)、「家族が同居、または近くにいる」(57.6%)となっており、65歳以上は、「身近に利用できる医療機関がある」(57.4%)、「家族が同居、または近くにいる」(55.8%)となっている。

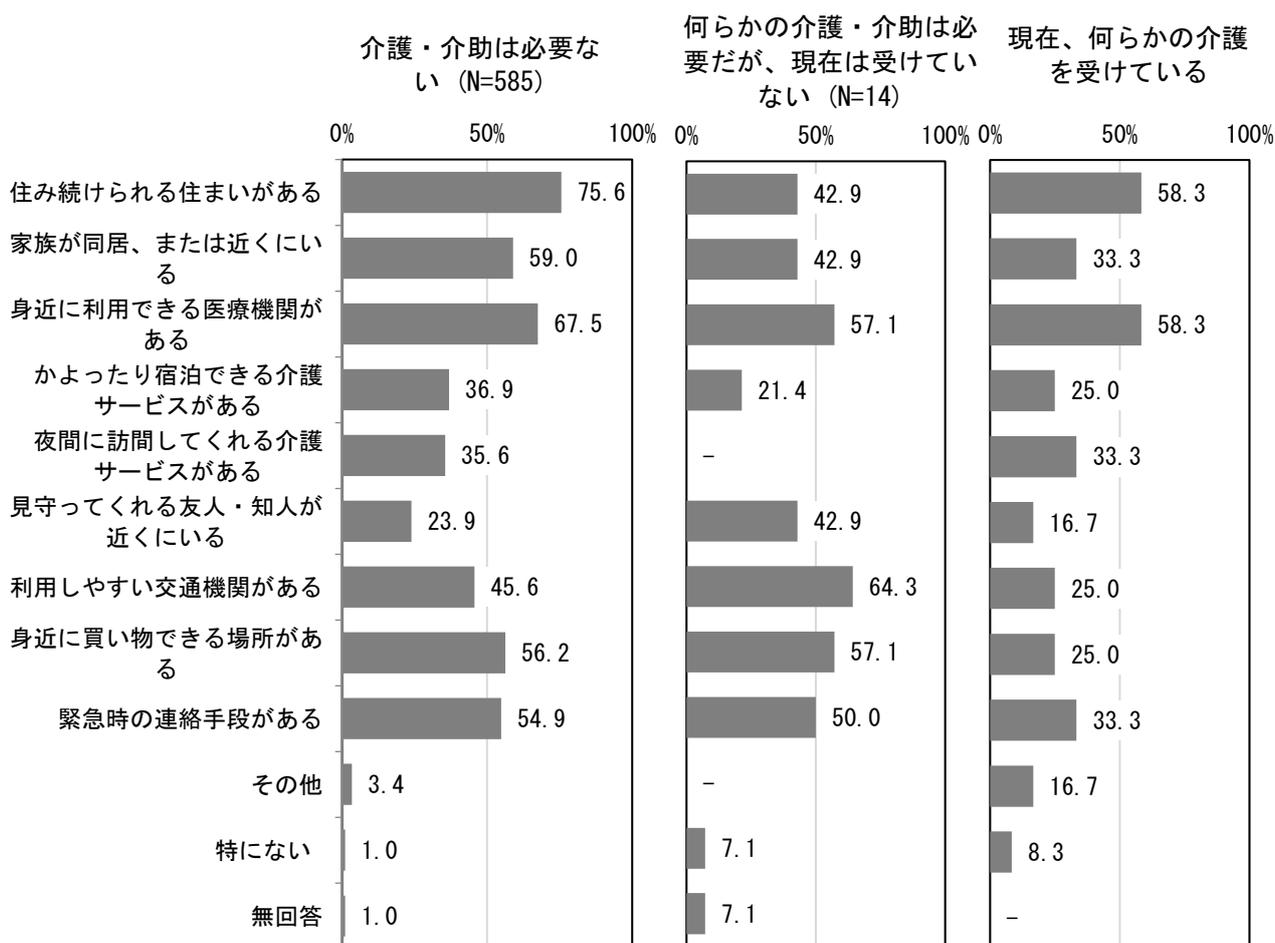
図表2-4-31 問4-12 介護が必要になった場合、在宅生活に何が必要か



64歳以下、65歳以上で介護の状況別にみると、「住み続けられる住まいがある」が最も高くなっており、64歳以下の「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」だけが「利用しやすい交通機関がある」が最も高くなっている。

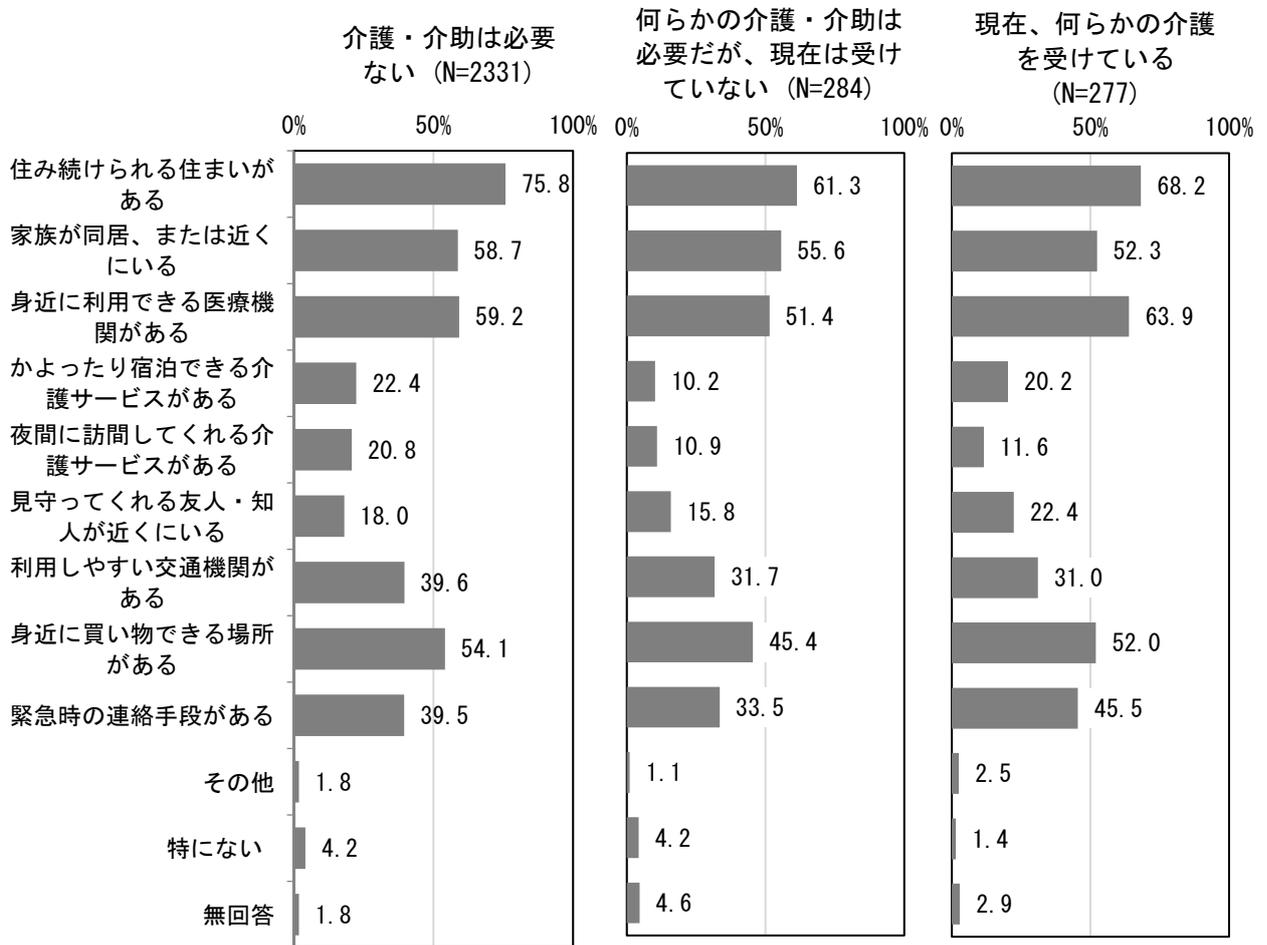
図表 2-4-32 問 4-12 介護が必要になった場合、在宅生活に何が必要か

× 問 4-10 介護を受けているか 【64歳以下】



図表 2-4-33 問 4-12 介護が必要になった場合、在宅生活に何が必要か ×

問 4-10 介護を受けているか 【65 歳以上】



2. 5 生活状況について

問5-1 身長・体重

身長と体重を教えてください。

身長と体重をたずねたところ、65歳以上の男性の身長は平均165.5cm、体重は64.5kgとなっており、女性は身長が152.0cm、体重が52.4kgとなっていた。一方、平成29年の国民健康・栄養調査身長・体重平均値は、男性の身長が166.6cm、体重が65.9kgとなっており、女性は身長が153.1cm、体重が54.5kgとなっていた。

図表 2-5-1 問5-1 身長・体重 平均値【65歳以上】

		身長(cm)		体重(kg)	
		人数	平均値	人数	平均値
男性	全体	1,247	165.5	1245	64.5
	満65～69歳	349	167.8	348	66.6
	満70～74歳	362	166.0	361	65.4
	満75～79歳	258	164.0	258	62.9
	満80～84歳	167	163.6	167	62.8
	満85～89歳	83	163.9	83	60.6
	満90～94歳	24	160.4	24	62.1
	満95歳以上	4	160.3	4	62.5
女性	全体	1657	152.0	1649	52.4
	満65～69歳	421	154.4	421	54.3
	満70～74歳	445	152.7	443	52.6
	満75～79歳	337	151.4	333	52.1
	満80～84歳	247	150.7	247	52
	満85～89歳	144	149.3	142	50.5
	満90～94歳	40	147.0	40	47.5
	満95歳以上	23	144.3	23	42.6

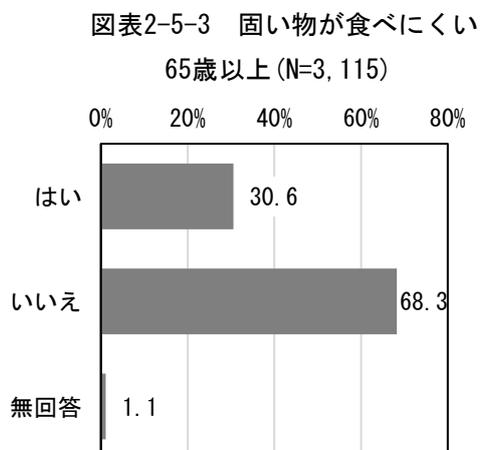
図表 2-5-2 【参考】平成 29 年国民健康・栄養調査 身長・体重平均値

		身長(cm)		体重(kg)	
		人数	平均値	人数	平均値
男性	満 65～69 歳	281	166.6	281	65.9
	満 70～74 歳	269	164.4	269	63.2
	満 75～79 歳	214	162.4	214	62.5
	満 80 歳以上	214	160.2	214	59
女性	満 65～69 歳	316	153.1	314	54.5
	満 70～74 歳	342	150.7	342	52.4
	満 75～79 歳	256	149.4	256	51.6
	満 80 歳以上	276	146.3	275	48.7

問 5-2 食べにくさ

半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

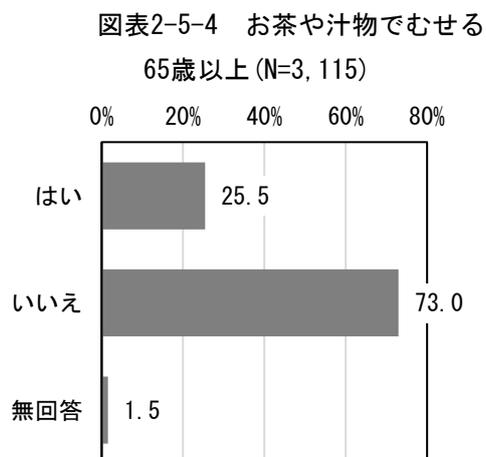
半年前と比較した固いものの食べにくさがあるかをたずねたところ、「はい」が 30.6%、「いいえ」が 68.3%となっている。



問5-3 水分でむせるか

お茶や汁物等でむせることがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

お茶や汁物等でむせることがあるかをたずねたところ、「はい」が25.5%、「いいえ」が73.0%となっている。

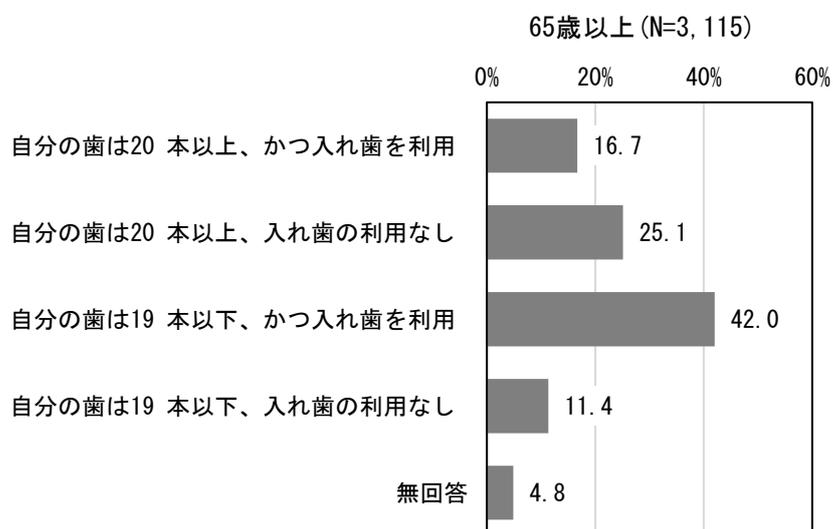


問5-4 歯

歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。あてはまるもの1つに○をつけてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

歯の数と入れ歯の利用状況についてたずねたところ、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(42.0%)が最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」(25.1%)、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(16.7%)となっている。

図表2-5-5 歯の状態



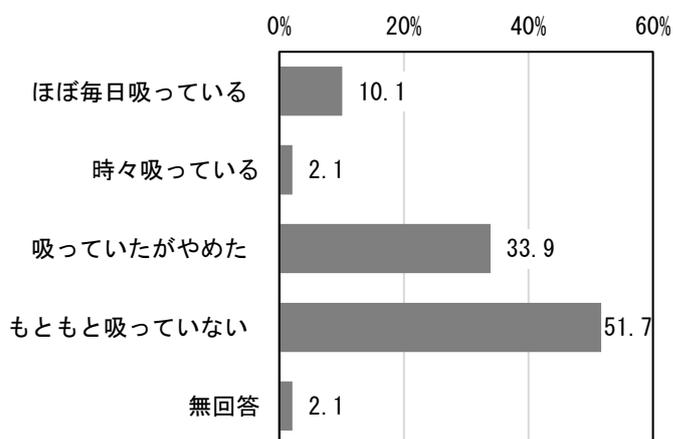
問5-5 喫煙の有無

タバコは吸っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

喫煙の有無についてたずねたところ、「もともと吸っていない」(51.7%)が最も多く、次いで「吸っていたがやめた」(33.9%)、「ほぼ毎日吸っている」(10.1%)となっている。

図表2-5-6 喫煙の有無

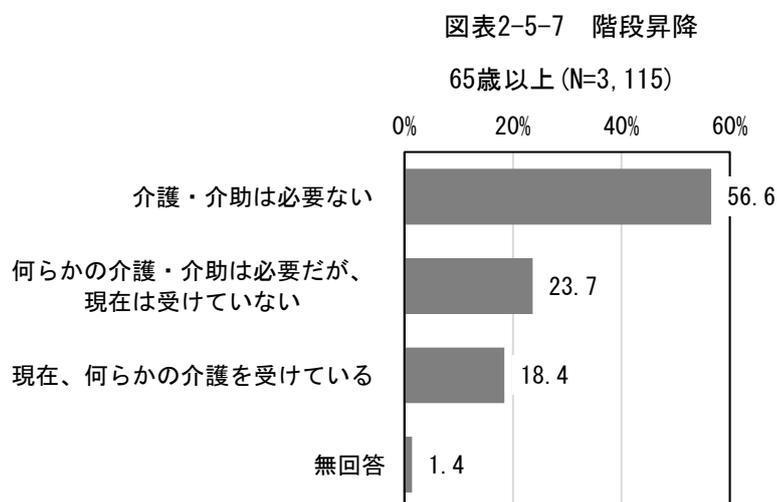
65歳以上 (N=3,115)



問5-6 階段昇降

階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

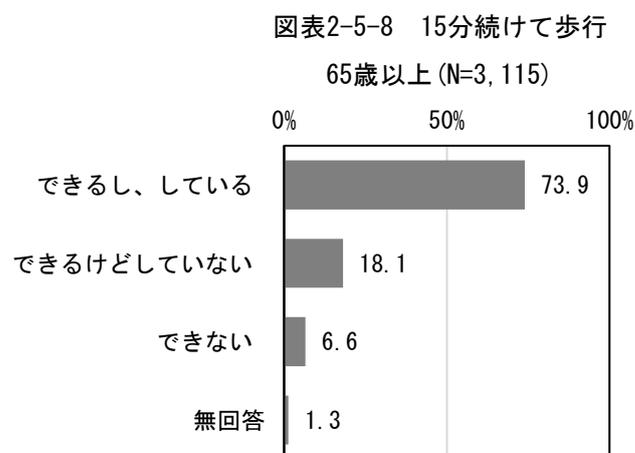
階段昇降が手すりや壁を伝わずにできるかをたずねたところ、「介護・介助は必要ない」(56.6%)が最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」(23.7%)、「現在、何らかの介護を受けている」(18.4%)となっている。



問5-7 連続歩行時間

15分位続けて歩いていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

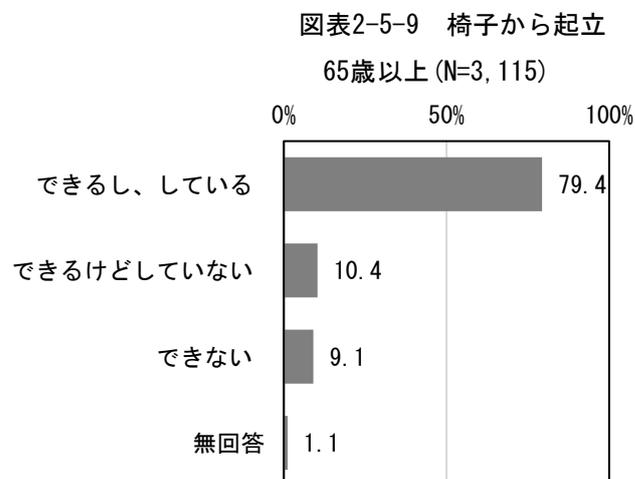
15分位続けて歩いているかをたずねたところ、「できるし、している」(73.9%)が最も多く、次いで「できるけどしていない」(18.1%)、「できない」(6.6%)となっている。



問5-8 椅子からの立ち上がり

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

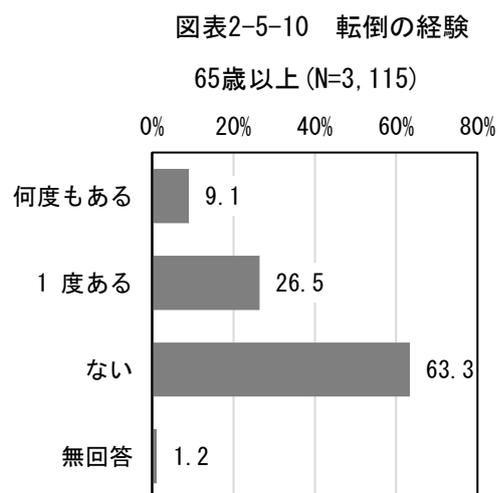
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかをたずねたところ、「できるし、している」(79.4%)が最も多く、次いで「できるけどしていない」(10.4%)、「できない」(9.1%)となっている。



問5-9 転倒経験の有無について

過去1年間に転んだ経験がありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

過去1年間に転んだことがあるかをたずねたところ、「何度もある」が9.1%、「1度ある」が26.5%、「ない」が63.3%となっている。



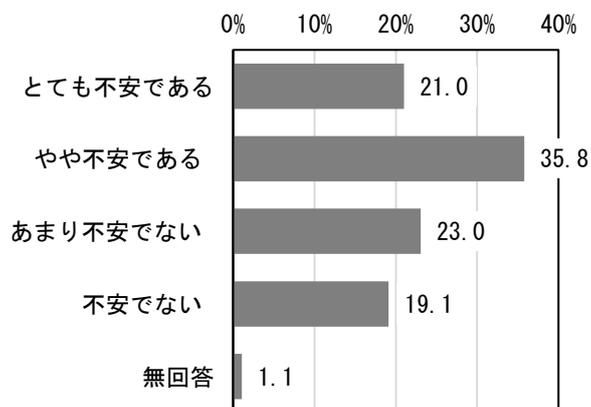
問5-10 転倒に対する不安について

転倒に対する不安は大きいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

転倒に対する不安は大きいかをたずねたところ、「とても不安である」と「やや不安である」が合わせて56.8%、「あまり不安でない」と「不安でない」を合わせて42.1%となっている。

図表2-5-11 転倒の不安

65歳以上 (N=3,115)



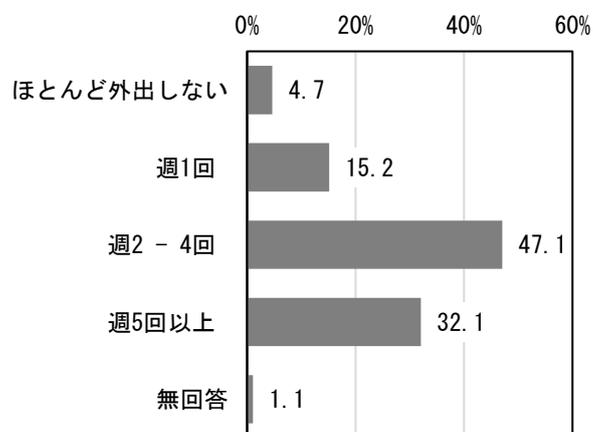
問5-11 外出頻度について

週に1回以上は外出していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

週に1回以上は外出しているかをたずねたところ、「週2-4回」(47.1%)が最も多く、次いで「週5回以上」(32.1%)、「週1回」(15.2%)となっている。

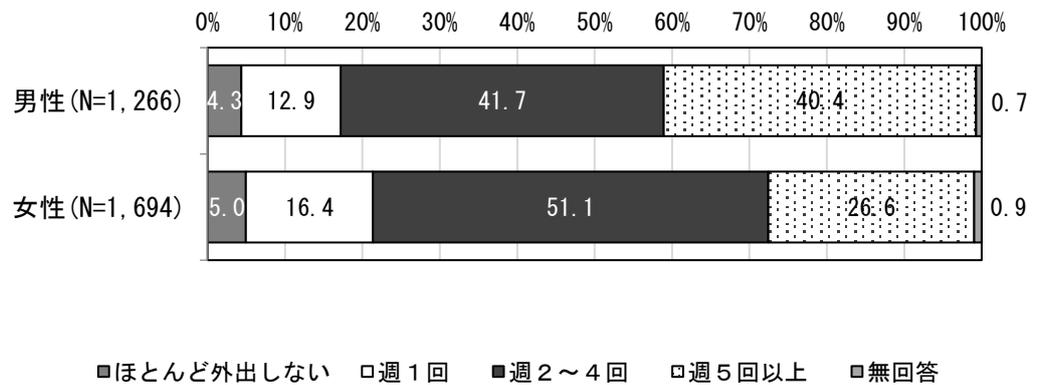
図表2-5-12 外出頻度

65歳以上 (N=3,115)



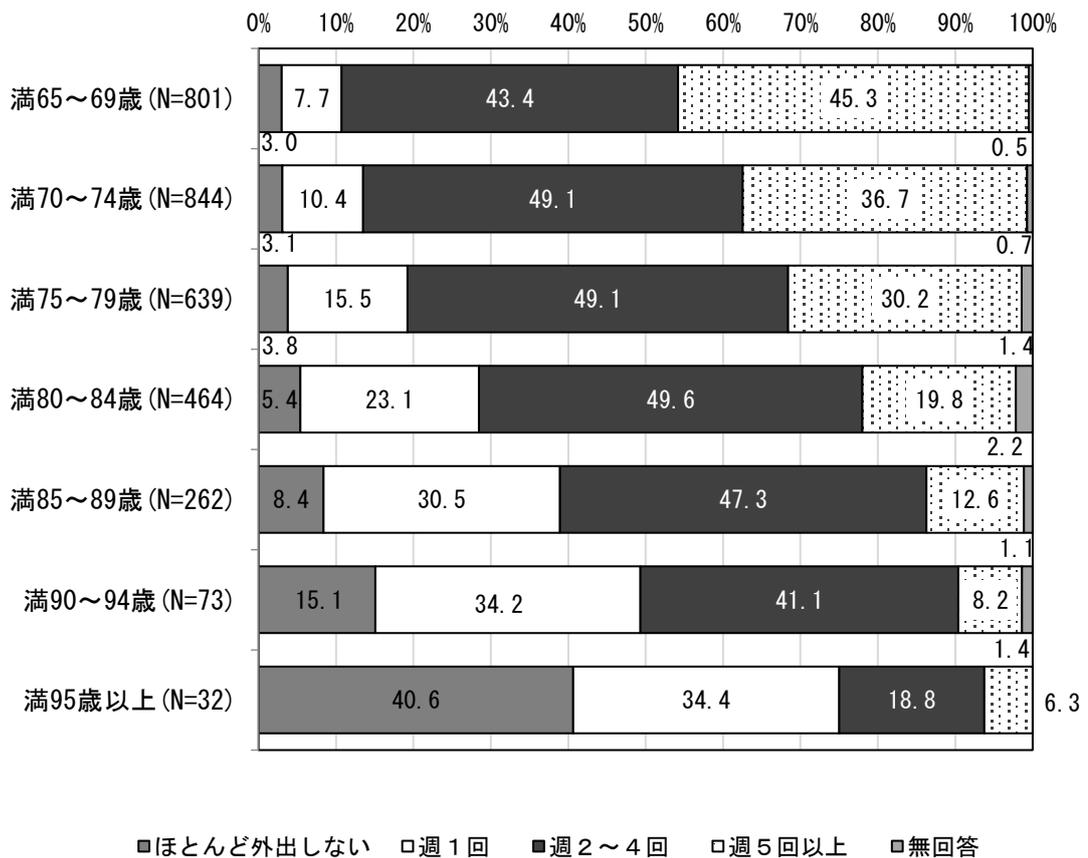
男女別にみると、男性・女性ともに「週2～4回」が最も高く、男性は41.7%、女性は51.1%となっている。次いで「週5回以上」が高く、男性は40.4%、女性は26.6%となっている。

図表2-5-13 問5-11 外出頻度 × 問1-3 性別 【65歳以上】



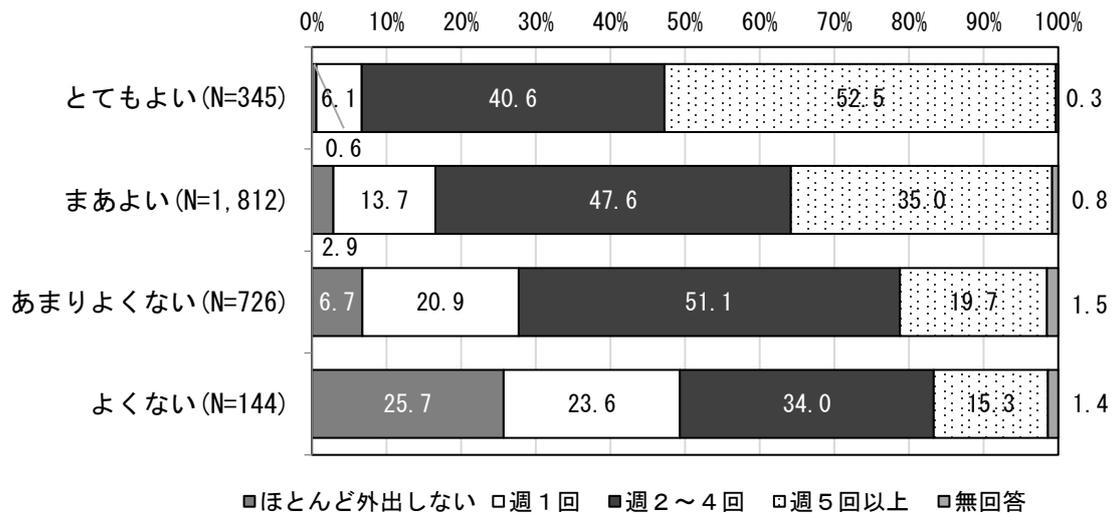
年齢別にみると、年齢層が高いほど「ほとんど外出しない」とする割合が高い傾向にあり、満95歳以上は、40.6%となっている。

図表2-5-14 問5-11 外出頻度 × 問1-4 年齢 【65歳以上】



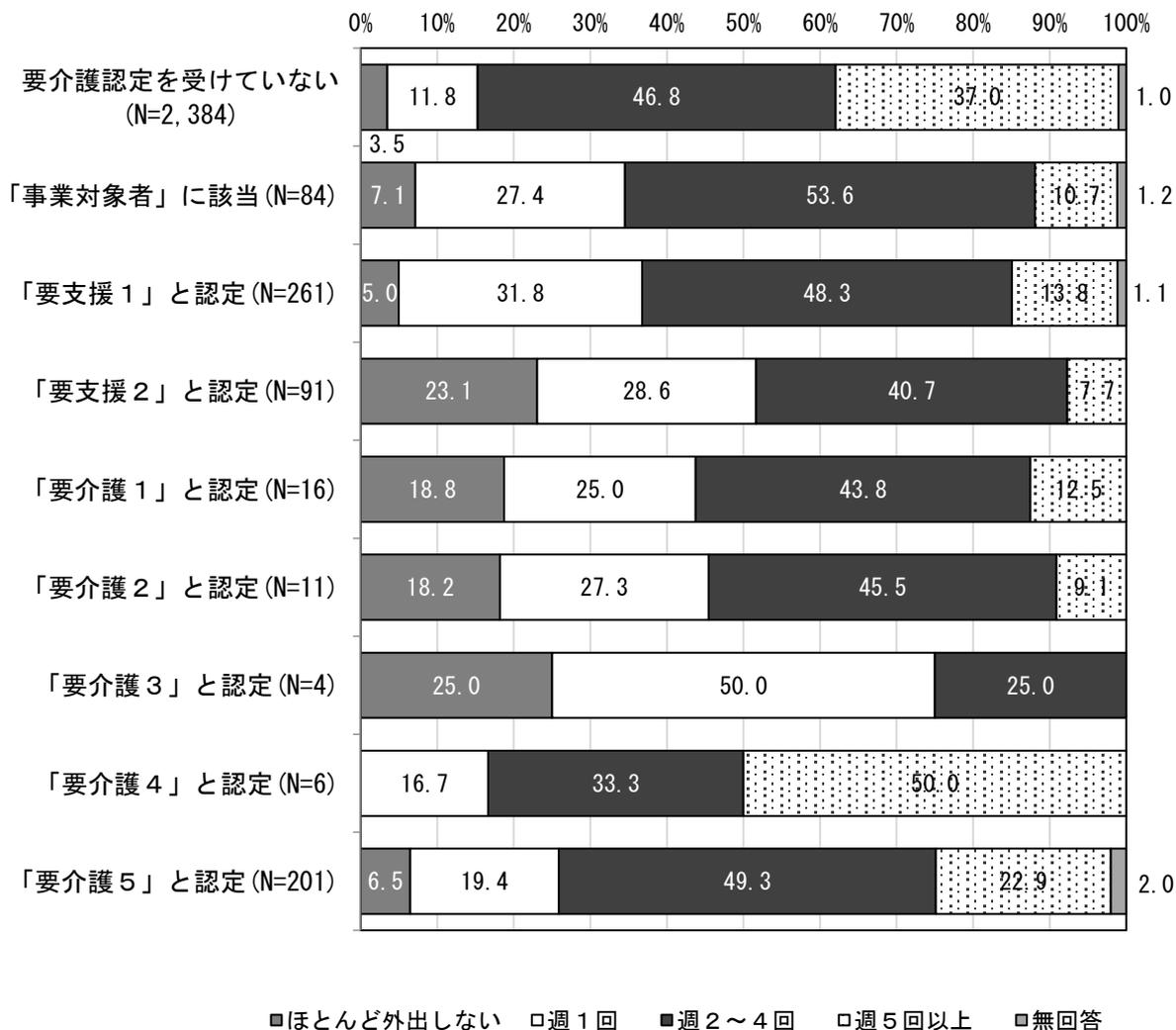
主観的健康観別に見ると、「とてもよい」は週5回以上外出する割合が52.5%と半数以上を占めており、「まあよい」(47.6%)・「あまりよくない」(51.1%)「よくない」(34.0%)は週2～4回が最も高くなっている。

図表2-5-15 問5-11 外出頻度 × 問4-1 主観的健康感 【65歳以上】



65 歳以上で要介護認定の状況別に外出頻度をみると、全ての要介護認定で週 1 回以上外出している人が約 7 割以上となっている。

図表2-5-16 問5-11 外出頻度 × 問4-11 要介護認定 【65歳以上】

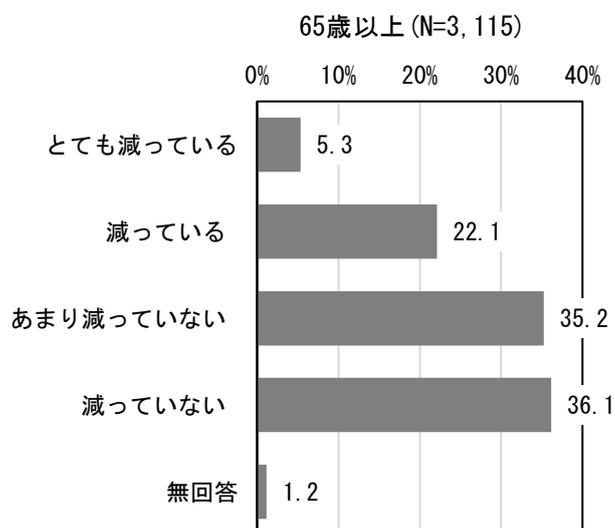


問5-12 昨年と比較した外出頻度について

昨年と比べて外出回数が減っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

昨年と比べて外出回数が減っているかをたずねたところ、「とても減っている」と「減っている」が合わせて27.4%、「あまり減っていない」と「減っていない」が合わせて71.3%となっている。

図表2-5-17 外出回数の減少



問5-13 外出時の移動手段について

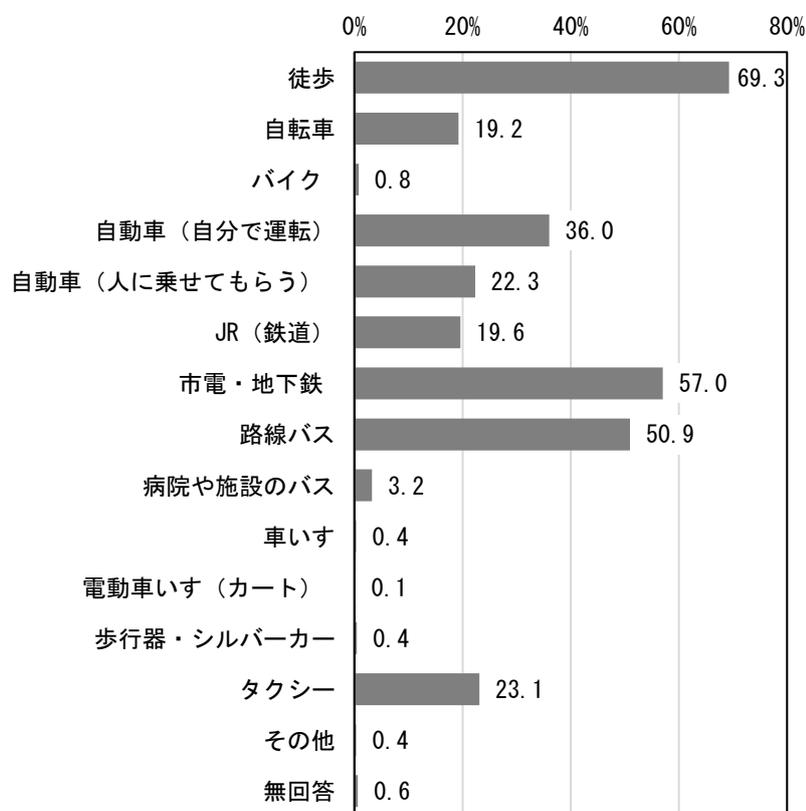
【複数回答】

外出する際の移動手段は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

外出する際の移動手段についてたずねたところ、「徒歩」(69.3%)が最も多く、次いで「市電・地下鉄」(57.0%)、「路線バス」(50.9%)となっている。

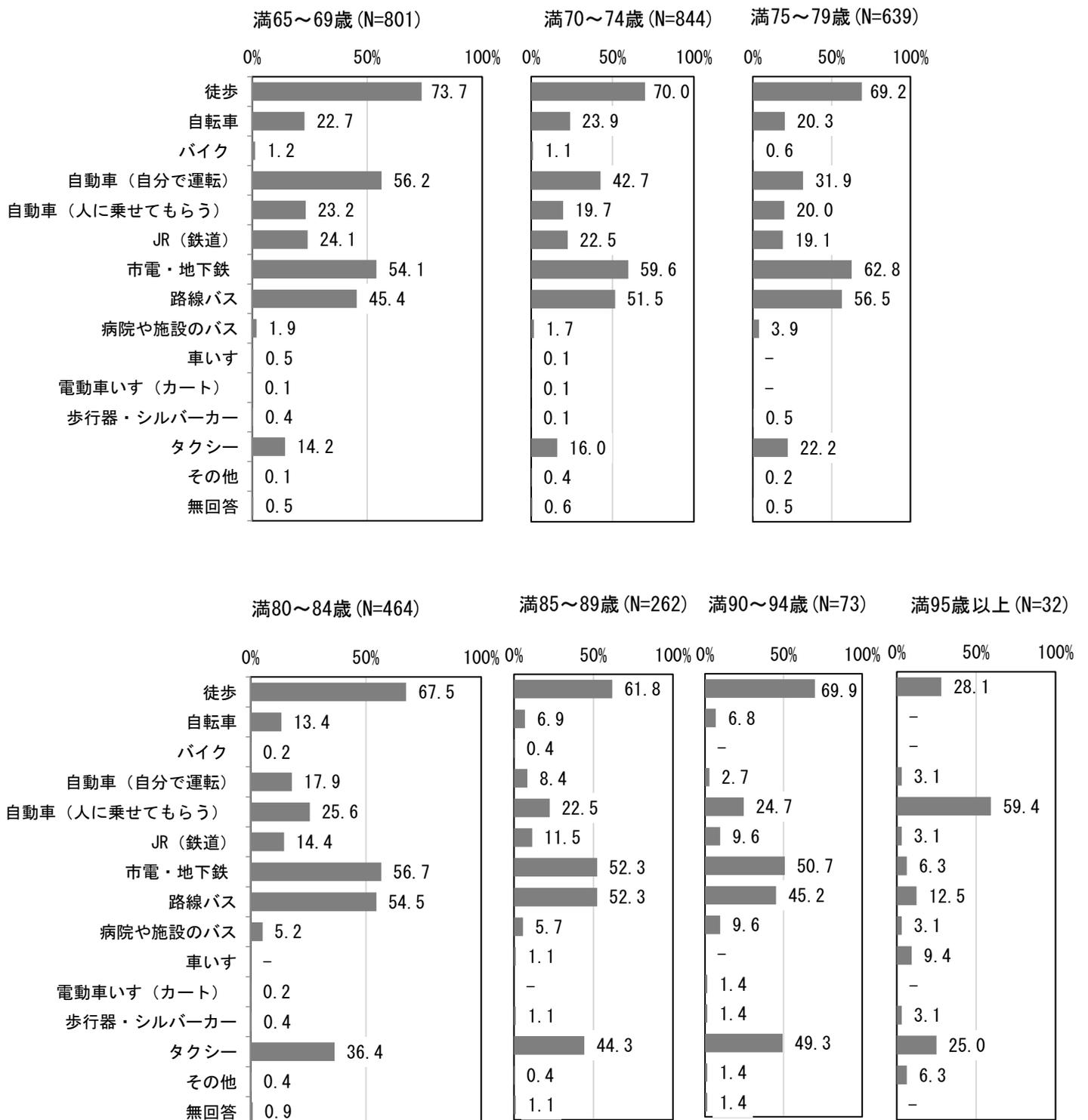
図表2-5-18 外出時の移動手段

65歳以上(N=3,115)



年齢別にみると、満65～94歳は「徒歩」が最も高くなっており、満95歳以上は「自動車(人に乗せてもらう)」(62.8%)が最も高くなっている。

図表 2-5-19 問 5-13 外出の移動手段 × 問 1-4 年齢

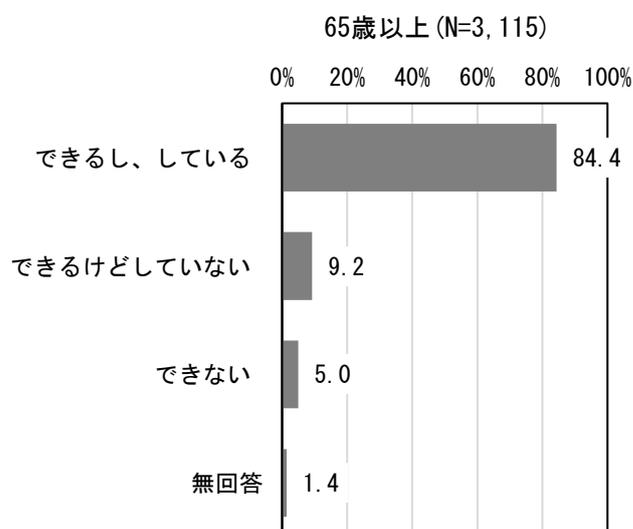


問5-14 1人での外出について

バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。あてはまるもの1つに○をつけてください。

バスや電車を使って1人で外出しているかをたずねたところ、「できるし、している」(84.4%)が最も多く、次いで「できるけどしていない」(9.2%)、「できない」(5.0%)となっている。

図表2-5-20 交通機関や車での一人外出

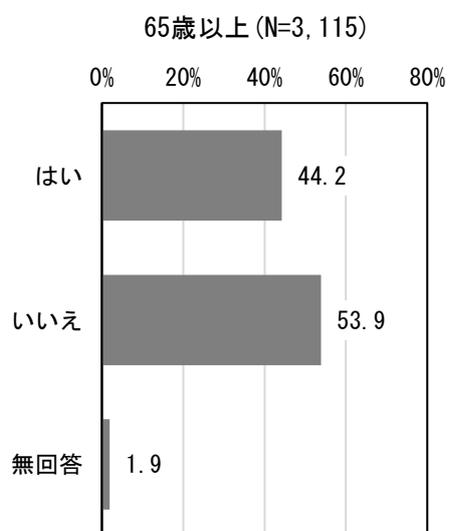


問5-15 物忘れについて

物忘れが多いと感じますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

物忘れが多いと感じるかをたずねたところ、「はい」が44.2%、「いいえ」が53.9%となっている。

図表2-5-21 物忘れが多いか



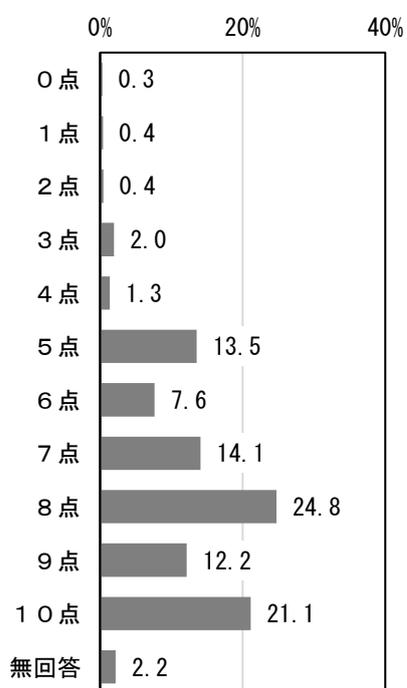
問5-16 幸福度について

【複数回答】

あなたは、現在どの程度幸せですか。

現在の幸福度についてたずねたところ、「8点」(24.8%)が最も多く、次いで「10点」(21.1%)、「7点」(14.1%)となっている。

図表2-5-22 幸福度
65歳以上(N=3,115)

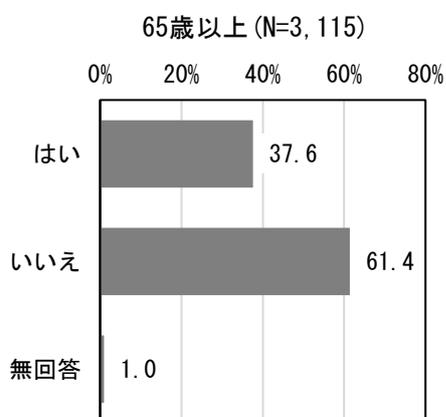


問5-17 気分について

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかをたずねたところ、「はい」が37.6%、「いいえ」が61.4%となっている。

図表2-5-23 ゆううつな気分があるか

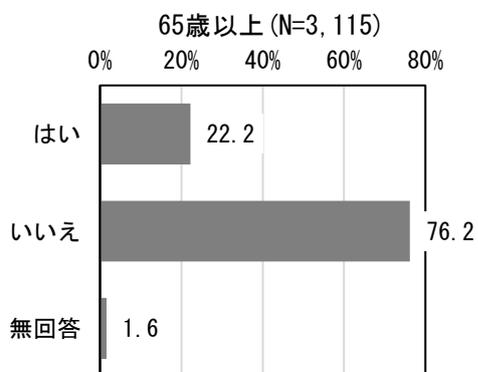


問5-18 物事への興味関心の喪失について

この1か月間、どうしても物事に興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

この1か月間、どうしても物事に興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかをたずねたところ、「はい」が22.2%、「いいえ」が76.2%となっている。

図表2-5-24 物事への興味関心の喪失

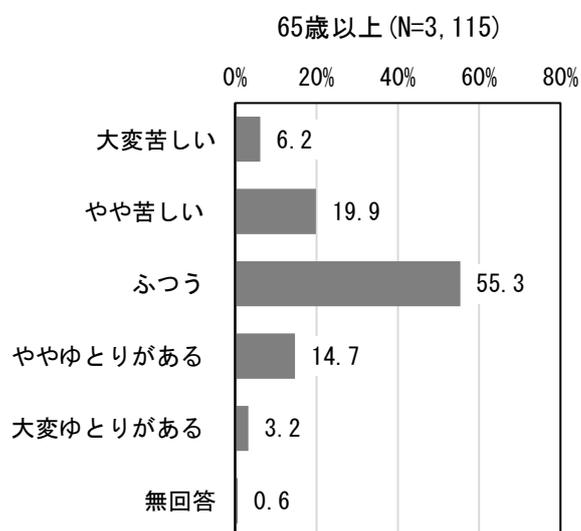


問5-19 経済的余裕

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

現在の経済的な暮らしの状況についてたずねたところ、「ふつう」(55.3%)が最も多く、次いで「やや苦しい」(19.9%)、「ややゆとりがある」(14.7%)となっている。

図表2-5-25 経済的余裕

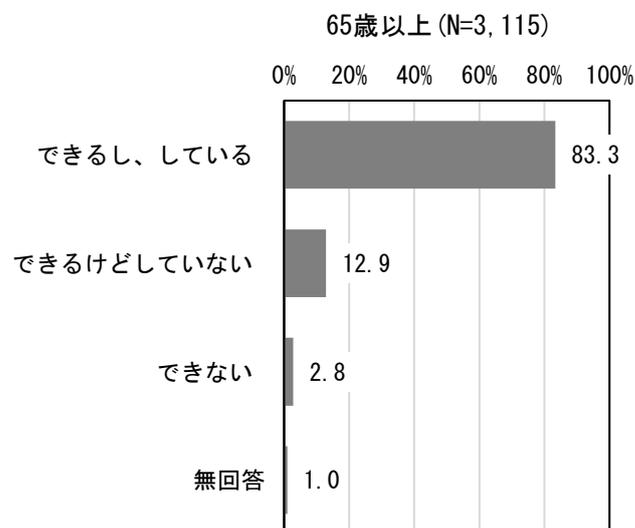


問5-20 請求書の支払いについて

自分で請求書の支払いをしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

自分で請求書の支払いをしているかをたずねたところ、「できるし、している」(83.3%)が最も多く、次いで「できるけどしていない」(12.9%)、「できない」(2.8%)となっている。

図表2-5-26 請求書の支払い

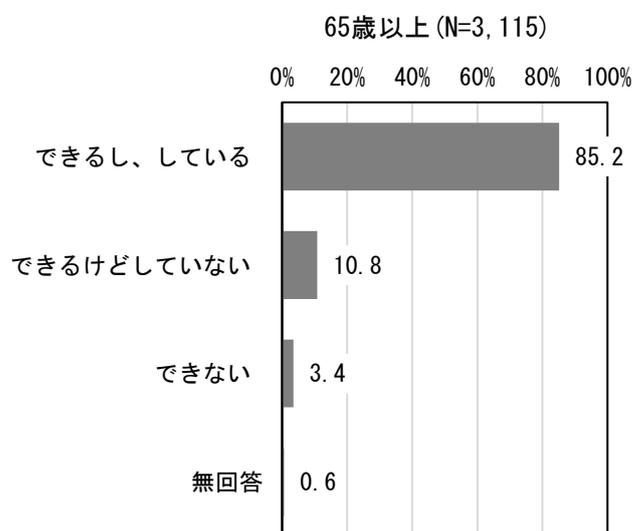


問5-2 1 預貯金の出し入れについて

自分で預貯金の出し入れをしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

自分で預貯金の出し入れをしているかをたずねたところ、「できるし、している」(85.2%)が最も多く、次いで「できるけどしていない」(10.8%)、「できない」(3.4%)となっている。

図表2-5-27 預貯金の出し入れ



問5-22 食品・日用品の買い物について

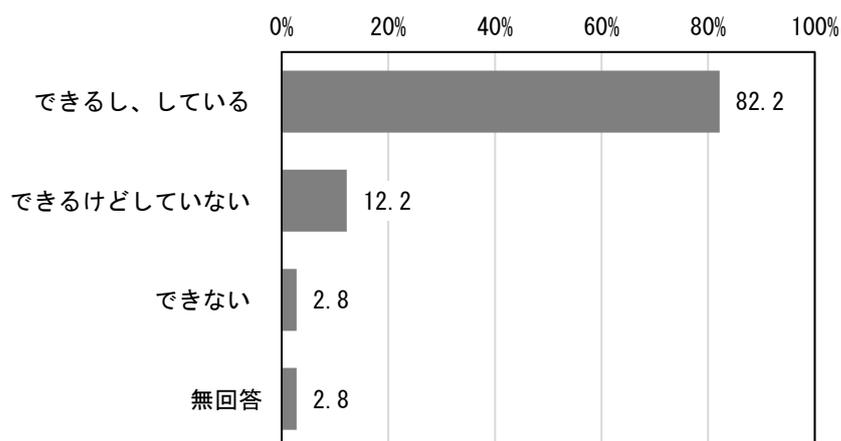
(1) 買い物に自分で行くか

自分で食品・日用品の買い物をしていますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

自分で預貯金の出し入れをしているかをたずねたところ、「できるし、している」(82.2%) が最も多く、次いで「できるけどしていない」(12.2%)、「できない」(2.8%) となっている。

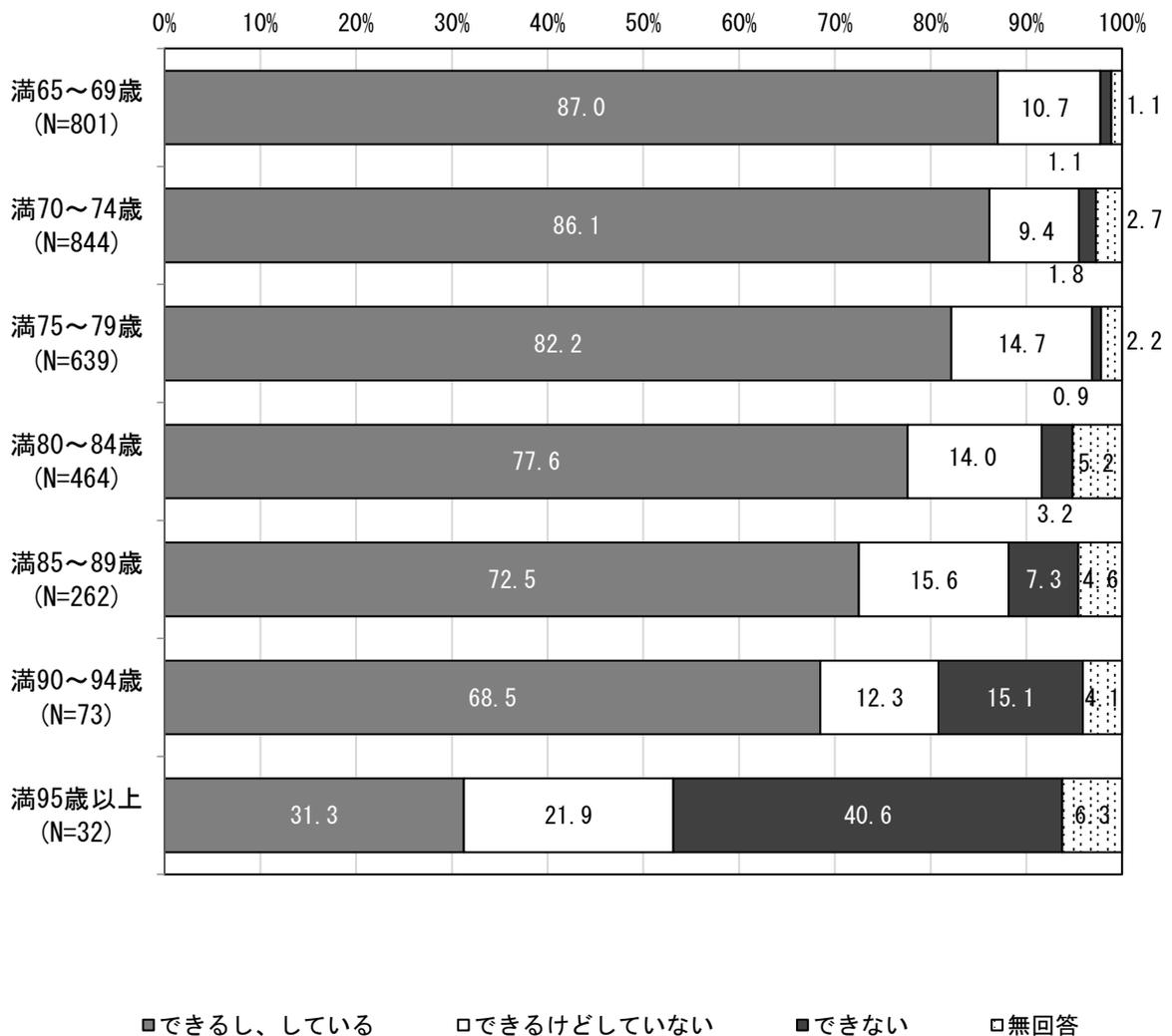
図表2-5-28 買い物に自分で行くか

65歳以上 (N=3,115)

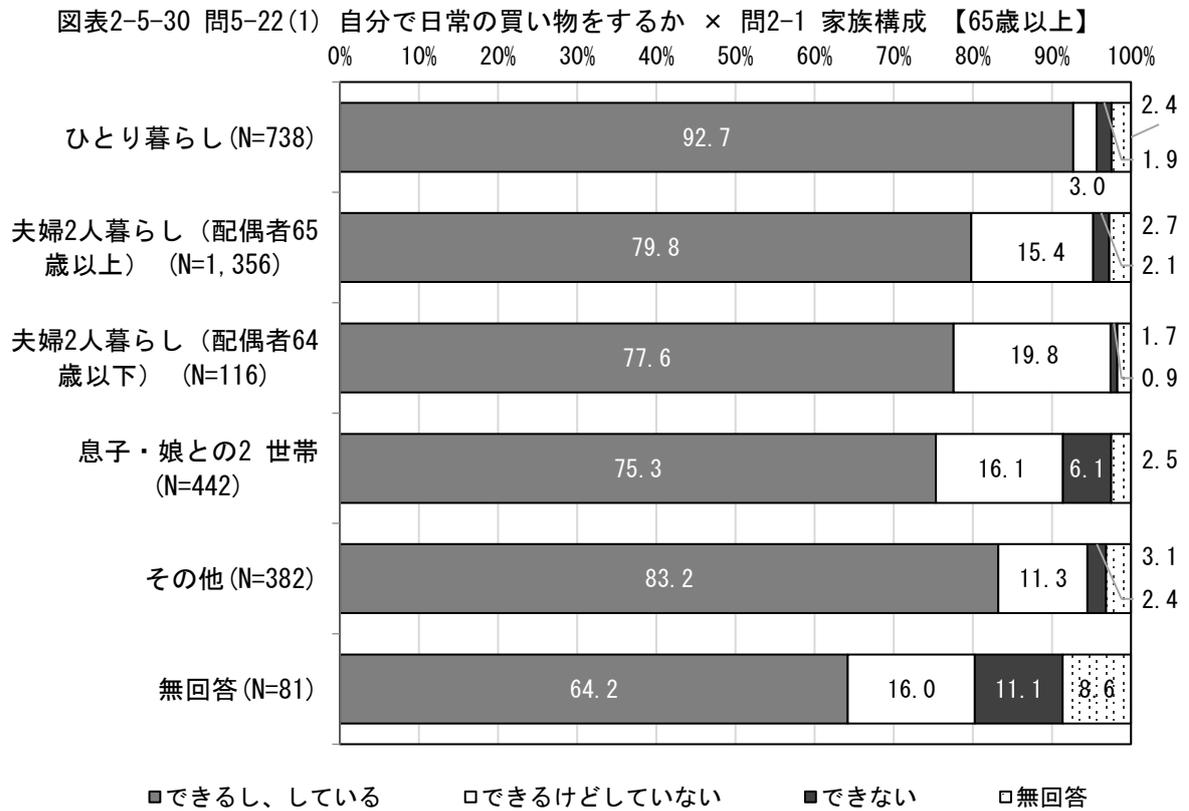


年齢別にみると、満 65～94 歳は「できるし、している」が半数以上と最も高くなっており、満 95 歳以上は「できない」(40.6%) が最も高くなっている。

図表2-5-29 問5-22(1) 主に日常の買い物をする人 × 問1-4 年齢 【65歳以上】



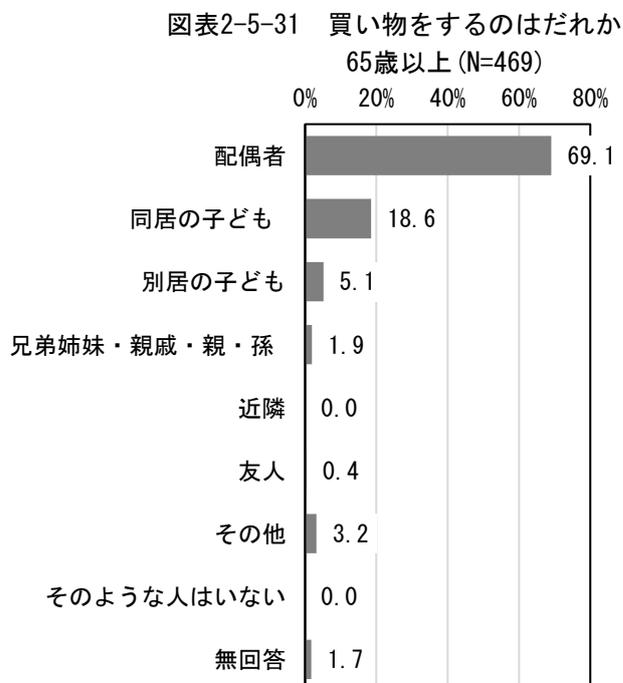
家族構成別にみると、全ての世帯において「できるし、している」が最も高くなっている。息子・娘との2世帯では、「できない」が6.1%となっている。



(2) 買い物をするのはだれか

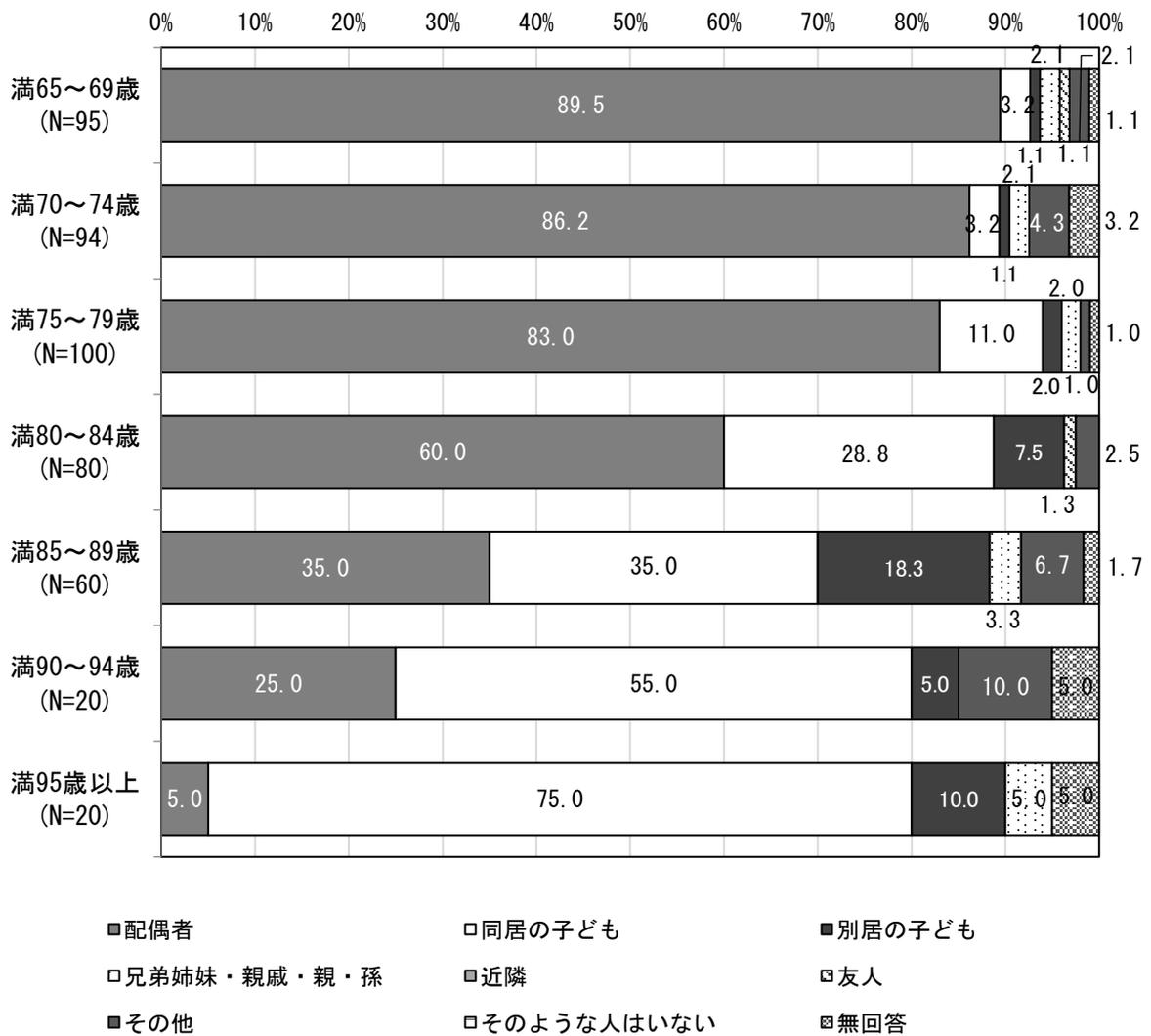
(1) で「2.」「3.」と答えた方にお聞きします。主に日常の買い物をを行うのはどなたですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

主に日常の買い物をを行うのは誰かをたずねたところ、「配偶者」(69.1%)が最も多く、次いで「同居の子ども」(18.6%)、「別居の子ども」(5.1%)となっている。



年齢別にみると、満65～84歳は「配偶者」が半数以上と最も高くなっており、満85歳～89歳は「配偶者」と「同居の子ども」が35.0%と最も高く、満90歳以上は「同居の子ども」が半数以上と最も高くなっている。

図表2-5-32 問5-22(2) 主に日常の買い物をする人 × 問1-4 年齢【65歳以上】



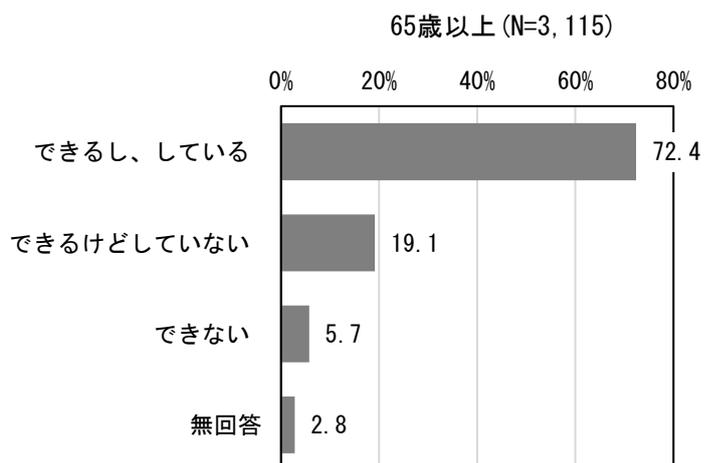
問5-23 食事の用意について

(1) 食事支度を自分で行うか

すべての方にお聞きします。自分で食事の用意をしていますか。あてはまるものに○をつけてください。

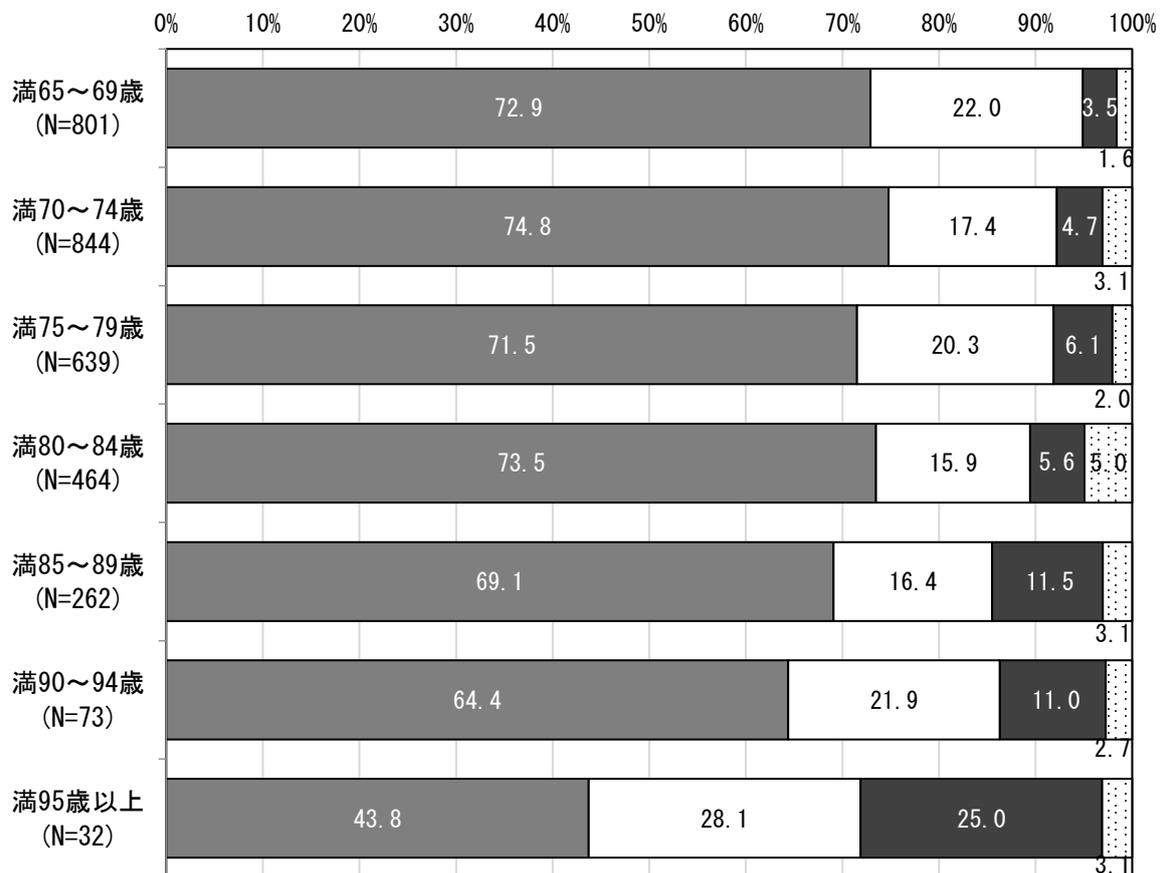
自分で食事の用意をしているかをたずねたところ、「できるし、している」(72.4%)が最も多く、次いで「できるけどしていない」(19.1%)、「できない」(5.7%)となっている。

図表2-5-33 食事支度を自分で行うか



年齢別にみると、84歳以下において「できるし、している」が7割以上となっている。一方、85歳以上では3割以上が「していない」となっている。

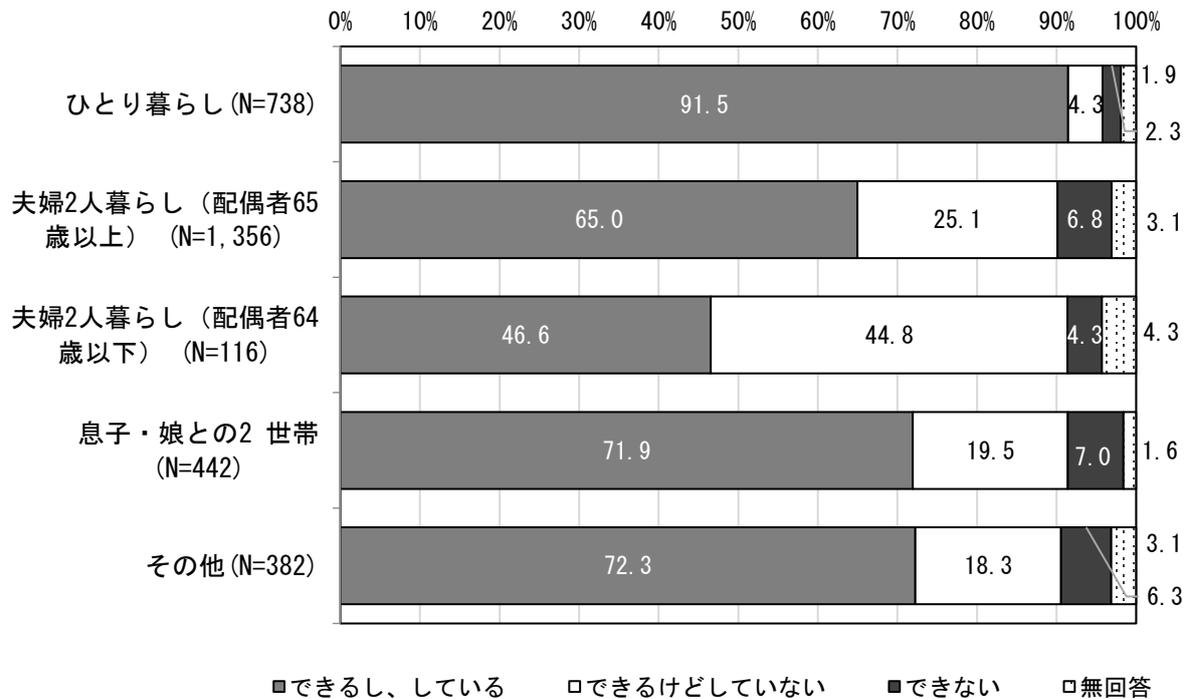
図表2-5-34 問5-23(1) 主に食事を用意する人 × 問1-4 年齢 【65歳以上】



■できるし、している □できるけどしていない ■できない □無回答

家族構成別にみると、夫婦2人暮らしにおいて「できるし、している」の割合が低くなっている。

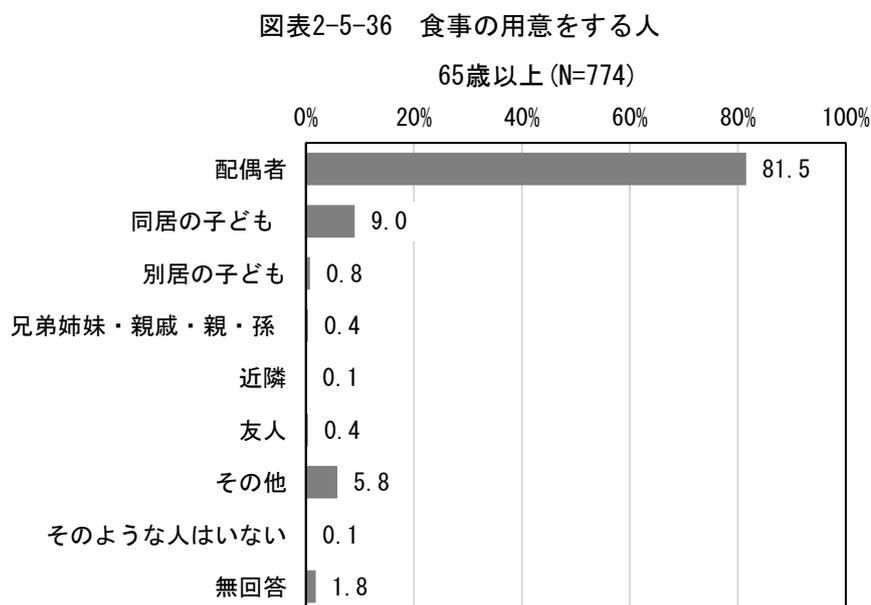
図表2-5-35 問5-23(1) 食事の用意を自分でするか × 問2-1 家族構成 【65歳以上】



(2) 食事の用意をする人

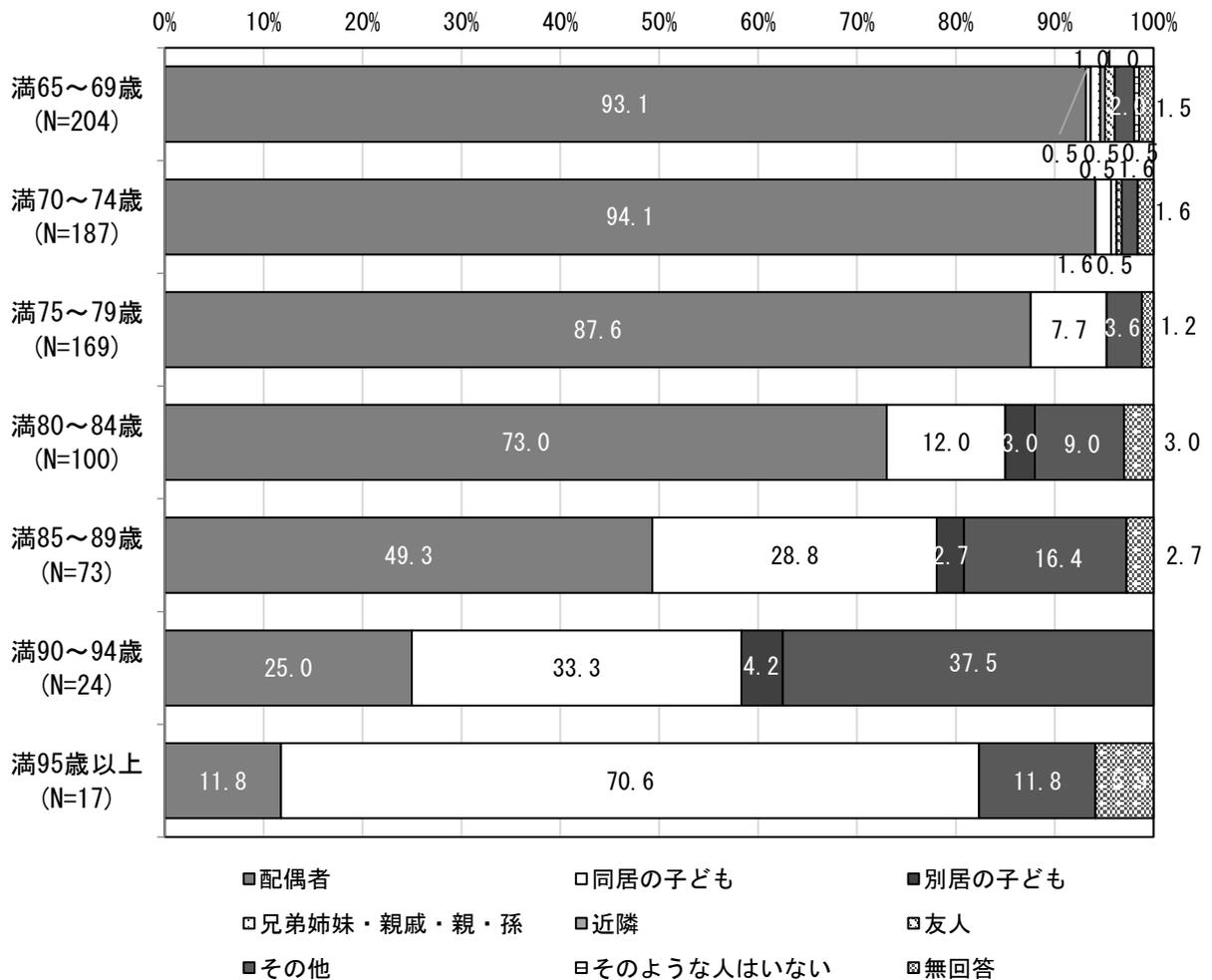
(1) で「2.」「3.」と答えた方にお聞きします。主に食事の用意をするのはどなたですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

主に食事の用意をする人をたずねたところ、「配偶者」(81.5%)が最も多く、次いで「同居の子ども」(9.0%)、「その他」(5.8%)となっている。



年齢別にみると、満65～89歳は「配偶者」が最も高くなっており、満90歳～94歳は「その他」(37.5%)と最も高く、満95歳以上は「同居の子ども」(70.6%)が最も高くなっている。

図表2-6-13 問5-23(2) 主に食事を用意する人 × 問1-4 年齢【65歳以上】

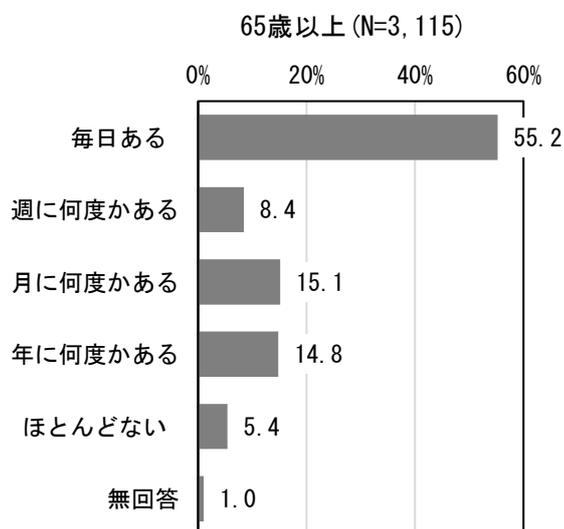


問5-24 誰かと食事をする頻度

すべての方にお聞きします。どなたかと食事をもつにする機会がありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

誰かと食事をもつにする機会があるかをたずねたところ、「毎日ある」(55.2%)が最も多く、次いで「月に何度かある」(15.1%)、「年に何度かある」(14.8%)となっている。

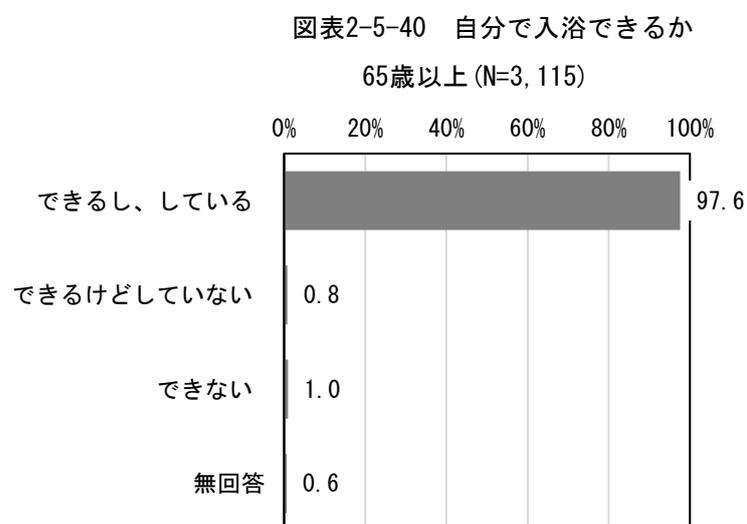
図表2-5-39 誰かと食事をする頻度



問5-25 自分で入浴できるか

自分でお風呂に入ったり、身体を清潔に保つことはできますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

自分でお風呂に入ったり、身体を清潔に保つことはできるかをたずねたところ、「できるし、している」が97.6%となっている。



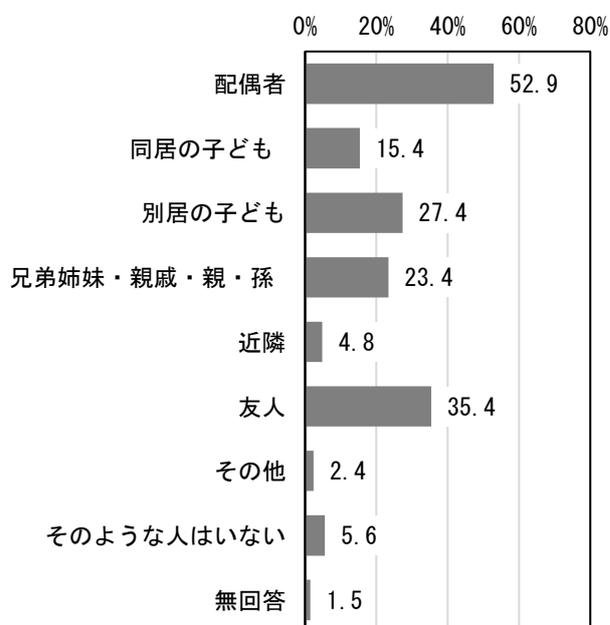
問5-26 愚痴を聞いてくれる相手

あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はどなたですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人は誰かをたずねたところ、「配偶者」（52.9%）が最も多く、次いで「友人」（35.4%）、「別居の子ども」（27.4%）となっている。

図表2-5-41 愚痴を聞いてくれる相手

65歳以上 (N=3,115)



問5-27 愚痴を聞いてあげる相手

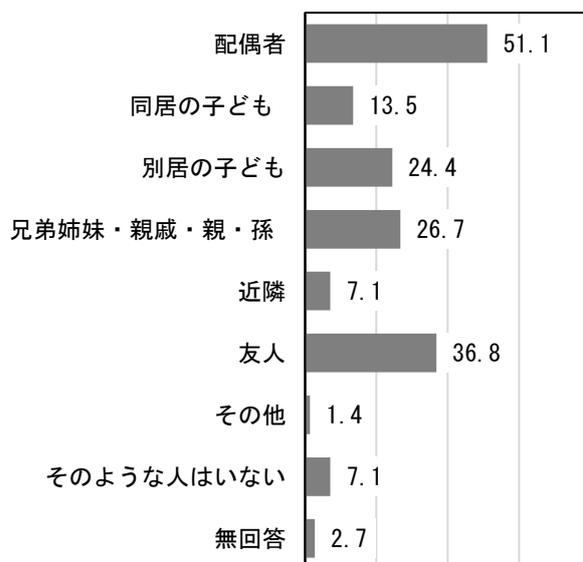
反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はどなたですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人は誰かをたずねたところ、「配偶者」（51.1%）が最も多く、次いで「友人」（36.8%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（26.7%）となっている。

図表2-5-42 愚痴を聞いてあげる相手

65歳以上 (N=3,115)

0% 20% 40% 60% 80%



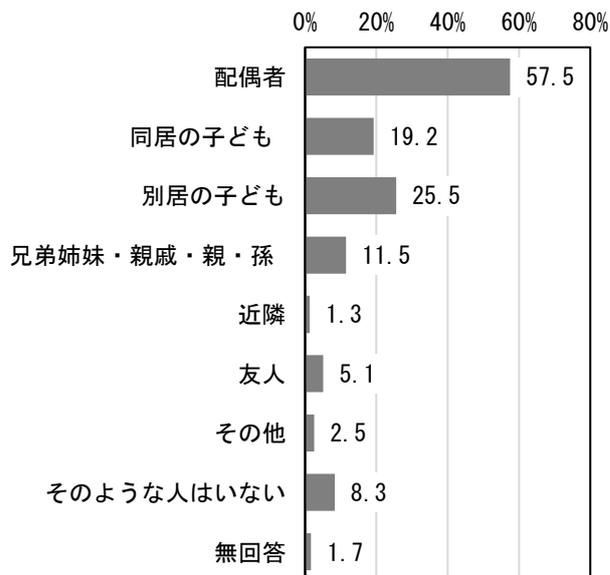
問5-28 看病してくれる人

あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は誰かをたずねたところ、「配偶者」(57.5%)が最も多く、次いで「別居の子ども」(25.5%)、「同居の子ども」(19.2%)となっている。

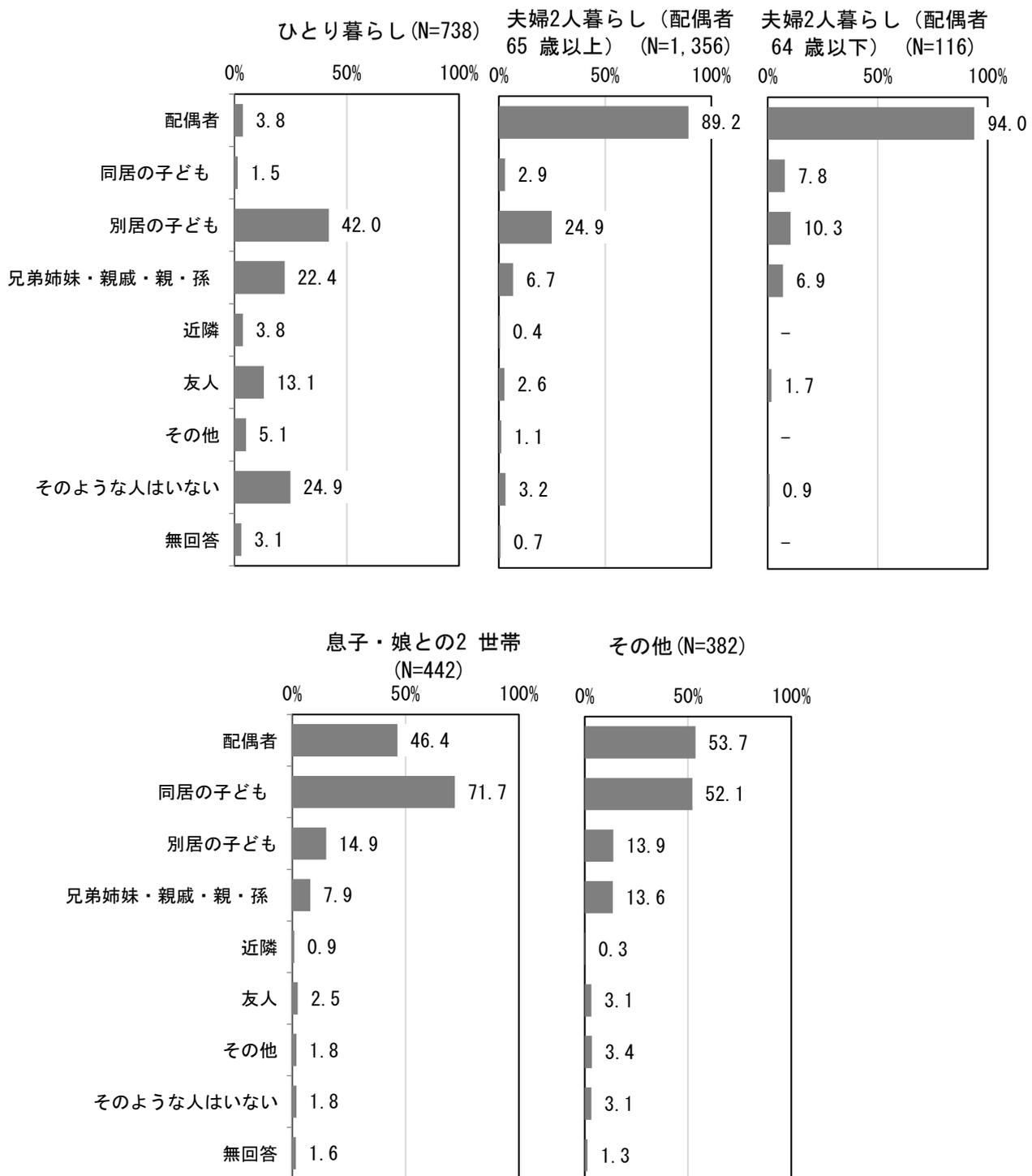
図表2-5-43 看病してくれる人

65歳以上 (N=3,115)



家族構成別に見ると、ひとり暮らしは「別居の子ども」(42.0%)が最も高く、夫婦2人暮らしでは「配偶者」が8割以上、息子・娘との2世帯では「同居の子ども」(71.7%)と最も高くなっている。

図表 2-5-44 問 5-28 看病や世話をしてくれる人 × 問 2-1 家族構成



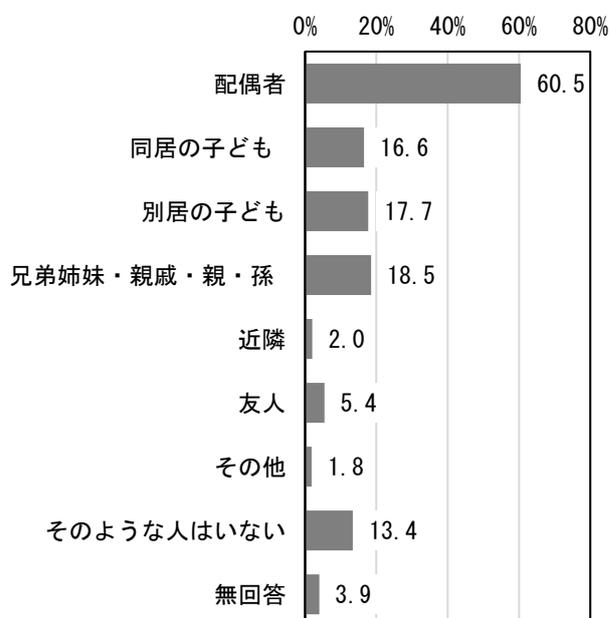
問5-29 看病してあげる相手

反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人はどなたですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

看病や世話をしてあげる人は誰かをたずねたところ、「配偶者」(60.5%)が最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(18.5%)、「別居の子ども」(17.7%)となっている。

図表2-5-45 看病してあげる相手

65歳以上 (N=3,115)



2. 6 介護保険について

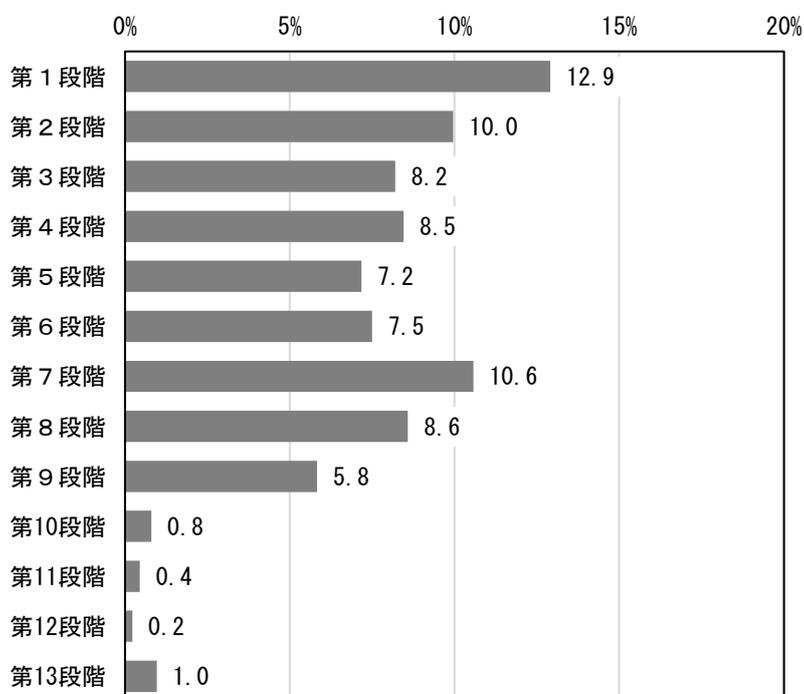
問6-1 介護保険料段階について【65歳以上のみ】

あなたの介護保険料の段階は何段階ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

介護保険料段階についてたずねたところ、「第1段階」(12.9%)が最も多く、次いで、「第7段階」(10.6%)、「第2段階」(10.0%)となっている。

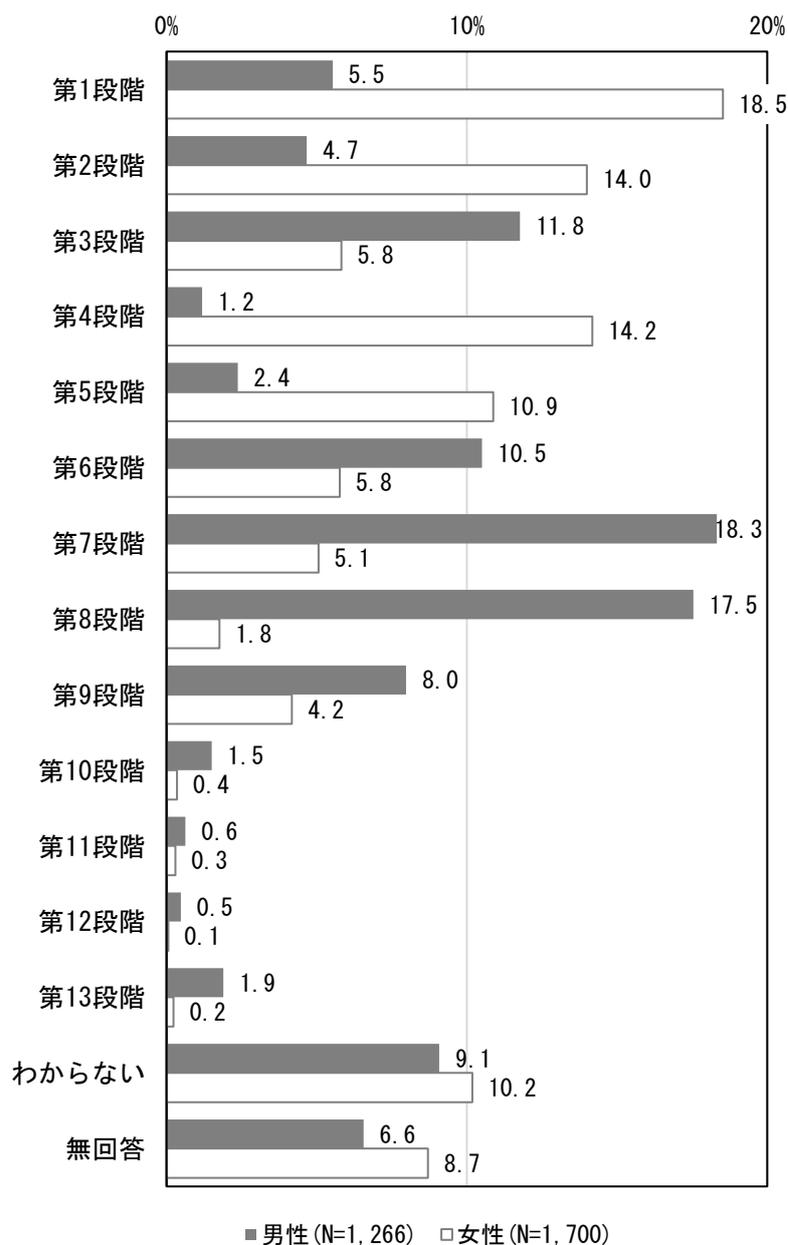
図表2-6-1 介護保険料段階

65歳以上 (N=3, 122)



男女別にみると、「ほぼ毎日」とする割合は、男性は「第7段階」(18.3%)が最も多く、次いで、「第8段階」(17.5%)、「第3段階」(11.8%)となっており、女性は「第1段階」(18.5%)が最も多く、次いで、「第4段階」(14.2%)、「第2段階」(14.0%)となっている。

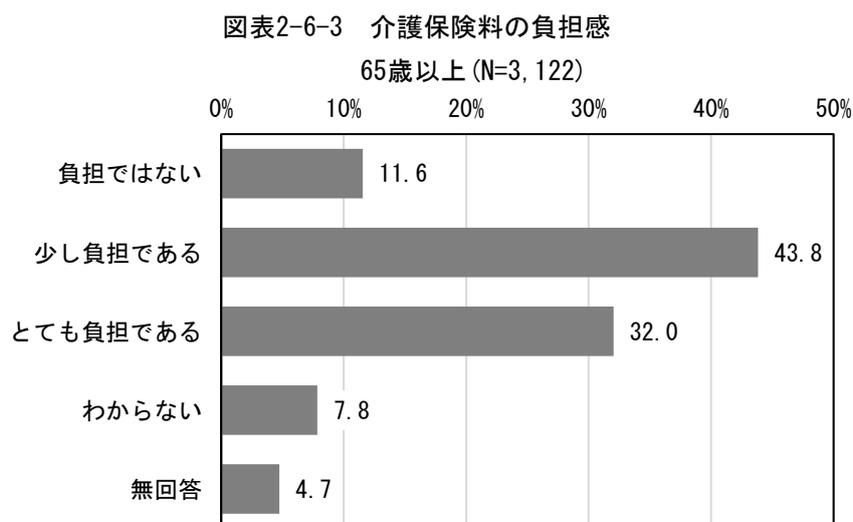
図表2-6-2 問6-1 介護保険料段階 × 問1-3 性別【65歳以上】



問6-2 介護保険料の負担感について【65歳以上のみ】

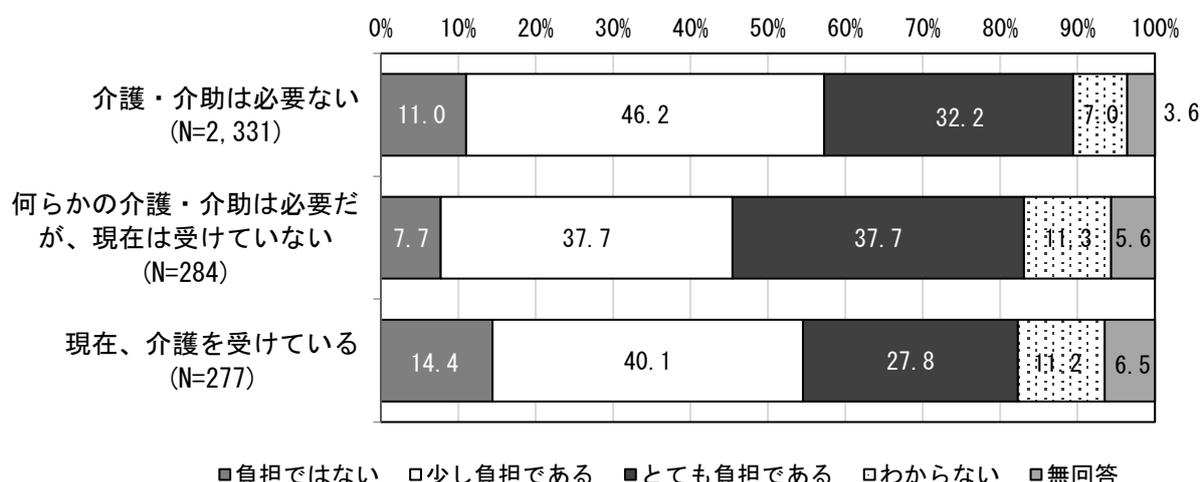
あなたは、現在支払っている介護保険料について、どう思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

現在支払っている介護保険料の負担感についてたずねたところ、「少し負担である」(43.8%)が最も多く、次いで、「とても負担である」(32.0%)、「負担ではない」(11.6%)となっている。



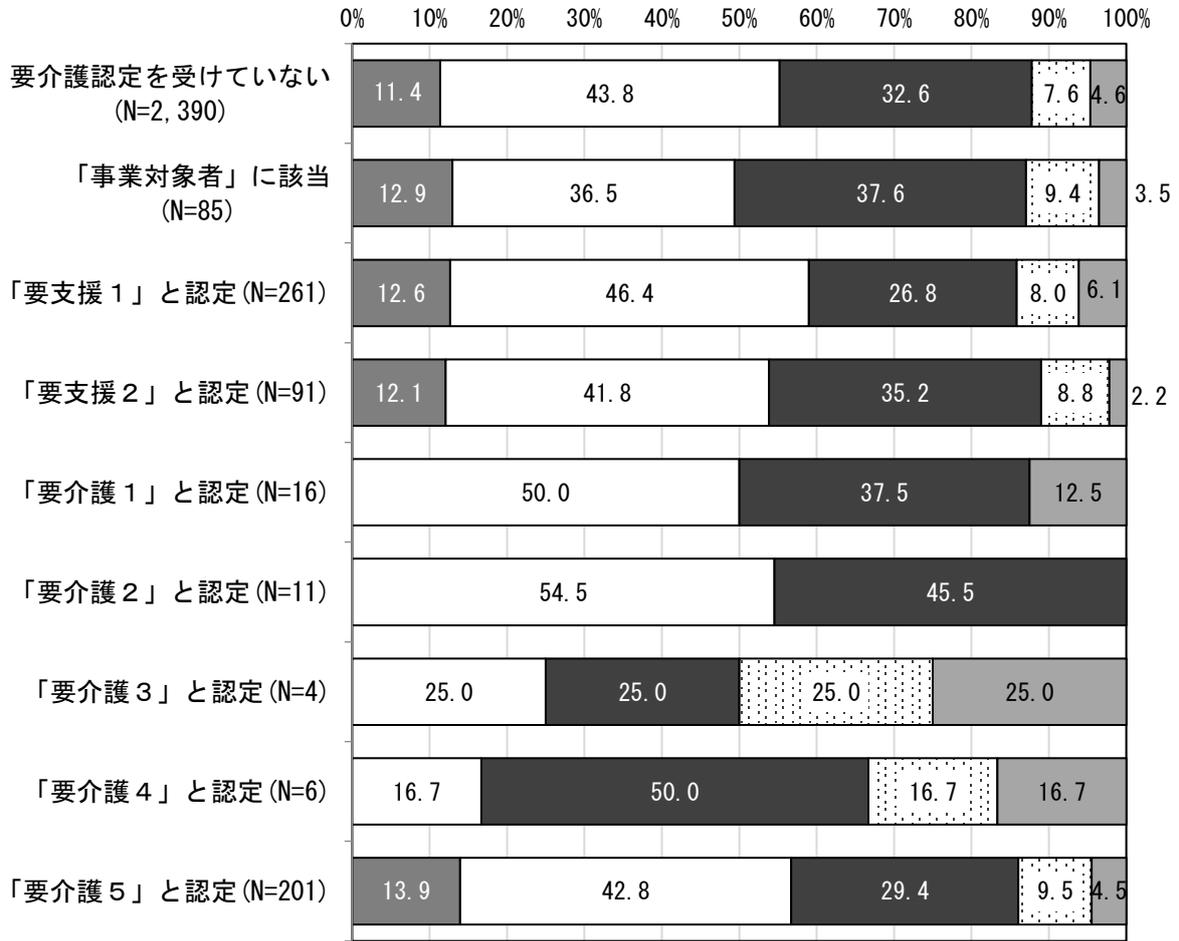
介護の状況別にみると、「介護・介助は必要ない」「現在、介護を受けている」と回答した人は「少し負担である」の割合が最も高く、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と回答した人は、「少し負担である」と「とても負担である」の割合が同じ (37.7%) となっている。

図表2-6-4 問6-2 介護保険料の負担感 × 問4-10 介護を受けているか【65歳以上】



要介護認定の状況別では、特に目立った傾向はみられない。

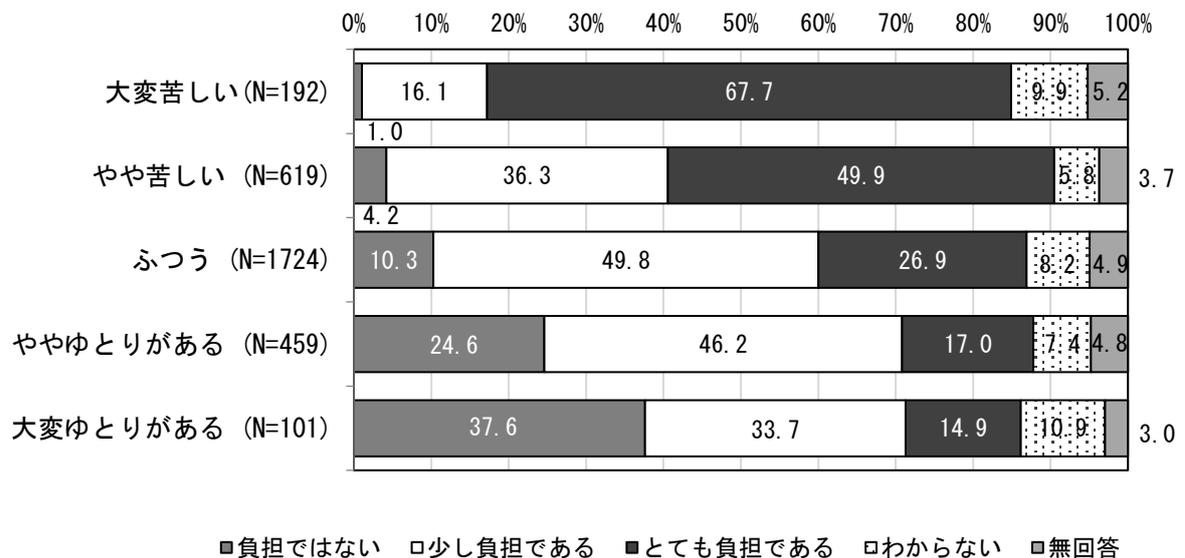
図表2-6-5 問6-2 介護保険料の負担感 × 問4-11 要介護認定を受けているか
【65歳以上】



■負担ではない □少し負担である ■とても負担である □わからない □無回答

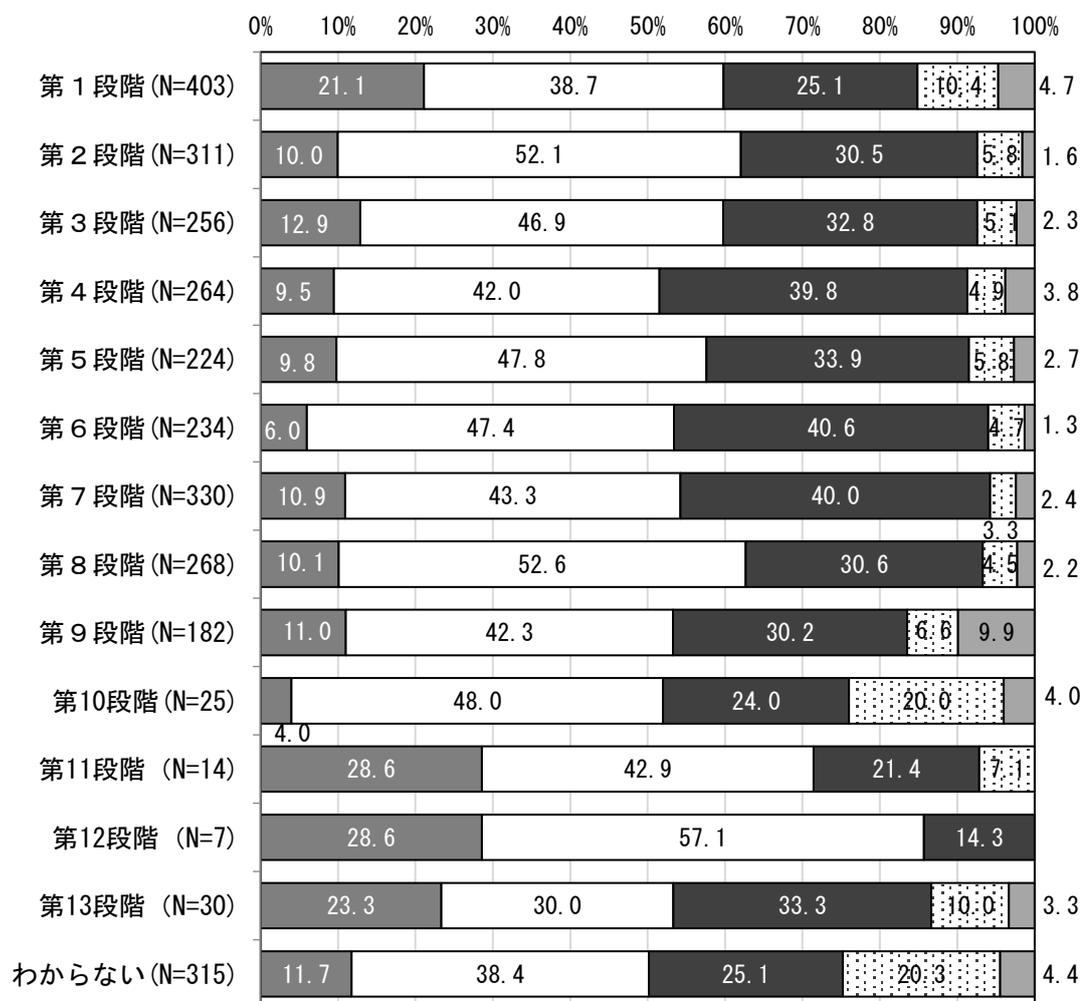
経済的ゆとり感別にみると、「負担ではない」とする割合は、「大変ゆとりがある」と回答した人が 37.6%と高くなっている一方で、「とても負担である」とする割合は、「大変苦しい」と回答した人が 67.7%と高くなっている。

図表2-6-6 問6-2 介護保険料の負担感 × 問5-19 経済的ゆとり感 【65歳以上】



介護保険料の所得段階別にみると、「負担ではない」とする割合は、「第11段階」「第12段階」と回答した人が最も高く28.6%となっている。一方、「とても負担である」とする割合は「第6段階」(40.6%)が最も高く、次いで「第7段階」(40.0%)となっている。

図表2-6-7 問7-2 介護保険料の負担感 × 問7-1 介護保険料段階 【65歳以上】

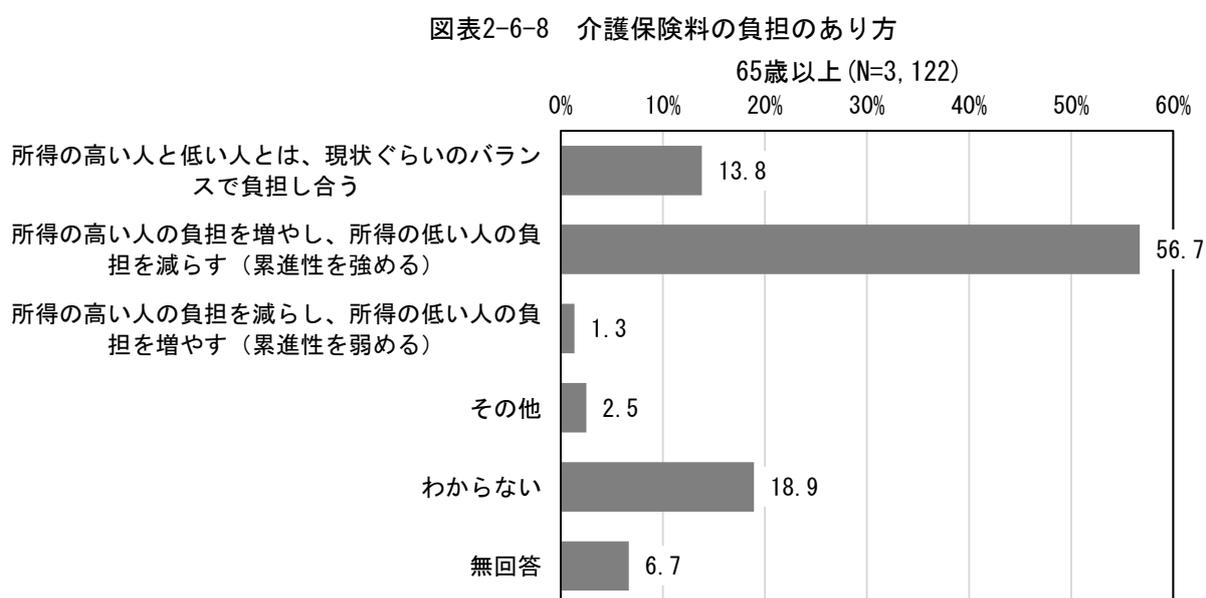


■負担ではない □少し負担である ■とても負担である □わからない □無回答

問6-3 介護保険料の負担のあり方について【65歳以上のみ】

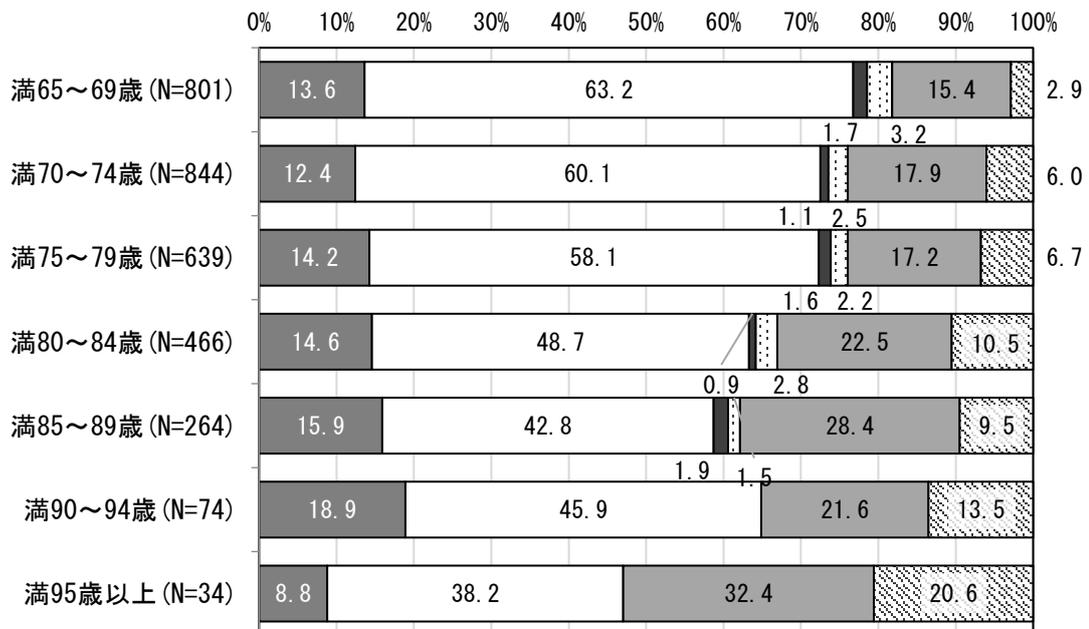
あなたは、今後の介護保険料の負担はどうあるべきだと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

今後の介護保険料の負担のあり方についてたずねたところ、「所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす(累進性を強める)」(56.7%)が最も多く、次いで、「所得の高い人と低い人とは、現状ぐらいのバランスで負担し合う」(13.8%)となっている。



年齢別にみると、「所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす（累進性を強める）」とする割合は、満65～69歳が最も高く、63.2%となっており、次いで、満70～74歳(60.1%)、満75～79歳(58.1%)となっている。

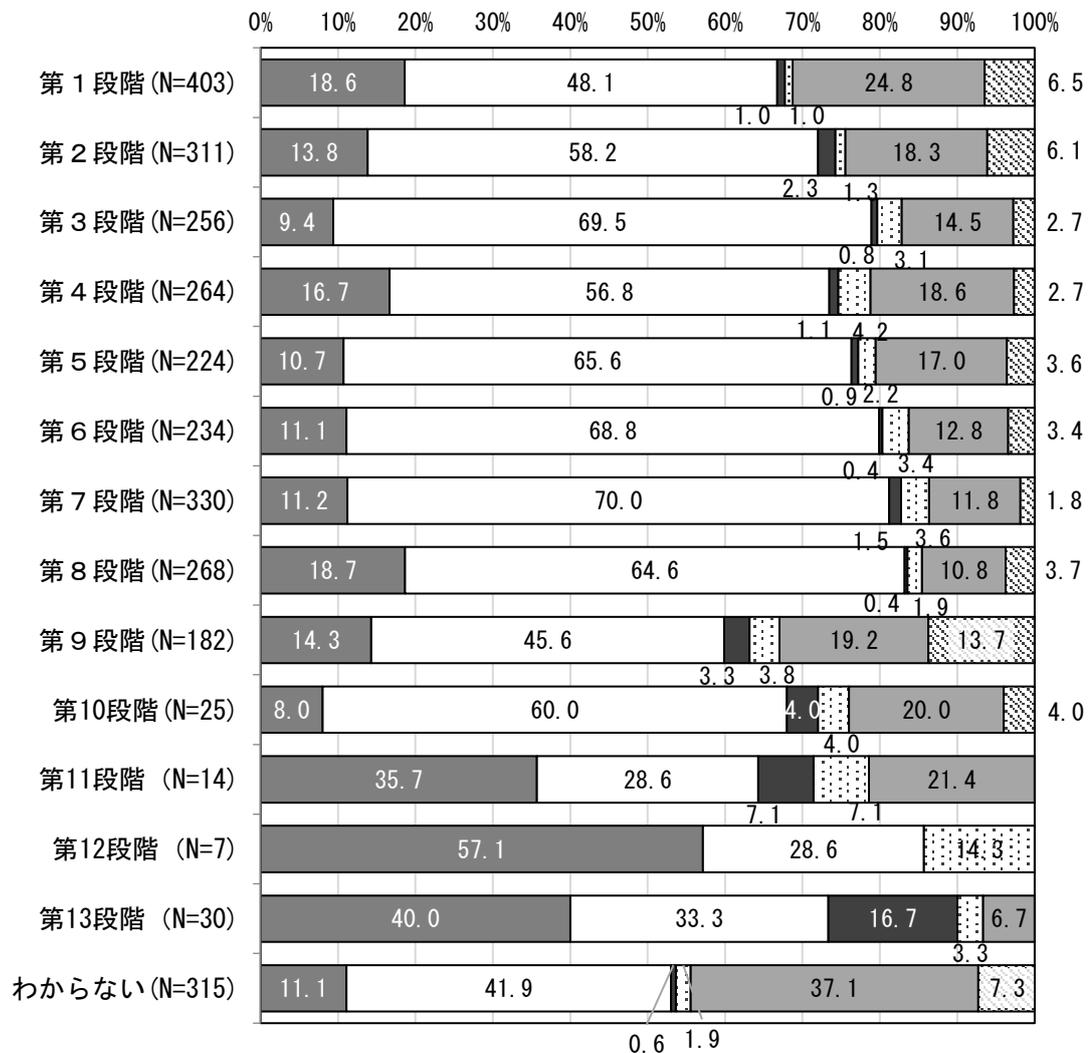
図表2-6-9 問7-3 介護保険料の負担のあり方 × 問1-4 年齢 【65歳以上】



- 所得の高い人と低い人とは、現状ぐらいのバランスで負担し合う
- 所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす（累進性を強める）
- 所得の高い人の負担を減らし、所得の低い人の負担を増やす（累進性を弱める）
- その他
- わからない
- 無回答

介護保険料の所得段階別にみると、「所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす（累進性を強める）」とする割合は、第7段階が最も高く、70.0%となっており、次いで、第3段階(69.5%)、第6段階(68.8%)となっている。

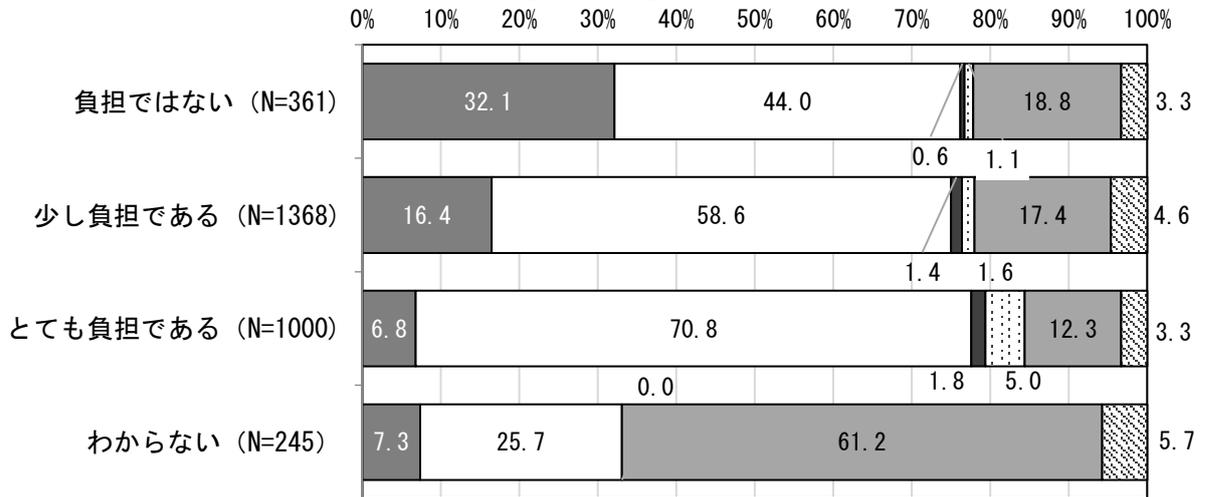
図表2-6-10 問6-3 介護保険料の負担のあり方 × 問6-1 介護保険料段階 【65歳以上】



- 所得の高い人と低い人とは、現状ぐらいのバランスで負担し合う
- 所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす（累進性を強める）
- 所得の高い人の負担を減らし、所得の低い人の負担を増やす（累進性を弱める）
- その他
- わからない
- 無回答

介護保険料の負担感別にみると、「所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす（累進性を強める）」とする割合は、「とても負担である」と回答した人が最も高く、70.8%となっている。

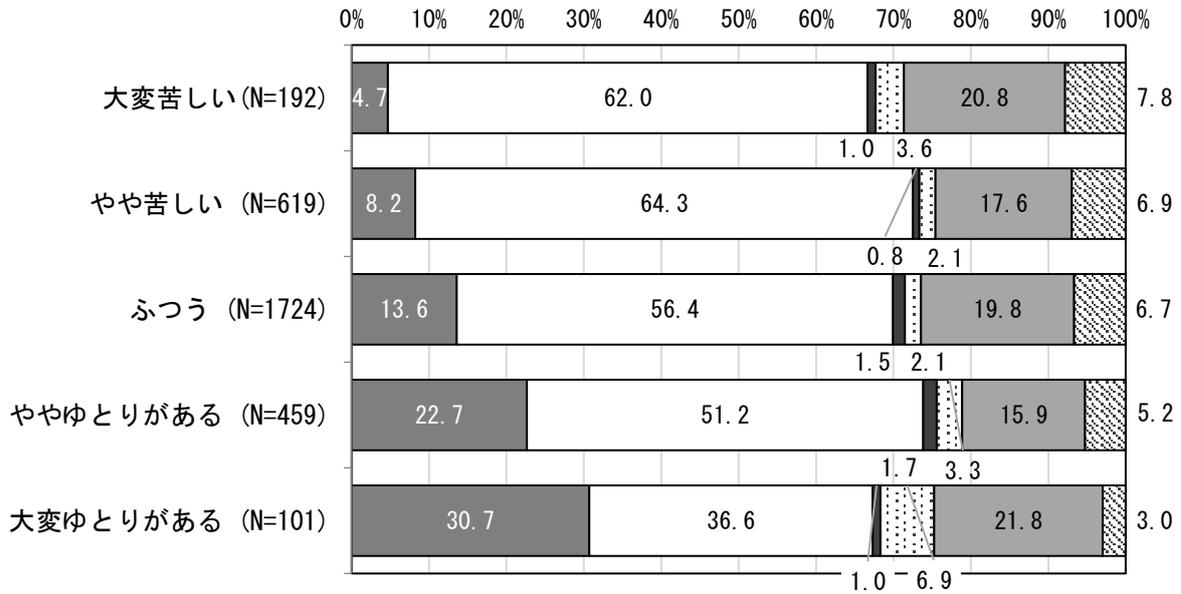
図表2-6-11 問6-3 介護保険料の負担のあり方 × 問6-2 介護保険料の負担感
【65歳以上】



- 所得の高い人と低い人とは、現状ぐらいのバランスで負担し合う
- 所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす（累進性を強める）
- 所得の高い人の負担を減らし、所得の低い人の負担を増やす（累進性を弱める）
- その他
- わからない
- 無回答

現在の生活のゆとり感別にみると、「所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす（累進性を強める）」とする割合は、「やや苦しい」と回答した人が最も高く64.3%となっており、次いで、「大変苦しい」（62.0%）となっている。

図表2-6-12 問6-3 介護保険料の負担のあり方 × 問5-19 経済的ゆとり感 【65歳以上】



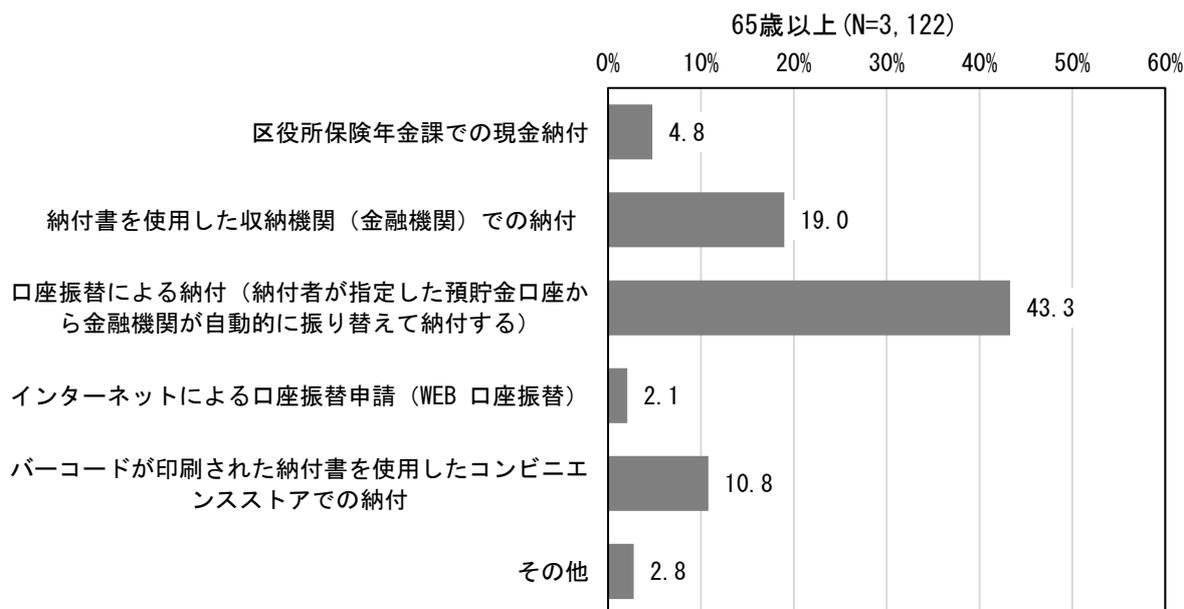
- 所得の高い人と低い人とは、現状ぐらいのバランスで負担し合う
- 所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす（累進性を強める）
- 所得の高い人の負担を減らし、所得の低い人の負担を増やす（累進性を弱める）
- その他
- わからない
- 無回答

問6-4 介護保険料の納付方法について【65歳以上のみ】

介護保険料の納め方についてうかがいます。年額18万円以上の年金を受給されている方は、年金から保険料が天引きされる方法により納めます。その他の方(※)については、年金からの天引き以外の方法により保険料を納めることとなりますが、この場合、どのような方法で納めることが望ましいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

介護保険料の納付方法についてたずねたところ、「口座振替による納付（納付者が指定した預貯金口座から金融機関が自動的に振り替えて納付する）」(43.3%)が最も多く、次いで、「納付書を使用した収納機関（金融機関）での納付」(19.0%)、「バーコードが印刷された納付書を使用したコンビニエンスストアでの納付」(10.8%)となっている。

図表2-6-13 介護保険料の納付方法

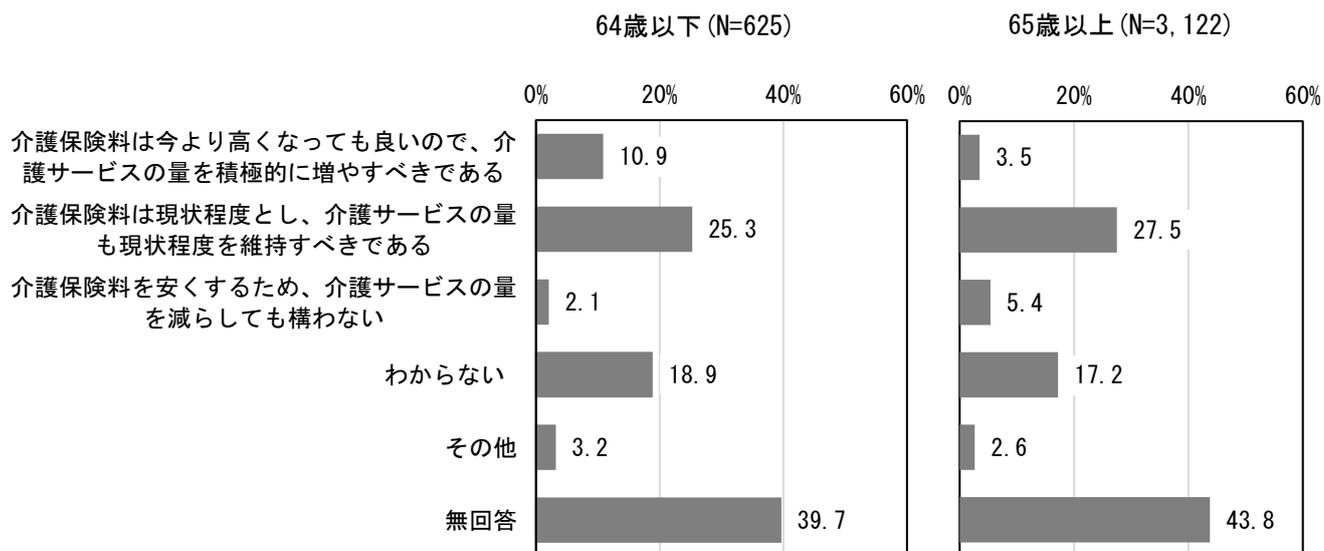


問6-5 介護サービスと保険料の関係

介護保険では、介護サービスを充実させることで、介護保険料が上がりますが、介護サービスと保険料の関係について、あなたはどのように考えますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

介護保険料と介護サービスの関連についてたずねたところ、64歳以下・65歳以上共に「介護保険料は現状程度とし、介護サービスの量も現状程度を維持すべきである」が最も多く、64歳以下は25.3%、65歳以上は27.5%となっている。次いで、64歳以下は「介護保険料は今より高くなって良いので、介護サービスを積極的に増やすべきである」(10.9%)となっており、65歳以上は、「介護保険料を安くするため、介護サービスの量を減らしても構わない」(5.4%)となっている。

図表2-6-14 介護サービスと保険料の関係



2. 7 保健・福祉施策について

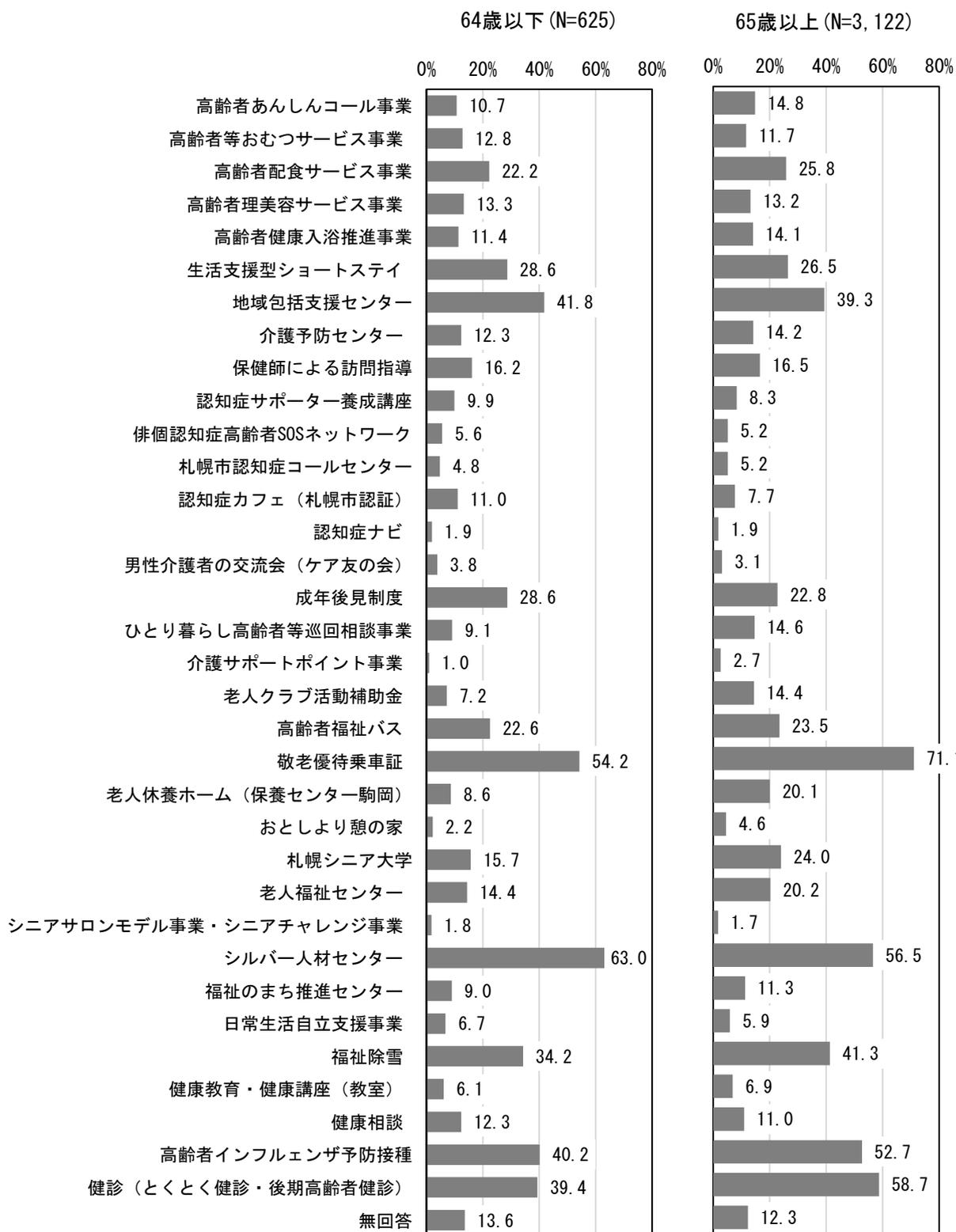
問 7-1 知っている保健・福祉サービス

[複数回答]

札幌市などが行っている高齢者を主な対象とした次の保健・福祉サービスなどの中で、知っているものはありますか。知っているものすべてに○をつけてください。

札幌市などが行っている高齢者を主な対象とした保健・福祉サービスなどで知っているものがあるかたずねたところ、64歳以下は「シルバー人材センター」(63.0%)が最も多く、次いで、「敬老優待乗車証」(54.2%)、「地域包括支援センター」(41.8%)となっており、65歳以上は、「敬老優待乗車証」(71.1%)が最も多く、次いで、「健診(とくとく健診・後期高齢者健診)」(58.7%)、「高齢者インフルエンザ予防接種」(52.7%)となっている。

図表2-7-1 知っている保健・福祉サービス



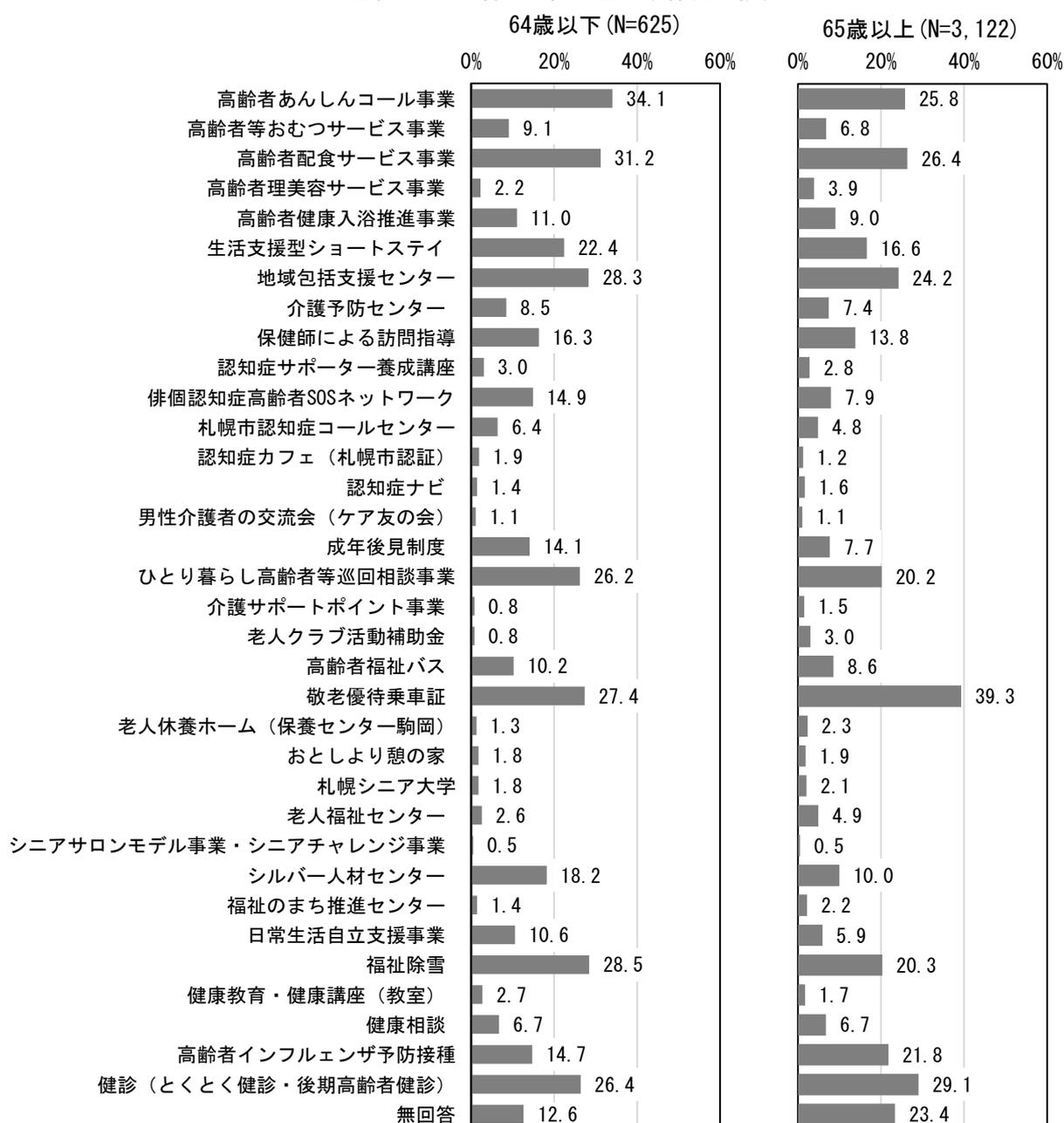
問7-2 特に重要だと思う保健・福祉サービス

[複数回答]

問7-1にある保健・福祉サービスの中で、特に重要だと考えるものはどれですか。5つ以内で選び、その番号を記入してください。

札幌市などが行っている高齢者を主な対象とした保健・福祉サービスの中で、特に重要だと考えるものをたずねたところ、64歳以下は「高齢者あんしんコール事業」(34.1%)が最も多く、次いで、「高齢者配食サービス事業」(31.2%)、「福祉除雪」(28.5%)となっており、65歳以上は、「敬老優待乗車証」(39.3%)が最も多く、次いで、「健診(とくとく健診・後期高齢者健診)」(29.1%)、「高齢者配色サービス事業」(26.4%)となっている。

図表2-7-2 特に重要だと思う保健・福祉サービス



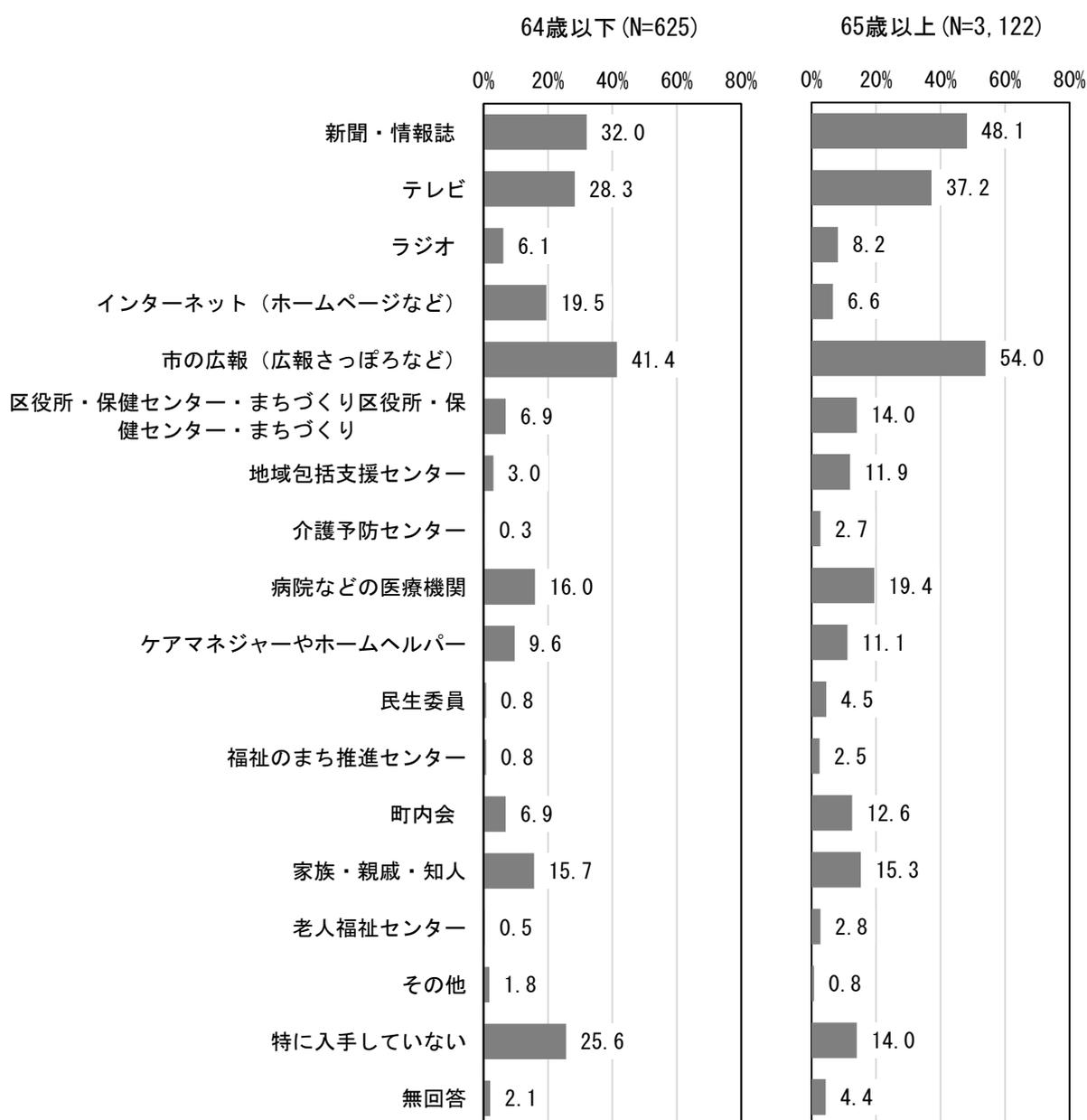
問7-3 情報入手先

[複数回答]

高齢者の保健・福祉サービスに関する情報は、主にどこから入手していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

高齢者の保健・福祉サービスに関する情報を主にどこから入手しているかたずねたところ、64歳以下・65歳以上共に「市の広報（広報さっぽろなど）」が最も多く、64歳以下は41.4%、65歳以上は54.0%となっている。次いで、64歳以下は「新聞・情報誌」（32.0%）、「テレビ」（28.3%）となっており、65歳以上も同様に、「新聞・情報誌」（48.1%）、「テレビ」（37.2%）となっている。

図表2-7-3 情報入手先

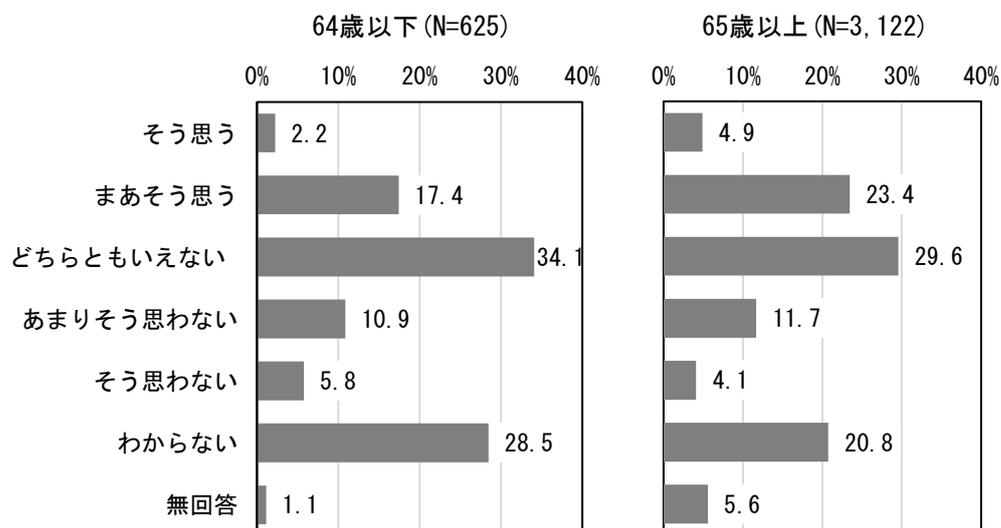


問7-4 健康に暮らし続ける取組がなされているか

札幌市では、高齢者が介護を必要とせずに元気で健康に暮らし続けるための取組が十分になされていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

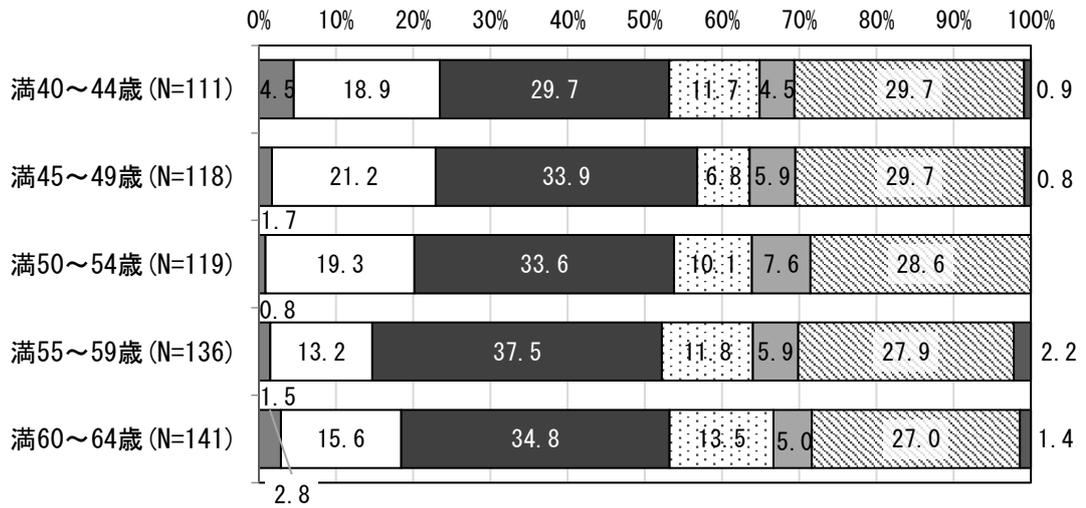
札幌市では、高齢者が介護を必要とせずに元気で健康に暮らし続けるための取組が十分になされていると思うかたずねたところ、「そう思う」「まあそう思う」を合わせた割合が、64歳以下は19.6%、65歳以上は28.3%となっている。一方、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた割合は、64歳以下は16.7%、65歳以上は15.8%となっている。

図表2-7-4 健康に暮らし続ける取組がなされているか

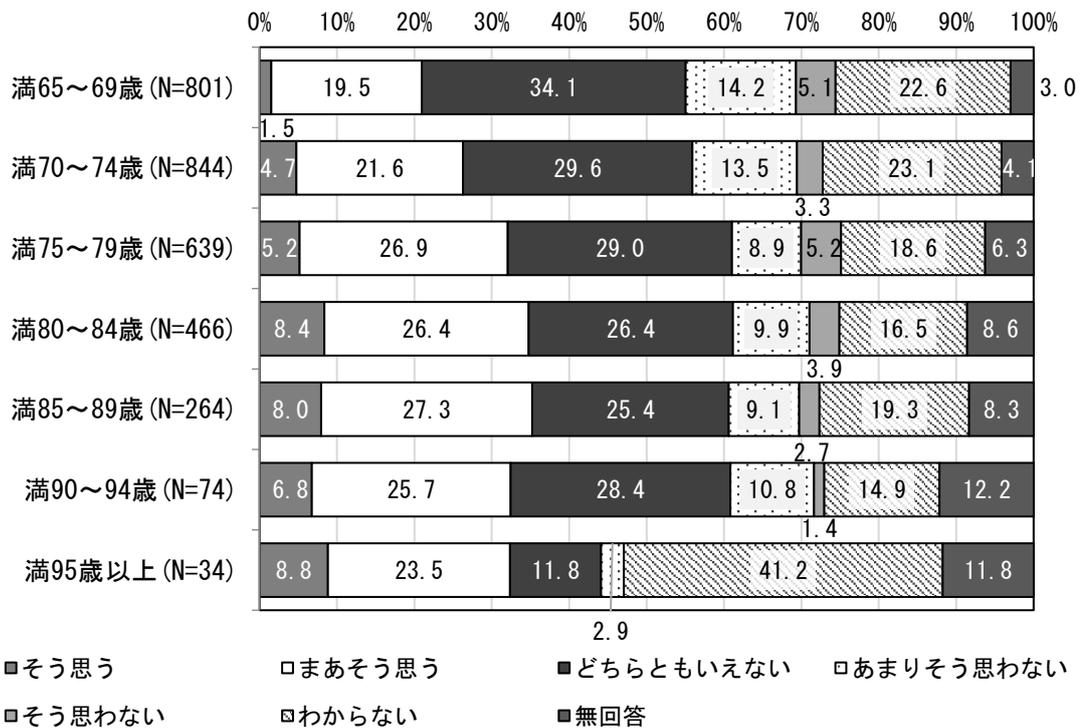


年齢別にみると、満64歳以下に比べ、満65歳以上の方が、「そう思う」「まあそう思う」を合わせた割合は高く、満75歳以上では3割を超えている。

図表2-7-5 問7-4 健康に暮らし続ける取組がなされているか × 問1-4 年齢 【64歳以下】



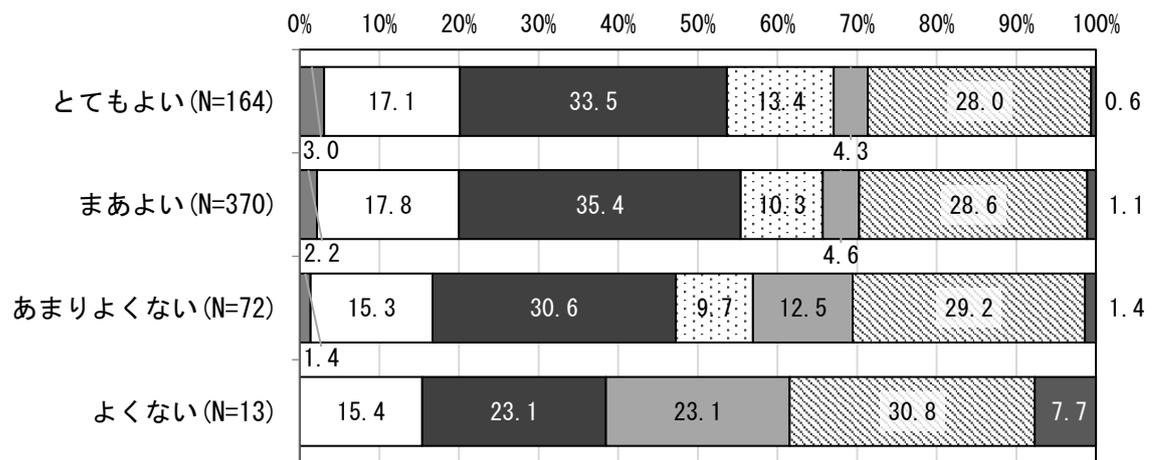
図表2-7-6 問7-4 健康に暮らし続ける取組がなされているか × 問1-4 年齢 【65歳以上】



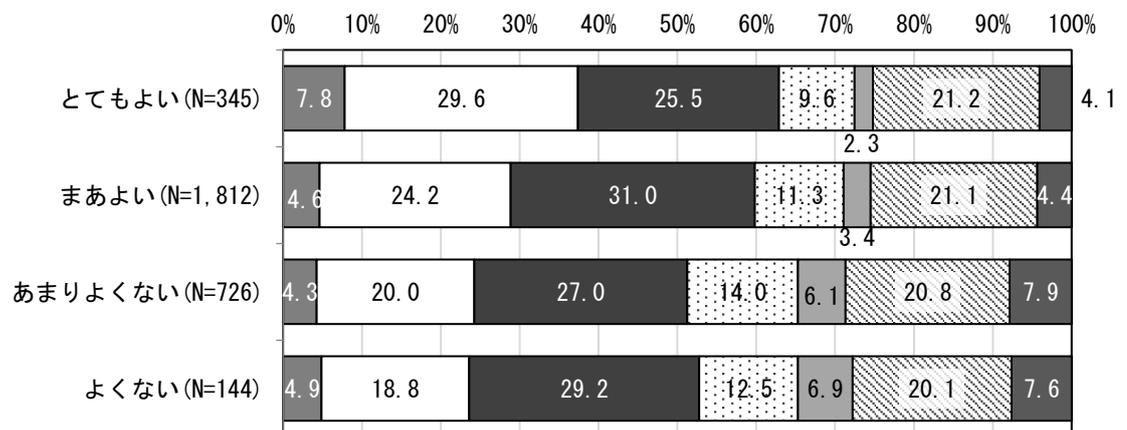
そう思う まあそう思う どちらともいえない あまりそう思わない
 そう思わない わからない 無回答

主観的健康感別に「そう思う」「まあそう思う」を合わせた割合をみると、自分が健康だと感じている人ほどその割合は高く、「とてもよい」と回答した人は、64歳以下は20.1%、65歳以上は37.4%となっている。

図表2-7-7 問7-4 健康に暮らし続ける取組がなされているか × 問4-1 主観的健康感 【64歳以下】



図表2-7-8 問7-4 健康に暮らし続ける取組がなされているか × 問4-1 主観的健康感 【65歳以上】



■ そう思う □ まあそう思う ■ どちらともいえない □ あまりそう思わない
 □ そう思わない □ わからない ■ 無回答

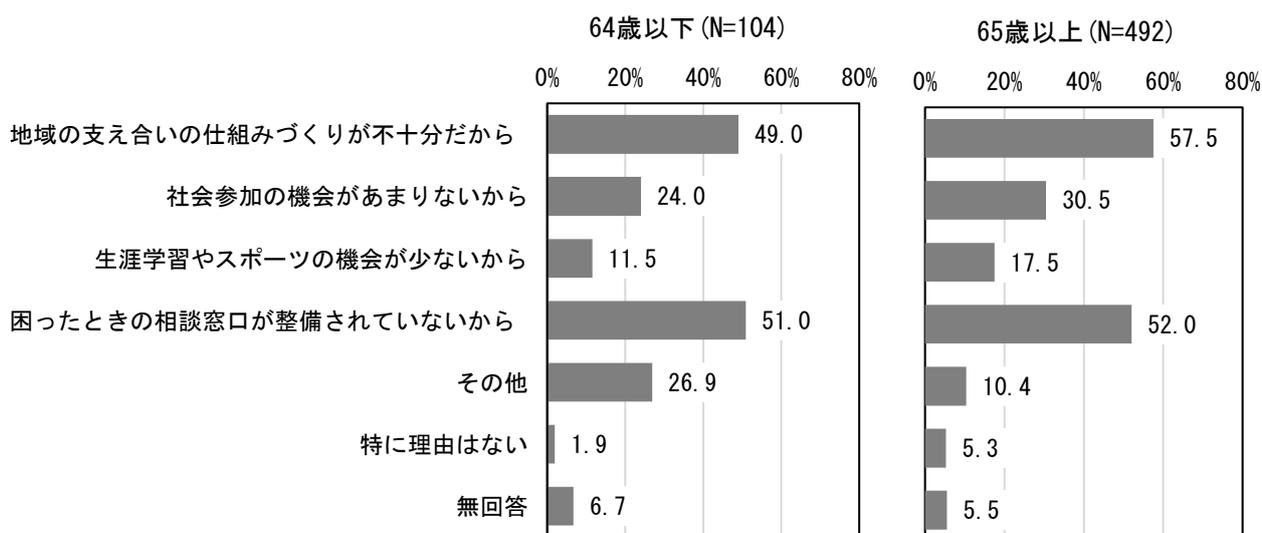
そう思わない理由

[複数回答]

「4. あまりそう思わない」「5. そう思わない」と回答した方にうかがいます。取組が十分になされていないと思う理由は次のうちどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

問7-4で「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した方に、取組が十分になされていないと思う理由をたずねたところ、64歳以下は「困ったときの相談窓口が整備されていないから」(51.0%)が最も多く、次いで「地域の支え合いの仕組みづくりが不十分だから」(49.0%)、「社会参加の機会があまりないから」(24.0%)となっており、65歳以上は「地域の支え合いの仕組みづくりが不十分だから」(57.5%)が最も多く、次いで、「困ったときの相談窓口が整備されていないから」(52.0%)、「社会参加の機会があまりないから」(30.5%)となっている。

図表2-7-9 そう思わない理由



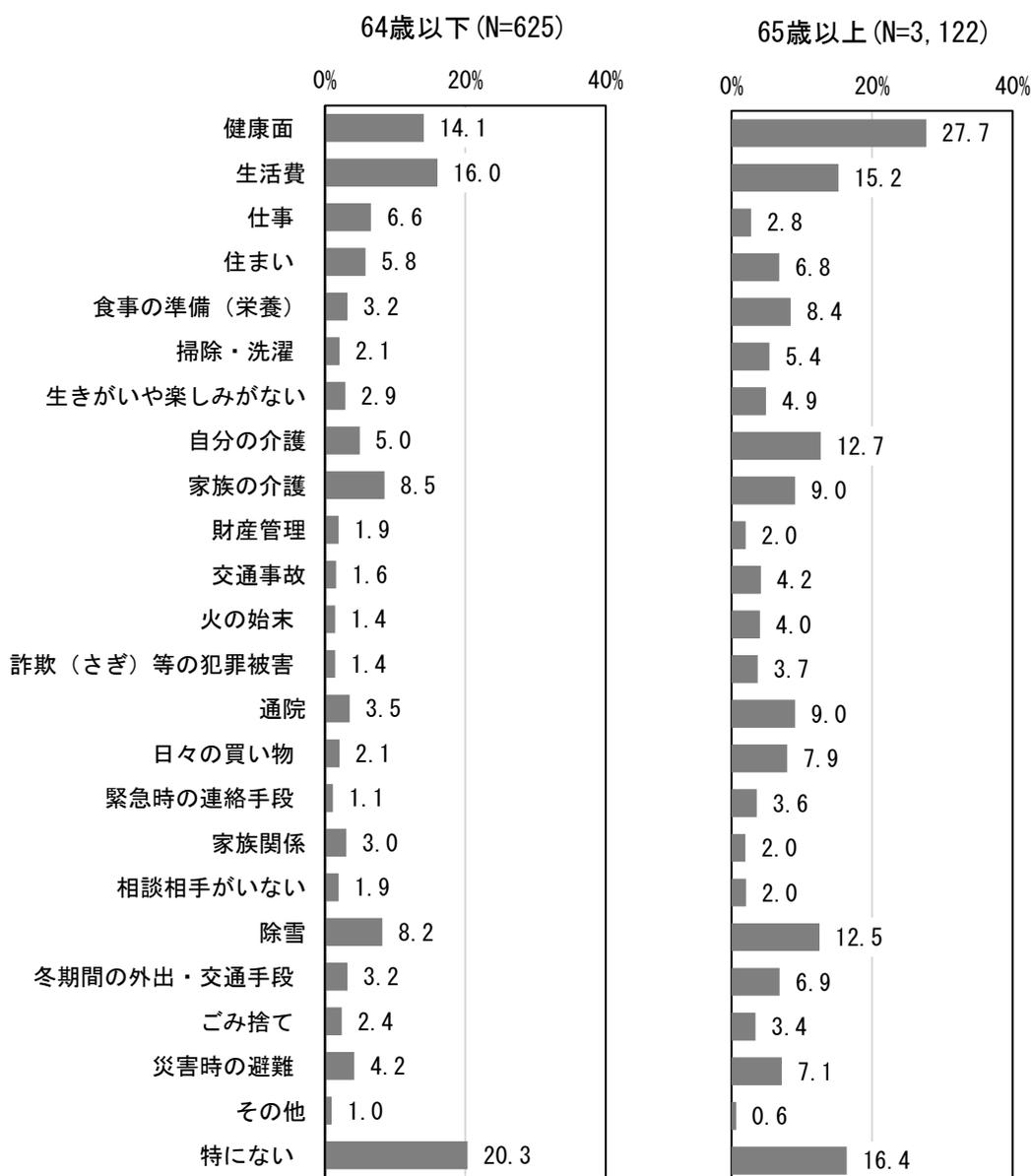
問7-5 困っていること、不安に思うこと

[複数回答]

現在困っていることや、将来に向け不安に思うことはありますか。あてはまる欄すべてに○をつけてください。

現在困っていることについてたずねたところ、64歳以下は「生活費」(16.0%)が最も多く、次いで、「健康面」(14.1%)、「家族の介護」(8.5%)となっており、65歳以上は、「健康面」(27.7%)が最も多く、次いで、「生活費」(15.2%)、「自分の介護」(12.7%)となっている。

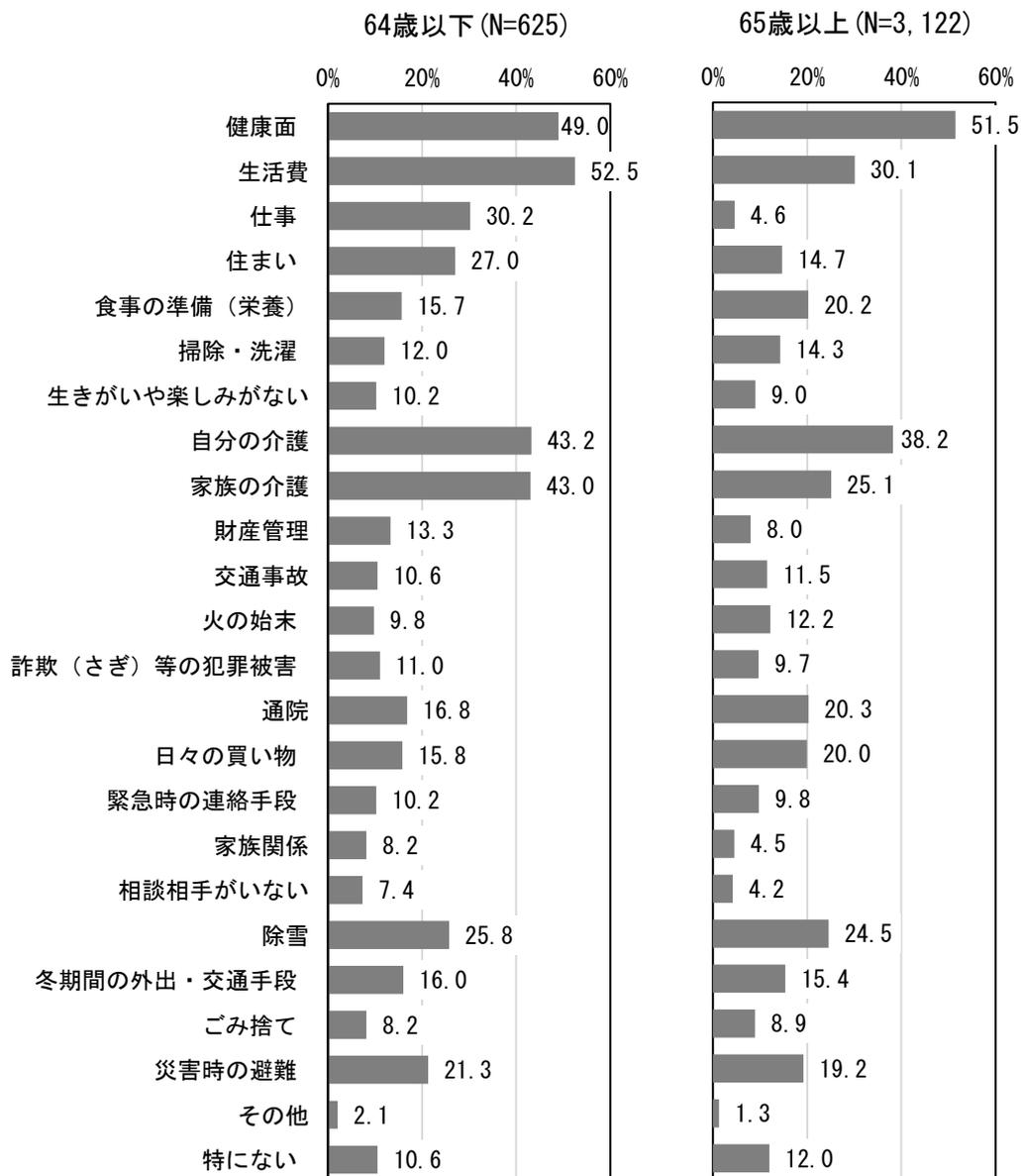
図表2-7-10 現在困っていること



※無回答を除く選択肢を表示

将来に向け不安に思うことについてたずねたところ、64歳以下は「生活費」(52.5%)が最も多く、次いで、「健康面」(49.0%)、「自分の介護」(43.2%)となっており、65歳以上は、「健康面」(51.5%)が最も多く、次いで、「自分の介護」(38.2%)、「生活費」(30.1%)となっている。

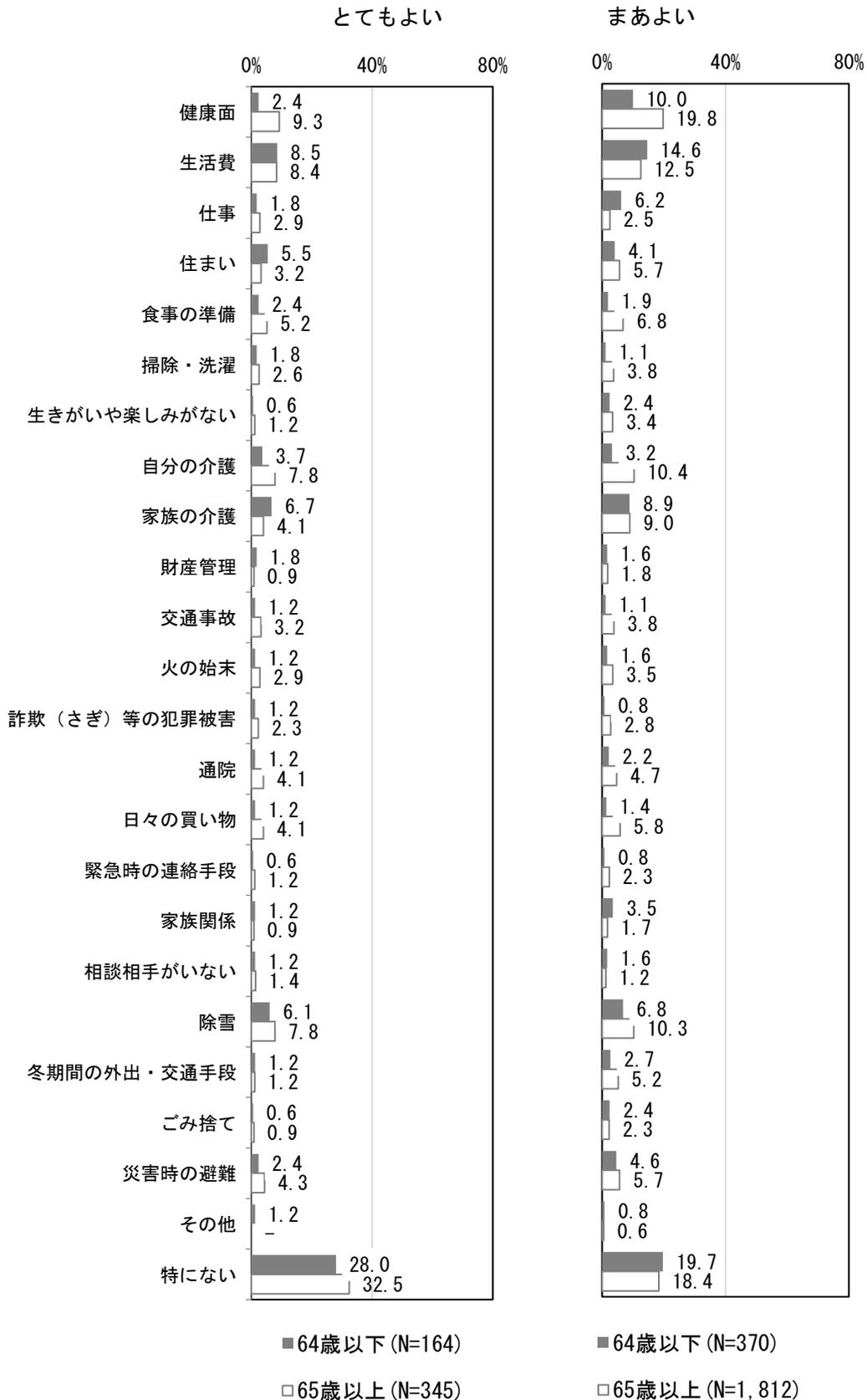
図表2-7-11 将来不安なこと

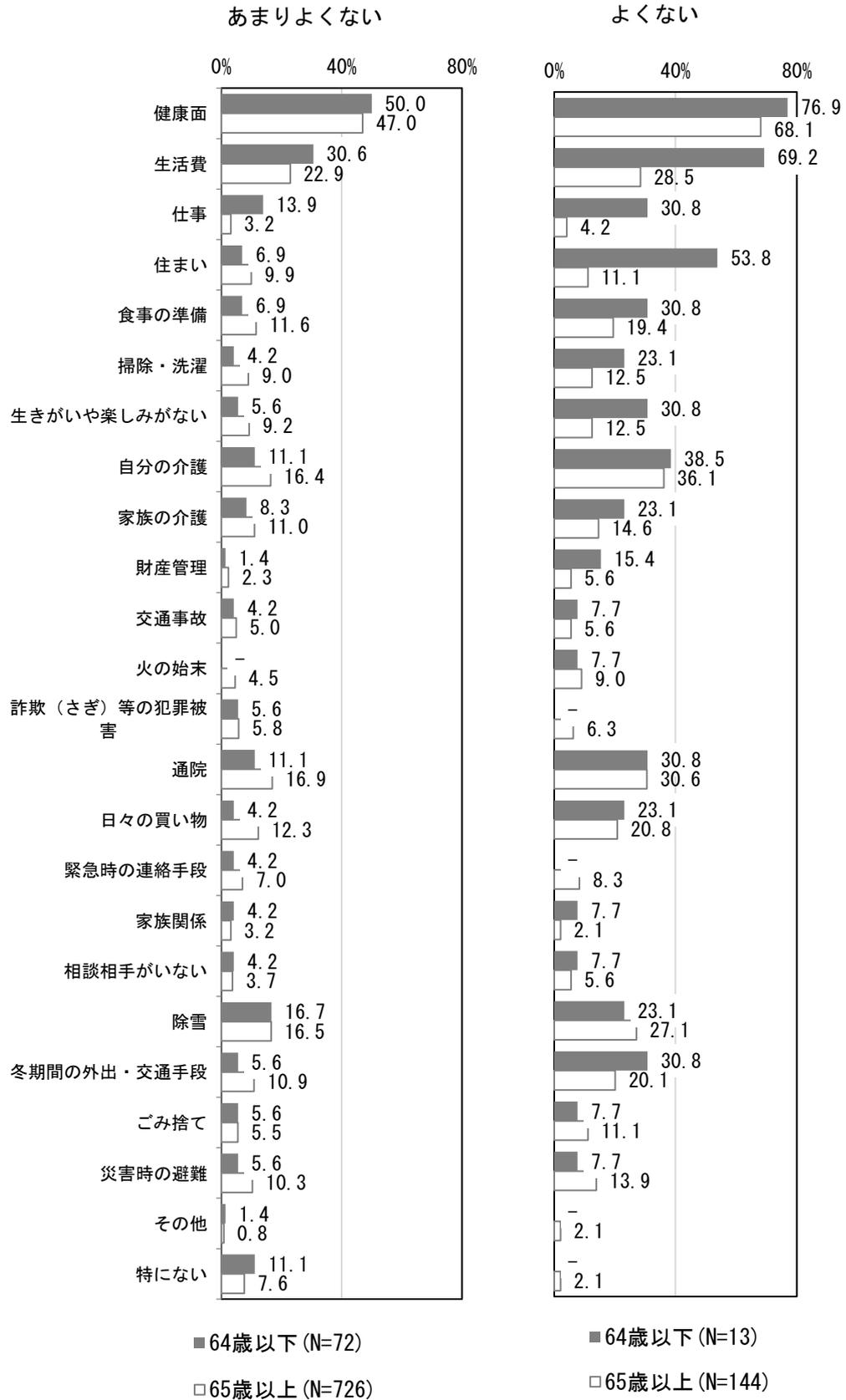


※無回答を除く選択肢を表示

現在困っていることを主観的健康感別にみると、64歳以下・65歳以上に共に、「あまりよくない」「よくない」と回答した人は、「健康面」とする割合が高くなっている。

図表 2-7-12 問 7-5 困っていること × 問 4-1 主観的健康感

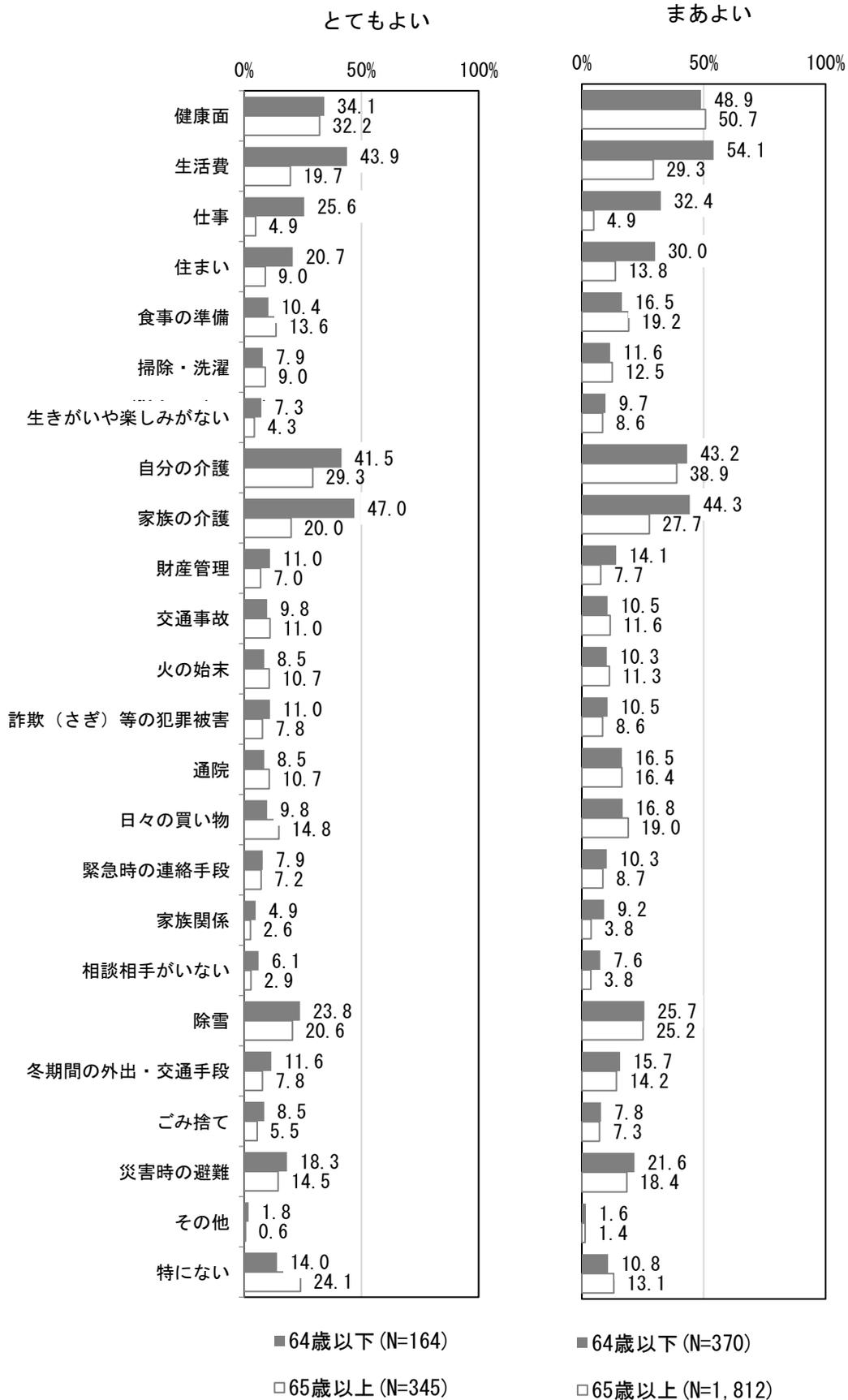


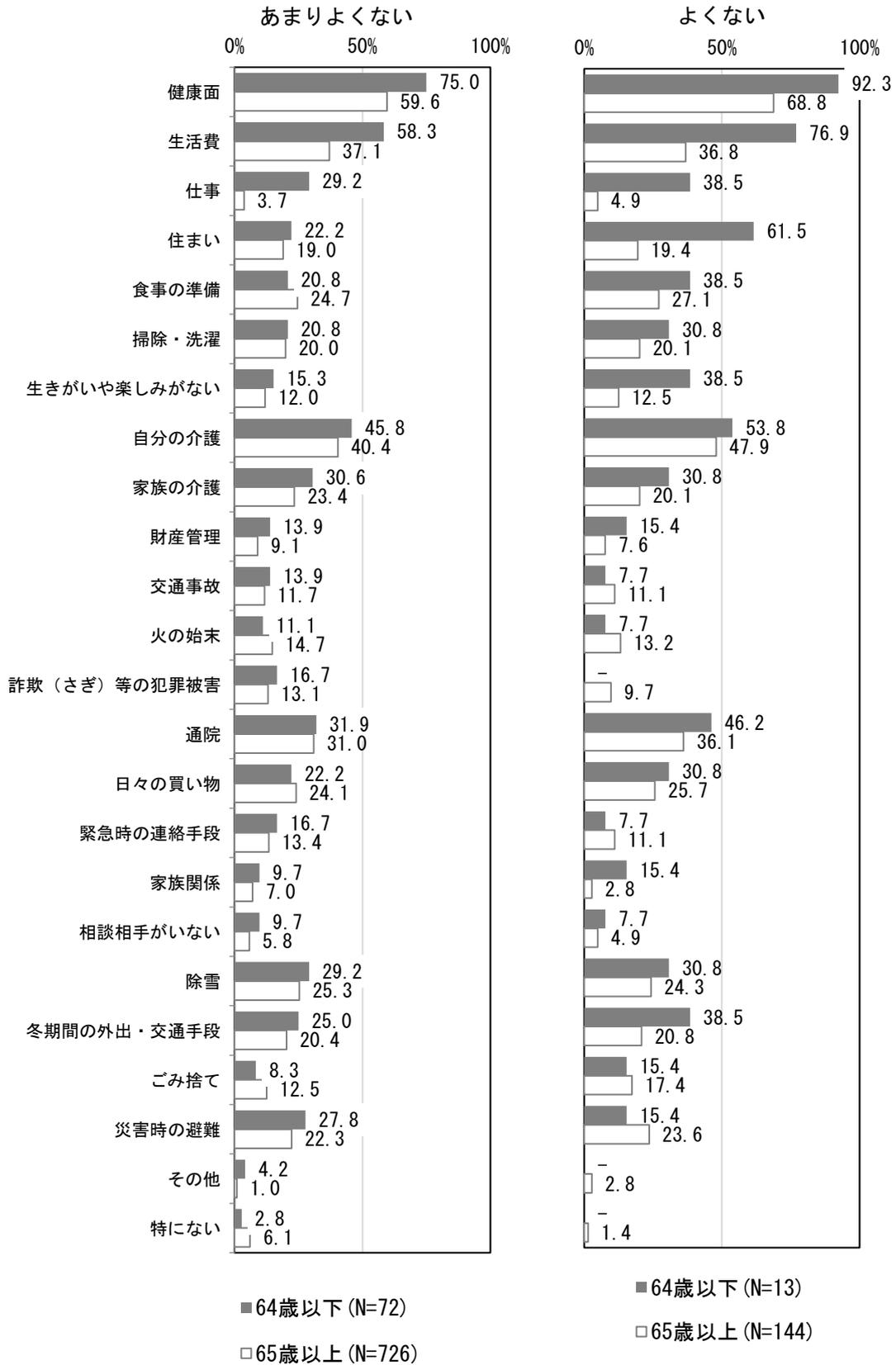


※無回答を除く選択肢を表示

将来に向け不安に思うことを主観的健康感別にみると、「とてもよい」「まあよい」「あまりよくない」と回答した人は共に、64歳以下は、「健康面」「生活費」「自分の介護」「家族の介護」とする割合が高くなっており、65歳以上は、「健康面」「自分の介護」とする割合が高くなっている。一方、「よくない」と回答した人は、64歳以下は「健康面」「生活費」「住まい」「通院」とする割合が高くなっており、65歳以上は「健康面」「生活費」「自分の介護」「通院」とする割合が高くなっている。

図表 2-7-13 問 7-5 不安に思うこと × 問 4-1 主観的健康感





無回答を除く選択肢を表示

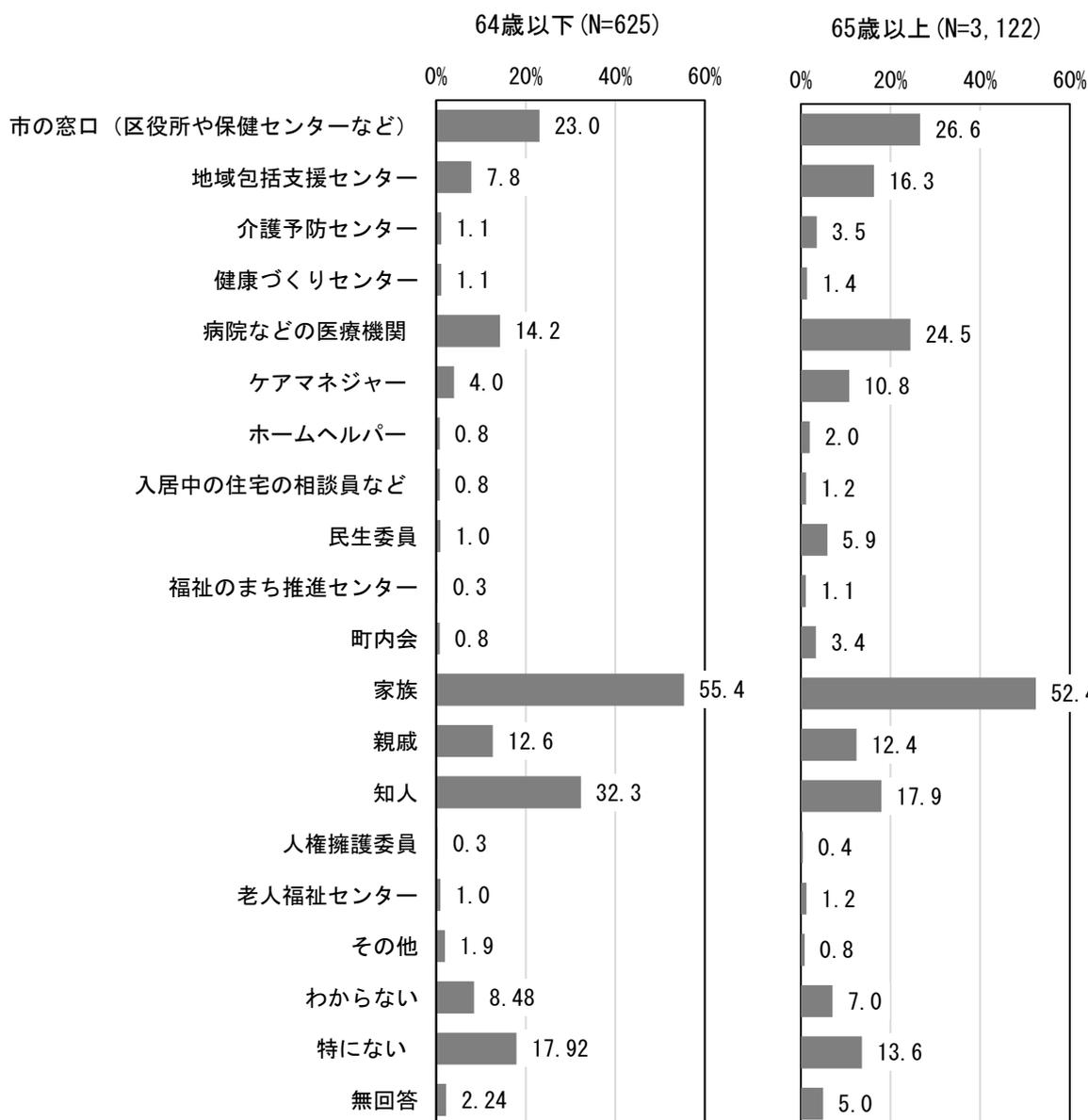
問7-6 困っていること、不安に思うことの相談先

[複数回答]

あなたは、困っていることや不安に思うことを、どこに相談していますか。あるいは、どこに相談しようと思いませんか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

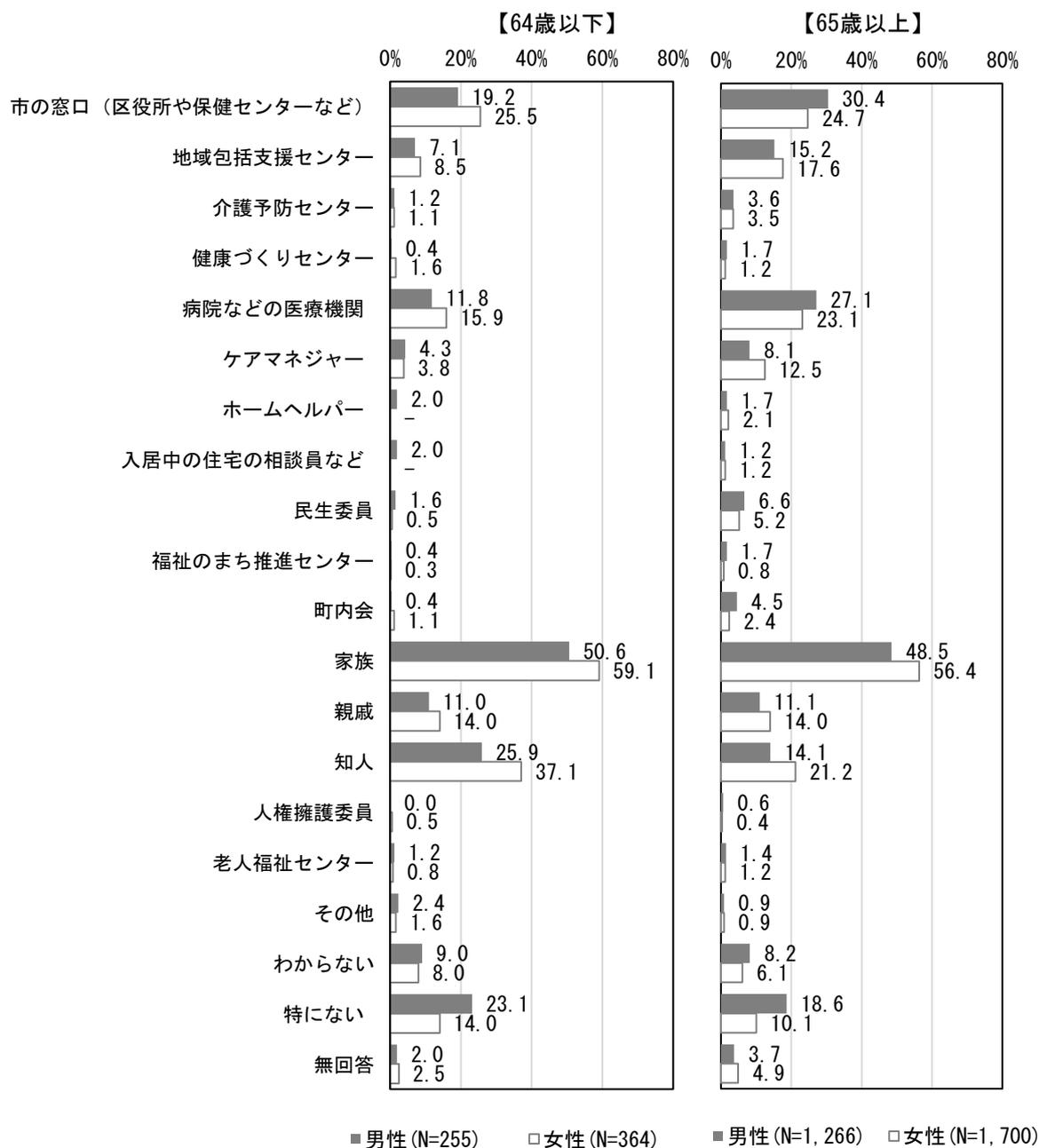
困っていることや不安に思うことの相談先についてたずねたところ、64歳以下「家族」(55.4%)が最も多く、次いで「知人」(32.3%)、「区役所や保健センターなど札幌市の窓口」(23.0%)となっており、65歳以上は「知人」(52.4%)が最も多く、次いで、「区役所や保健センターなど札幌市の窓口」(26.6%)、「ケアマネジャー」(24.5%)となっている。

図表2-7-14 困っていること、不安に思うことの相談先



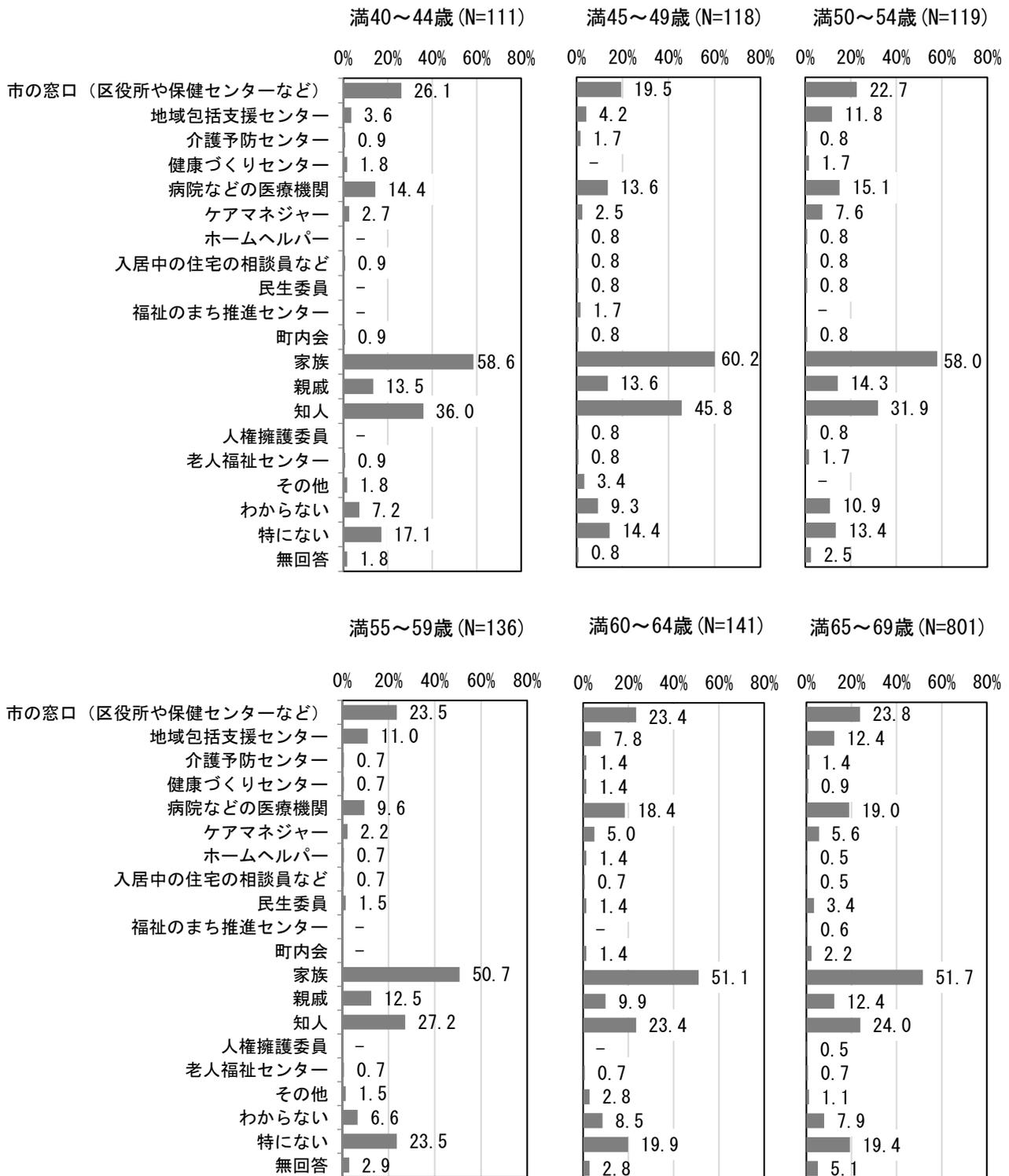
男女別にみると、「家族・親戚・知人」の割合は、64歳以下・65歳以上共に、男性よりも女性の方が高くなっており、「市の窓口（区役所や保健センターなど）」「病院などの医療機関」の割合は、64歳以下は男性よりも女性の方が高く、65歳以上は女性よりも男性の方が高くなっている。

図表2-7-15 問7-6 困っていること、不安に思うことの相談先 × 問1-3 性別



年齢別にみると、全年齢で「家族」と回答した人の割合が最も高くなっている。次いで満40～69歳は「知人」、「市の窓口」となっており、満70歳以上は「市の窓口」、「病院などの医療機関」が高くなっている。

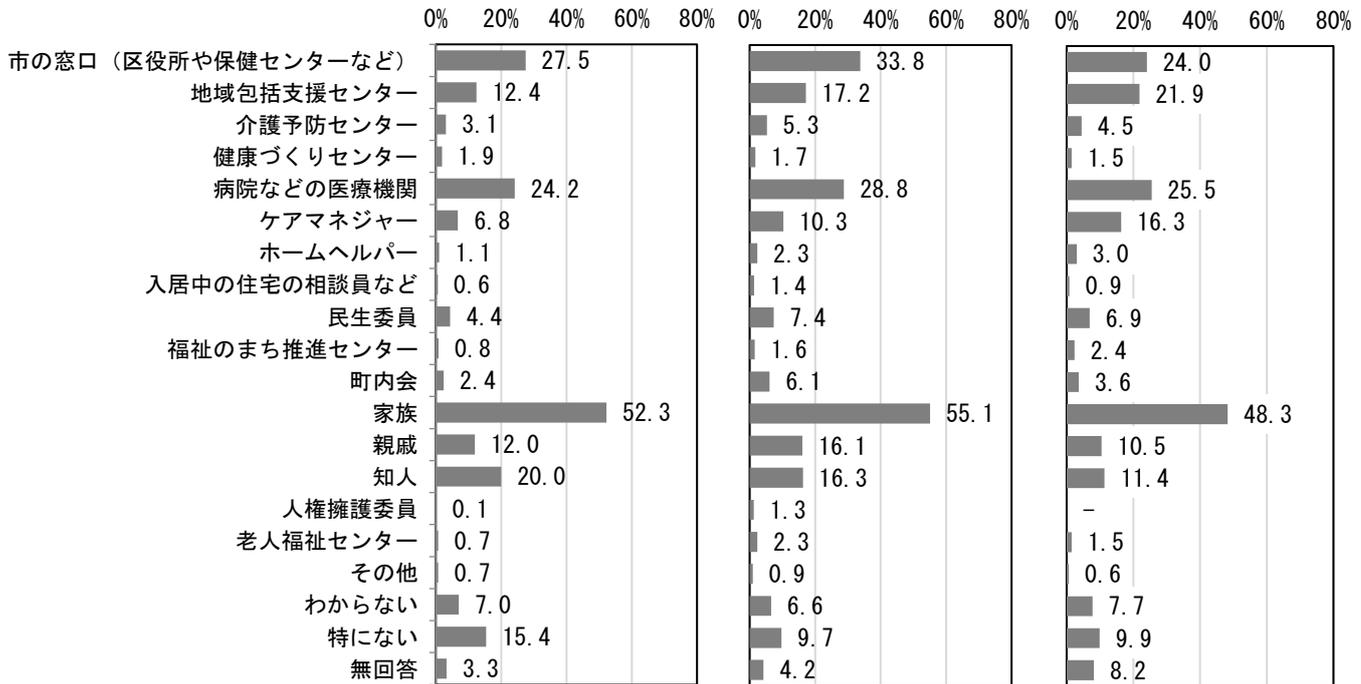
図表 2-7-16 問 7-6 外出の移動手段 × 問 1-4 年齢



満70～74歳 (N=844)

満75～79歳 (N=639)

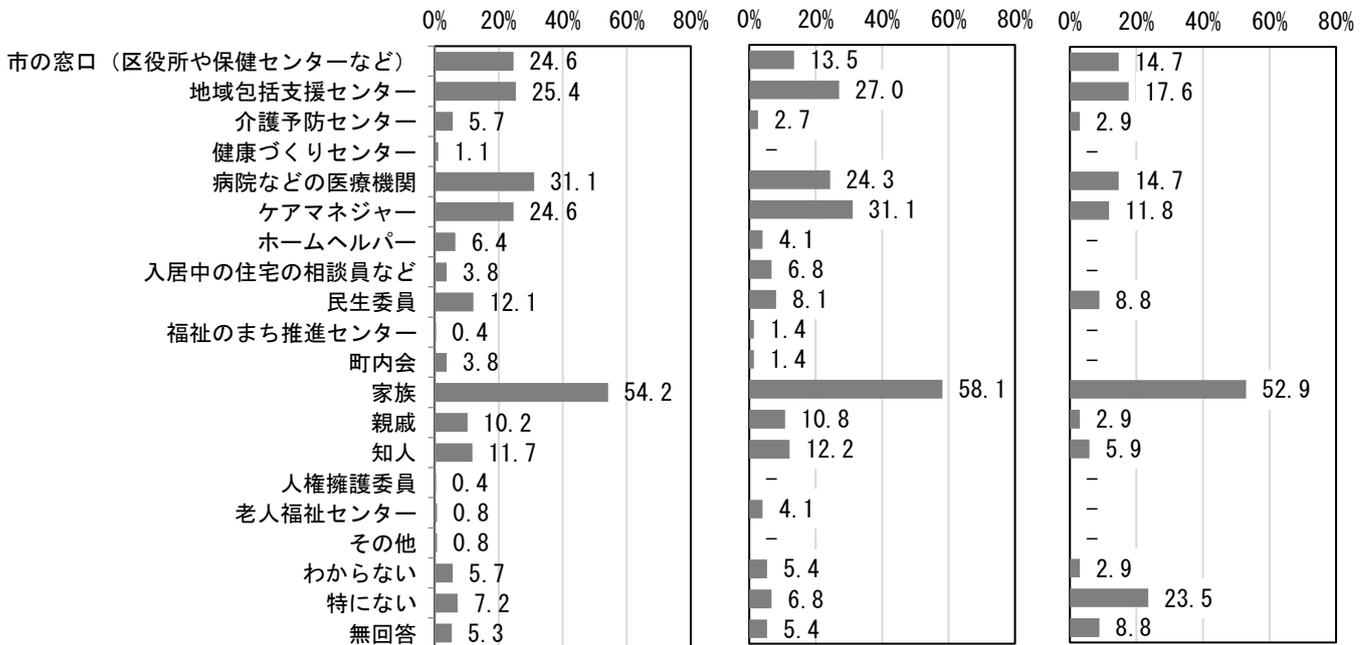
満80～84歳 (N=464)



満85～89歳 (N=262)

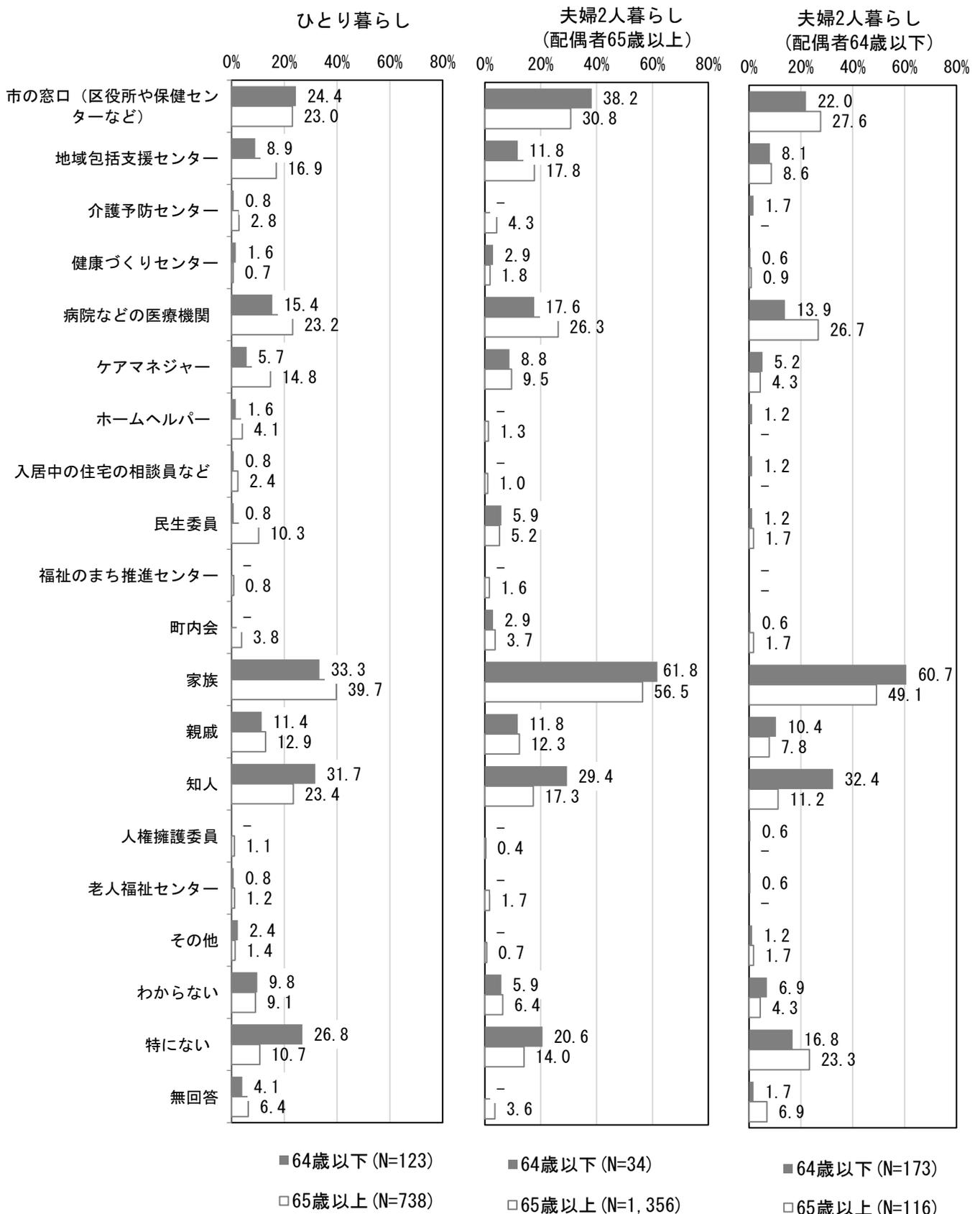
満90～94歳 (N=73)

満95歳以上 (N=32)



家族構成別にみると、「家族・親戚・知人」の割合は、64歳以下は、男性(45.7%)よりも女性(60.4%)の方が14.7ポイント高くなっており、65歳以上は、男性(45.8%)よりも女性(59.8%)の方が14.0ポイント高くなっている。

図表 2-7-17 問 7-6 困っていること・不安なことの相談先 × 問 2-1 家族構成

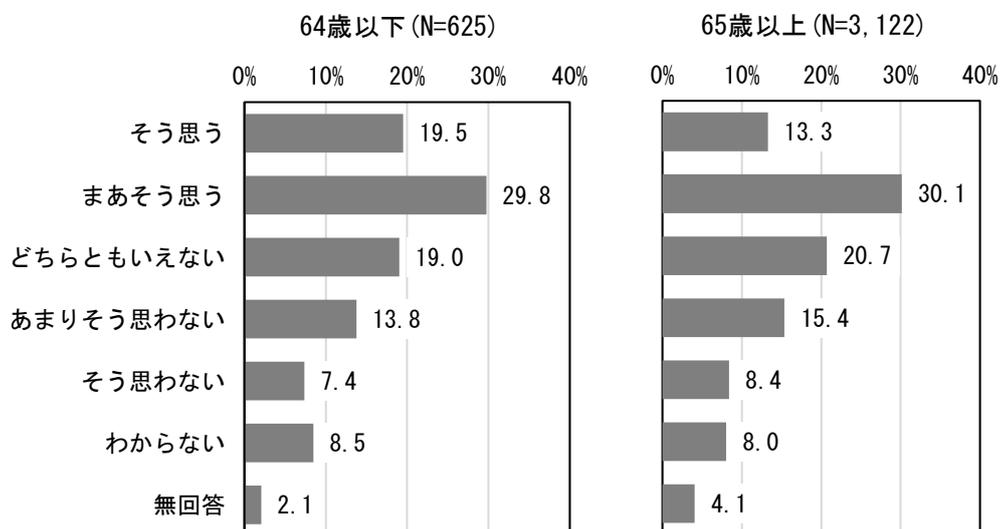


問7-7 高齢者は優遇されていると思うか

今の社会では、他の世代に比べて高齢者は優遇されていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

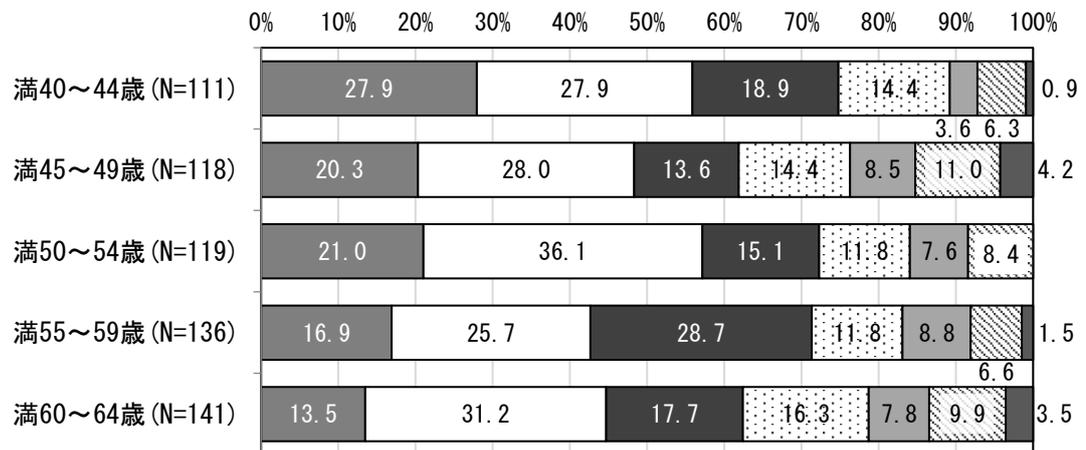
今の社会では、他の世代に比べて高齢者は優遇されていると思うかについてたずねたところ、「そう思う」「まあそう思う」を合わせた割合が、64歳以下は49.3%、65歳以上は43.4%となっている。一方、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた割合は、64歳以下は22.2%、65歳以上は23.8%となっている。

図表2-7-18 高齢者は優遇されていると思うか

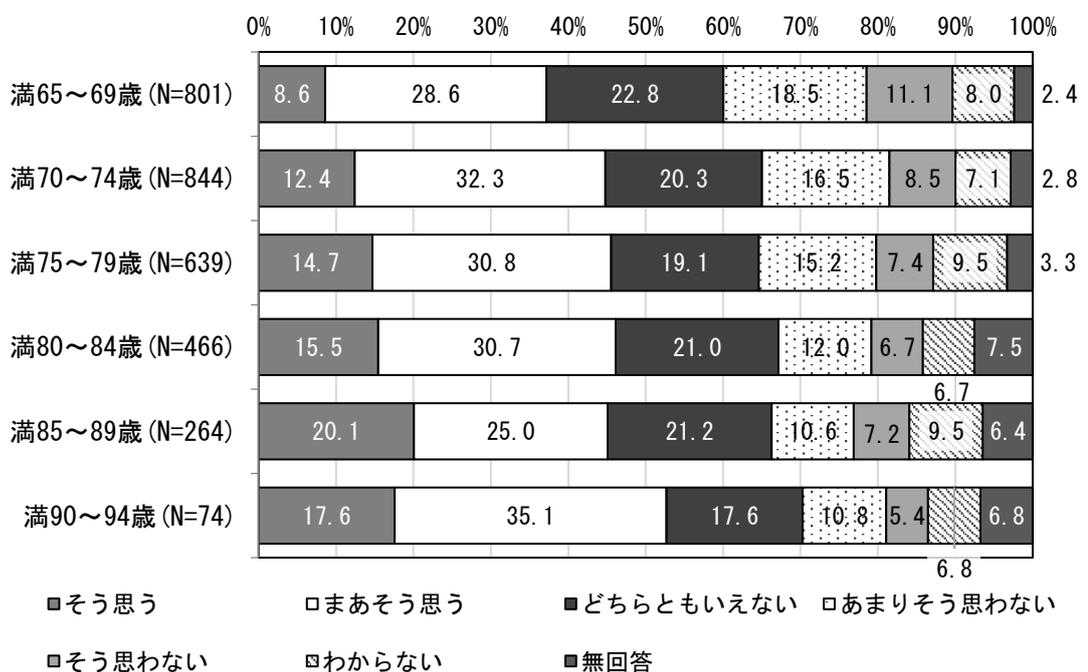


年齢別にみると、「そう思う」「まあそう思う」を合わせた割合は、64歳以下は、満50～54歳が最も高く57.1%となっており、65歳以上は、満90～94歳が最も高く52.7%となっている。

図表2-7-19 問7-7 高齢者は優遇されていると思うか × 問1-4 年齢【64歳以下】



図表2-7-20 問7-7 高齢者は優遇されていると思うか × 問1-4 年齢【65歳以上】

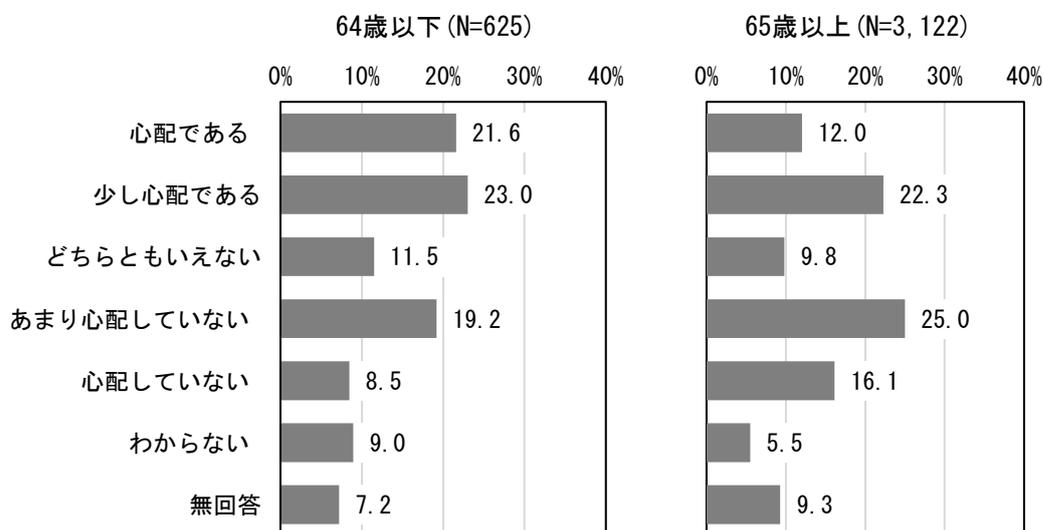


問7-8 孤立死の心配があるか

近年、孤立死が大きな問題となっていますが、あなたは、孤立死について心配がありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

孤立死について心配があるかをたずねたところ、「心配である」「少し心配である」を合わせた割合が、64歳以下は44.6%、65歳以上は34.3%となっている。一方、「あまり心配していない」「心配していない」を合わせた割合は、64歳以下は27.7%、65歳以上は41.1%となっている。

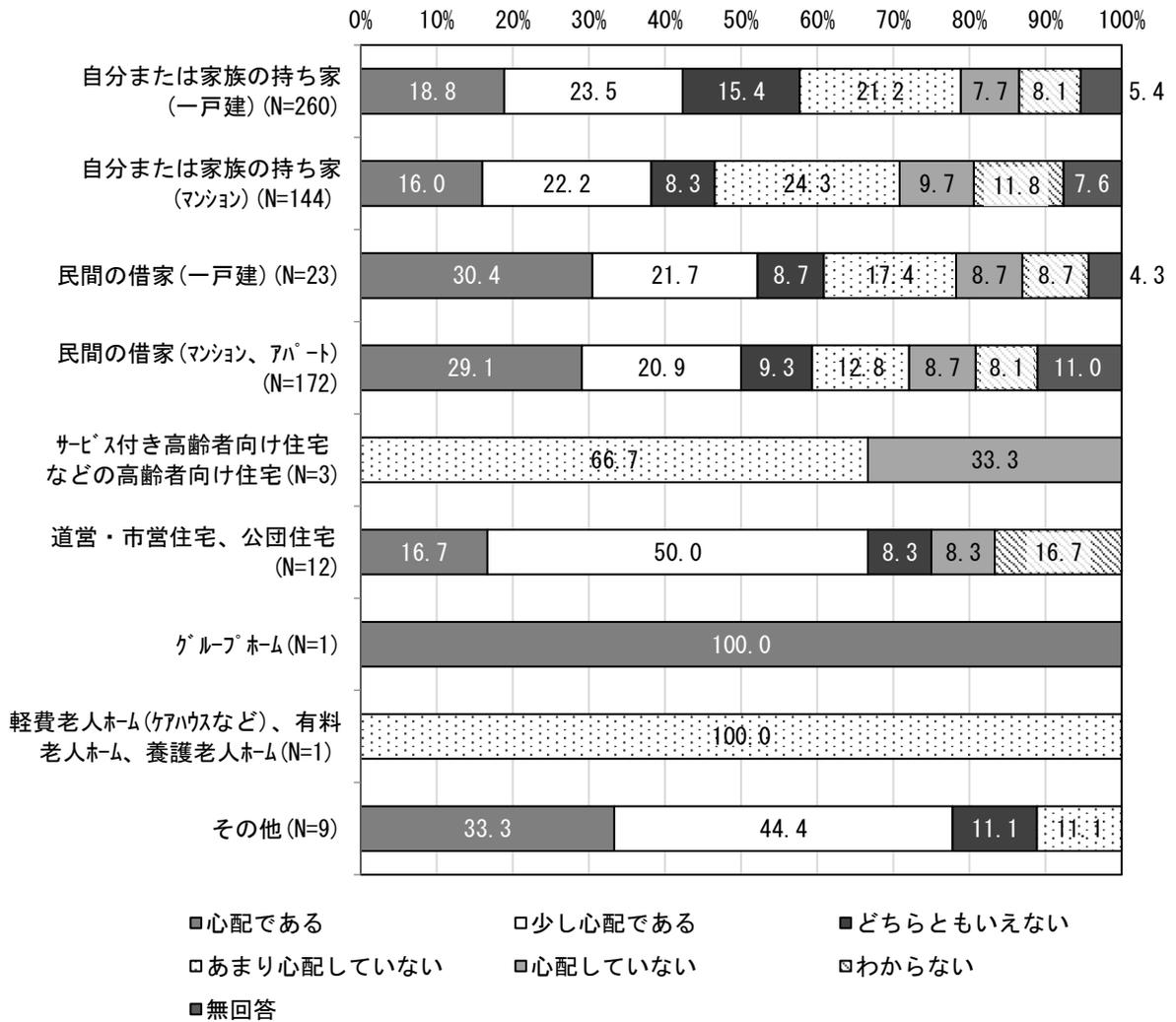
図表2-7-21 孤独死の心配があるか



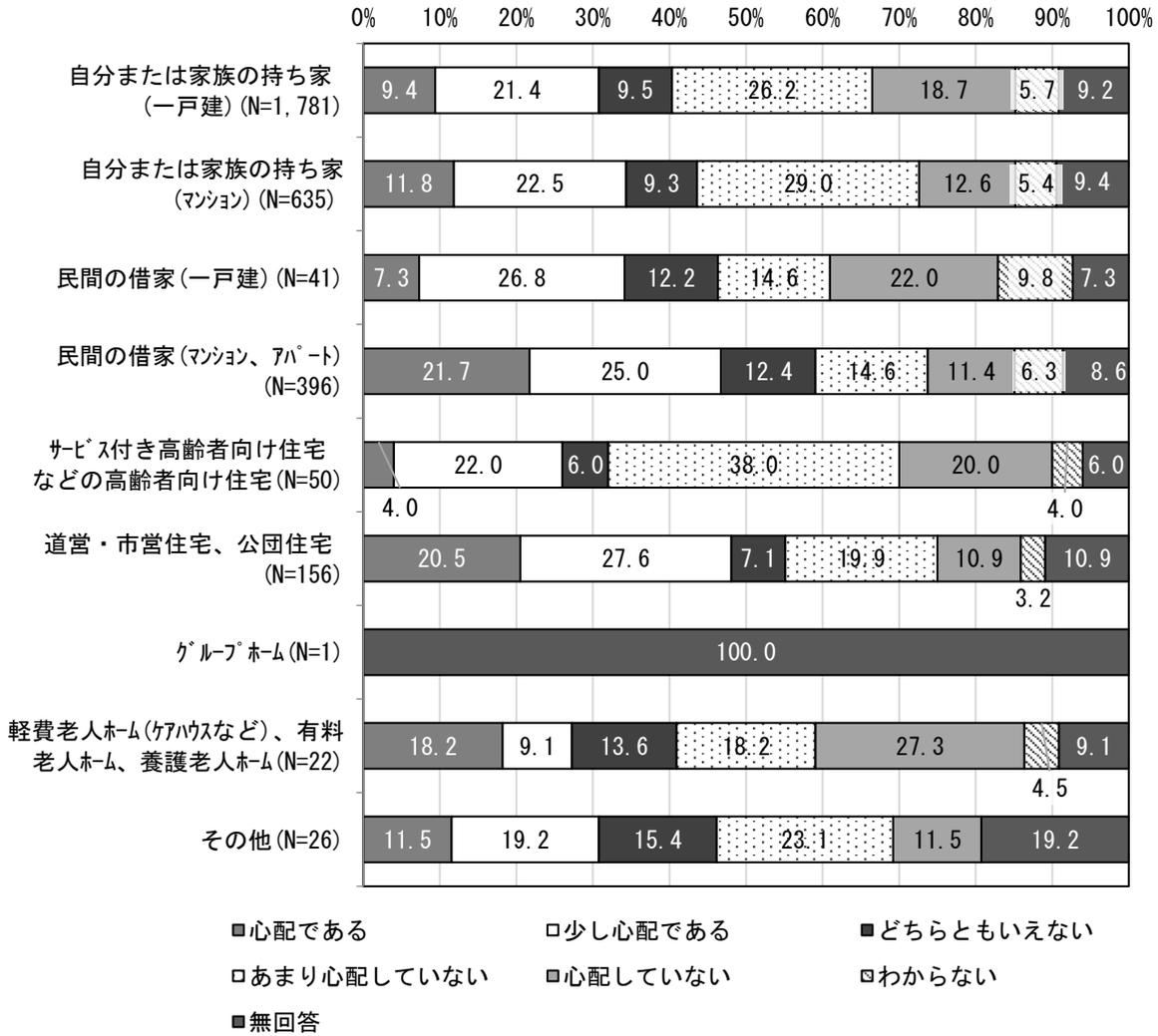
※ 孤立死とは、高齢社会の進展に伴いひとり暮らしの高齢者等が増え、誰にも看取られずに亡くなったり、亡くなった後何日間か放置された状態で発見されたりすることを言います。

現在の生活場所別に「心配である」「少し心配である」を合わせた割合をみると、「道営・市営住宅、公団住宅」が特に高く、64歳以下は66.7%、65歳以上は48.1%となっている。

図表2-7-22 問7-8 孤立死の心配があるか × 問1-5 生活場所 【64歳以下】

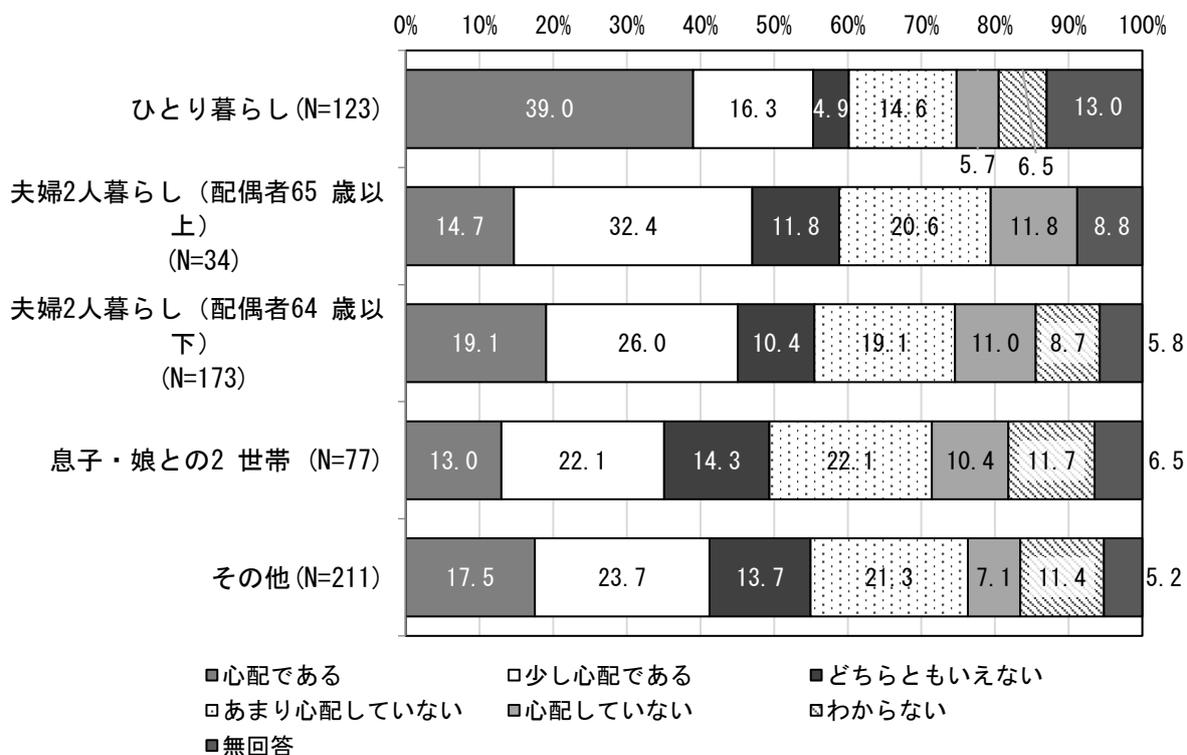


図表2-7-23 問7-8 孤立死の心配があるか × 問1-5 生活場所 【65歳以上】

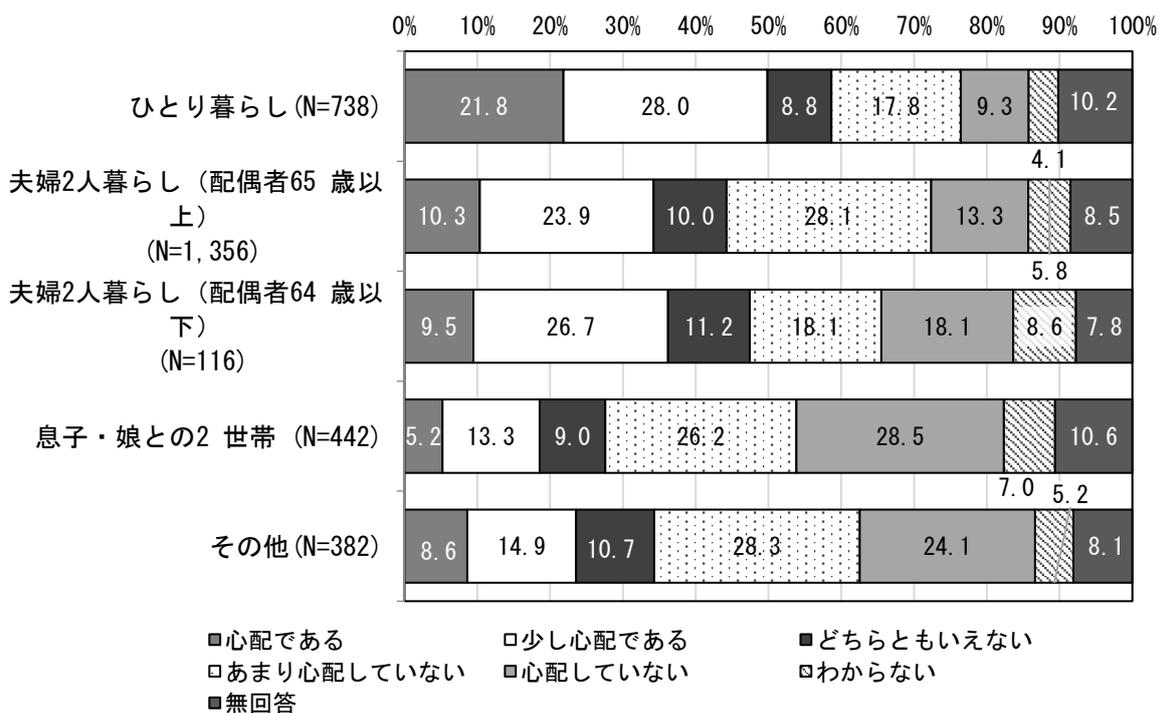


家族構成別に「心配である」「少し心配である」を合わせた割合をみると、64歳以下・65歳以上共に、「ひとり暮らし」と回答した人は、64歳以下は55.3%、65歳以上は49.8%と特に高くなっている。

図表2-7-24 問7-8 孤立死の心配があるか × 問2-1 家族構成 【64歳以下】

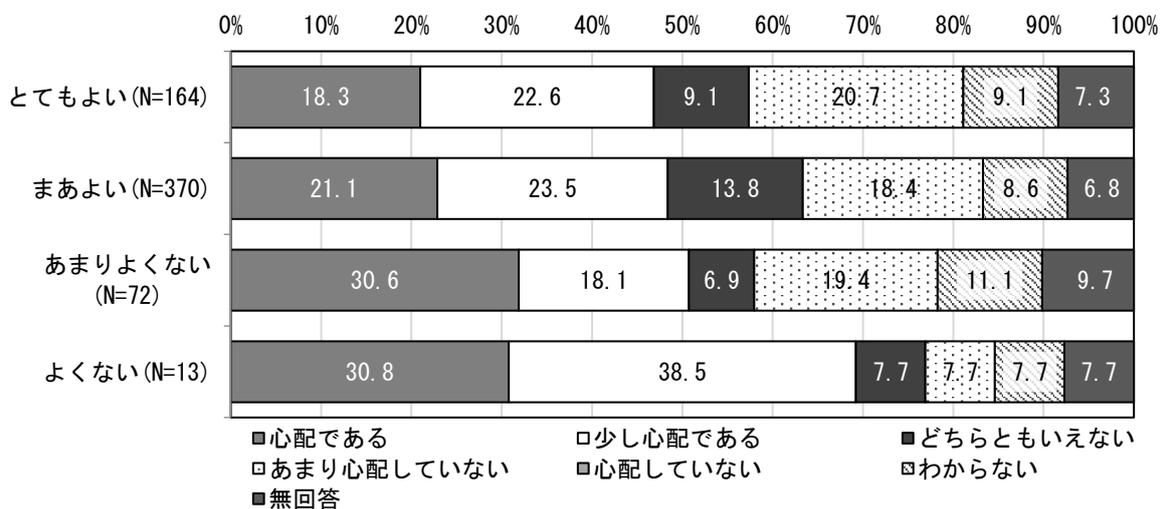


図表2-7-25 問7-8 孤立死の心配があるか × 問2-1 家族構成 【65歳以上】

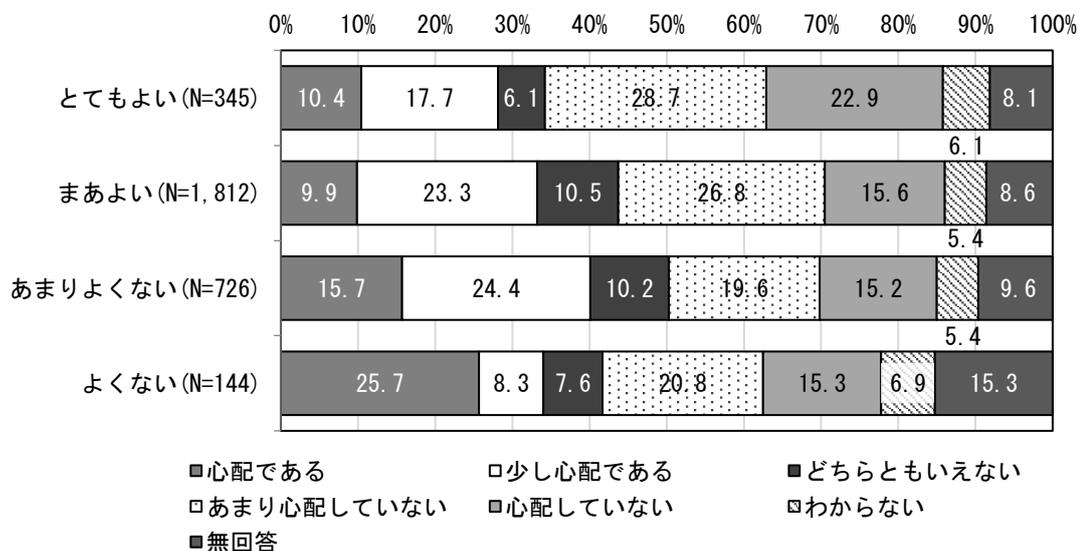


主観的健康感別に「心配である」「少し心配である」を合わせた割合は64歳以下は「よくない」(69.3%)、65歳以上は「あまりよくない」(40.1%)と回答した人が最も多くなっている。

図表2-7-26 問7-8 孤立死の心配があるか × 問4-1 主観的健康感 【64歳以下】

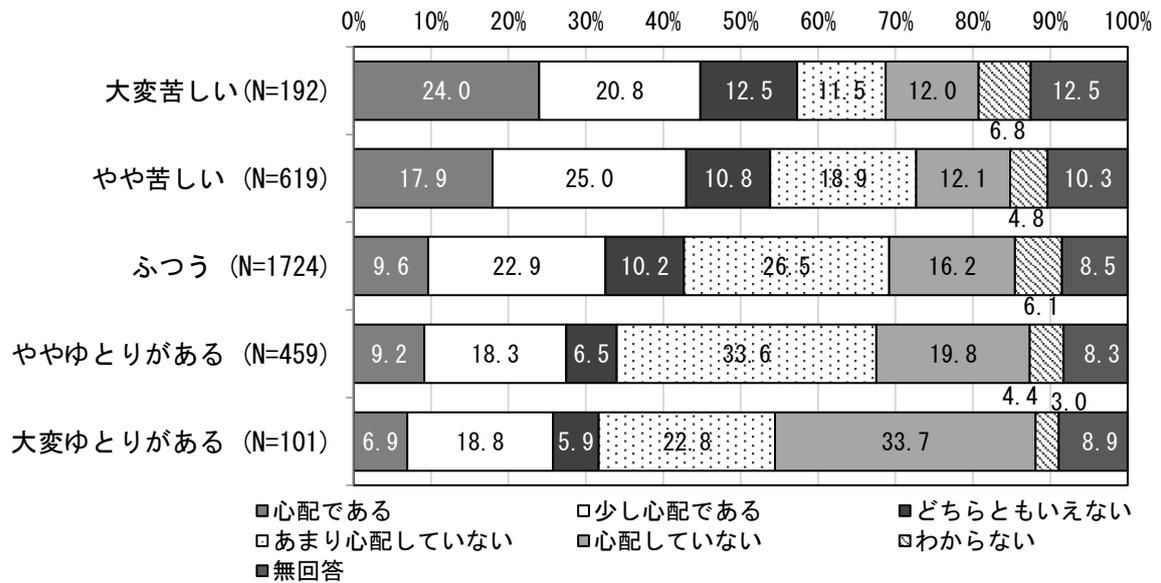


図表2-7-27 問7-8 孤立死の心配があるか × 問4-1 主観的健康感 【65歳以上】



経済的ゆとり感別に「心配である」「少し心配である」を合わせた割合をみると、65歳以上は「大変苦しい」と回答した人（44.8%）が最も高く、次いで「やや苦しい」と回答した人（42.9%）になっている。

図表2-7-28 問7-8 孤立死の心配があるか × 問5-19 経済的ゆとり感 【65歳以上】



問 7-9 認知症の人と接した経験

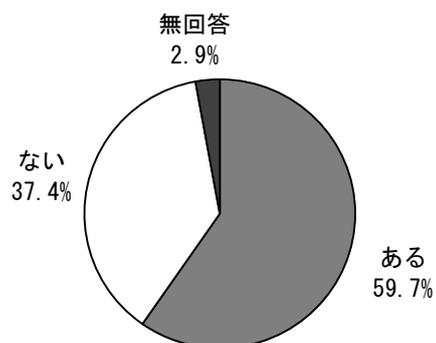
(1) 認知症の人と接した経験について

あなたは今までに認知症の人と接したことがありますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

認知症の人と接したことがあるかたずねたところ、「ある」と回答した人は 64 歳以下・65 歳以上ともに半数を超えており、64 歳以下は 59.7%、65 歳以上は 50.8%となっている。

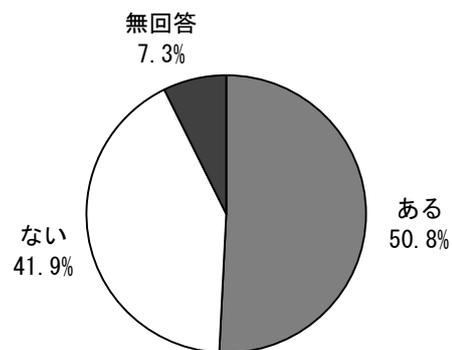
図表 2-7-29 認知症と接した経験

【64 歳以下】(N=625)



図表 2-7-30 認知症と接した経験

【65 歳以上】(N=3,122)

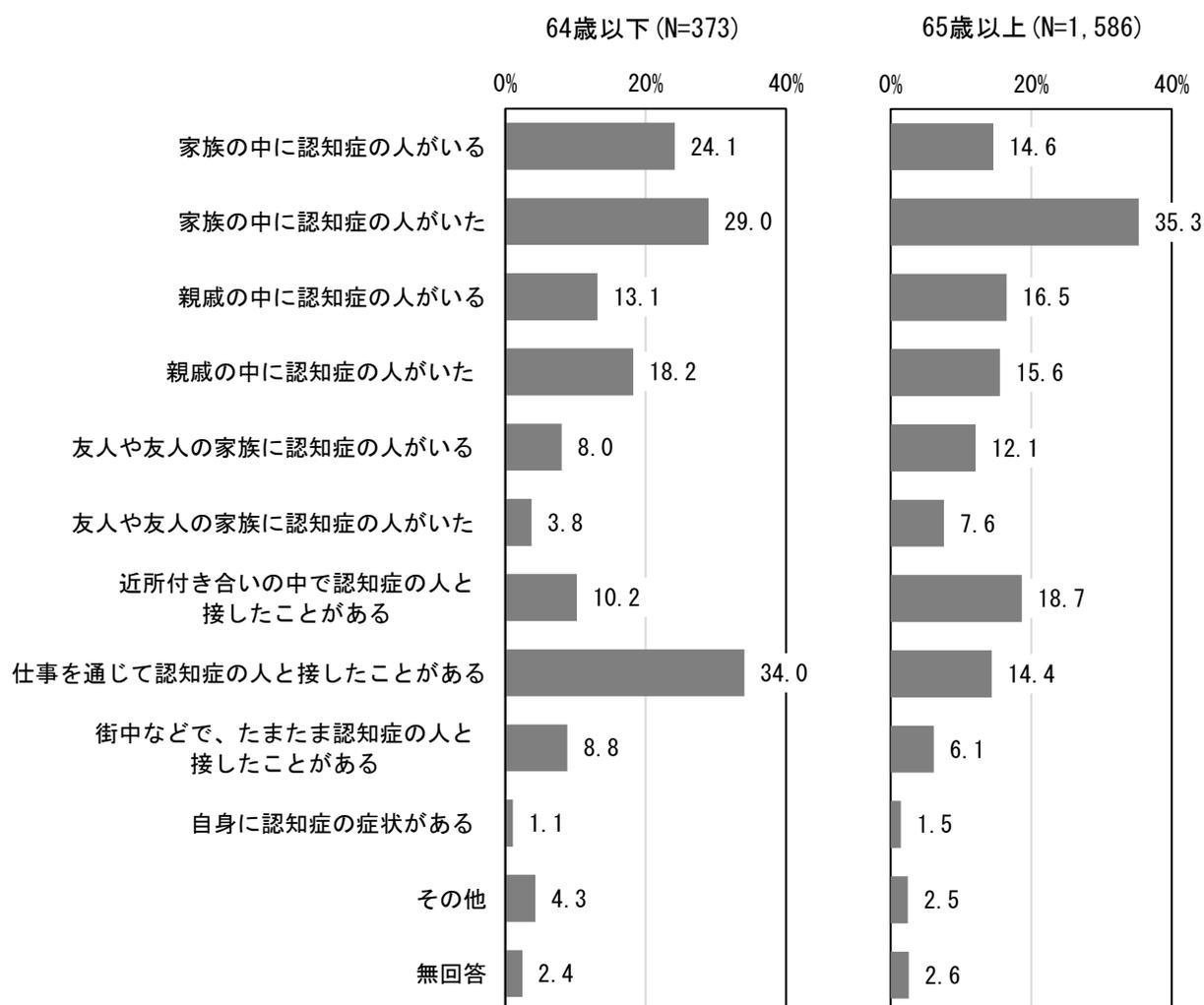


(2) どのような経験か

「1. ある」と回答した方にうかがいます。経験したことがあるのは、どのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

認知症の人と接したことがある人にどのような経験かたずねたところ、64歳以下は「仕事を通じて認知症の人と接したことがある」(34.0%)と回答した人が最も多く、次いで「家族の中に認知症の人がいた」(29.0%)、「家族の中に認知症の人がいる」(24.1%)となっており、65歳以上は「家族の中に認知症の人がいた」(35.3%)と回答した人が最も多く、次いで「近所付き合いの中で認知症の人と接したことがある」(18.7%)、「親戚の中に認知症の人がいる」(16.5%)となっている。

図表2-7-31 認知症と接した内容

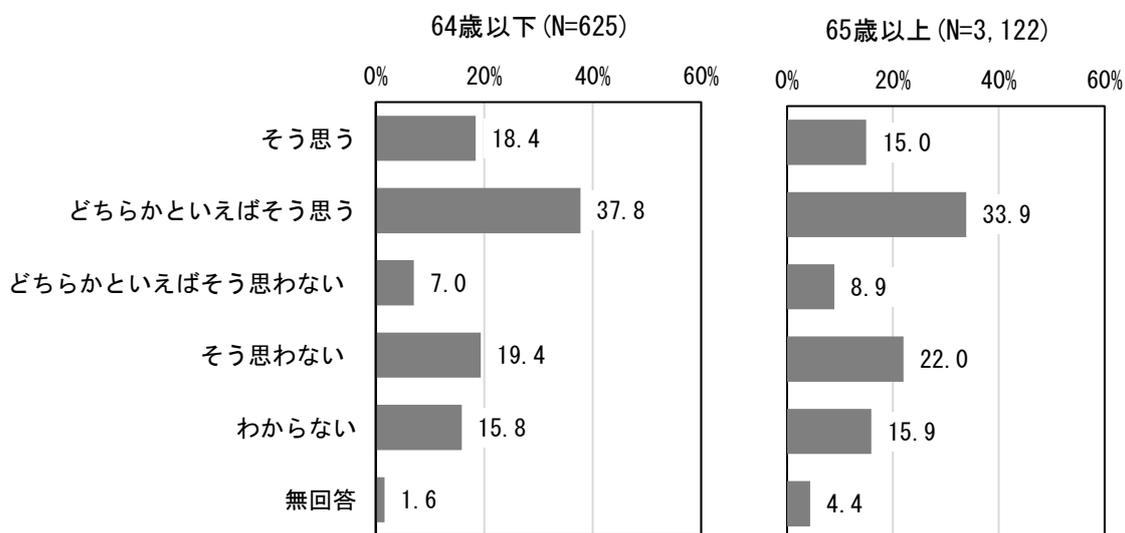


問7-10 認知症は偏見を持たれると思うか

すべての方にお聞きします。認知症の人が偏見を持ってみられる傾向にあると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

認知症の人が偏見を持ってみられる傾向にあるかをたずねたところ、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が、64歳以下は56.2%、65歳以上は48.9%となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた割合は、64歳以下は26.4%、65歳以上は30.9%となっている。

図表2-7-32 認知症は偏見を持たれると思うか

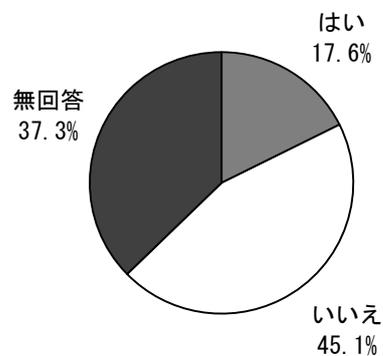
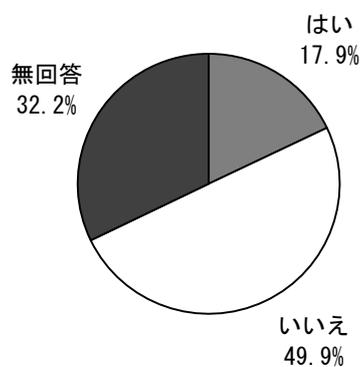


問 7-1 1 認知症の相談窓口を知っているか

認知症に関する相談窓口を知っていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

認知症に関する相談窓口を知っているかをたずねたところ、64歳以下・65歳以上ともに「いいえ」の割合が多く、64歳以下は49.9%、65歳以上は45.1%となっている。

図表2-7-33 認知症の相談窓口を知っているか 図表2-7-34 認知症の相談窓口を知っているか
【64歳以下】(N=625) 【65歳以上】(N=3,122)



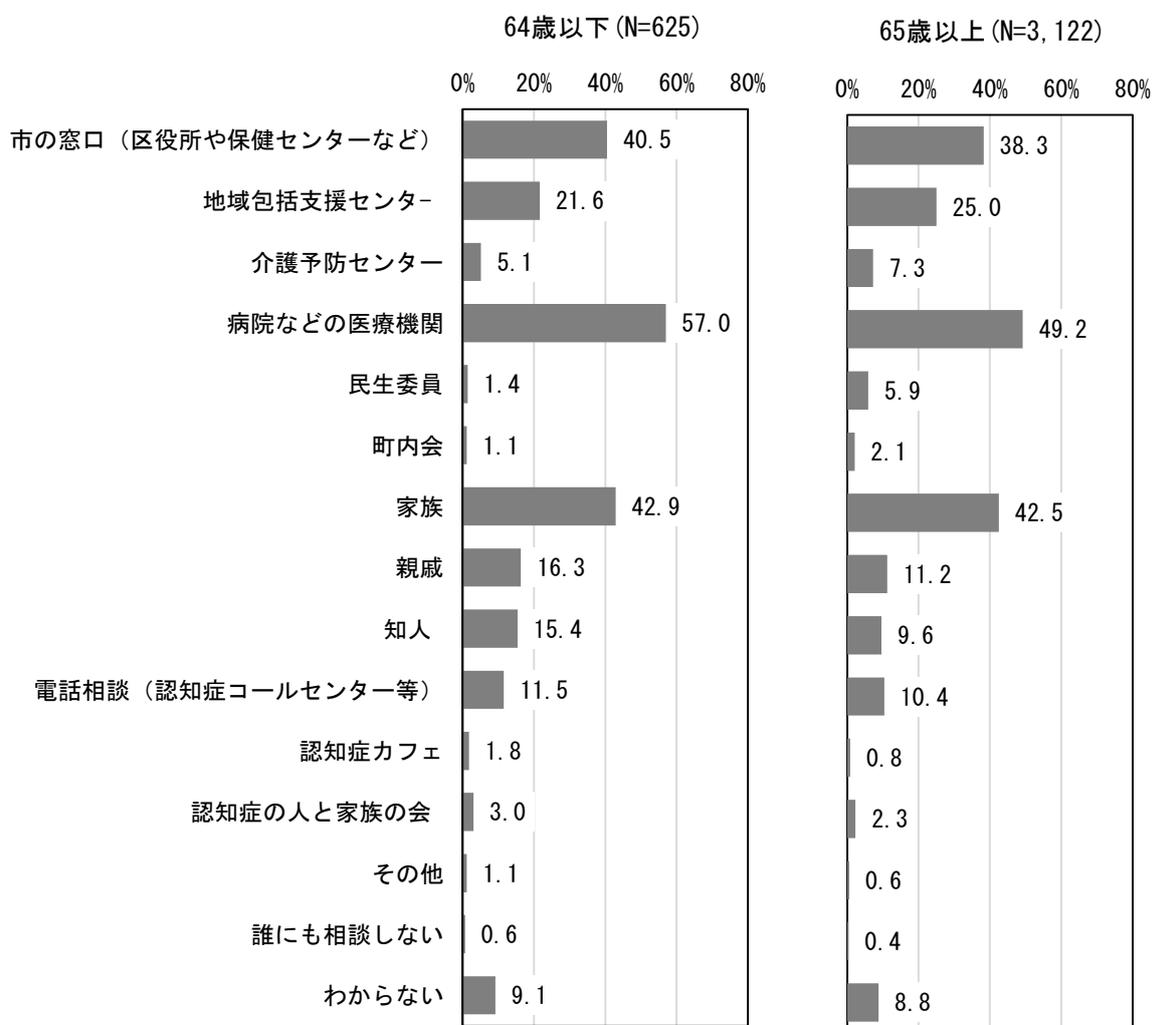
問7-12 認知症の場合の相談先

[複数回答]

仮にあなたやご家族の方に認知症の心配がある場合、どこに相談しますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

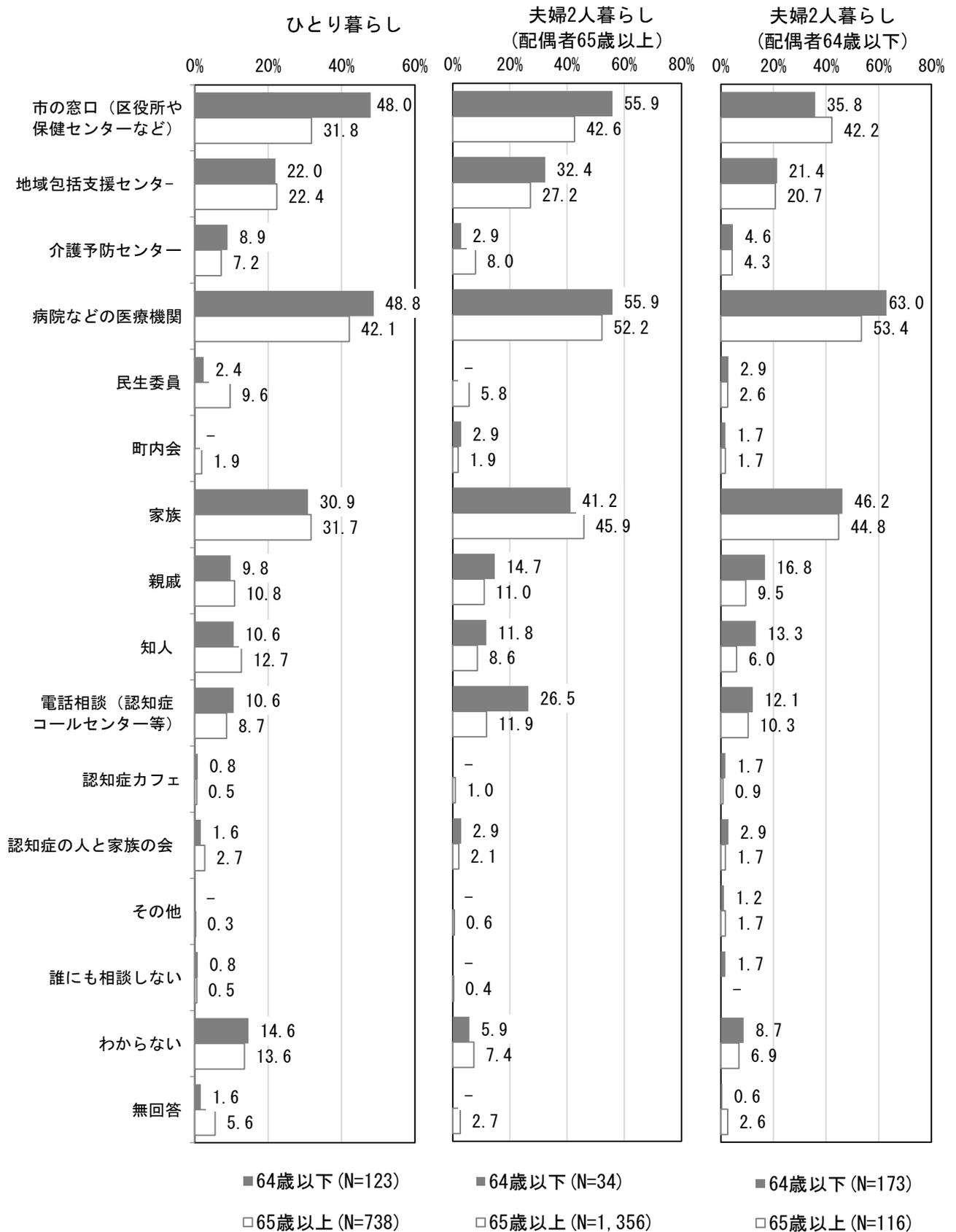
仮に自分自身やご家族の方に認知症の心配がある場合、どこに相談するかをたずねたところ、64歳以下・65歳以上共に「病院などの医療機関」が最も多く、64歳以下は57.0%、65歳以上は49.2%となっている。次いで、「家族」(64歳以下42.9%、65歳以上42.5%)、「市の窓口(区役所や保健センターなど)」(64歳以下40.5%、65歳以上38.3%)となっている。

図表2-7-35 認知症の相談先



家族構成別にみると、全ての世帯で「病院などの医療機関」と回答した人の割合が最も多く、次いで「家族」「市の窓口（区役所や保健センターなど）」が高くなっている。

図表 2-7-36 問 7-12 認知症の場合の相談先 × 問 2-1 家族構成

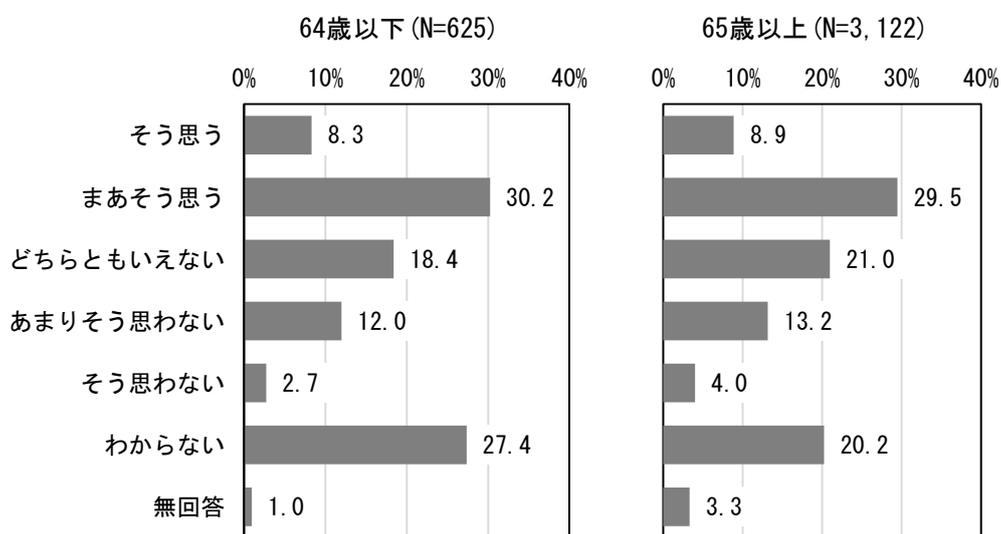


問7-13 高齢者の人権が守られていると思うか

札幌市では、高齢者の人権が尊重され、権利が守られていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

札幌市は、高齢者の人権が尊重され、権利が守られていると思うかについてたずねたところ、「そう思う」「まあそう思う」を合わせた割合が、64歳以下は38.5%、65歳以上は38.4%となっている。一方、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた割合は、64歳以下は14.7%、65歳以上は17.2%となっている。

図表2-7-37 高齢者の人権が守られていると思うか



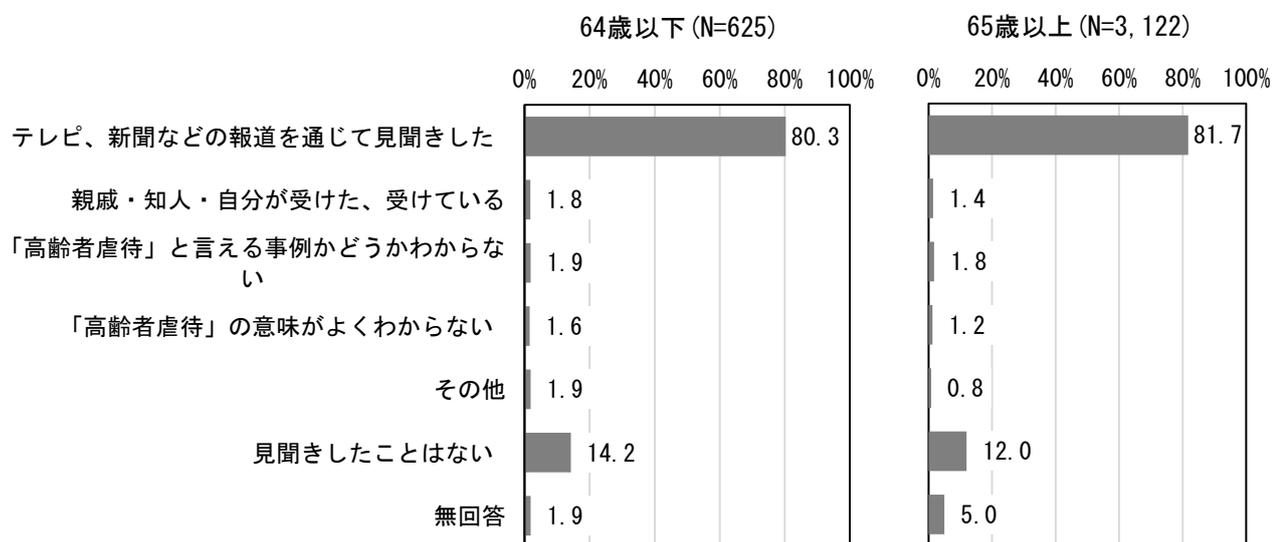
問7-14 虐待を見聞きしたことはあるか

[複数回答]

「高齢者虐待」を見聞きしたことがありますか。また、見聞きしたことがある場合どのような状況で見聞きしましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「高齢者虐待」をどのような状況で見聞きしたことがあるかについてたずねたところ、64歳以下・65歳以上共に「テレビ、新聞などの報道を通じて見聞きした」が最も多く、64歳以下は80.3%、65歳以上は81.7%と共に半数を超えている。一方、「見聞きしたことはない」は、64歳以下は14.2%、65歳以上は12.0%となっている。

図表2-7-38 虐待を見聞きしたことはあるか



虐待の内容

[複数回答]

「2. 親戚・知人・自分が受けた、受けている」と回答した方にうかがいます。実際に受けた、または受けている虐待はどのようなものですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

問5-9で、「2. 親戚・知人・自分が受けた、受けている」と回答した方に、実際に受けた、または受けている虐待はどのようなものかについてたずねたところ、64歳以下は「身体的虐待」と「心理的虐待」がそれぞれ45.5%と最も多く、次いで「介護・世話の放棄・放任」(27.3%)が高くなっており、65歳以上は「心理的虐待」(58.1%)が最も多く、次いで、「身体的虐待」(32.6%)と「介護・世話の放棄・放任」(32.6%)が同じ割合で高くなっている。

図表2-7-39 受けている虐待

